

吉野ヶ里遺跡

— 弥生時代の墳丘墓 —

平成 29 (2017) 年 12 月

佐賀県教育委員会

序

吉野ヶ里遺跡の発掘調査は、工業団地計画に伴い昭和61年5月から開始しましたが、国内最大規模の弥生時代環壕集落跡や墳丘墓の発掘などにより、平成元年2月以来大いに注目されてきました。その後、吉野ヶ里遺跡を取り巻く状況は、平成元年3月の工業団地計画中止と遺跡保存の決定、翌2年・3年の史跡・特別史跡としての指定、平成4年の国営公園化の閣議決定、平成7年11月からの歴史公園整備工事着手、平成13年4月23日の第1期開園と急速な展開を遂げました。歴史公園整備は平成25年3月20日に「古代の森ゾーン」が概成し、国営公園部分についてはほぼ完成しており、現在は多くの来園者で賑わっています。

このような状況の中で、当委員会では平成元年度から文化庁の補助事業、平成9年度から国土交通省九州地方整備局の受託事業、県土づくり本部の再配当事業により、遺跡の範囲確認や内容解明のための確認調査を継続して実施しています。その中で、北内郭や高床倉庫群、九州初となる銅鐸の発見など多くの成果を上げることができ、ますます遺跡の重要性が認識されています。

本書は、吉野ヶ里遺跡の弥生時代墳丘墓について文化庁の補助を受け、これまでの調査成果をまとめたものです。本書を学術資料としてお役立ていただき、吉野ヶ里遺跡の今後の調査研究や保存活用に関して、適切な御指導、御助言をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまでの発掘調査にあたり適切な御指導をいただいた文化庁をはじめ諸先生方、調査や遺跡の保存などに多大な御協力をいただいた地元市町村教育委員会や国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所歴史公園課をはじめ関係機関、発掘や整理作業に従事いただいた作業員の方々には、衷心より厚くお礼申し上げます。

平成29年12月

佐賀県教育委員会
教育長 白水敏光

例 言

1 本書は、佐賀県教育委員会が実施した佐賀県神埼市大字志波屋・鶴・田道ヶ里、吉野ヶ里町大字田手・大曲に所在する吉野ヶ里遺跡の発掘調査報告書で、これまでの調査成果のうち、弥生時代の墳丘墓についてまとめた総括編である。

2 本書の作成は国庫補助事業として実施したが、報告の対象は昭和 61～63 年度に実施した神埼工業団地計画に伴う発掘調査、平成元～23 年度に実施した国庫補助事業による発掘調査、平成 9～24 年度に実施した国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う発掘調査とする。

3 発掘調査は佐賀県教育委員会が主体となり、神埼町（現：神崎市）教育委員会、三田川町（現：吉野ヶ里町）教育委員会の協力を得た。

4 吉野ヶ里遺跡の範囲については、現行の『佐賀県遺跡地図』に従った。

6 本書での報告対象は、吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区（ST1001 北墳丘墓）、田手二本黒木地区Ⅲ区、田手一本黒木地区Ⅰ区（南祭壇、墳丘墓）である。

7 平成 14 年 4 月に改正測量法が施行されたが、調査時の記録はすべて日本測地系による旧国土座標であることから、混乱を回避するため、吉野ヶ里遺跡の発掘調査では今のところ世界測地系による座標を使用していない。

8 報告書作成に係る整理作業は吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所で行ったが、一部を業者に委託した。

9 本書の執筆は、第 1 章第 1 節、第 2 章を渡部、第 1 章第 2 節、第 3 章を渋谷格が担当した。
編集は、宮崎博司、吉野健太郎、渋谷格の協力を得て、渡部芳久が行った。

10 吉野ヶ里遺跡の出土遺物・記録類は、吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所にて保管・管理しているが、一部の写真類は佐賀県文化財調査研究資料室で保管している。

11 吉野ヶ里遺跡の発掘調査は、文化庁や佐賀県文化財保護審議委員の先生方をはじめ多くの研究者の御指導・御助言、発掘・整理作業員をはじめ地元の方々や関係機関の御協力によって成り立っている。紙数の都合などで御芳名を記すことができなかったが、感謝申し上げます。

本書の記載方法

1 吉野ヶ里遺跡の調査では、神埼工業団地計画に伴う発掘調査開始時において、当時の遺跡地図に基づく遺跡名を使用しており、遺跡の略号についてもそれぞれに与えていた。その後、それらの遺跡を統合し吉野ヶ里遺跡として登録しているが、当初の遺跡名を地区名として使用しており、混乱を防ぐため、略号の変更を行わず、当時と同じ英大文字3字の略号を使用して、実測図・写真等の記録類や出土遺物の注記に利用している。吉野ヶ里遺跡の各地区の略号は、次のとおりである。

YGK：吉野ヶ里丘陵地区 TDN：田手二本黒木地区 TDI：田手一本黒木地区

2 個々の遺構名は、遺構記号と4桁の算用数字の組み合わせで示す。番号は、地区ごとに通し番号で数字を付している。今回用いた遺構記号は、次の通りである。このほか、小穴については調査区ごとの通し番号を基本とし、頭にPを付して表現する。

SB：掘立柱建物跡	SD：環壕・溝跡	SH：竪穴建物跡
SK：貯蔵穴跡・土坑	SJ：裏棺墓	SX：その他・不明遺構
SC：石棺墓	SP：木棺墓・土坑墓	

3 出土遺物の○○形土器は、○○とのみ表現する。例) 裏形土器→裏

4 実測した遺物には8桁の佐賀県遺物登録番号を1点ずつ付し、挿図では本書内の小節ごとに通し番号を付した。

5 本書で示す方位は、国土地理院の旧国土座標第Ⅱ系の座標北である。

6 表で示した各項目の計測値は、復元値に*、残存値に+を付けて表現する。

7 遺構一覧表の「新旧関係」は、当該遺構より古い遺構を「旧」に、新しい遺構を「新」に記載した。また、煩雑さを避けるため、多数の遺構が重複している場合は、主な遺構の新旧関係のみ記載した。

8 弥生時代の時期区分については、土器様式編年を指標として次のように表現し、更に細分可能な場合は「中期前半古相」等の要領で記す。

前期初頭(板付Ⅰ式並行)、前期前半(板付Ⅱa式並行)、前期後半(板付Ⅱb式古段階並行)、前期末(板付Ⅱb式新段階並行)、中期初頭(城ノ越式並行)、中期前半(須玖Ⅰ式並行)、中期後半(須玖Ⅱ式古段階並行)、中期末(須玖Ⅱ式新段階並行)、後期前半(高三瀨式並行)、後期後半(下大隈式並行)、終末(西新式並行)

なお、裏棺の時期については、おおそ金海・城ノ越式を中期初頭、汲田式を中期前半、須玖式を中期後半、立岩式を中期末、三津式(椀馬場式)を後期(初頭～)前半とする。

9 神埼工業団地計画に伴う調査以降、佐賀県教育委員会が主体となって発掘調査を実施した吉野ヶ里遺跡関係の調査報告書は以下の通りである。この一連の報告書は、本書全体で頻繁に引用・参照されるため、本文中などで引用・参照する場合は、佐賀県文化財調査報告書の番号を用いて、『100集』『113集』と表記し、各章などの文献一覧では省略している。

佐賀県教育委員会（1990）『吉野ヶ里遺跡—佐賀県神埼郡三田川町・神埼町に所在する吉野ヶ里遺跡の確認調査報告書—』佐賀県文化財調査報告書第100集

佐賀県教育委員会（1992）『吉野ヶ里—神埼工業団地計画に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』佐賀県文化財調査報告書第113集

佐賀県教育委員会（1997）『吉野ヶ里遺跡—平成2年度～7年度の発掘調査の概要—』佐賀県文化財調査報告書第132集

佐賀県教育委員会（2001）『杉籠遺跡—国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書1—』佐賀県文化財調査報告書第146集

佐賀県教育委員会（2002）『吉野ヶ里銅鐸—吉野ヶ里遺跡大曲一の坪地区発掘調査概要報告書—』佐賀県文化財調査報告書第152集

佐賀県教育委員会（2003）『吉野ヶ里遺跡—平成8年度～10年度の発掘調査の概要—』佐賀県文化財調査報告書第156集

佐賀県教育委員会（2004）『吉野ヶ里遺跡—平成11年度～12年度の発掘調査の概要—』佐賀県文化財調査報告書第160集

佐賀県教育委員会（2005）『吉野ヶ里遺跡—田手二本黒木地区弥生時代前期環壕出土の土器と石器—』佐賀県文化財調査報告書第163集

佐賀県教育委員会（2007）『吉野ヶ里遺跡大曲一の坪地区・枝町遺跡—県立吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書—』佐賀県文化財調査報告書第172集

佐賀県教育委員会（2007）『吉野ヶ里遺跡—国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書2—』佐賀県文化財調査報告書第173集

佐賀県教育委員会（2008）『吉野ヶ里遺跡—田手二本黒木地区の弥生時代中期の石器—』佐賀県文化財調査報告書第177集

佐賀県教育委員会（2015）『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の集落跡—』佐賀県文化財調査報告書第207集

佐賀県教育委員会（2016）『吉野ヶ里遺跡—国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書3—』佐賀県文化財調査報告書第211集

佐賀県教育委員会（2016）『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の墓地—』佐賀県文化財調査報告書第214集

目次

本文目次

第1章 序説	1
第1節 調査の経過	2
1. はじめに	2
2. 近年の調査と整備の経過（平成27～29年度）	2
(1) 概要	2
(2) 調査組織（平成27～29年度）	2
(3) 調査指導委員会	3
第2節 弥生時代の概要	4
1. 遺跡南部の概要	4
2. 遺跡中央部の概要	6
3. 遺跡北部の概要	7
第2章 北墳丘墓とその周辺	11
第1節 ST1001 北墳丘墓	12
1. 概要	12
2. ST1001 北墳丘墓の調査成果	12
(1) 土層	23
(2) 遺構	43
(3) 出土遺物	78
(4) 小結	126
第2節 吉野ヶ里丘陵地区V区	130
1. 概要	130
2. 吉野ヶ里丘陵地区V区の調査成果	130
(1) 遺構	130
(2) 出土遺物	161
(3) 吉野ヶ里丘陵地区V区の弥生時代墳墓について	189
第3章 SX0222 盛土遺構（祭壇・南墳丘墓）とその周辺	191
(1) 概要	191
(2) 平成元年度の調査	195
(3) 平成2年度の調査	195
(4) 平成9～10年度の調査	212
(5) SX0222 盛土遺構とその周辺について	230

挿図目次

図1	吉野ヶ里遺跡中央部 調査区の位置 (S=1/5,000)	9
図2	吉野ヶ里遺跡南部 調査区の位置 (S=1/5,000)	10
図3	吉野ヶ里丘陵地区V区的位置	13
図4	吉野ヶ里丘陵地区V区 全体図 (S=1/1,500)	14
図5	吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001北墳丘墓 (S=1/500)	15
図6	ST1001北墳丘墓 喪棺墓とトレンチの位置 (S=1/250)	16
図7	ST1001北墳丘墓 南北・東西 土層断面図 (S=1/200)	17
図8	ST1001北墳丘墓 北トレンチ 東壁土層 (S=1/150,1/50)	18
図9	ST1001北墳丘墓 南トレンチ西壁土層 (S=1/120,1/50)	20
図10	ST1001北墳丘墓 東トレンチ北壁土層 (S=1/150,1/30,1/40)	22
図11	ST1001北墳丘墓 西トレンチ南壁土層 (S=1/100,1/40)	24
図12	ST1001北墳丘墓 北トレンチ西壁土層 (S=1/150,1/50)	26
図13	ST1001北墳丘墓 南トレンチ (サブトレ) 土層 (S=1/40)	29
図14	ST1001北墳丘墓 東トレンチ南壁土層 (S=1/120,1/40)	30
図15	ST1001北墳丘墓 西トレンチ北壁土層 (S=1/80,1/40)	32
図16	ST1001北墳丘墓 A1 トレンチ土層 (S=1/60)	34
図17	ST1001北墳丘墓 A2 トレンチ土層 (S=1/50)	35
図18	ST1001北墳丘墓 A4 トレンチ土層 (S=1/50)	36
図19	ST1001北墳丘墓 A6 トレンチ土層 (S=1/80)	37
図20	ST1001北墳丘墓 B2 トレンチ土層 (S=1/80,1/40)	38
図21	ST1001北墳丘墓 B4 トレンチ北壁土層 (S=1/80,1/40)	40
図22	ST1001北墳丘墓 B4 トレンチ南壁土層 (S=1/80,1/40,1/30)	41
図23	ST1001北墳丘墓 B6 トレンチ土層 (S=1/30)	44
図24	ST1001北墳丘墓 B7 トレンチ土層 (S=1/40)	45
図25	ST1001北墳丘墓 C4 トレンチ土層 (S=1/50,1/30)	47
図26	ST1001北墳丘墓 C1 トレンチ土層 (S=1/50)	49
図27	ST1001北墳丘墓 C2 トレンチ土層 (S=1/40,1/60)	50
図28	ST1001北墳丘墓 C3 トレンチ土層 (S=1/40)	51
図29	ST1001北墳丘墓 D2 トレンチ土層 (S=1/40)	52
図30	ST1001北墳丘墓 D4・D5 トレンチ土層 (S=1/30,1/40)	54
図31	ST1001北墳丘墓 D6 トレンチ土層 (S=1/50)	55
図32	ST1001北墳丘墓 喪棺墓の位置 (S=1/250)	57
図33	ST1001北墳丘墓 喪棺墓1 (S=1/30,1/10)	58
図34	ST1001北墳丘墓 喪棺墓2 (S=1/30)	59
図35	ST1001北墳丘墓 喪棺墓3 (S=1/30)	60
図36	ST1001北墳丘墓 喪棺墓4 (S=1/30)	62
図37	ST1001北墳丘墓 喪棺墓5 (S=1/30)	63
図38	ST1001北墳丘墓 喪棺墓6 (S=1/30)	64

図 39	ST1001 北墳丘墓	甕棺墓 7 (S=1/30)	65
図 40	ST1001 北墳丘墓	甕棺墓 8 (S=1/30)	66
図 41	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 1 (S=1/30)	68
図 42	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 2 (S=1/30)	69
図 43	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 3 (S=1/30)	70
図 44	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 4 (S=1/30)	71
図 45	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 5 (S=1/80)	72
図 46	ST1001 北墳丘墓	出土遺構 6 (S=1/60)	73
図 47	吉野ヶ里丘陵地区V区	SK1699 [平成元年度調査区] (S=1/300)	74
図 48	吉野ヶ里丘陵地区V区	SK1699 [平成5年度183調査区] (S=1/300)	75
図 49	吉野ヶ里丘陵地区V区	SK1699 トレンチ土層断面1 (S=1/30)	76
図 50	吉野ヶ里丘陵地区V区	SK1699 トレンチ土層2 (S=1/40)	77
図 51	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺1 (S=1/12)	79
図 52	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺2 (S=1/12)	80
図 53	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺3 (S=1/12)	81
図 54	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺4 (S=1/12)	82
図 55	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺5 (S=1/12)	83
図 56	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺6 (S=1/12)	84
図 57	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 甕棺7 (S=1/12)	85
図 58	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器1 (S=1/2)	87
図 59	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器2 (S=1/2)	88
図 60	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器3 (S=1/2)	89
図 61	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器4 (S=1/2)	90
図 62	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器5 (S=1/2)	91
図 63	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 青銅器6 (S=1/2)	92
図 64	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉 (S=1/2)	94
図 65	吉野ヶ里丘陵地区V区	Sj1008 甕棺 (S=1/4)	97
図 66	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 祭祀遺構出土土器1 (S=1/4)	99
図 67	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 祭祀遺構出土土器2 (S=1/4,1/8)	100
図 68	吉野ヶ里丘陵地区V区	墓道状遺構 (SD1011) 出土土器1 (S=1/4)	101
図 69	吉野ヶ里丘陵地区V区	墓道状遺構 (SD1011) 出土土器2 (S=1/6,1/4)	102
図 70	吉野ヶ里丘陵地区V区	墓道状遺構 (SD1011) 出土土器3 (S=1/4)	103
図 71	吉野ヶ里丘陵地区V区	墓道状遺構 (SD1011) 出土土器4 (S=1/4)	104
図 72	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器1 (S=1/4)	105
図 73	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器2 (S=1/4)	106
図 74	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器3 (S=1/4)	107
図 75	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器4 (S=1/4)	108
図 76	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器5 (S=1/4)	109
図 77	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器6 (S=1/4)	110
図 78	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器7 (S=1/4)	111

図 79	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 8 (S=1/4)	112
図 80	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 9 (S=1/4)	113
図 81	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 10 (S=1/4)	114
図 82	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 11 (S=1/4)	115
図 83	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 12 (S=1/4)	116
図 84	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 13 (S=1/4)	117
図 85	吉野ヶ里丘陵地区V区	大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 14 (S=1/4)	118
図 86	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 出土石器・石製品 1 (S=1/2,1/3)	124
図 87	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 出土石器・鉄器 (S=1/2,1/3)	125
図 88	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 墳丘墓と喪棺 (墳丘墓 1/500, 喪棺 1/40)	128
図 89	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 墳丘墓喪棺と青銅器 (墳丘墓 1/500, 青銅器 1/8)	129
図 90	吉野ヶ里丘陵地区V区	調査区的位置 (1/2,000)	131
図 91	吉野ヶ里丘陵地区V区	全体図 (1/1,500)	132
図 92	吉野ヶ里丘陵地区V区	弥生時代遺構の分布略図 (1/1,500)	133
図 93	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 遺構の分布 (左)・墓地遺構分布略図 (右) (1/500)	134
図 94	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 遺構の分布詳細図 1 (1/250)	135
図 95	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 遺構の分布詳細図 1-1 (1/150)	136
図 96	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 遺構の分布詳細図 2 (1/200)	137
図 97	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	遺構の分布 (1/500)	138
図 98	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	遺構の分布略図 (1/500)	139
図 99	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	遺構の分布詳細図の位置 (1/500)	140
図 100	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	(工業団地調査区) 遺構の分布詳細図 1 (1/200)	141
図 101	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	(184 調査区北) 遺構の分布詳細図 2 (1/200)	142
図 102	吉野ヶ里丘陵地区V区北部	(184 調査区南) 遺構の分布詳細図 3 (1/200)	143
図 103	吉野ヶ里丘陵地区V区	(210・211 調査区) 遺構の分布 (1/200)	144
図 104	吉野ヶ里丘陵地区V区	(工業団地調査区) 喪棺墓 1 (1/30)	145
図 105	吉野ヶ里丘陵地区V区	(工業団地調査区) 喪棺墓 2 (1/30)	146
図 106	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 喪棺墓 (1/30)	147
図 107	吉野ヶ里丘陵地区V区	(184 調査区) 喪棺墓 (1/30)	148
図 108	吉野ヶ里丘陵地区V区	(206・210 調査区) 喪棺墓 (1/30)	149
図 109	吉野ヶ里丘陵地区V区	(211 調査区) 喪棺墓 1 (1/30)	150
図 110	吉野ヶ里丘陵地区V区	(211 調査区) 喪棺墓 2 (1/30)	151
図 111	吉野ヶ里丘陵地区V区	(工業団地調査区) 土坑墓 1 (1/30)	152
図 112	吉野ヶ里丘陵地区V区	(工業団地調査区) 土坑墓 2・祭祀土坑 (1/30)	153
図 113	吉野ヶ里丘陵地区V区	出土喪棺 1 (1/12)	154
図 114	吉野ヶ里丘陵地区V区	出土喪棺 2 (1/12)	155
図 115	吉野ヶ里丘陵地区V区	(工業団地調査区) 出土喪棺部分実測 (1/6)	156
図 116	吉野ヶ里丘陵地区V区	(210・211 調査区) 出土喪棺部分実測 (1/6)	156
図 117	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 出土喪棺部分実測 1 (1/6)	157
図 118	吉野ヶ里丘陵地区V区	(182 調査区) 出土喪棺部分実測 2 (1/6)	158

図 119	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	出土喪棺部分実測 3 (1/6)	160
図 120	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	出土喪棺部分実測 4 (1/6)	162
図 121	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	出土喪棺部分実測 5 (1/6)	163
図 122	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	出土喪棺部分実測 6 (1/6)	165
図 123	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	出土喪棺部分実測 7 (1/6)	167
図 124	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	出土喪棺部分実測 1 (1/6)	169
図 125	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	出土喪棺部分実測 2 (1/6)	170
図 126	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	出土喪棺部分実測 3 (1/6)	172
図 127	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	出土喪棺部分実測 4 (1/6)	173
図 128	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区)	祭祀土坑出土土器 (1/4)	175
図 129	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	祭祀土坑出土土器 1 (1/4)	176
図 130	吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区)	祭祀土坑出土土器 2 (1/4)	177
図 131	吉野ヶ里丘陵地区V区 (182・184 調査区)	墓地出土石器・鉄器・装身具 (1/2,1/3)	179
図 132	田手一本黒木地区Ⅰ区・田手二本黒木地区Ⅲ区	調査区的位置 (1/2,000)	192
図 133	平成元・2 年度調査区的位置 (1/1,000)		193
図 134	8 調査区の上層 (1/40)		194
図 135	平成2 年度調査区	遺構の分布 (1/300)	196
図 136	148 調査区土層 (1/40)		197
図 137	149 調査区土層 (1/40)		199
図 138	150 調査区土層 (1/40)		200
図 139	151 調査区土層 (1/40)		201
図 140	153 調査区土層 (1/40)		202
図 141	148・149 調査区	出土土器 (1/4)	204
図 142	150 調査区	出土土器 (1/4)	205
図 143	153 調査区	出土土器 1 (1/4)	206
図 144	153 調査区	出土土器 2 (1/4)	207
図 145	平成2 年度調査	出土土製品・石器・鉄器 (68・69 は 1/4, 他は 1/3)	210
図 146	267・268 調査区	遺構の分布 (1/500)	211
図 147	267・268 調査区	遺構の分布詳細 1 (1/250)	212
図 148	267・268 調査区	遺構の分布詳細 2 (1/250)	213
図 149	267・268 調査区	遺構の分布詳細 3 (1/250)	214
図 150	267・268 調査区	遺構の分布詳細 4 (1/250)	215
図 151	267 調査区	SX0210 出土土器 1 (1/4)	217
図 152	267 調査区	SX0210 出土土器 2 (1/4)	218
図 153	267 調査区	SX0210 出土土器 3 (1/4)	219
図 154	267 調査区	トレンチ 1 土層 (1/40)	222
図 155	267 調査区	出土土器 1 (1/4)	223
図 156	267 調査区	出土土器 2 (1/4)	224
図 157	267 調査区	出土土器 3 (1/4)	225
図 158	268 調査区	貯蔵穴跡・溝土層 (1/40)	228

図 159	268 調査区 出土土器 (1/4)	229
図 160	267・268 調査区 出土土製品 (1/4)・石器・鉄器 (1/3)	231

表目次

表 1	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 北墳丘墓 喪棺墓	66
表 2	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 北墳丘墓 出土遺構	73
表 3	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 出土喪棺	85
表 4	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 出土青銅器	93
表 5	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉	96
表 5	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉	97
表 6	吉野ヶ里丘陵地区V区	祭祀遺構出土土器	119
表 6	吉野ヶ里丘陵地区V区	祭祀遺構出土土器	120
表 6	吉野ヶ里丘陵地区V区	祭祀遺構出土土器	121
表 6	吉野ヶ里丘陵地区V区	祭祀遺構出土土器	122
表 7	吉野ヶ里丘陵地区V区	ST1001 出土石器・石製品・鉄器	126
表 7	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	152
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	153
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	154
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	155
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	156
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	157
表 8	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	喪棺墓	158
表 9	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	石棺墓・土坑墓・木棺墓	161
表 10	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	祭祀土坑	161
表 11	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺	164
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	165
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	168
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	170
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	173
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	175
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	177
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	180
表 12	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土喪棺部分実測	183
表 13	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土土器	187
表 14	吉野ヶ里丘陵地区V区 (墳丘墓周辺)	出土石器・鉄器・装身具	189
表 15	平成2年度調査	出土土器	207
表 16	平成2年度調査	出土土製品・石器・鉄器	210
表 17	267 調査区 SX0210	出土土器	220
表 18	267 調査区	出土土器	226
表 19	268 調査区	出土土器	231
表 20	267・268 調査区	出土土製品・石器・鉄器	231

写真図版

写真図版 1

YGK-V 全景 (南から) YGK-V ST1001 北墳丘墓 (北から)

写真図版 2

YGK-V ST1001 北墳丘墓 (南から) YGK-V ST1001 北墳丘墓 (真上から 上が北) 平成元年発掘調査

写真図版 3

YGK-V ST1001 北墳丘墓 (北から) 平成4年度調査 YGK-V ST1001 北墳丘墓 (真上から 上が北) 平成4年度調査

写真図版 4

YGK-V SK1699 大型埴土坑 (真上から 上が北) YGK-V SK1699 大型埴土坑 (真上から 上が南)

写真図版 5

YGK-V SD1011 墓室状遺構 (東から) YGK-V SD1011 墓室状遺構 (南から)

写真図版 6

YGK-V ST1001 SJ1002 (東から) SJ1002 遺物出土状況

写真図版 7

YGK-V ST1001 SJ1005 (東から) YGK-V ST1001 SJ1006 (西から)

写真図版 8

YGK-V ST1001 SJ1006 (南から) YGK-V ST1001 SJ1007 (東から)

写真図版 9

YGK-V ST1001 SJ1009 (東から) YGK-V ST1001 SJ1054 (北から)

写真図版 10

YGK-V ST1001 SJ1056 (北から) YGK-V ST1001 SJ1057 (西から)

写真図版 11

YGK-V ST1001 SJ1002 遺物出土状況 YGK-V ST1001 SJ1004 (南から) YGK-V ST1001 SJ1007 (東から)

YGK-V ST1001 SJ1009 副葬出土状況 YGK-V ST1001 SJ1003 (西から) YGK-V ST1001 SJ1005 (東から)

YGK-V ST1001 SJ1007 副葬出土状況 YGK-V ST1001 SJ1050 (北から)

写真図版 12

YGK-V ST1001 SJ1051 (西から) YGK-V ST1001 SJ1054 副葬出土状況 YGK-V ST1001 SJ1056 (北から)

YGK-V ST1001 SJ1057 (西から) YGK-V ST1001 SJ1052 (東から) YGK-V ST1001 SJ1055 (北から)

YGK-V ST1001 SJ1056 副葬出土状況 (北から) YGK-V ST1001 SJ1057 副葬出土状況

写真図版 13

YGK-V SJ1008 (西から) YGK-V P42 土層 (西から) YGK-V ST1001 SK1058 (南から)

YGK-V ST1001 SX1042 北壁 (南から) YGK-V SK1010 (南から) YGK-V ST1001 SX1042 (東から)

YGK-V ST1001 SX1042 南壁 (北から)

写真図版 14

YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から)

YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 中世溝 (西から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)

YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 SJ1003 (西から) YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から)

YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 中世溝 (西から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1006 墓坑 (東から)

写真図版 15

YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)

YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1007 墓坑 (東から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)

YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1007 (東から)

YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から) YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)

写真図版 26

YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から)

写真図版 27

YGK-V ST1001 C3 トレンチ北壁 (南から) YGK-V ST1001 C3 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 D2 トレンチ北壁 (南から) YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から)
 YGK-V ST1001 C3 トレンチ北壁 (南から) YGK-V ST1001 D2 トレンチ北壁 中世溝 (南から)
 YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から) YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から)

写真図版 28

YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から) YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から)
 YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 D6 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から) YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から)
 YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から) YGK-V ST1001 D6 トレンチ東壁 (西から)

写真図版 29

YGK-V 182区全景 (真上から 上が南) YGK-V 182区全景 (北から)

写真図版 30

YGK-V 184区全景 (北から) YGK-V 184区全景 (真上から 上が東)

写真図版 31

YGK-V 184区 SJ1768 人骨・竊出土状況 (南から) YGK-V 184区 SJ1768 出土箱

写真図版 32

YGK-V SJ1018 (北から) YGK-V SJ1020 (東から) YGK-V SJ1022 土層 (南から) YGK-V SJ1037 (東から)
 YGK-V SJ1019 (東から) YGK-V SJ1021 (東から) YGK-V SJ1022 (東から) YGK-V SP1017 (東から)

写真図版 33

YGK-V 182区 SJ1405 (東から) YGK-V 182区 SJ1419 (北から) YGK-V 182区 SJ1447 (北から)
 YGK-V 182区 SJ1509 (西から) YGK-V 182区 SJ1418 (東から) YGK-V 182区 SJ1438 (東から)
 YGK-V 182区 SJ1447 箱内 (南西から) YGK-V 182区 SJ1511 (北から)

写真図版 34

YGK-V 182区 SJ1520 (手前) SJ1521 (北から) YGK-V 182区 SJ1546 (西から) YGK-V 182区 SJ1578 (北西から)
 YGK-V 182区 SJ1620 (西から) YGK-V 182区 SJ1521 (北から) YGK-V 182区 SJ1546 (北から)
 YGK-V 182区 SJ1598 (西から) YGK-V 182区 SK1649 (東から)

写真図版 35

YGK-V 182区 SK1650 SK1651 (北から) YGK-V 182区 SK1653 土層出土状況 (北から)
 YGK-V 184区 SJ1716 (北から) YGK-V 184区 SJ1740 箱内 石器出土状況 (南東から)
 YGK-V 182区 SK1652 (西から) YGK-V 182区 SK1655 (西から) YGK-V 184区 SJ1716 箱内 (北から)
 YGK-V 184区 SJ1768 箱内 (東から)

写真図版 36

YGK-V 184区 SJ1768 箱内 竊出土状況 YGK-V 184区 SJ1777 箱内 (南から)
 YGK-V 184区 SC1720 (東から) YGK-V 184区 SK2025 (南から)
 YGK-V 184区 SJ1777 (東から) YGK-V 184区 SC1720 (北から)
 YGK-V 184区 SK1712 (南から) YGK-V 206区 SP2063 (東から)

写真図版 37

ST1001 北墳丘墓出土副剣

写真図版 38

ST1001 北墳丘墓 SJ1002 出土ガラス製管玉

写真図版 39

YGK-V ST1001 出土土器箱 1

目次

写真図版 40

YGK-V ST1001 出土 糞粒 2

写真図版 41

YGK-V ST1001 出土 糞粒 3

写真図版 42

YGK-V ST1001 出土 糞粒 4

写真図版 43

YGK-5 出土 土器

写真図版 44

YGK-5 出土 糞粒

写真図版 45

YGK-5 出土 石器・鉄器

写真図版 46

SX0222 平成 2 年度調査 (北から) SX0222 平成 9～10 年度調査 (北から)

写真図版 47

267・268 調査区 (北から) 267・268 調査区 (東から)

写真図版 48

8 調査区土層 1 (西から)	8 調査区土層 3 (西から)
148 調査区 A-B 土層西平 (南から)	148 調査区 A-B 土層東平 (南西から)
8 調査区土層 2 (西から)	8 調査区土層 4 (南西から)
148 調査区 SX0221 (東から)	148 調査区 C-D 土層 (南西から)

写真図版 49

149 調査区 E-F 土層 (西から)	149 調査区 SX0213 土層 (西から)
149 調査区 SX0213 (北から)	150 調査区 I-J 土層 (北から)
149 調査区 G-H 土層 (南西から)	149 調査区 SX0213 土層拡大 (南西から)
149 調査区 SX0213 出土状況 (南から)	150 調査区 K-L 土層 (東から)

写真図版 50

151 調査区 I-J 土層 (北西から)	153 調査区 Q-R 土層北西部 (南から)
267 調査区 トレンチ 1 (東から)	267 調査区 トレンチ 1 土層 (北から)
151 調査区 K-L 土層東平 (北から)	153 調査区 Q-R 土層南東部 (南西から)
267 調査区 トレンチ 1 遺物出土状況 (南から)	267 調査区 トレンチ 1 遺物出土状況 (南から)

写真図版 51

267 調査区 SX0210 出土状況 (北から)	268 調査区 SK0407 土層北平 (南西から)
268 調査区 SK0422 (南東から)	268 調査区 SDO415 西端 (南から)
267 調査区 SX0210 (北から)	268 調査区 SK0407 土層南平 (北東から)
268 調査区 SDO415 土層 (西から)	268 調査区 SDO420 土層 (西から)

写真図版 52

SX0222 とその周辺 出土遺物 SX0210 掘出土具・動物骨

第 1 章 序説

第1節 調査の経過

1. はじめに

本書は、平成26(2014)年度に吉野ヶ里遺跡の弥生時代集落についてまとめた『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の集落跡—(207集)』、及び平成27～28年度に弥生時代墓地についてまとめた『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の墓地—(214集)』に引き続き、吉野ヶ里遺跡の弥生時代墳丘墓(ST1001北墳丘墓及びSX0222南祭壇・墳丘墓)について報告するものである。また、弥生時代墓地の調査成果の総括及び弥生時代全体の総括については、平成30年以降に刊行予定の総括報告書にて行う予定である。なお、これまでの発掘調査や整備の経過、位置と環境等の詳細については『207集』を参照にされたい。

2. 近年の調査と整備の経過(平成27～29年度)

(1) 概要

ここでは、『207集』を刊行した平成26年度末以降の調査と整備の経過について、概要を述べる。

平成27(2015)年度は、文化庁の補助事業により弥生時代墓地に関する調査記録、出土遺物の整理を行い、『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の墓地—(214集)』第1・2分冊を刊行した。また、国土交通省(国営海の中道海浜公園事務所歴史公園課)からの受託事業により、国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う発掘調査成果の整理を行い、『吉野ヶ里遺跡—国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書3—(211集)』を刊行した。なお、受託事業は平成27年度末をもって終了した。公園整備では、主に公園北部の県立区域にて盛土造成や植栽、園路や便施設等の設置工事が進められた。

平成28(2016)年度は、文化庁の補助事業により引き続き弥生時代墓地に関する調査記録、出土遺物の整理を行い、『吉野ヶ里遺跡—弥生時代の墓地—(214集)』第3分冊を刊行した。また、北墳丘墓(ST1001)、南祭壇・墳丘墓(SX0222)に関する調査記録、出土遺物の整理を行ったほか、弥生時代の集落と墓地に関する調査成果の総括を行うための整理を進めた。公園整備では、28年7月に県立区域の北口エリアが一部開園となり、供用範囲が拡大した。また、北口エリアでは未開園区域の整備工事が引き続き進められた。

その他、佐賀県庁の組織改編により、平成28年度から吉野ヶ里遺跡展示室の管理運営が県教育庁文化財課から佐賀県立博物館・美術館(知事部局)へ移管されることとなり、吉野ヶ里遺跡の普及活用事業については県立博物館が主体的に実施することとなった。

(2) 調査組織(平成27～29年度)

事務局 佐賀県教育委員会 文化財課

西原幸一 課長(27・28)

江島秀臣 課長(29)

徳富剛久 参事(27・28・29)

山中昭彦 副課長(27)

山田隆宏 副課長(28・29)

樋口秀信	副課長 (27・28・29)
黒川 誠	主幹 (27・28)
今泉和孝	主幹 (29)
畑瀬明日香	主査 (27・28・29)
中野真一郎	主事 (27)
白浜 渚	主事 (28) 副主査 (29)

調査担当 佐賀県教育委員会 文化財課 吉野ヶ里遺跡担当

樋口秀信	副課長 (27・28・29)
黒川 誠	主幹 (27・28) [管理・企画]
今泉和孝	主幹 (29) [管理・企画]
畑瀬明日香	主査 (27・28・29) [管理・企画]
中野真一郎	主事 (27) [管理・企画]
白浜 渚	主事 (28) 副主査 (29) [管理・企画]
渋谷 格	係長 (27・28) [調査]
宮崎博司	係長 (29) [調査]
大森武志	主査 (27) [調査]
古野健太郎	主査 (28・29) [調査]
渡部芳久	副主査 (27・28) [調査] 主査 (29) [調査]

(3) 調査指導委員会

平成28年度に吉野ヶ里遺跡弥生時代調査指導委員会を設置し、事業内容及び今後の事業計画に係る審議を行った。委員及び関係機関は下記のとおりである。

指導委員	七田 忠昭 (佐賀県立佐賀城本丸歴史館 館長) ……委員長
	武末 純一 (福岡大学人文学部 教授) ……副委員長
	寺澤 薫 (桜井市纏向学調査研究センター 所長)
	石川 日出志 (明治大学文学部 教授)
	木下 尚子 (熊本大学文学部 教授)
	重藤 輝行 (佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授)
	石田 智子 (鹿児島大学法文学部 准教授)

調査指導	文化庁文化財部記念物課
地元市町	神崎市教育委員会・吉野ヶ里町教育委員会
関係機関	国営海の中道海浜公園事務所歴史公園課 (財)吉野ヶ里公園管理センター 佐賀県立博物館・美術館

第2節 弥生時代の概要

ここでは、吉野ヶ里遺跡の弥生時代に関する集落と墓地の様相について、遺跡南部、遺跡中央部、遺跡北部に分けて概要を述べる。調査区については、位置図を参照されたい。

1. 遺跡南部の概要

吉野ヶ里遺跡南部は、志波屋・吉野ヶ里段丘の段丘上（田手一本黒木地区Ⅰ区、田手二本黒木地区Ⅱ・Ⅲ区、吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区南西部）から西側の低湿地（田手一本黒木地区Ⅱ区、田手二本黒木地区Ⅰ区、田一本松地区）にかけての範囲で、弥生時代前・中期を主体とする遺跡を確認した。

遺跡南部では、現在のところ、遺跡内で最も古い弥生時代の遺構とみられる前期初頭の田手一本黒木地区Ⅰ区 SDO245 溝跡・田手二本黒木地区Ⅲ区 SDO465 溝跡が確認されており、一連の溝となり環壕となる可能性もある。しかしながら、前期初頭～前半の様相はこの遺構を除き、明確ではない。なお、上記の溝跡については、『173集』、『211集』で報告している。

前期前半新相に掘削されたと考えられる田手二本黒木地区Ⅱ区 SD0001・田手二本黒木地区Ⅲ区 SD0336 環壕跡は、前期後半代に機能していた段丘上の環壕である。北側の状況が不明であるが、平面が不整な円形の面積2ha以上の環壕になるものと推定される。環壕内部については、中期以降も引き続き集落が営まれているため、遺構の重複が著しく、前期集落の詳細は現時点では明らかにできていない。ただ、前期後半～末の竪穴建物跡や貯蔵穴跡が田手二本黒木地区Ⅲ区・吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区南西部で確認されていることから、主として竪穴建物跡と貯蔵穴で構成される集落が展開していたと考えられる。このほか、田手二本黒木地区Ⅱ区西部でもこの環壕と同時期の小規模な集落が確認されており、環壕外側にも居住域があったことが明らかである。

前期後半代には、上記の大規模な環壕とは別に、杉籠地区Ⅲ区と吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区で径20～30mの小規模な環壕が確認されている。いずれも環壕内部の様相は明確ではないが、杉籠地区では貯蔵穴の可能性のある土坑が検出されていることから、貯蔵穴のみを囲んだ環壕であった可能性がある（『211集』）。なお、この時期の墳墓は検出されていない。

中期初頭になると、前期の環壕は埋没し、吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区 SD1801 壕跡が掘削される。この壕は田手二本黒木地区Ⅰ区や田一本松地区で検出された溝と一連のものとして、環壕の可能性が指摘されているが、これについては検討の余地があると思われる。ただ、SD1801 壕跡の南側では主として中期の集落遺構が展開しているの 비해、北側では主に墓地が展開していることから、区画の意味があったことは明確である。

前述のように、遺跡南部では中期にも竪穴建物や貯蔵穴などの集落遺構が展開している。中期初頭～前半は、主として竪穴建物と貯蔵穴からなる集落で、田手二本黒木地区Ⅱ区では貯蔵穴のみがまとまって分布している区域も認められる。特徴的な遺物として、主に前期末～中期初頭の土器と共存する朝鮮系無文土器や、中期初頭～前半の竪穴建物跡から出土した環状青銅製品などが挙げられる（『207集』）。

中期初頭～前半には、青銅器鋳造関連の遺物が出土していることから、青銅器を生産していたこ

とが明らかとなっている。特に、田手二本黒木地区Ⅲ区 SK0404 土坑には鋳型をはじめとして多くの鋳造関連の遺物が出土しており（『207集』）、土坑周辺で青銅器が鋳造されたものと考えられる。なお、前期環壕（田手二本黒木地区Ⅱ区 SD0001）から埴輪（取瓶）とみられる土製品や籠羽口が出土しており（『207集』）、青銅器鋳造が前期にまでさかのぼる可能性がある。

このように、遺跡南部は大規模な環壕、多数の竪穴建物・貯蔵穴、青銅器生産などからみて、前期～中期前半代には吉野ヶ里遺跡のなかでも中心的な集落であったと考えられる。

中期前半代には、杉籠地区Ⅲ区・田手一本黒木地区Ⅰ区 326 調査区・田手二本黒木地区Ⅲ区 191 調査区・田手二本黒木地区Ⅱ区で喪棺墓を中心とする墓地を確認している。いずれも 30 基程度の小規模なもので、周辺の同時期の集落によって営まれたものと考えられるが、集落と墓地との関係については、北側の吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ・Ⅶ区の墓地を含めて、今後の検討課題である。なお、杉籠地区Ⅲ区は『211集』、田手一本黒木地区Ⅰ区 326 調査区は『173集』・『211集』で報告しているため、詳細についてはそちらを参照されたい。

これらの小規模な墓地や居住域とは距離を置いた田手一本黒木地区Ⅰ区 324 調査区で、SJ0100 喪棺墓から細形銅剣が出土した。SJ0100 喪棺墓は大型の墓坑で、そのほぼ中央に城ノ越式喪棺を水平に埋置して、下裏に細形銅剣が副葬されていた（『173集』・『211集』）。吉野ヶ里遺跡内では最も古い青銅製品の副葬例であり、中期初頭には一般的な墓地から離れた場所に墓を営み、銅剣が副葬される有力者が誕生していたことが判明した。

また、中期前半には田手一本黒木地区Ⅰ区に盛土遺構（SX0222）が構築されている。詳細は本書第4章で報告するが、この盛土遺構（SX0222）は「南墳丘墓」や「祭壇」と呼称しているもので、南北 48m 以上、東西 46m 程の範囲に人工的な盛土が確認され、後述する北墳丘墓と同じ構築方法が認められる。これまでの調査では、この盛土遺構に伴う明確な墳墓は検出されておらず、その性格は不明であるが、盛土遺構の南東部に多量の土器が散布しており、その中の壺から動物骨や貝殻などが出土していることから、祭祀に関連する遺構の可能性がある。

中期後半～末にも、田手二本黒木地区Ⅱ・Ⅲ区を中心に竪穴建物などがみられ、引き続き居住域であったと考えられる。墓地では中期後半（喪棺須玖式期）まで杉籠地区Ⅲ区や田手二本黒木地区Ⅲ区で喪棺墓が少数ながら継続するが、このほかに明確な墓地は検出されていない。貯蔵穴は減少しており、段丘裾部とみられる田手一本黒木地区Ⅱ区などで確認されている掘立柱建物が、集落に伴う倉庫群であった可能性が指摘されている。

後期前半になると、吉野ヶ里地区Ⅴ区で検出された外環壕の延長と考えられる壕跡が、田手二本黒木地区Ⅱ区から田手一本黒木地区Ⅱ区にかけて検出された。ただ、この時期の遺構は田手二本黒木地区Ⅱ区北部で竪穴建物跡、田手二本黒木地区Ⅰ区で掘立柱建物跡が確認されているが、数は減少している。

遺跡南部西側の低湿地では、溝以外の明確な遺構は少ないが、農具・工具をはじめとする多量の木製品が出土したことが注目される。特徴的な木製品として、葉浪形の船載品とみられる組合せ式の鉄斧柄や、祭祀具とみられる船形木製品、漆塗りの蓋などが挙げられる。また、中国製の貨泉が 1 枚出土している。

後期後半～終末は、遺構がほとんど確認できない時期である。外環壕も機能していた可能性は

あるが、明確ではない。しかし、田手一本黒木地区Ⅰ区の盛土遺構 SX0222 には、それを取り囲む溝が 2 重に掘削された可能性があり、まったく放棄されていた区域ではない。SX0222 盛土遺構はこの時期の人々に何らかの意識が向けられていた場所であり、新たに溝を掘削して区画することは、この盛土遺構に新しい意味付けがなされたのかもしれない。

終末～古墳時代初頭になると、田手二本黒木地区Ⅲ区で少数の竪穴建物が認められるが、小規模な集落にとどまるものと考えられる。古墳時代前期には、段丘上に前方後方墳や方形周溝墓が造営され、居住域ではなくなるものと推測される。

2. 遺跡中央部の概要

遺跡中央部は、志波屋・吉野ヶ里段丘（吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ、吉野ヶ里地区Ⅴ区）と西側の水田部（吉野ヶ里地区Ⅵ区）にかけての範囲で、中期の墓地と後期の集落を主体とする遺跡を確認した。

前期前半の遺構としては、吉野ヶ里地区Ⅴ区 SH0808 竪穴建物跡が認められ、前期の早い段階で開発の手が入っているが、前期の遺構はほとんどなく、集落としての継続性は乏しい。

この地区で本格的に集落が展開するのは、前期末以降である。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ区、吉野ヶ里地区Ⅴ区で前期末～中期前半の数棟の竪穴建物跡が、数ヶ所のまとまりをもって確認されている。その周辺には、貯蔵穴跡も数は少ないものの検出されており、小規模な集団がそれぞれ竪穴建物と貯蔵穴からなる集落を形成していたと考えられる。そのなかで、吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区の ST1001 北墳丘墓下部で検出された平面円形の竪穴建物跡は、径 7m 以上の大型のものであり、墳丘墓下部であることから完掘していないため詳細は不明であるが、特別な建物であった可能性がある。

集落が展開するのとはほぼ同じくして、喪棺墓を主体とする墓地が造営されるようになる。吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ区では中期初頭に喪棺墓が営まれ始め、吉野ヶ里丘陵地区南部（182 調査区）では 2 列状の埋葬、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区では列状の埋葬が認められる。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区では、周辺の墓地よりやや遅れた中期前半に喪棺墓の埋葬が開始されている。

これらの墓地は中期後半（喪棺須玖式期）にも継続して営まれるが、これに対応する集落については不明な点が多い。中期前半には、円形基調の竪穴建物が前段階に引き続き段丘上に営まれるとともに、吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区北側斜面に長方形基調の竪穴建物が展開していたとみられるが、集落と墓地の詳細な関係についてはこれからの検討課題である。中期後半には、明確な居住域が遺跡中央部ではみられなくなり、この時期の墓地の造営主体は不明である。

中期の中央部で最も特徴的なこととして、北墳丘墓の存在が挙げられる。吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区 ST1001 北墳丘墓は中期前半新相に築造されたと考えられ、その中心に位置する最も古い SJ1006 喪棺墓は汲田式新相の時期で、細形銅剣が副葬されていた。墳丘は地山土や黒色土などのさまざまな土を幾層にも突き固めた版築様の盛土によって築かれている。北墳丘墓には汲田式新相～須玖式新相の喪棺墓 14 基が検出され、そのうち 8 基の喪棺墓に有柄式銅剣 1、細形銅剣 6、中細形銅剣 1、青銅製把頭 2、ガラス製管玉 79 が副葬されていた。

中央部の墓地は、後期前半まで継続して営まれる吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅵ区の墓地を除き、中期

末（立岩式期）にはほぼ終焉しているものと思われる。これに対して、中期末には吉野ヶ里丘陵地区Ⅵ、吉野ヶ里地区Ⅴ区で竪穴建物跡が再び確認されるようになる。なお、詳細な時期は不明であるが、搬入品の可能性が高いサヌカイト製打製石刃丁が吉野ヶ里丘陵地区Ⅵ区から出土している。

後期前半になると、吉野ヶ里地区Ⅴ区でSD0925 外環壕が掘削されており、その周辺に竪穴建物跡が検出されている。ただ、外環壕の掘削時期は、北側の延長と推定される吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区・吉野ヶ里地区Ⅰ区では後期後半と推定されていることから、後期前半の外環壕の様相については今後の検討課題である。また、SD0925 外環壕跡から巴形銅器鋳型と不明青銅器鋳型が出土しており、詳細な時期は不明であるが、後期にも青銅器生産が行われていたことを示す遺物である。その他、吉野ヶ里丘陵地区Ⅵ区でも竪穴建物跡がみられ、集落を形成している。

後期後半になると、外環壕は北墳丘墓まで取り込む形で完成していると考えられる。この外環壕内部に吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区・吉野ヶ里地区Ⅴ区において環壕で囲まれた古段階の南内郭が成立し、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区で集落の出入口に関連すると推測されている東に開く平面C字形の構えの壕も掘削されている。平面形などは明確ではないが、吉野ヶ里丘陵地区Ⅵ区で北内郭も成立している可能性がある。南内郭西側の吉野ヶ里地区Ⅴ区西部は、倉庫と推定される掘立柱建物で主として構成される区域となる。特徴的な遺構・遺物として、この時期の北内郭を構成していた可能性がある吉野ヶ里丘陵地区Ⅵ区SD1122 壕跡が埋没する過程で、中広形銅戈が埋納されていることが挙げられる。また、南内郭とその周辺では肥後系や吉備系などの外来形土器が出土している。

終末には、南内郭環壕は平面がより広い長方形に近い形状に掘り直され、構えの壕も掘り直される。北内郭は平面A字形の2重環壕で囲まれ、出入口が非常に複雑な構造を持つ閉鎖的な空間が成立する。その内部に3間×3間の総柱構造の大型掘立柱建物が確認され、北墳丘墓を意識して主軸が決められたと考えられる。北・南内郭環壕には、突出部とその内側の物見櫓と推定される掘立柱建物の完形が明確な箇所が多い。出土遺物の中では、鉄器が北・南内郭環壕に集中していることが特徴的である。なお、外環壕は終末までは維持されていたと考えられ、南内郭の西側は引き続き掘立柱建物で構成される区域である。また、この時期には山陰系など後期後半よりも広域の地域からの外来形土器がみられるようになる。

このように、遺跡中央部の後期後半～終末では吉野ヶ里集落の中心部として、さまざまに機能分化していたと推定される区域が確認され、この時期の集落構造を研究する上で貴重な調査成果が得られている。

弥生時代終末～古墳時代初頭には、ほとんどの環壕は廃絶し、前段階までの集落構造は消失するが、集落は継続する。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅵ区、吉野ヶ里地区Ⅴ区西部には竪穴建物が確認され、大型のものも含まれる。また、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区の段丘上では、前方後方墳や方形周溝墓が造営され、墓地として利用されるようになる。

3. 遺跡北部の概要

遺跡北部は、志波屋・吉野ヶ里段丘の段丘上から水田部（吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ・Ⅳ・Ⅸ区、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅳ区、志波屋四の坪地区Ⅰ・Ⅱ区）、低位段丘上（大曲一の坪地区）、独立低丘陵上から水田部（志波屋三の坪（乙）地区）の範囲で、前期の集落や中期の墓地、後期の集落を主体とする

遺跡を確認した。

前期前半の竪穴建物跡や貯蔵穴跡が志波屋四の坪地区で確認されているが、この時期の全体的な様相は不明である。前期後半には、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区、志波屋四の坪地区、志波屋三の坪（乙）地区で集落が認められる。このうち、志波屋三の坪（乙）地区の集落は、弥生時代中期以降の遺構が少ないため、この時期の集落の典型的な様相が比較的明瞭に分かる例である。竪穴建物と貯蔵穴で構成され、貯蔵穴は建物の周辺に散漫に分布している。前期の墓地は、志波屋四の坪地区Ⅰ区南部で喪棺墓がみられるが、数は多くない。

中期初頭～前半には、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区と志波屋四の坪地区で前期からの集落が継続し、吉野ヶ里丘陵地区Ⅹ区に初頭～前半、吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ区に前半の小規模な集落が営まれている。中期後半には、大曲一の坪地区で竪穴建物跡が確認されているが、数は少ない。

これに対して、遺跡北部の中期の墓地は大規模なものである。特に、志波屋四の坪地区では1,000基以上の喪棺墓が確認されており、長大な2列状に埋葬されていることが大きな特徴である。中期初頭には、いわゆる集塊状をなす小規模な墓が営まれ始めるが、中期前半には喪棺墓が急増し、後期前半まで継続している。このうち列状をなすのは、主として中期前半（段丘式期）～中期後半（須玖式期）である。副葬品としては、貝輪・装身具・鉄器などがあるが、副葬品を持つ墳墓は少ない。また、人骨の残存状況が良好なものが多く、頭蓋骨のない人骨や顔面に赤色顔料が付着したものがみられる。

吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ・Ⅳ・Ⅹ区の墓地は、北側が奈良時代の官道の切り通しとして段丘が掘削されているが、本来は志波屋四の坪地区Ⅰ区と同一の墓地と考えられる。時期も同じく中期前半～後期前半である。このうち注目されるのは、Ⅹ区の密集している喪棺墓地に埋葬された立岩式期のSJ2775 喪棺墓の棺外から前漢鏡1面、棺内からイモガイ製貝輪36点が出土したことである。

この他、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区では前期末～後期前半の大規模な墓地、大曲一の坪地区では中期末～後期前半、志波屋三の坪（乙）地区では中期初頭～前半の小規模な墓地が確認されている。このうち吉野ヶ里地区Ⅱ・Ⅲ区では2列状の埋葬が認められる。このように、中期において集落は小規模であるが、墓地は大規模であり、集落と墓地の対応関係について現段階では不明と言わざるをえない。

後期前半には、前述のように中期から引き続き墓地であった地区が多い。その中で、吉野ヶ里地区Ⅱ区や志波屋四の坪地区において、この時期の小規模な集落が確認されている。なお、前項で述べたように、吉野ヶ里地区Ⅰ区で確認されたSD0002外環壕は、出土土器からみて、掘削時期が後期前半まで遡るとは言い難い。

後期後半～終末には、志波屋四の坪地区で竪穴建物と掘立柱建物で構成される一定程度の規模の集落が形成されている。特徴的な遺物として、船載鏡片・鑄造鉄斧などがあるが、鉄器の出土量などは多くない。この他、吉野ヶ里丘陵地区Ⅹ区や大曲一の坪地区でも小規模な集落が検出された。

終末～古墳時代初頭では、志波屋四の坪地区で集落が継続し、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区でも集落が営まれる。この時期に特徴的な出来事として、大曲一の坪地区で福田型銅鐸が納納されることが挙げられる。

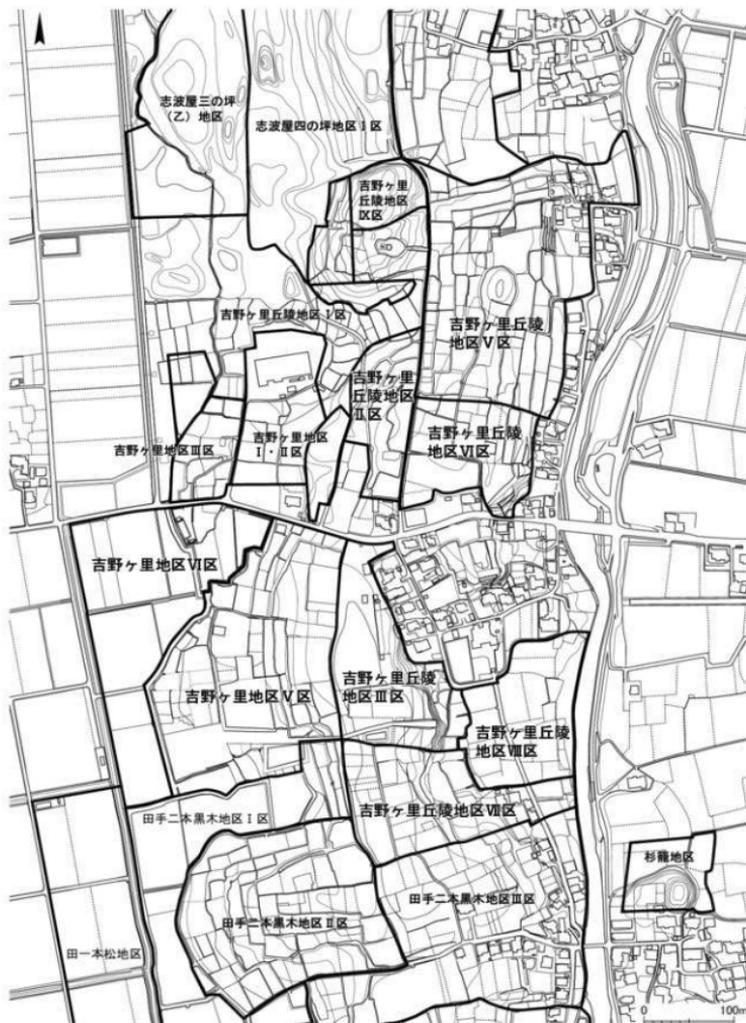


図1 吉野ヶ里遺跡中央部 調査区の位置 (S=1/5,000)



図2 吉野ヶ里通跡南部 調査区的位置 (S=1/5,000)

第2章 北墳丘墓とその周辺

第1節 ST1001 北墳丘墓

1. 概要

ST1001 北墳丘墓が存在する吉野ヶ里丘陵地区V区は、吉野ヶ里町大字田手字四本杉に所在している。本区域の西側には吉野ヶ里丘陵地区I区・II区が、南側には吉野ヶ里丘陵地区VI区が位置している。本区域が立地する段丘は、志波屋四の坪地区などが立地する志波屋・吉野ヶ里段丘の主段丘から東に分岐した丘陵上の北部にあたり、標高は約25.4m～16.3mである。

本区域は工業団地計画に伴う発掘調査のほか、補助事業による調査（ST1001 北墳丘墓及び182～184調査区、203～218調査区：『132集』・『207集』）、国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う調査（305調査区：『173集』）が行われている。

調査の結果、V区では弥生時代の集落と墓地、古墳時代の集落、古代の集落、中世の溝跡等が確認されている。このうち弥生時代の集落に関する調査成果についてはすでに報告を行っているが、概要を述べると、ST1001 北墳丘墓の遺構直前の弥生時代中期初頭～前半に小規模な集落が営まれていること、後期後半にはSD1013 外環壕がST1001 北墳丘墓を取り込んで掘削されていること、SD1013 外環壕が2箇所の出入口を持つこと、遺構外から小型仿製鏡が出土していること、などが主な成果である（『207集』）。

V区の弥生時代墳墓に関する調査成果で特筆されるのは弥生時代中期の墳丘墓（ST1001）の存在で、これまで実施した2回の発掘調査により、合わせて計14基の喪棺墓が確認され、銅剣8本、青銅製把頭飾2点、ガラス製管玉79点が出土するなど貴重な成果が得られている。

また、ST1001の南側には、丘陵の尾根筋に沿って南北方向に喪棺墓列が形成されており（182調査区）、ST1001北西（工業団地調査区）及び北東（184調査区）においてもまとまった喪棺墓地が展開している。さらに、ST1001の東側には長楕円形の大形土坑（183調査区SK1699）が確認されており、祭祀土器等が大量に出土していることから、墳丘築造のための採土場及び埋葬に伴う大型の祭祀土坑であったと考えられる。そのほか、ST1001北墳丘墓の南部から西部にかけて、底面が広い断面台形状の溝状遺構（SD1011）が確認されており、ST1001北墳丘墓の埋葬に伴う祭祀関連遺構（墓道）と考えられる（『113集』・『132集』）。

本章では、工業団地計画に伴うV区の調査及びその後の再調査の成果のうち、ST1001北墳丘墓を含む弥生時代墳墓と関連遺構を報告対象とし、本節で「ST1001北墳丘墓」、次節で「吉野ヶ里丘陵地区V区」として報告を行うこととする。

2. ST1001 北墳丘墓の調査成果

ST1001 墳丘墓は吉野ヶ里丘陵地区V区が位置する丘陵上の最高所に位置しており、標高は約25.4mである。工業団地計画に伴い昭和63（1988）年～平成元（1989）年にトレンチ調査を行った結果、中世の溝状遺構や戦後の開墾等によって大きく削平されていたものの、土層断面の観察から人工的な盛土遺構であることが確認された。この時の調査では、墳丘規模は南北約40～50m、東西約30m弱、墳丘形態は平面隅丸長方形または長方形の四隅を切り落としたような形で、墳丘の高さは本来4.5m以上の大規模なものであったと想定された。また、内部から7基の喪棺墓が確認され、棺内から銅剣5本、青銅製把頭飾1点、ガラス製管玉79点、人骨片などが出土した。喪棺墓の時期が弥生時代中期前半（汲田式）～中期後半（須玖式）であることから、ST1001が弥生時代中期に営まれた大型の墳丘墓であることが判明した（『113集』）。

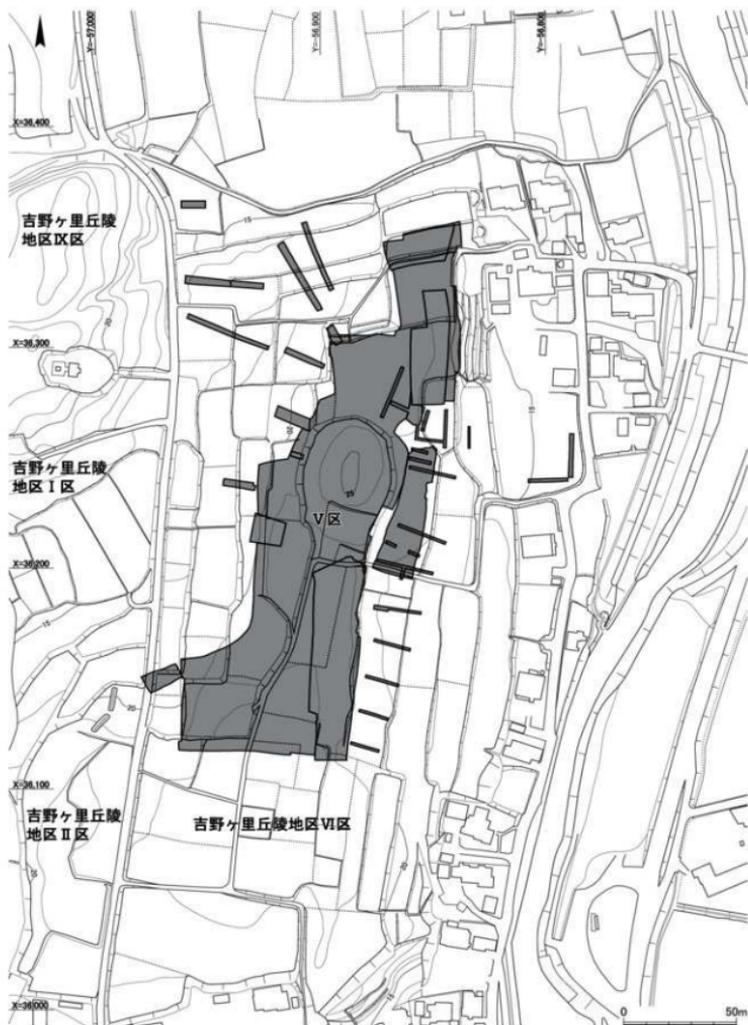


図3 吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区の位置

ST1001 北墳丘墓

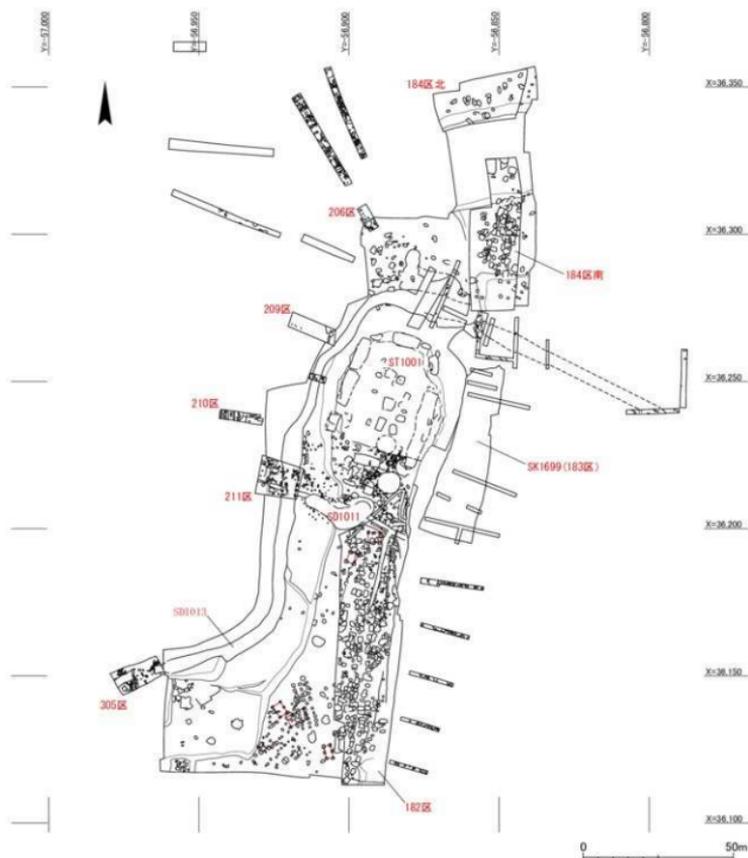


図4 吉野ヶ里丘陵地区V区 全体図 (S=1/1,500)

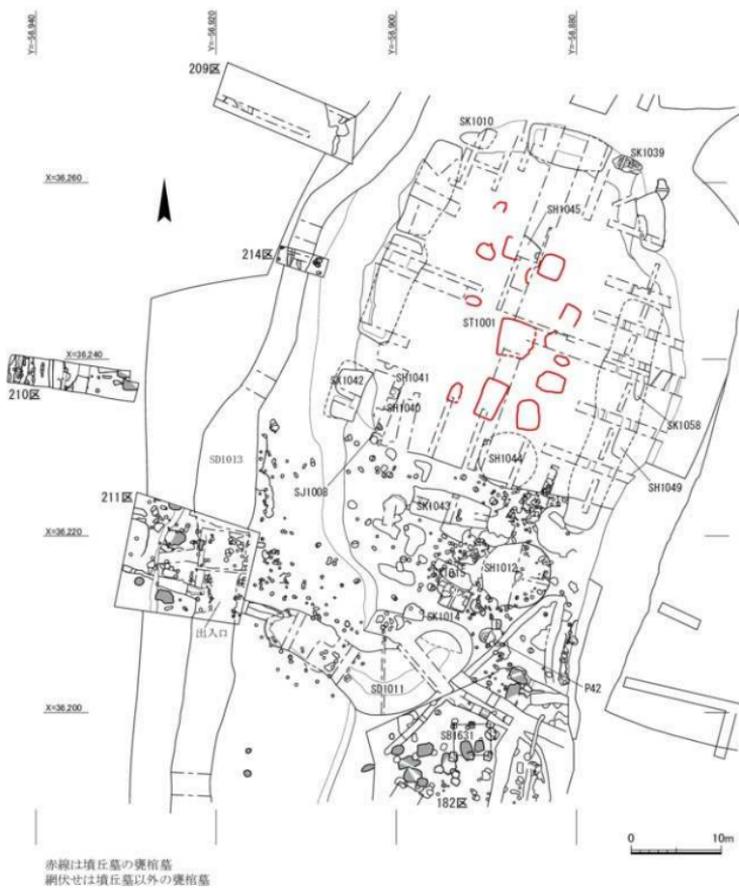


図5 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001北墳丘墓 (S=1/500)

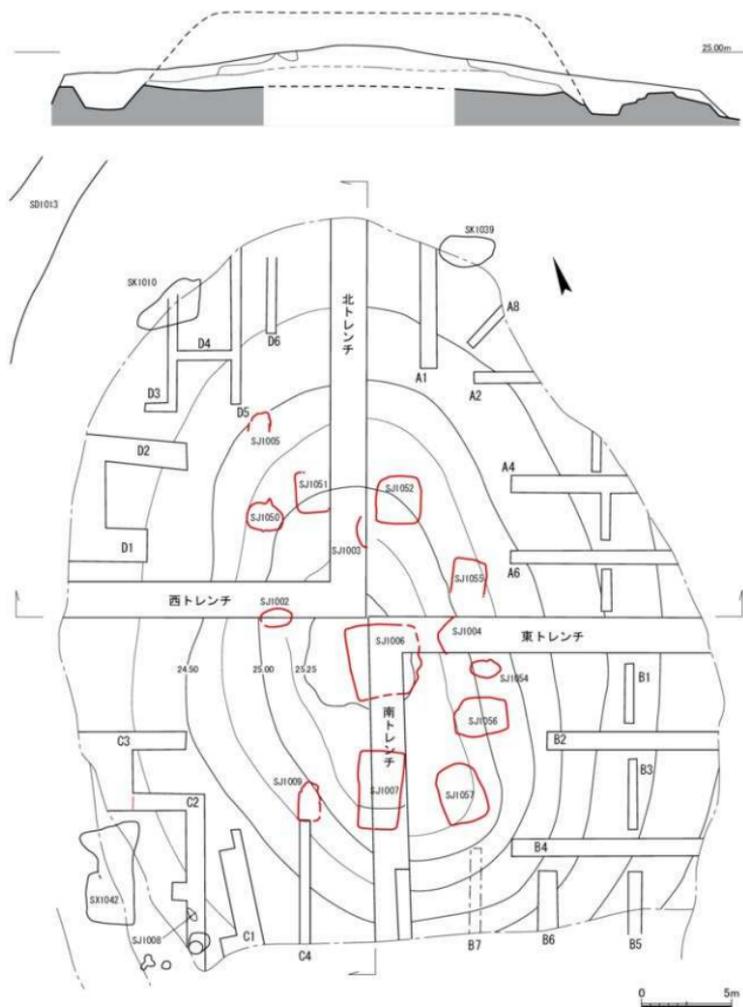


図6 ST1001北墳丘墓 葬棺墓とトレンチの位置 (S=1/250)



图7 ST1001北墳丘墓 南北・東西 土層断面図 (S=1/200)

ST1001 北トレンチ 東壁

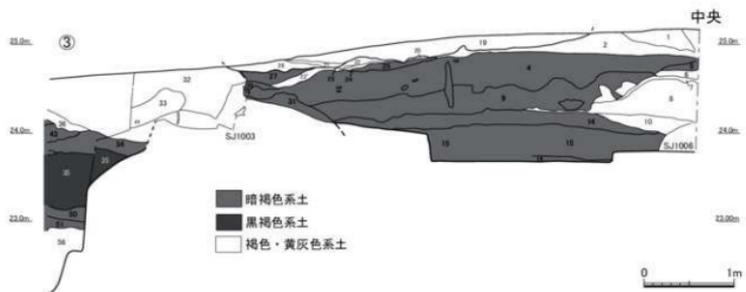
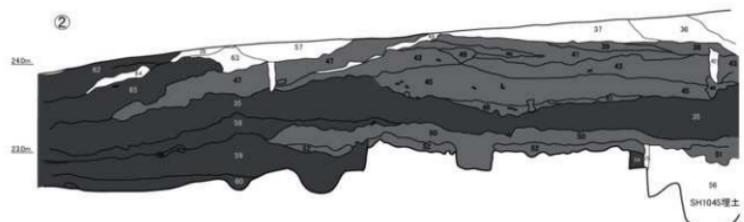
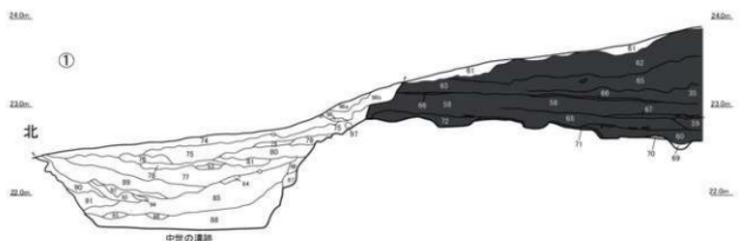
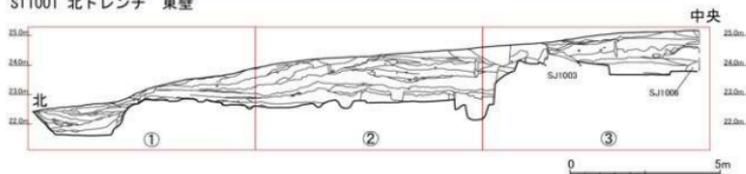


図8 ST1001 北墳丘墓 北トレンチ 東壁土層 (S=1/150,1/50)

ST1001 北トレンチ 東壁土層注記

- 1 明黄褐色土 ブロック(明黄灰1~2cm 黒褐0.5~1cm) 堅い
 - 2 黄灰色土 ブロック(黒褐0.5~2cm 黄褐0.5~2cm 黒褐1cm) 堅い
 - 3 暗褐色土 ブロック(黄褐0.2~3cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黄灰0.5~1cm 黒褐0.5~2cm)
 - 4 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm[0.2cmの炭化物含む] 黄褐1~1.5cm 黒褐1~4cm)
 - 5 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm[0.5~2cmの炭化物含む] 黄褐0.5~2cm[土器片含む] 黒褐1~2cm)
 - 6 黄灰色土 ブロック(黄褐0.5~3cm[1~1.5cmの炭化物含む] 褐1~2cm 黒褐0.5~1.5cm) 堅い
 - 7 明黄褐色土 ブロック(黄褐0.2~0.5cm) 非常に堅い
 - 8 黄灰色土 ブロック(黄褐0.5~2cm[土器片含む] 淡褐0.2~1cm 褐0.5cm 黒褐0.5~1cm) 堅い
 - 9 暗褐色土 ブロック(黄褐0.5~20cm[土器片含む] 黒褐1~3cm[炭化物含む])
 - 10 黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.3~2cm
明黄褐1~10cm 暗褐0.5~1cm) 堅い
 - 14 暗褐色土 ブロック(黄褐0.2~1cm[炭化物 炭化礫含む])
 - 15 暗褐色土 ブロック(黄褐0.2~1cm[炭化物 礫含む])
 - 16 暗褐色土 ブロック(黄褐0.5~1cm[土器片含む] 明黄褐1~1.5cm[0.5~1cmの炭化物含む]
黄灰1.5cm) 下部に堅い鉄分層あり
 - 19 暗褐色土 カクランか ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黒褐・暗褐0.1~2cm 黄灰0.1~0.3cm)
 - 20 黄灰色土 カクランか ブロック(黄灰0.2~4cm[炭化物含む] 暗褐(層状 厚さ1cm 土器片含む))
 - 21 暗褐色土 カクランか 19層と同様
 - 22 明黄褐色土 ブロック(暗褐0.5~2cm[層状] 黄灰0.5~3cm)
 - 22' 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.2~4cm[炭化物含む] 暗褐(層状 厚さ1cm 土器片含む))
 - 24 明黄褐色土
 - 25 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 黄灰0.1~1cm 黒褐0.3~0.5cm)
 - 26 暗褐色土 カクランか ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黒褐・暗褐0.1~2cm 黄灰0.1~0.3cm)
 - 27 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~5cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黄灰0.1~3cm 黒褐0.2~0.5cm)
 - 30 暗褐色土 ブロック(黄灰0.2~4cm[礫含む] 明黄褐0.1~0.5cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.1~1cm)
 - 31 暗褐色土 ブロック(黄灰0.2~3cm[土器片含む] 明黄褐0.1~0.5cm) 散らかい
 - 32 褐色土 ブロック(黄灰0.1~4cm[土器片含む] 明黄褐0.1~3cm[炭化物含む] 暗褐・黒褐0.1~2cm[焼土含む])
 - 33 暗褐色土 カクランか ブロック(明黄褐0.1~0.5cm[プラスチック片含む] 黒褐0.1~1cm[0.3cmの炭化物含む] 黄灰0.1~1cm[土器片含む] 黒褐0.5cm)
 - 34 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 黄灰0.1~1cm 黒褐0.1~0.5cm)
 - 35 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~1cm[0.1~1cmの礫 0.1~0.3cmの炭化物 土器片含む])
 - 36 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm[土器片含む] 黄灰0.1~1cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.1~0.5cm)
 - 37 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm[土器片含む] 黄灰0.1~0.5cm[0.1~0.7cmの炭化物含む] 黒褐0.1~1cm)
 - 38 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黄灰0.1~1cm 黒褐0.1~0.5cm)
 - 39 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm[土器片含む] 黒褐0.1~0.5cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 黄灰0.1~0.3cm)
 - 40 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.1~2cmの木炭含む] 黄灰0.1~1cm 黒褐0.1~2cm) 43層と同様
 - 41 暗褐色土 40層と同様 明黄褐色ブロック土(0.1~3cm)が多い
 - 42 明黄褐色土 地山土ブロック 淡褐色ブロック[炭化物含む]
 - 43 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.1~2cmの木炭含む] 黄灰0.1~1cm 黒褐0.1~2cm)
 - 44 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm)
 - 45 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm[0.1~1cmの炭化物含む] 黄褐0.2~3cm[土器片含む] 黒褐0.1~0.5cm)
 - 46 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.3cm[変形の器台出土] 黒褐0.1~0.5cm[炭化物 土器片含む])
 - 47 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm[土器片含む] 黒褐0.1~0.5cm)
 - 48 明黄褐色土 ブロック(暗褐・黒褐0.1~1cm[0.3cmの炭化物含む])
 - 49 暗褐色土 43層と同様 明黄褐ブロック(0.1~2cm)が多い
 - 50 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm[0.1~3cmの炭化物含む] 黒褐0.1~0.5cm)
 - 51 暗褐色土 50層と同様 明黄褐色土ブロック(0.1~1cm)[0.1~0.5cmの炭化物含む]
 - 52 暗褐色土 きめ細かい 下部に鉄分層を含む
 - 54 黒褐色土 ブロック(暗褐(層状) 明黄褐0.1~1cm) 散らかい
 - 55 地山土
 - 56 褐色土 SH1045埋土 ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.1~1cmの炭化物含む] 暗褐・黒褐0.2~2cm)
 - 57 褐色土 明黄褐色土ブロック
 - 58 黒褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm[0.1~0.5cmの礫含む] 暗褐0.1~1cm[土器片 0.1~0.5cmの炭化物含む])
 - 59 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~0.3cm[土器片含む] 明黄褐0.1~0.5cm
黄灰0.1~0.5cm[0.2~1cmの炭化物含む])
 - 60 黒褐色土 ブロック(黄褐0.5~2cm[土器片 0.1cmの炭化物含む])
 - 61 褐色土 ブロック(黒褐0.1~1cm 黄褐0.1~0.2cm 黄灰0.1cm)
 - 62 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~2cm 暗褐0.1~1cm 黄灰0.2cm) 全体的に暗褐色を呈する
 - 63 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~2cm[土器片含む] 暗褐0.1~1cm[0.1~0.2cmの炭化物含む])
 - 64 褐色土 ブロック(黒褐0.1~0.3cm) 散らかい
 - 67 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~0.5cm[0.1~0.2cmの炭化物・礫含む])
 - 68 暗褐色土 ブロック(黄褐0.1~1cm[土器片多く含む] 暗褐0.1~1cm[0.1~0.2cmの炭化物含む])
 - 69 暗褐色土 ブロック(黒褐0.1~0.5cm) 散らかい
 - 71 黄褐色土 ブロック(黒褐0.5~1cm)
 - 72 黒褐色土 ブロック(黄褐0.1~2cm 明黄褐0.2~0.5cm)
- 74層以下は中世濠の埋土
74~83, 85~89, 92~96 98 98b 暗褐色土
84, 90, 91, 94, 97, 98a 褐色土

ST1001 南トレンチ 西壁

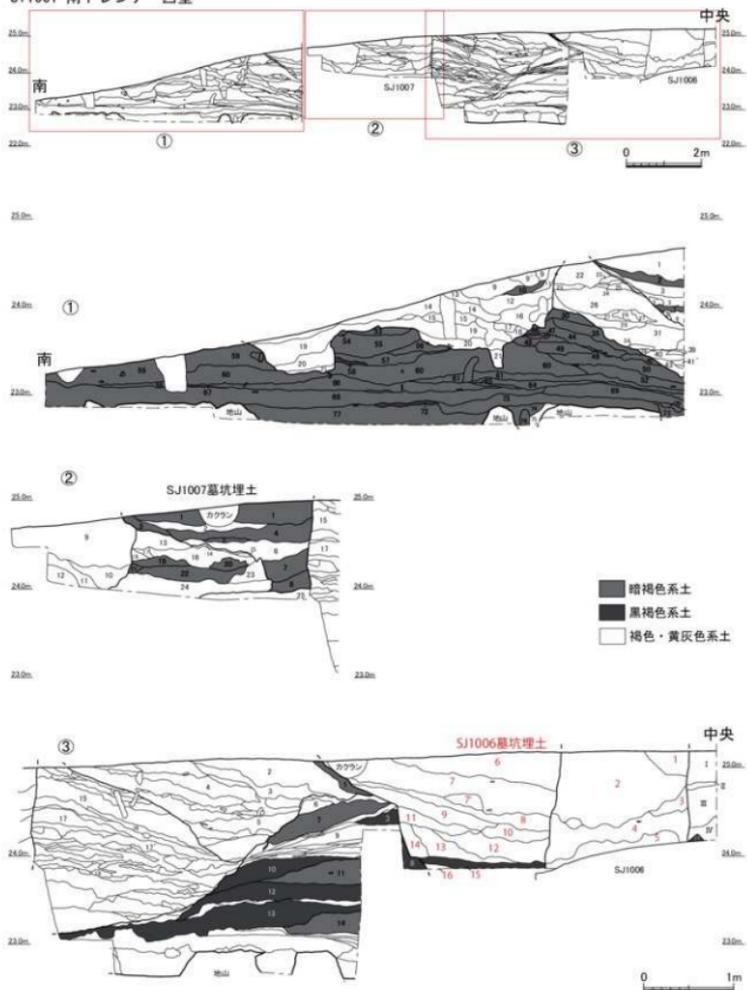


図9 ST1001 北墳丘墓 南トレンチ西壁土層 (S=1/120,1/50)

ST1001 南トレンチ 西壁 土層注記

①

- 1 褐色土 ブロック貫底0.2-0.5m(0.1-0.5mの炭化食物含む)
貫底0.2-0.5m(土器片含む) 層厚 0.5m(0.5-0.5m)
- 2 暗褐色土 ブロック貫底0.5-3cm(土器片含む) 貫底0.2-1cm 層厚0.2-3cm
- 3 黄灰色土 ブロック貫底0.5-3cm 層厚0.2-2cm
- 4 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-1cm 貫底 層厚0.1-1.5m(0.1-0.5mの炭化食物含む)
- 5 黄灰色土 ブロック(暗貫底)0.1-1cm 貫底 層厚0.2-2cm(0.1-0.3mの炭化食物含む)
- 6 黄灰色土 5層よりやや明るいブロック(暗貫底)0.2-2cm(0.1cmの焼土含む)
- 7 黄灰色土 ブロック(貫底)0.1-1cm 貫底 層厚0.1-0.2m(0.1-0.2mの炭化食物含む)
- 8 暗褐色土 ブロック(貫底)0.1-2cm 貫底(0.1-0.3m)(0.1-0.3mの炭化食物含む) 明貫底(0.1-0.3m)
- 9 褐色土 ブロック(貫底)0.2-3cm
- 10 褐色土 層よりやや暗いブロック(暗貫底)0.1-1cm 明貫底0.5m
- 11 褐色土 ブロック(貫底)0.2-3cm 暗貫底0.2-1cm(0.1-0.3m)の炭化食物含む 明貫底(0.1-1cm)
- 12 灰褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.5m
- 13 暗褐色土 ブロック(貫底)0.5-3cm 貫底0.2-2cm(0.1-0.3mの炭化食物含む) 明貫底(0.1-1cm)
- 14 暗褐色土 ブロック(貫底)0.2-3cm 明貫底0.1-2cm 暗貫底0.3-1cm
- 15 灰褐色土 ブロック(貫底)0.1-0.5m 明貫底0.1-0.5m(0.2-0.3m)の炭化食物含む 層厚(0.1-0.5m)
- 16 暗褐色土 ブロック(貫底)0.2-3cm 暗貫底0.2-1cm 暗貫底0.1-0.5m(0.1-0.5m)の炭化食物含む
- 17 褐色土 15層とほとんど同じ
- 18 褐色土 15層とほとんど同じ
- 19 褐色土 15層とほとんど同じ
- 20 暗褐色土 ブロック(暗貫底)0.5-3cm 明貫底0.2-0.5cm 層厚0.2-0.5m
- 21 灰褐色土 ブロック(貫底)0.2-1cm 明貫底0.2-1cm 層厚0.5-3cm(0.1-0.2cm)の炭化食物含む
- 22 暗褐色土 ブロック(貫底)0.2-2cm 明貫底0.2-2cm 土器片含む 貫底(0.1-3cm)
- 23 暗褐色土 ブロック(貫底)0.2-3cm 貫底0.2-1cm 層厚0.1-0.5m(0.1-0.2cmの炭化食物含む)
- 24 黄灰色土 ブロック(貫底)0.2-1cm 貫底0.2-0.5cm 明貫底(0.1-0.5m)(0.1-0.2cmの炭化食物含む)
- 25 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-2cm 貫底0.5-1cm
層厚 層厚0.3-4m(0.2-0.5mの炭化食物含む)
- 26 黄灰色土 22層とほとんど同じ(層厚0.2m)
- 27 黄灰色土 22層とほとんど同じ(0.5-2層)の焼ブロックが多い
- 28 黄灰色土 22層とほとんど同じ(0.5-0.5m)の焼ブロックが多い
- 29 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-4cm 貫底0.5-3cm 層厚0.1-1cm
- 30 黄灰色土 ブロック(暗貫底)0.2-0.5m 貫底0.5-3cm(0.5m)の炭化食物含む
- 31 黄灰色土 ブロック(暗貫底)0.2-0.5m 貫底0.5-3cm(0.5m)の炭化食物含む
- 32 黄灰色土 31層とほとんど同じ(土器片含む) 明貫底ブロックがやや小さい
- 33 黄灰色土 31層とほとんど同じ
- 34 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.4-1cm 貫底0.5-1cm 層厚0.2-0.7cm
- 35 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-5cm 貫底0.2-2cm(0.1-0.5m)の炭化食物含む
- 36 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.3-2cm(鉄分を多く含む) 層厚0.2-1cm
- 37 黄灰色土 32層とほとんど同じ(やや明るい)
- 38 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.2-3cm 明貫底0.2-2cm(0.2cm)の炭化食物含む 層厚(0.3-2cm)
- 39 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-5cm 暗貫底0.1-0.5m 貫底0.5-3cm
- 40 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.5-4cm 暗貫底0.3-1cm
- 41 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.2-2cm(土器片含む) 層厚(0.1-0.5m)(0.1-0.2cm)の炭化食物含む
- 42 褐色土 ブロック(明貫底)0.1-4cm 暗貫底0.1-1cm 層厚0.2-5cm 貫底(0.2-0.5m)
- 43 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-3cm 暗貫底(層状)0.2-3cm
- 44 暗褐色土 ブロック(貫底)0.2-2cm(0.2-1cm)の炭化食物含む 暗貫底(0.3-4cm)
- 45 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-2cm 貫底0.2-2cm 貫底0.3-3cm(0.2-1m)の炭化食物含む
- 46 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-1cm(0.1-0.3m)の炭化食物含む
- 47 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.4-1cm 貫底0.5-1cm 層厚0.2-0.7cm
- 48 暗褐色土 46-48層より明るいブロック(明貫底)0.1-0.3m
- 49 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-1cm(0.1-0.3m)の炭化食物含む
- 50 暗褐色土 46-48層より暗いブロック(明貫底)0.1-1cm(土器片含む)
層厚(0.5-1m)(0.1-0.7m)の炭化食物含む
- 51 暗褐色土 50層より明るいブロック(明貫底)0.2-0.5cm 層厚(0.2-0.5m)
- 52 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.4cm(0.1-1m)の炭化食物含む
層厚(0.2-0.5m) 赤味が強い
- 53 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-2cm 明貫底0.1-3cm 層厚(0.3-5cm) 鉄が強い
- 54 暗褐色土 層厚(0.2-0.5m) 赤味が強い
- 55 暗褐色土 層厚(0.2-0.5m) 赤味が強い
- 56 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.5cm(0.5cm)の炭化食物含む 層厚(0.3-5cm 貫底(0.5cm))
- 57 暗褐色土 55層とほとんど同じ(明貫底ブロックの炭化食物含む)
- 58 暗褐色土 ブロック(貫底)0.5-3cm(0.1-0.5m)の炭化食物含む
明貫底(0.1-0.5cm 貫底(0.1-1cm))
- 59 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.5cm(0.1-0.5m)の炭化食物含む
- 60 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-1.5cm(0.1-1.5m)の炭化食物含む 層厚(0.2-3cm)
- 61 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-3cm(土器片含む) 層厚(0.1-0.3cm)
- 62 暗褐色土 60層とほとんど同じ(層厚を多く含む)
- 63 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.3cm(土器片含む) きのこ色強い
- 64 暗褐色土 (赤味) ブロック(明貫底)0.1-0.5cm(鉄分含む) 貫底(0.5cm)
- 65 暗褐色土 64層と同じ(明貫底ブロックが多い)
- 66 暗褐色土 64層と同じ(明貫底)0.1-0.5cm(0.1-0.5m)の炭化食物含む
- 67 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.5cm(土器片含む) 0.1-0.5cmの炭化食物含む
- 68 暗褐色土 64層とほとんど同じ(土器片含む)
- 69 暗褐色土 69層とほとんど同じ(明貫底ブロック多い)
- 70 暗褐色土 69層とほとんど同じ
- 71 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.4cm(土器片含む)
- 72 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.4cm(土器片含む)
- 73 暗褐色土 72層と同じ
- 74 暗褐色土 72層と同じ
- 75 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.3-2cm(0.1-0.3m)の炭化食物含む 層厚(0.3-1cm)

②

- 1 暗褐色土 灰白-黄灰-黄緑-茶褐色がマダラに混じる
黄緑-灰白ブロックは3-5cmが多い
- 2 暗褐色土 黄灰-茶褐-黄緑がマダラに混じる
貫底0.1-1cm
- 3 暗褐色土 1層に類似 黄褐色土を含む
- 4 暗褐色土 1層に類似 黄緑-灰白のブロックが多い
(貫底) 黄緑-灰白のブロックが層より大きい(3-7cm)
- 5 暗褐色土 灰白を多く含む
- 6 暗褐色土 4層に類似 灰白ブロックの混入が多い
- 7 暗褐色土 4層に類似 灰白ブロックの混入が多い
(ブロック貫底)が大きい
- 8 暗褐色土 7層より灰白のブロックを多く含む(4層と類似)
- 9 暗褐色土 黄緑-茶褐-黄緑の細かいブロックがマダラに混じる
- 10 暗褐色土 6層に類似 混入の黄緑ブロックが多い
- 11 暗褐色土 2層に類似 混入の黄緑ブロックが大量で多い
- 12 暗褐色土 10層と同様
- 13 暗褐色土 灰白-黄緑-茶褐色が混じる
灰褐色土と類似してブロックが圧力のたつがぶれ
- 14 黄褐色土 灰白を混じる
- 15 灰褐色土 ブロック(灰褐色土と類似してブロックが圧力のたつがぶれ)
- 16 暗褐色土 12層と類似(灰白の混入が少ない)
- 17 暗褐色土 12層と類似(黄褐色土の混入が多い)
- 18 暗褐色土 13層と類似(黄褐色土が混入)
- 19 暗褐色土 黄灰-灰白-茶褐色が混じる
- 20 暗褐色土 黄灰-灰白-茶褐色が混じる
- 21 暗褐色土 黄灰-灰白-茶褐色が混じる
- 22 暗褐色土 黄灰-灰白-茶褐色が混じる
- 23 暗褐色土 黄灰-灰白-茶褐色が混じる
- 24 暗褐色土 25層と類似 灰白-黄緑-茶褐色が混じる
- 25 黄灰色土 25層の目張り層

③

暗褐色土層(3区画)

- 1 暗褐色土 黄灰がスル(一部ブロック)状に混じる
- 2 灰白粘質土 暗褐色に混じる
- 3 黄褐色土 黄灰-茶褐色がマダラに混じる
黄褐色土 黄灰に類似する層が少なくない

S1000居住土層(3中央)

- 1 灰茶褐色土 黄灰-灰白-茶褐色がマダラに混じる
- 2 灰茶褐色土 1層に類似(黄褐色土)
- 3 灰茶褐色土 1層に類似(黄褐色土)
- 4 灰茶褐色土 1層と同様
- 5 灰茶褐色土 1層と同様(石灰質のためか)
- 6 灰茶褐色土 1層と同様(混入のブロックが多い)
- 7 灰茶褐色土 1層と同様(混入のブロックが多い)
- 8 灰茶褐色土 2層と同様
- 9 灰茶褐色土 1層と同様(大きな黄緑ブロックを多く含む)
- 10 灰茶褐色土 1層と同様(大きな灰白粘質土ブロックを多く含む)
- 11 灰茶褐色土 2層と同様
- 12 灰茶褐色土 9層と同様
- 13 灰茶褐色土 9層と同様(黒ブロックが小さい)
- 14 灰茶褐色土 1層と同様
- 15 褐色土 黄褐色土がマダラに少量混じる
- 16 灰茶褐色土 1層と同様(黄緑ブロックが多い)
- 17 褐色土 S1000居住土層

堆積層土層(3区画)

- 1 暗褐色土 ブロック(明貫底)貫底(0.1-1cm)
- 2 褐色土 ブロック(明貫底)貫底(0.5-5cm)多量 暗貫底(0.1-2cm)
- 3 褐色土 2層とほぼ同じ(ブロック(明貫底)貫底(0.5-5cm)多量 暗貫底(0.1-2cm))
- 4 黄灰色土 ブロック(暗貫底)0.1-3cm 明貫底(0.1-2cm)
- 5 黄灰色土 ブロック(明貫底)0.1-2cm 暗貫底(0.1-1cm)
- 6 明貫底土層(ブロック)暗貫底(0.2-2cm) 明貫底(0.2-2cm)
- 7 暗褐色土 ブロック(層厚)0.5-2cm 貫底(0.2-5cm)類似
貫底(0.1-0.5cm)
- 8 褐色土 ブロック(明貫底)貫底(0.3-4cm)(一層類似)
- 9 褐色土 6層に近い(ブロック(貫底)0.2-3cm)類似
- 10 黄褐色土 ブロック(明貫底)貫底(0.1-0.5cm)
- 11 暗褐色土 ブロック(明貫底)0.1-0.5cm)10層よりやや多い
- 12 暗褐色土 10層とほぼ同じ
- 13 暗褐色土 12層とほぼ同じ
- 14 暗褐色土 13層より赤み強い(ブロック(明貫底)0.1-0.5cm)10層より多い
- 15 褐色土 ブロック(貫底)0.1-3cm 暗貫底(0.1-0.5cm 層厚(0.5cm))
- 16 黄灰色土 ブロック(貫底)0.2-0.4cm 暗貫底(0.1-1cm)
- 17 褐色土 15層より暗褐色がやや多い 黄灰色土が一層類似
- 17 褐色土 17層とほぼ同じ 黄灰ブロックが7層より多い
- 18 黄褐色土

ST1001 東トレンチ北壁

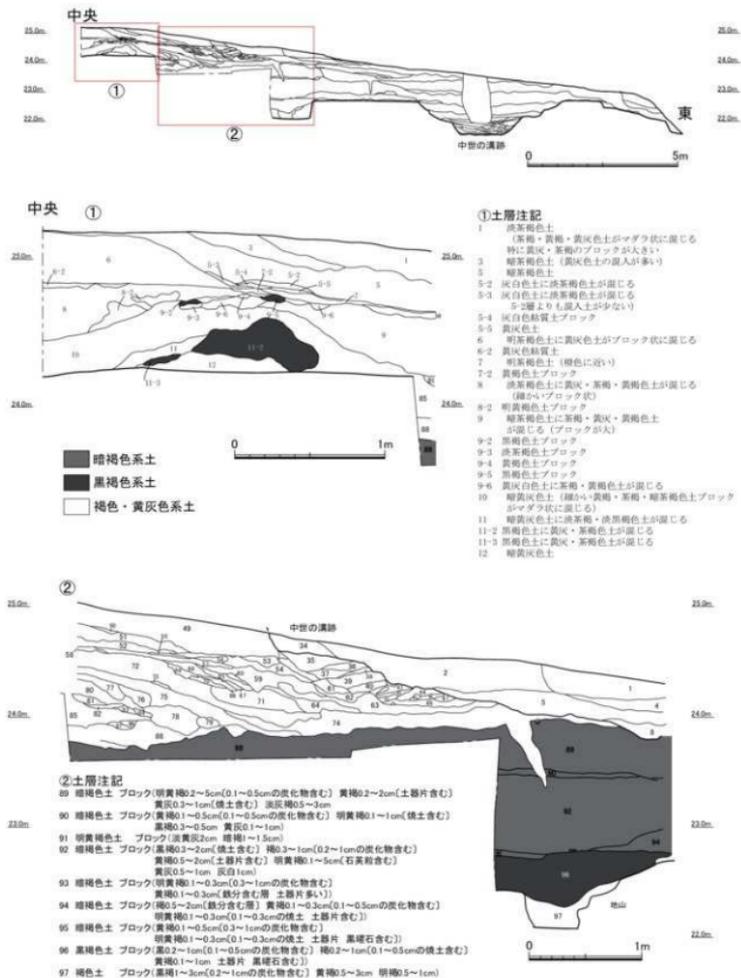


図 10 ST1001 北畑丘墓 東トレンチ北壁土層 (S=1/150,1/30,1/40)

平成元年に吉野ヶ里遺跡の保存が決定したことなどから発掘調査は一時中断となり、遺構保全のためいったん埋め戻されることとなった。その後、ST1001 墳丘墓の全容解明及び将来的な整備に係る資料を得ることを目的に、平成4（1992）年に補助事業による再調査を実施した。その結果、新たに7基の喪棺墓が確認され、棺内から銅剣3本、青銅製把頭飾1点が新たに出土した。また、墳丘頂部が中世の城郭造営によって削平されていることが確認されたほか、ST1001 墳丘墓の平面形は隅丸長方形で、盛土が存在する範囲が南北約37.5m、東西約25m、残存する高さが約2.5mであることが判明した。削平等を考慮すると、本来はさらに大型であったと考えられる（『132集』）。

(1) 土層

ここでは、ST1001 北墳丘墓の土層について報告する。ST1001 北墳丘墓の調査では、東西南北のトレンチ及びその間のサブトレンチを合わせ、計28本のトレンチを設定して掘削を行い、ほぼ全ての土層断面図が作成されている。各トレンチの位置については図6を参照されたい。以下、特徴的な土層についてみていく。

北トレンチ 東壁土層（図8）

トレンチ北端部の断面台形部分（図の①左端）は中世の溝跡の埋土である。トレンチ中央部では、地山の上に黒褐色系の土が緩やかな山状に1mの厚さで堆積し（①右から②の中央）、さらにその上に暗褐色系の土が0.9mの厚さで堆積している（②中央から右）。トレンチ南端部（③左）にはSJ1003 墓坑が掘り込まれており、36層はSJ1003 墓坑の埋土である可能性がある。SJ1003の南側（ST1001中央付近）には暗褐色系の土が約1.2mの厚さで堆積し、間に茶褐色系の土（6～8、10層）を挟んでいる。中世の溝跡部分を除き、黒褐色・暗褐色系土が厚く堆積しており、その他の黄褐色、灰褐色系土は少ない。

北トレンチ 西壁土層（図12）

トレンチ北端部の断面台形部分（①右端）は中世の溝跡であるが、それ以外の部分には攪乱等がほとんどなく、本来の墳丘盛土部分であると思われる。トレンチ中央部（②）では下部に黒褐色系の土が約0.5mほぼ水平に堆積し、その上に約0.9mの厚さで緩やかな山状に暗褐色系の土が堆積している。トレンチ西端（①左端）では暗褐色系土の上に高さ約0.8mの小丘状の盛土があり、さらにその上に暗褐色系土が厚く堆積している。

南トレンチ 西壁土層（図9）

トレンチ南部（①）では、地山の上に暗褐色系の土が約1.3mの厚さで堆積している。上部は二次的な掘り込みを受けているとみられる。トレンチ中央部（②）はSJ1007の墓坑埋土で、大きく3つの単位があり、暗褐色系と暗茶褐色系の土が互層状に1m程度堆積している。最下層（②の25層）は茶灰色粘質土で、SJ1007の目張り粘土とみられる。

トレンチ北端部（③右端、赤字の1～16層）はSJ1006の墓坑埋土で、端茶褐色系の土が堆積している。SJ1006の南側（③中央）には、地山から最大2mの厚さで暗褐色系と黒褐色系の土が互層で小丘状に堆積している。14層の下には鉄分を含む薄い層があり、さらにその下の層は暗褐色でありまじりがなく、焼土や炭化物を含む土が堆積している。また、この小丘の南側（③左端）には、褐色・黄灰色系を主体とする土が同様に小丘状に堆積している。

ST1001 西トレンチ 南壁

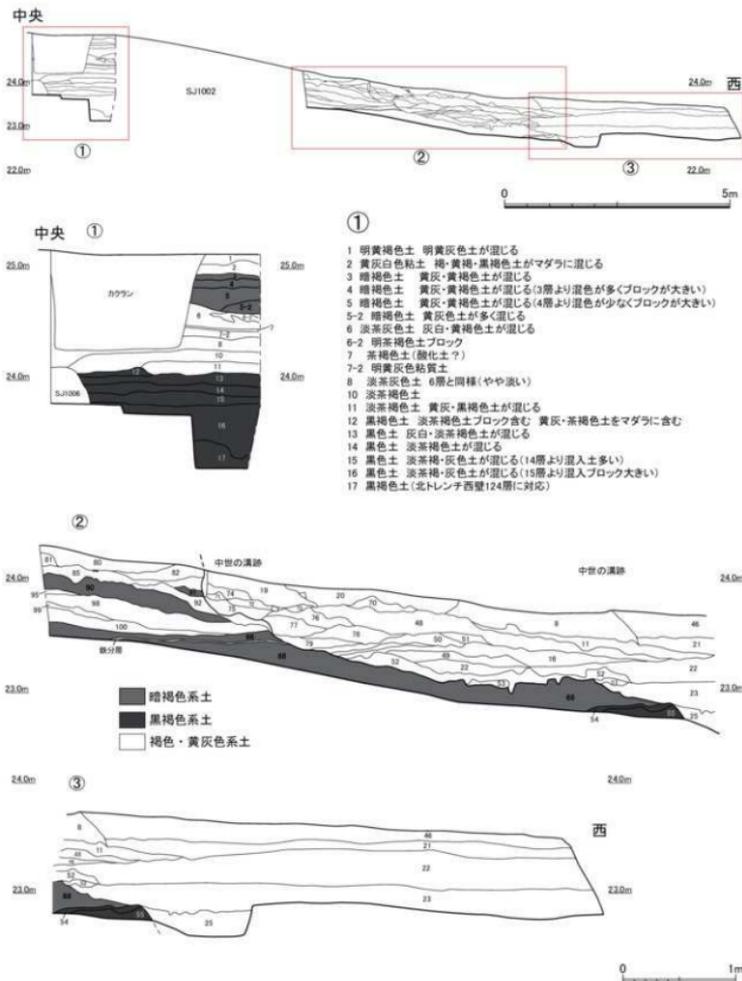


図 11 ST1001 北墳丘墓 西トレンチ南壁土層 (S=1/100,1/40)

ST1001 西トレンチ南壁 土層注記

②・③

- 8 黄灰色土 ブロック(埴0.1~3cm[土器片含む]) 暗埴0.1~1cm(0.1~0.2cmの炭化物含む) 明黄埴0.1~2cm)
- 11 黄灰色土 ブロック(埴0.1~3cm(1cmの礫含む)) 暗埴0.5~4cm 明黄埴0.1~2cm)
- 16 褐色土 ブロック(黄灰0.1~2cm[土器片含む]) 暗埴0.2~4cm 明黄埴0.2~2cm)
- 19 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)) 黄灰0.5~1.5cm[土器片含む] 明黄埴0.5~1cm)
- 20 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(0.5~1cmの風化礫含む)) 暗埴0.5~1.5cm(礫含む) 明黄埴0.5~1cm[土器片含む] 黒埴0.5~1.5cm)
- 21 黄灰色土 ブロック(埴0.5~2cm[土器片含む]) 暗埴0.5~1cm 黒埴0.5cm 明黄埴0.2cm)
- 22 灰褐色土 ブロック(土器片 0.5cmの礫 0.5cmの炭化物含む)
- 23 褐色土 ブロック(土器片 2cmの礫 0.3cmの炭化物含む)
- 25 褐色土 ブロック(明黄埴0.5~2cm[土器片含む]) 黒埴0.5~2cm(2cmの炭化物含む) 黄灰0.1~0.5cm)
- 46 黄灰色土 ブロック(埴0.5~5cm(0.5cmの炭化物含む)) 明黄埴0.1~2cm(1~2cmの礫含む) 黒埴0.2~2cm[10cmの須恵器含む]
黄灰0.1~3cm 暗埴0.1~1cm)
- 48 褐色土 ブロック(明黄埴0.2~2cm(0.1~0.5cmの礫含む)) 暗黒埴0.2~0.5cm 黄埴0.1~1cm)
- 49 褐色土 ブロック(須恵埴0.2~1.5cm(0.2~0.5cmの礫含む)) 黒埴1cm 黄埴0.1~0.5cm)
- 50 褐色土 ブロック(暗埴0.1~3cm[土器片含む]) 黒埴0.2~2.5cm(0.2cmの礫含む) 明黄埴0.1~2cm 黄埴0.1~0.5)
- 51 褐色土 ブロック(暗埴0.1~0.2cm(0.1~0.5cmの礫含む)) 明黄埴0.1~1.5cm[土器片含む] 黄埴0.1~0.5cm 黒埴0.1~0.5cm)
- 52 灰褐色土 ブロック(暗埴0.1~1.5cm(0.2cmの礫含む)) 埴0.1~0.5cm 黄埴0.1~0.5cm)
- 53 灰褐色土 ブロック(暗埴0.1~1.5cm(0.2cmの礫含む)) 埴0.1~0.5cm 黄埴0.1~0.5cm 52層よりやや暗い)
- 54 暗黒褐色土 ブロック(埴0.2~0.5cm[層状の炭化物 土器片 2cmの粘土含む])
- 55 暗黒褐色土(地盤)
- 66 暗褐色土 ブロック(明黄埴0.2~2cm(0.3~0.5cmの粘土 土器片含む)) 黄灰0.3~1.5cm(0.5~1cmの炭化物含む)
- 68 暗褐色土 ブロック(明黄埴0.3~1.5cm(0.3~1.5cmの炭化物含む)) 黄灰0.5~2.5cm(0.2~0.5cmの粘土 土器片含む) 66層より赤みが強い)
- 70 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm)
- 71 黄灰色土 ブロック(灰白0.5~1.5cm 暗灰0.5~5cm)
- 72 暗灰色土 ブロック(黄灰0.5~1.5cm[土器片含む]) 明黄埴0.3~0.5cm)
- 73 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm) 散らかい)
- 74 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm[土器片含む])散らかい)
- 75 灰褐色土 ブロック(黄灰0.3~1cm 明黄埴0.5~1cm 暗埴0.5~1cm)
- 76 黄灰色土 ブロック(灰白0.5~1.5cm[土器片含む]) 暗埴0.3~1cm 明黄埴0.3~1cm)
- 77 灰褐色土 ブロック(暗埴0.3~2cm[微量含む]) 黄灰0.3~2cm 明黄埴0.3~1.5cm)
- 78 灰褐色土 ブロック(暗埴0.3~2cm 黒埴0.5~4cm 明黄埴0.3~0.5cm)
- 79 灰褐色土 ブロック(黒埴0.3~1.5cm 明黄埴0.3~1.5cm)
- 80 黄灰色土 ブロック(暗黄埴0.3~1.5cm[土器片含む]) 明黄埴0.5~1.5cm)
- 81 黄灰色土 ブロック(埴0.3~1cm 明黄埴0.3~2cm 暗埴0.3~1cm)
- 82 黄灰色土 ブロック(明黄埴0.5~1.5cm 暗埴0.3~1cm)
- 85 黄灰色土 ブロック(明黄埴0.5~3cm[一部層状 土器片含む]) 暗埴0.5~1cm)
- 90 暗褐色土 ブロック(明黄埴0.3~2cm(0.3~1cmの風化礫含む)) 黄灰0.3~1.5cm)
- 91 暗褐色土 ブロック(黄灰0.3~1.5cm[土器片含む]) 暗黄埴0.3~1cm)
- 92 明黄褐色土
- 95 明黄褐色土 ブロック(暗埴0.3~1cm 黄灰0.3~1cm 黒埴0.3~1cm)
- 98 明黄褐色土 ブロック(暗埴0.3~1.5cm[一部層状 風化礫含む]) 黄灰0.5~2cm 黒埴0.5~1cm)
- 99 明黄褐色土 ブロック(暗埴0.5~1.5cm 黄灰0.3~2cm)
- 100 明黄褐色土 98層と同様 暗褐色土ブロックが98層より少ない

ST1001 北トレンチ 西壁

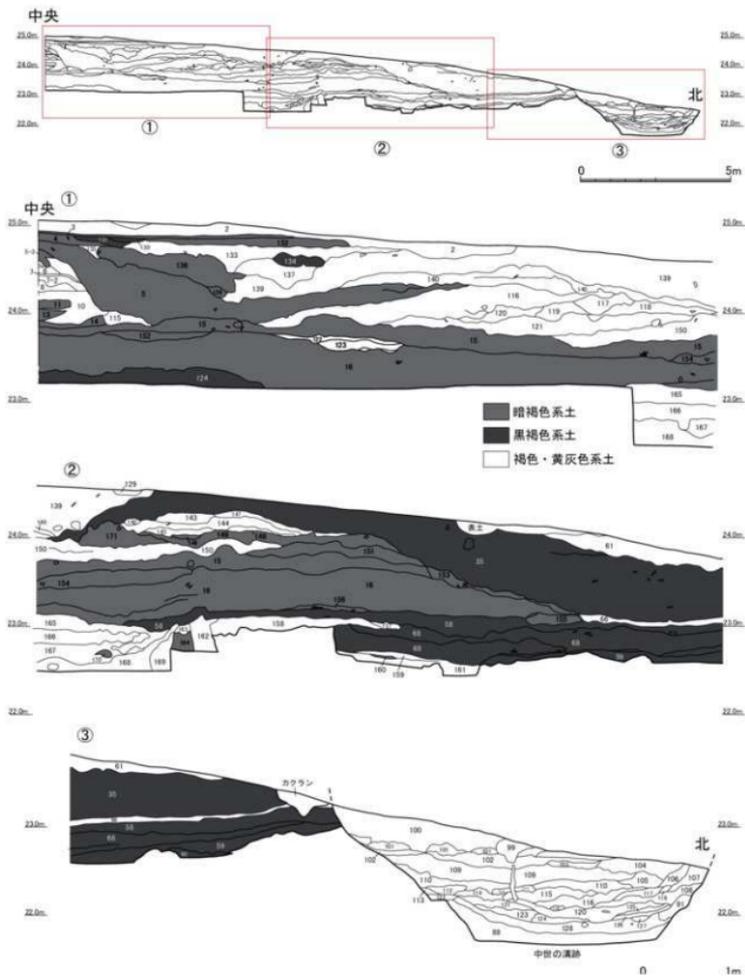


図 12 ST1001 北墳丘墓 北トレンチ西壁土層 (S=1/150,1/50)

ST1001 北トレンチ 西壁 土層注記

①・②

- 2 黄灰色土 ブロック(褶0.5~2cm強い 黄褶0.5~2cm 黒褶1cm)
- 3 暗褐色土 ブロック(黄褶2~3cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黄灰0.5~1cm 黒褶0.5~2cm)
- 4 暗褐色土 ブロック(黄褶0.5~1cm[0.2cmの炭化物含む] 黄褶1~1.5cm 黒褶1~4cm)
- 5 暗褐色土 ブロック(黄褶0.5~3cm[0.8~2cmの炭化物含む] 黄褶0.5~2cm[土器片含む] 黒褶1~2cm)
- 5-2 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黄褶0.5cm)
- 6 黄灰色土 ブロック(黄褶0.5~3cm[1~1.5cmの黒化礫を含む] 強い) 褶1~2cm 黒褶0.5~1.5cm)
- 7 明黄褐色粘質土 ブロック(暗褶0.2~0.5cm)非常に強い
- 7-2 黄灰色土 ブロック(黄褶0.5~1.5cm[土器片含む、強い] 淡褶0.2~1cm)
- 8 黄灰色土 ブロック(黄褶0.5~2cm[土器片含む、強い] 淡褶0.2~1cm 褶0.5cm 黒褶0.5~1cm)
- 10 黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm[0.3~0.5cmの炭化物含む、強い] 黒褶0.3~2cm)
明黄褶1~10cm 暗褶0.5~1cm)
- 11 暗褐色土 ブロック(黄褶0.5~4cm、強い 黄灰0.5~1cm 黒褶0.5cm)
- 13 暗褐色土 ブロック(黄褶0.5~2cm 黄灰3~7cm)
- 14 暗褐色土 ブロック(黄褶0.2~1cm[0.3cmの炭化物 2cmの黒化礫を含む])
- 15 暗褐色土 ブロック(黄褶0.2~1cm[0.3cmの炭化物 2cmの礫を含む])
- 16 暗褐色土(下部に強い鉄分層あり) ブロック(黄褶0.5~1cm[土器片含む] 明黄褶1~1.5cm[0.5~1cmの炭化物含む] 黄灰1.5cm)
- 35 黒褐色土 ブロック(黄褶0.1~1cm[0.1~1cmの礫 0.1~0.3cmの炭化物 土器片含む])
- 58 黒褐色土 ブロック(黄褶0.1~1cm[0.1~0.5cmの礫含む] 暗褶0.1~1cm[土器片 0.1~0.5cmの炭化物含む])
- 59 黒褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.3cm[土器片含む] 明黄褶0.1~0.5cm)
黄灰0.1~0.5cm[0.2~1cmの炭化物含む]
- 60 黒褐色土 ブロック(黄褶0.5~2cm[土器片 0.1cmの炭化物含む])
- 61 褐色土 ブロック(黒褶0.1~1cm 黄褶0.1~0.2cm 黄灰0.1cm)
- 66 褐色土 ブロック(黒褶0.1~0.3cm散らかしい)
- 68 黒褐色土(下部に黄灰)0.1~1cm[土器片多く含む] 暗褶0.1~1cm[0.1~0.2cmの炭化物含む]
- 115~123 土層不明(注記なし)
- 124 黒褐色土
- 129 褐色土 ブロック(明黄褶0.1~0.5cm[0.2~0.3cmの炭化物含む] 黄灰0.3~0.5cm[0.5~1cmの焼土 土器片含む])
- 130 黒褐色土 ブロック(明黄褶0.1~0.3cm 黄灰0.3~2cm 褶0.1cm)
- 131 黒褐色土 ブロック(黄灰0.2~1cm[0.5~1cmの炭化物含む] 黄褶0.3~0.5cm[0.1~0.3cmの焼土含む] 褶0.3~0.5cm)
- 132 暗褐色土 4層に層状 ブロック(黄灰0.1~0.3cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 黄褶0.1~0.3cm 褶0.1~0.5cm)
- 133 褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.5cm[0.5~1cmの炭化物含む] 黄灰0.6~2cm[0.1~0.5cmの焼土含む] 黒0.5cm[土器片含む])
- 134 黒褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm 黄褶0.1~0.3cm 褶0.1~0.2cm)
- 136 暗褐色土 ブロック(黄灰0.2~2cm[0.5~1cmの炭化物含む] 明黄褶0.5~1cm[0.1cmの焼土含む] 褶0.1~0.3cm[土器片含む] 黒0.5cm)
- 137 褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.3cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 明黄褶0.5~2cm[0.1cmの焼土含む] 淡明黄褶3~5cm 褶0.1~0.5cm)
- 138 褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm 淡明黄褶0.5~1cm[0.5cmの焼土含む] 黒褶0.5~1cm 淡褶0.1~0.5cm)
- 139 褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm[0.3cmの炭化物含む] 黄褶0.5~1cm 淡明黄褶0.5~2cm[0.1~0.5cmの焼土含む] 黒褶0.5cm)
- 140 褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm[土器片含む] 黄褶0.5cm 淡明黄褶0.5~1cm 黒褶0.5cm)
- 143 褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.2cm[0.1cmの焼土含む] 暗褶0.5cm[0.5cmの炭化物含む])
- 144 褐色土 ブロック(黄褶0.5~0.5cm[0.5cmの炭化物含む] 暗褶0.5cm[0.1~0.2cmの焼土含む])
- 145 褐色土 ブロック(黄褶0.5~3cm 暗褶0.1~0.5cm)
- 146 暗褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm[層状 0.1~0.3cmの炭化物 0.1~0.2cmの焼土含む])
- 147 灰褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm[石灰小礫含む] 暗褶0.1~0.5cm 褶0.5~5cm)
- 148 黄褐色土 ブロック(褶0.1~0.5cm[土器片含む])
- 149 暗褐色土 ブロック(褶0.1~0.5cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黄褶0.1~0.5cm[0.1cmの焼土含む] 黒0.1~0.5cm)
- 150 褐色土 ブロック(淡褶0.1~0.5cm[0.2cmの炭化物含む] 黄褶0.5~2cm[0.1~0.3cmの焼土含む] 黄灰0.5~1cm)
- 151 暗褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.3cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 褶0.1~0.3cm[0.1~0.5cmの焼土 土器片含む] 黄灰0.1~0.2cm[2~3cmの礫を含む])
- 152 暗褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.5cm[0.5~1cmの炭化物含む] 明黄褶3~0.5cm[0.5cmの焼土含む] 黄灰0.1~0.2cm)
- 153 暗褐色土 ブロック(黄褶0.1~1cm[0.2~2cmの炭化物含む] 黄灰0.1~0.3cm[0.2~0.5cmの焼土含む] 褶0.1~0.2cm)
- 154 暗褐色土 ブロック(明黄褶0.1~0.5cm[土器片含む] 黒褶0.1~0.5cm[0.1~1cmの炭化物 0.1~0.3cmの焼土 礫を含む])
- 155 暗褐色土 ブロック(黄褶0.2~1cm[0.1~0.3cmの焼土含む] 明黄褶0.5~1cm[0.3cmの炭化物含む] 黄褶0.5cm[土器片含む])
- 156 暗褐色土 ブロック(褶0.5~1cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 黄褶0.1~0.5cm 明黄褶0.5cm[土器片含む])
- 157 褐色土 ブロック(黄褶0.1~2cm 暗褶0.5~1cm)
- 158 褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.3cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黒褶0.1cm[0.1~0.3cmの焼土含む] 黄灰0.1~0.5cm[鉄分 2cmの黒曜石含む])
- 159 黄褐色土 ブロック(褶0.2~1cm[0.1cmの炭化物含む] 暗褶0.2~1cm)
- 160 暗褐色土 ブロック(黄褶0.1~3.5cm 明黄褶0.1cm)
- 161 褐色土 ブロック(黄褶0.1~3cm 暗褶0.2~0.5cm 黒褶0.5~1cm)
- 162 褐色土 ブロック(黄褶0.1~2cm[0.5~1cmの炭化物含む] 明黄褶0.2~0.5cm 暗褶0.5~1cm)
- 163 褐色土 ブロック(暗褐色土0.1~0.5cm[土器片含む] 黄褶0.1~0.5cm)
- 164 暗褐色土(ブロック)
- 165 褐色土 ブロック(黄褶0.1~0.5cm[1cmの礫含む] 灰褶0.1~0.5cm[土器片含む] 明黄褶0.1cm)
- 166 褐色土 ブロック(黄褶0.2~2cm[0.2~0.5cmの焼土含む] 明黄褶0.2~0.5cm[土器片含む] 黒褶0.2~0.5cm)
- 167 褐色土 ブロック(黄褶0.5~3cm[土器片含む] 灰褶0.5~1cm[礫含む] 黒褶0.1~0.3cm)
- 168 褐色土 ブロック(暗褶0.1~1cm[炭化物含む] 黄褶0.1~2cm 黒褶0.1~0.5cm)
- 169 褐色土 ブロック(黄褶0.1~2cm 褶0.5~1cm 褶0.5~1cm 明黄褶0.5cm)
- 170 暗褐色土 ブロック(黄褶0.5cm[土器片含む])
- 171 暗褐色土 ブロック(黒褶0.5~1cm[0.5~3cmの炭化物含む] 黄褶0.5~1cm[0.3cmの焼土含む] 黄灰0.5~1cm[土器片含む])

③右側

- 99~128 詳細は中世溝の埋土
- 99~110 暗褐色土 111, 113, 127 淡褐色土 112, 118, 122 黄灰色土 114~117, 119, 126 灰褐色土
- 120, 121, 123, 128 暗灰褐色土 125 黄灰色土ブロック(層状) 86 暗褐色土

南トレンチ（サブトレ）北壁・東壁土層（図13）

上部の掘り込みはカクランとみられる。地山から褐色土、黒褐色土、黄灰色土、暗褐色土が1m程度堆積している。北壁では東から西に向かって斜めに堆積しており、小丘状の盛土の一部である可能性がある。

東トレンチ 北壁土層（図10）

トレンチの約東半分は中世の溝跡により削平されている。地山の上には黒褐色と暗褐色の土が約2mの厚さでほぼ水平に堆積し（②下平）、さらにその上に種類の異なる複数の細かいブロック土が1m以上の厚さで堆積している（②左）。トレンチ西端のST1001中央付近（①中央）では、幅約2.5m、高さ0.5mの小丘状の高まりがある。なお、土層断面図に土層注記の記載が見当たらない部分があることから、土色等について不明な箇所がある。

東トレンチ 南壁土層（図14）

トレンチ中央部分（①右～②左）は中世の溝跡により削平されている。トレンチ右端（③）は土層断面図に土層注記の記載がないため不明だが、墳丘盛土とみられる。

西トレンチ 南壁土層（図11）

ST1001中央部にあたるトレンチ東端（①）は、下部から黒褐色系の土が0.9mの厚さでほぼ水平に堆積し、その上に淡茶褐色、明褐色系の土が約1mの厚さでほぼ水平に堆積している。本来の墳丘盛土とみられ、墳丘墓内の他の箇所と比べ均質な厚さで堆積している。トレンチ中央から西部にかけては、上面を中世の溝跡により削平されているが、その下部には地山の上に黒褐色系、暗褐色系、明黄褐色系、暗褐色系、明黄褐色系の土が相互に緩やかな山状に堆積している（②）。

西トレンチ 北壁土層（図15）

西半分（①）は中世の溝跡により削平されている。トレンチ東側（②）の上面は削平とみられるが、下部は暗褐色系の土が約1mの厚さでトレンチ東端（ST1001中央）に向かって緩やかな山状に堆積している。

A1 トレンチ 東壁・西壁土層（図16）

下部から明褐色土、黒褐色土、暗褐色土、黒褐色土、明褐色土、暗褐色土が相互に堆積している。西壁はほぼ水平に堆積しているが、東壁右端（南側）は部分的に小丘状に堆積している。

A2 トレンチ 北壁・南壁土層（図17）

トレンチ東側は中世の溝跡により削平されている。盛土部分では暗褐色、黒褐色、明黄褐色系の土が互いに堆積している。

A4 トレンチ 北壁土層（図18）

トレンチ左端（西側）の下部に黒褐色土、暗褐色土、淡褐色土が合わせて1m程度堆積し、緩やかな山状をなしている。

A6 トレンチ 北壁土層（図19）

トレンチ中央は中世の溝跡により削平されている。その下部の8層は暗褐色土で、墳丘盛土とみられる。

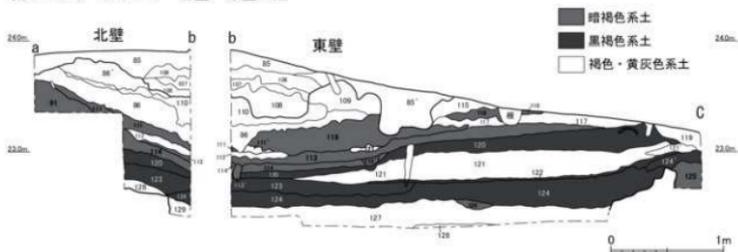
B2 トレンチ 南壁土層（図20）

トレンチ中央は中世の溝跡により削平されている。トレンチ右端（西側）に盛土部分があり、暗褐色、黒褐色、黄灰色形の土が小丘状に堆積している。

B4 トレンチ 南壁土層（図21）

トレンチ左側（東側）は中世の溝跡により削平されている。トレンチ右側（西側）では、下部に黒褐色土

南トレンチ サブトレ 北壁・東壁土層



土層注記

- 85 褐色土
 86 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.2~1cm 黒褐・暗褐0.2~1cm)
 91 暗褐色土 ブロック(明黄褐1~3cm[0.1~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.2~1cm[土器片含む] 黄褐0.2~1cm)
 106 褐色土 ブロック(明黄褐0.2~1cm 炭褐0.2~1cm 黒褐0.2~1cm)
 107 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.2~0.5cm 褐0.2~1cm 黒褐0.2~0.5cm)
 108 淡褐色土 ブロック(暗褐0.2~0.5cm 黒褐0.2~3cm 黄灰0.2~3cm 明黄褐0.2~1cm)
 109 黄灰色土 ブロック(明黄灰0.5~2cm 明黄褐0.2~2cm 暗褐・黒褐0.2~1cm)
 110 褐色土 ブロック(黄灰0.1~2cm 暗褐0.2~1cm 明黄褐0.2~1cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.2~1cm)
 111 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.2~3cm 黄灰0.1~1cm 黒褐0.5~2cm[0.1~0.4cmの炭化物含む])
 111' 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm 暗褐0.1~0.5cm)
 112 明黄褐色・黄灰色土 ブロック(暗褐0.2~0.5cm)
 113 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 黒褐0.2~1cm 黄灰0.1~0.5cm[土器片含む])
 114 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 黒褐0.1~0.5cm 黄灰0.1~1cm)
 115 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm 黒褐・暗褐0.2~0.5cm 黄灰0.2~2cm)
 116 暗褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm 明黄褐0.2~3cm 黒褐0.5cm[0.3cmの炭化物含む])
 117 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.2~2cm 褐0.3~1cm 暗褐0.3~1cm)
 118 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm 黄灰0.1~2cm 暗褐・黒褐0.2~1cm[0.1~0.5cmの炭化物含む])
 119 褐色土 85層と同様
 120 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.1~8cm[一部層状 土器片含む] 黒0.2~0.5cm[0.1~0.5cmの炭化物含む])
 121 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.2~2cm 暗褐・黒褐0.2~1cm 暗褐0.1~3cm[0.1~1cmの炭化物含む])
 122 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.2cm)
 123 黒褐色土 鉄分多いブロック(明黄褐0.1~0.5cm [土器片 0.1~0.3cmの炭化物含む])
 下部に数分層あり
 124 黒褐色土 123層と同様
 124' 黒褐色土 123層と同様(土器片含む)
 125 暗褐色土 124層と同様
 126 暗褐色土 124層と同様 ブロック(黄褐0.1~0.2cm)
 127 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.3cm 暗褐・黒褐0.2~2cm [0.1~1cmの炭化物含む]) 遺構埋土?
 128 褐色土 ブロック(明黄褐0.2~3cm 暗褐・黒褐0.2~3cm [0.1~1cmの炭化物含む]) 遺構埋土?
 129 注記なし

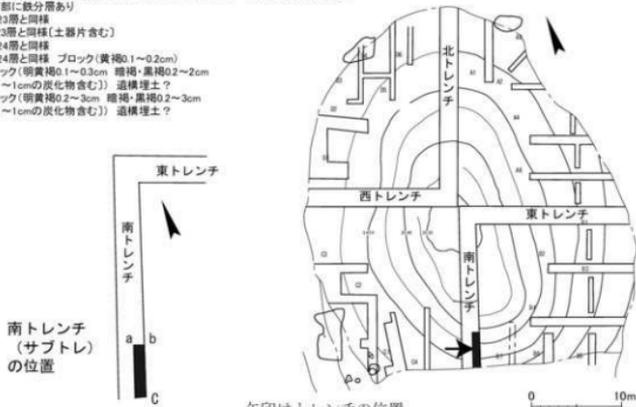


図13 ST1001北墳丘墓 南トレンチ(サブトレ)土層(S=1/40)

T1001 東トレンチ 南壁

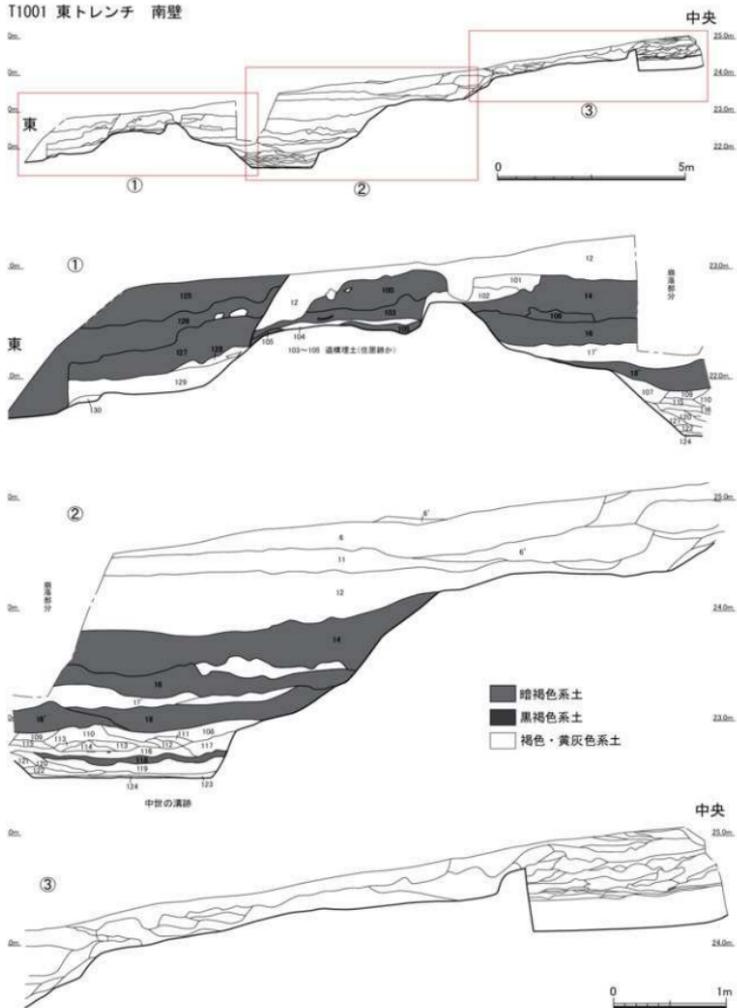
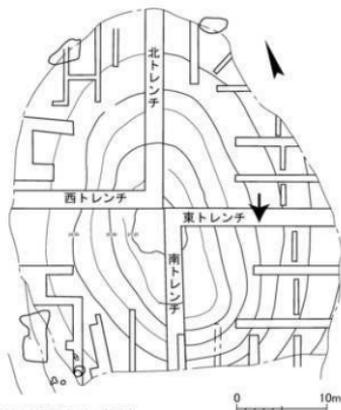


図 14 ST1001 北墳丘墓 東トレンチ南壁土層 (S=1/120,1/40)

ST1001 東トレンチ南壁 土層注記

- 6 褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm 明黄褐0.1~1cm 暗褐・黒褐0.1~1cm(0.1cmの炭化物含む)) 4層とほとんど同じ
 6' 褐色土 6層とほとんど同じ
 11 暗黄褐色土 ブロック(暗褐0.5~3cm(土器細片含む) 明黄褐0.2~0.5cm)
 12 褐色土 溝埋土 ブロック(明黄褐0.1~0.3cm 暗褐・黒褐0.2~1cm(土器片含む))
 13 褐色土 溝埋土 ブロック(明黄褐0.1~0.3cm 黄灰0.1~1cm 暗褐・黒褐0.2~2cm(0.1~0.3cmの炭化物含む))
 14 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~3cm 黒褐0.2~4cm(一部層状 0.1~1cmの炭化物含む) 黄灰0.2~0.5cm(土器片含む))
 16 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~5cm 黒褐0.2~1cm(0.1~0.2cmの炭化物含む) 黄灰0.1~1cm(土器片含む))
 17 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 暗褐・黒褐0.1~1cm(0.1cmの炭化物含む))
 18 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~3cm 黒褐0.2~1cm)
 18' 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~4cm)
 100 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm(土器片含む))
 101 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm 黒褐・暗褐0.2~1cm)
 102 黄灰色土 ブロック(黒0.2~1cm 黒褐0.5cm)
 103 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm(0.1~0.3cmの炭化物含む) 黒褐0.2~0.5cm(土器片含む)) ……道埋土(竪穴建物跡か)
 104 明黄褐色土 ブロック(暗褐0.5~3cm(一部層状)) ……竪穴建物の結末か
 105 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 黒褐0.1~0.5cm) ……道埋土(竪穴建物跡か)
 106 暗褐色土 ブロック(黒褐0.5~3cm(土器片含む) 明黄褐0.5~3cm)
 107 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 黄灰0.2~0.5cm 暗褐・黒褐0.1~0.3cm)
 108 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.3cm 暗褐・黒褐0.2~2cm)
 109 褐色土 107層と同様 107層よりも黄灰色ブロックが多い
 110 褐色土 108層と同様 108層よりも黄灰色ブロックが多い
 111 褐色土 108層と同様 108層よりも明黄褐色土が多い
 112 明黄褐色土 地山土ブロック
 113 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm 黒褐0.2~0.5cm(0.1~0.2cmの炭化物含む))
 114 明黄褐色土 地山土ブロック
 115 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~0.5cm 黄灰0.1~1cm 黒褐0.1~0.8cm)
 116 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm(土器片含む) 明黄(0.1~1cm)
 117 暗黄褐色土 ブロック(明黄0.1~0.3cm)
 118 暗褐色土 ブロック(明黄0.1~0.2cm 黄灰0.1~0.2cm(0.1cmの炭化物含む))
 119 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.2~1cm 明黄褐0.1~0.5cm)
 120 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.2~0.5cm 明黄0.1~0.5cm 暗褐0.2~0.5cm 褐1~3cm)
 121 暗黄褐色土 120層と同様
 122 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.2~0.5cm)
 123 褐色土 ブロック(明黄褐0.2~2cm 黄灰0.2~1cm 暗褐・黒褐0.2~2cm)
 124 暗灰色土 きめ細かく結實
 125 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.2~3cm 黄灰0.2~2cm 暗褐・黒褐0.2~1cm)
 126 暗褐色土 125層と同様
 127 暗褐色土 125層と同様 明黄褐色ブロックは0.2~4cm
 128 暗灰色土
 129 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.2~1cm)
 130 暗黄褐色土ブロック



矢印は土層断面の位置

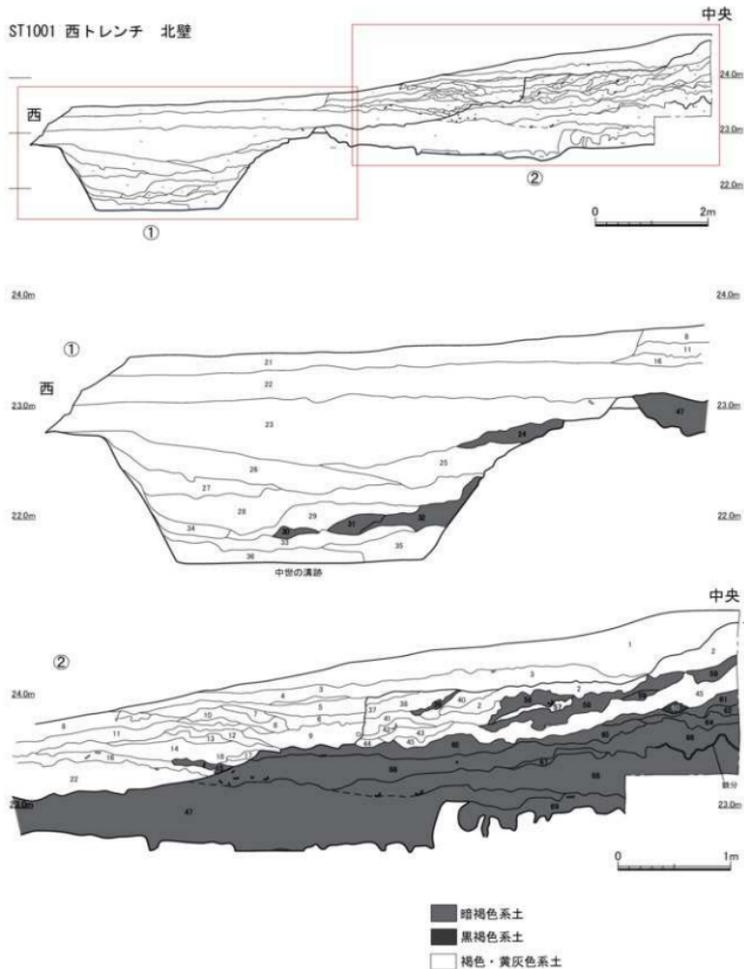
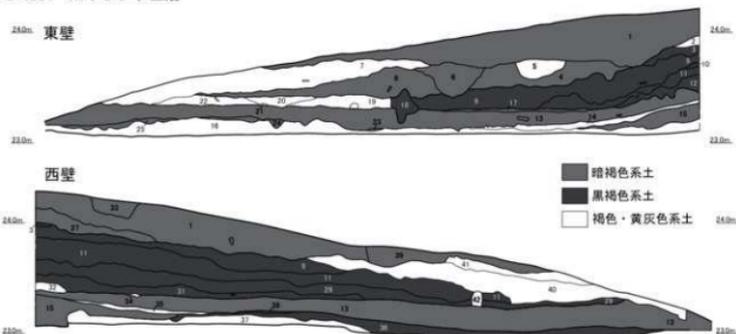


図 15 ST1001 北墳丘墓 西トレンチ北壁土層 (S=1/80,1/40)

ST1001 西トレンチ 北壁 土層注記

- 1 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm[2cmの礫含む]) 黄褐0.5~2cm[土器片含む] 黒褐0.5~2cm 暗褐0.5~1cm 淡褐0.5~2cm)
- 2 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~3cm[0.5~1cmの礫含む]) 黒褐2~3cm[土器片含む] 明黄褐0.5~1cm 淡褐1cm)
- 3 褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm[土器片含む]) 明黄褐0.5cm[2cmの礫含む] 淡褐0.1~1cm 暗褐1cm)
- 4 褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm 暗褐0.1~1cm 明黄褐0.5cm 淡褐0.5cm)
- 5 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm[0.2~1cmの礫含む]) 黄灰0.2~3cm[土器片含む] 黄褐0.2~1cm[0.2cmの炭化物含む])
- 6 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1cm 暗褐0.1~1.0cm 黄褐0.3~2cm 礫1cm)
- 7 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm 暗褐0.2~1cm 黄褐0.1~1cm)
- 8 黄灰色土 ブロック(褐色0.1~3cm[土器片含む]) 暗褐0.1~1cm[0.1~0.2cmの炭化物含む] 明黄褐0.1~2cm)
- 9 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~2cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 灰褐0.3~0.5[0.3~0.5cmの焼土含む]) 明黄褐0.5~2cm 黒褐0.3~1cm)
- 10 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm[0.5cmの炭化物含む] 暗褐0.3~3cm)
- 11 黄灰色土 ブロック(暗褐0.1~3cm[1cmの礫含む]) 暗褐0.5~4cm 明黄褐0.1~2cm)
- 12 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~1.5cm[1cmの礫含む]) 黄灰0.5~2cm[土器片含む] 暗褐0.5~2cm)
- 13 灰褐色土 ブロック(黄灰0.3~0.5cm 暗褐0.5~1cm) 軟質
- 14 褐色土 ブロック(黄灰0.1~3cm[土器片含む]) 暗褐0.5~4cm 明黄褐0.1~0.5cm)
- 15 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm[土器片含む] 一部層状) 明黄褐0.3~1.5cm)
- 16 褐色土 ブロック(黄灰0.1~2cm[土器片含む]) 暗褐0.2~4cm 明黄褐0.2~2cm)
- 17 灰褐色土 ブロック(黄灰0.3~1cm)
- 18 14層に類似 ブロックが14層より少ない
- 19-20層 欠番
- 21 黄灰色土 ブロック(褐0.5~2cm[土器片含む]) 暗褐0.5~1cm 黒褐0.5cm 明黄褐0.2cm)
- 22 灰褐色土 ブロック含まず(土器片 0.5cmの炭化物 0.5cmの礫含む)
- 23 褐色土 ブロック含まず(土器片 0.3cmの炭化物 2cmの礫含む)
- 24 暗褐色土 ブロック(黒褐0.5~1cm[0.2cmの焼土含む]) 明黄褐0.1~0.5cm[土器片含む] 黄褐0.5cm)
- 25 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm[土器片含む] 黒褐0.5~2cm[2cmの炭化物含む]) 黄灰0.1~0.5cm)
- 26 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm[土器片含む] 黒褐0.5~1cm[0.5cmの礫含む]) 黄褐0.5~1cm)
- 27 褐色土 ブロック(明黄褐1~3cm[1cmの礫含む]) 黒褐1~2cm[土器片含む] 黄灰0.5~1cm)
- 28 褐色土 ブロック(明黄褐1~3cm[土器片含む] 黒褐1~2cm 黄灰1~4cm 淡褐1cm)
- 29 褐色土 ブロック(暗褐0.5~3cm[土器片含む]) 明黄褐0.5~2cm[0.5~1cmの炭化物含む] 黄灰0.5~1cm[1cmの礫含む] 淡褐3cm[1cmの焼土含む])
- 30 暗褐色土 ブロック(明黄褐2.0cmの礫含む) 黒褐0.5cm)
- 31 暗褐色土 ブロック(淡褐3~5cm[土器片含む] 黒褐2~4cm 明黄褐1~4cm)
- 32 暗褐色土 ブロック(明黄褐1~4cm[0.5cmの礫含む] 黒褐0.5~2cm 礫1cm)
- 33 褐色土 ブロック(明黄褐1~4cm[0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.5cm[土器片含む] 黄灰0.5~2cm)
- 34 褐色土 ブロック(明黄褐1~2cm 黒褐2cm)
- 35 褐色土 ブロック(黄灰1~3cm[0.1cmの焼土含む] 黒褐1~2cm 明黄褐0.5~2cm 明褐1cm)
- 36 褐色土 ブロック(黄灰1~2cm[1cmの礫含む]) 明黄褐1~3cm 黒褐0.5~2cm 淡褐3cm)
- 37 黄灰色土 ブロック(暗褐0.3~2cm 明黄褐0.3~1cm 黒褐0.5~2cm)
- 38 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~5cm[土器片含む] 明黄褐0.5~1.5cm)
- 39 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm[一部層状] 明黄褐0.5~0.5cm)
- 40 黄灰色土 ブロック(暗褐0.3~2cm[1cmの炭化物含む] 明黄褐0.5~1cm)
- 41 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~10cm 明黄褐0.5~2cm[0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.5~1cm[1cmの礫含む])
- 42 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~1.5cm[土器片含む] 明黄褐0.3~0.5cm[0.5~1cmの礫含む])
- 43 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~5cm 明黄褐0.3~3cm 黒褐0.5~1.5cm)
- 44 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~1.5cm 暗褐0.5~2cm)
- 45 黄灰色土 ブロック(暗褐0.3~2cm[0.5~1cmの炭化物含む] 明黄褐0.5~3cm[0.3~0.5cmの焼土 土器片含む])
- 46 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~5cm[0.5cmの炭化物含む] 明黄褐0.1~2cm[1~2cmの礫含む] 黒褐0.2~2cm[炭屑含む] 黄灰0.1~3cm 暗褐0.1~1cm)
- 47 注記なし
- 48 褐色土 ブロック(明黄褐0.2~2cm[0.1~0.5cmの礫含む] 暗黒褐0.2~0.5cm 黄褐0.1~1cm)
- 49 褐色土 ブロック(暗黒褐0.2~1.5cm[0.2~0.5cmの礫含む] 黒褐1cm 黄褐0.1~0.5cm)
- 50 褐色土 ブロック(暗褐1~3cm[土器片含む] 黒褐2~2.5cm[0.2cmの礫含む] 明黄褐0.1~2cm 黄褐0.1~0.5cm)
- 51 褐色土 ブロック(暗褐0.1~0.2cm[0.1~0.5cmの礫含む] 明黄褐0.1~1.5cm[土器片含む] 黄褐0.1~0.5cm 黒褐0.1~0.5cm)
- 52 灰褐色土 ブロック(暗褐0.1~1.5cm[0.2cmの礫含む] 褐0.1~0.5cm 黄褐0.1~0.5cm)
- 53 暗褐色土 ブロック(暗褐0.1~1.5cm[0.2cmの礫含む] 褐0.1~0.5cm 黄褐0.1~0.5cm 砂層よりやや暗い)
- 54 暗黒褐色土 ブロック(褐0.2~0.5cm[層状の炭化物 土器片 2cmの焼土含む])
- 55 暗黒褐色土(地山)
- 56 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 明黄褐0.3~1cm[土器片含む])
- 57 黄灰色土 ブロック(暗褐0.3~1cm 暗褐0.3~0.5cm)
- 58 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 明黄褐0.5~1.5cm[土器片含む] 黒褐0.5~1cm)
- 59 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1.5cm 黒褐0.5~1cm[一部層状] 黄灰0.5~1cm)
- 60 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1cm[土器片含む] 暗褐0.5~1.5cm[0.3~0.5cmの炭化物含む])
- 61 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~2cm[土器片含む] 黄灰0.3~1cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.5~2cm[0.3cmの焼土含む])
- 62 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~1.5cm[軟片含む] 明黄褐0.3cm~0.5cm[0.5cmの炭化物含む])
- 63 黄灰色ブロック
- 64 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 明黄褐0.5~2cm[0.3~0.5cmの焼土含む] 黒褐1~2cm)
- 65 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1.5cm[0.2~0.5cmの焼土含む] 黄灰0.5~2.5cm[0.3~1cmの炭化物含む] 黒褐0.5~1cm[土器片含む])
- 66 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.2~2cm[0.3~0.5cmの焼土 土器片含む] 黄灰0.3~1.5cm[0.5~1.0cmの炭化物含む])
- 67 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.2~0.5cm[0.5~1cmの炭化物含む] 黒褐0.5~1cm[土器片含む])
- 68 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1.5cm[0.3~1.5cmの炭化物含む] 黄灰0.5~2.5cm[0.2~0.5cmの焼土 土器片含む] 66層より赤みが強い)
- 69 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm[0.3~0.5cmの炭化物 0.2~0.5cmの焼土 土器片含む])

ST1001 A1トレンチ土層



土層注記

- 1 暗褐色土 ブロック(淡黄褐0.3~1cm(0.3~3cmの炭化物を含む))
- 2 暗黄褐色土 ブロック(淡黄褐0.3~1cm 明黒褐0.3~1cm)
- 1層よりやや暗い
- 3 明黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm[炭化物・土器片含む])
- 4 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~2cm[炭化物含む]) 黒褐0.5~1cm
- 5 明褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm[炭化物含む])
- 6 暗褐色土 ブロック(黄褐0.5~1.5cm[土器片含む])
- 7 灰褐色土 ブロック(灰白0.5~2cm[土器片含む]) 黒褐0.5~1.5cm 明赤褐(層状)
- 8 暗褐色土 ブロック(明黒褐0.3~1cm[土器片含む]) 明黄褐0.5~2cm
- 9 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~4cm[土器片含む]) 暗褐0.5~2cm(積土含む)
- 10 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~4cm)
- 11 明黒褐色土 ブロック(黄褐0.3~2cm[積土・炭化物含む])
- 12 明黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm)
- 13 暗褐色土 ブロック(黄褐0.3~1cm[炭化物・土器片含む])
- 14 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm)
- 15 暗褐色土 ブロック(黄褐0.5~2cm[炭化物含む]) 黒褐0.5~1cm
- 16 明褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm 黒褐(一部層状))
- 17 暗褐色土 ブロック(黄褐0.3~1cm)
- 18 明黒褐色土 ブロック(黄褐0.5~2cm[炭化物含む]) 淡赤褐0.3~0.5cm
- 19 暗黄褐色土 ブロック(暗褐0.5~2cm[土器片含む])
- 20 明黄褐色土 ブロック(明褐)
- 21 暗黄褐色土
- 22 黄褐色土 ブロック(明黒褐0.5~2cm)
- 23 暗褐色土 ブロック(暗黄褐0.3~3cm)
- 24 暗褐色土 ブロック(黄褐0.3~1cm)
- 25 暗褐色土
- 27 暗褐色土 ブロック(明褐0.3~2cm[土器片含む]) 黒褐0.3~1cm[炭化物含む] 灰白0.3~0.5cm 赤褐0.3~2cm
- 28 明黒褐色土 ブロック(暗黄褐0.5~1.5cm[炭化物含む]) 明黄褐0.5~1.5cm 11層よりやや暗い
- 29 明黒褐色土 ブロック(暗黄褐0.5~4cm[土器片・炭化物含む])
- 31 明黒褐色土 暗褐色ブロックが層状[炭化物・土器片含む]
- 32 暗黄褐色土 ブロック(暗黄褐0.5~2cm[炭化物含む]) 明黒褐0.3~1cm 暗赤褐0.5~2cm
- 33 暗褐色土 ブロック(黄褐0.3~0.5cm[炭化物含む]) 灰褐0.1~0.5cm
- 34 暗黄褐色土 ブロック(暗褐)
- 35 黄褐色土 暗褐色ブロックが層状[炭化物・土器片含む]
- 36 明黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm 暗黄褐0.5~4cm)
- 37 明褐色土
- 38 黄褐色土 ブロック(暗褐)
- 39 暗褐色土 ブロック(暗黄褐0.5~1cm[炭化物含む])
- 40 明褐色土 ブロック(黄褐0.3~1cm[炭化物含む]) 暗褐0.1~0.5cm
- 41 明褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm 明黄褐0.5~2cm)
- 42 灰褐色土 ブロック(黄褐0.5~1cm)

矢印はトレンチの位置

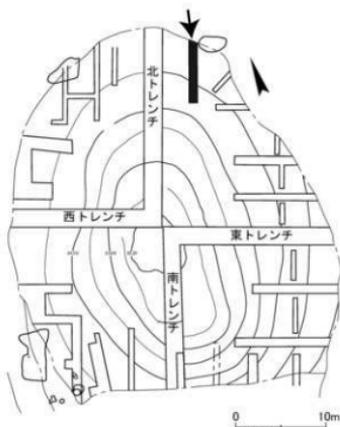
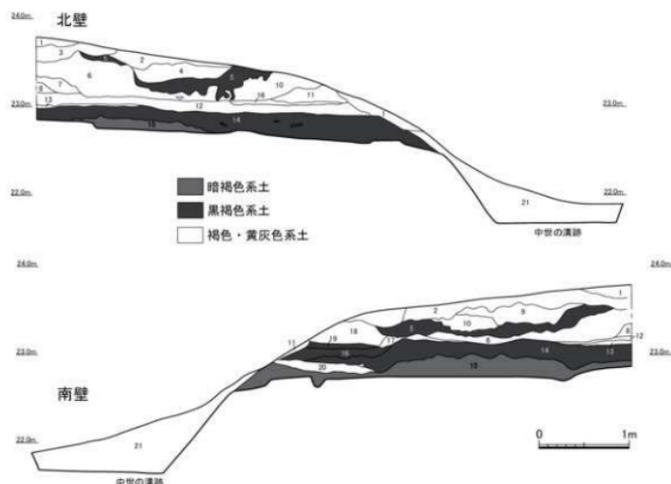


図 17 ST1001 北壇丘墓 A2トレンチ土層 (S=1/50)

ST1001 A2トレンチ土層



土層注記

- 1 淡灰褐色土 ブロック(黄灰白0.5~2cm(0.2cmの焼土含む)
黒層0.5~4cm(土器片含む)
- 2 灰褐色土 ブロック(黄灰白0.5~1cm(0.2cmの焼土含む)
黒層0.3~1cm(土器片・炭化物を含む)
- 3 灰褐色土 ブロック(明黄褐色1~0.8cm(0.2cmの炭化物含む)
黄灰褐0.2~2cm(0.2cmの焼土含む) 黒層0.5~1cm
淡黒層0.5~2cm)
- 4 黄灰褐色土 ブロック(明黄褐色1~3cm(一部層状 砂粒・焼土含む)
淡黒層0.5~2cm)
- 5 黒褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~5cm(0.5~2cmの炭化物含む)
黄灰褐0.5~1cm(土器片含む)
- 6 明黄褐色土 ブロック(黒層0.2~3cm(0.3~0.8cmの炭化物含む)
黄灰褐0.5~1cm(土器片含む)
- 7 明黄褐色土 ブロック(黄灰白2~5cm(0.2cmの焼土含む)
黒層0.2~1cm) 6層より明るい)
- 8 暗黄褐色土 ブロック(黄灰白1~2cm(灰含む))
- 9 暗灰褐色土 ブロック(黄灰白0.5~3cm(炭化物含む)
黒層0.2~0.5cm(土器片含む))
- 10 明黄灰色土 ブロック(黄灰白0.5~3cm(0.2cmの炭化物含む)
淡黒層0.2~0.5cm(0.3cmの焼土含む) 淡灰2cm)
- 11 灰白色土 ブロック(淡褐2~4cm 明黄褐色1~3cm 黒層0.5~1.5cm)
- 12 暗灰褐色土 ブロック(暗黄褐色0.3~1cm(土器片含む))
淡黒層0.2~0.4cm)
- 13 暗黄褐色土 ブロック(淡黒層0.2~0.4cm)
- 14 淡黒灰褐色土 やや粘質 ブロック(明黄褐色0.5~3cm
(0.2~0.5cmの炭化物・土器片含む))
- 15 暗褐色土 やや粘質 ブロック(明黄褐色0.5~1.5cm)
- 16 淡黒褐色土 ブロック(明黄褐色0.2~0.8cm)
- 17 暗黄褐色土 ブロック(黒層1.5~3cm)
- 18 灰褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)
淡黒層0.5~1.5cm(焼土含む) 灰白0.5~2cm)
- 19 淡黒褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~4cm(0.2cmの焼土含む)
灰白0.2~1.5cm) 16層よりやや明るい)
- 20 黄褐色土 ブロック(淡黒層0.5~2.5cm(0.3cmの炭化物 0.2cmの焼土
土器片含む))

矢印はトレンチの位置

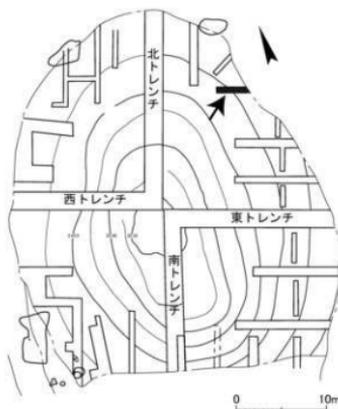
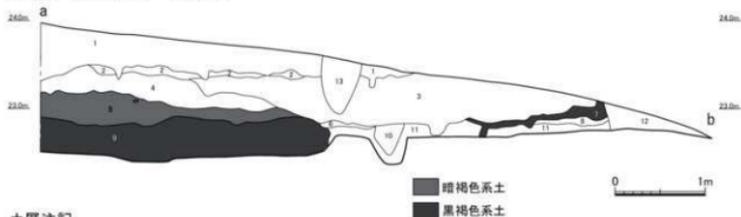


図18 ST1001北壇丘墓 A4トレンチ土層 (S=1/50)

ST1001 A4トレンチ 北壁土層



土層注記

- 1 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(0.3cmの炭化物含む)
黒褐0.5~2cm(0.1~0.2cmの炭土含む))
灰白0.5~1cm(土器片含む)
- 2 褐色土 ブロック(淡黒褐0.5~1cm(0.3cmの炭化物含む)
明黄褐0.5~1cm(土器片含む))1層よりやや暗い
淡黒褐0.5~1cm(土器片含む)
- 3 淡褐色土 ブロック(黄褐0.5~1cm 灰白0.2cm)
淡黒褐0.5~1cm 灰白0.2cm)
- 4 淡褐色土 ブロック(黄灰0.5~4cm(0.5~1.5cmの炭化物含む)
淡黒褐0.5~2cm(土器片含む) 灰白0.2cm)
3層よりやや暗い
- 5 暗褐色土 ブロック(黄褐0.5~3cm(0.3cmの炭化物含む)
明黄褐0.5~1.5cm 淡黒褐1.5~3cm(一部層状))
- 6 淡灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1.3cm(炭化物含む) 灰白0.5cm)
- 7 淡黒灰色土 ブロック(暗褐0.5~1cm(0.3cmの炭化物含む)
明黄褐0.5~1cm(土器片含む) 灰白0.5cm)
- 8 淡灰褐色土 ブロック(淡黒褐1cm 明黄褐0.5~1cm)
6層よりやや暗い
- 9 淡黒灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)
淡黒褐0.5~1cm(土器片含む)
灰白0.3cm) やや粘質
- 10 暗灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm 黒褐0.5~1cm)
- 11 淡灰褐色土 ブロック(淡黒褐0.5~3cm 明黄灰0.5~3cm)
- 12 暗灰褐色土 ブロック(明黄褐0.3~0.5cm(0.3cmの炭化物含む)
灰白0.2cm)

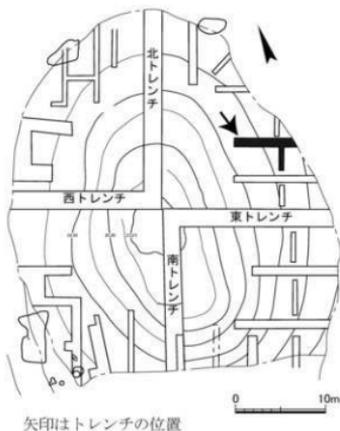
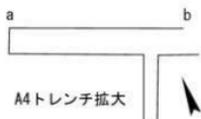
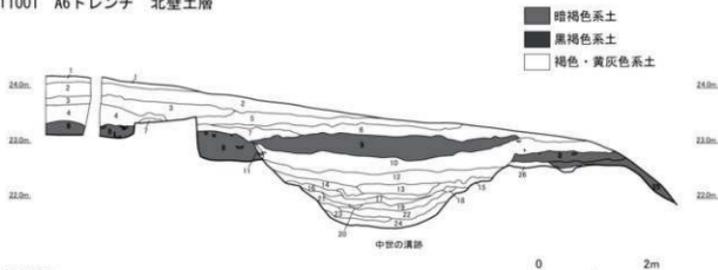


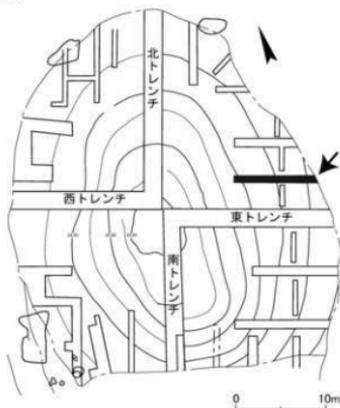
図19 ST1001 北墳丘墓 A6トレンチ土層 (S=1/80)

ST1001 A6トレンチ 北壁土層



土層注記

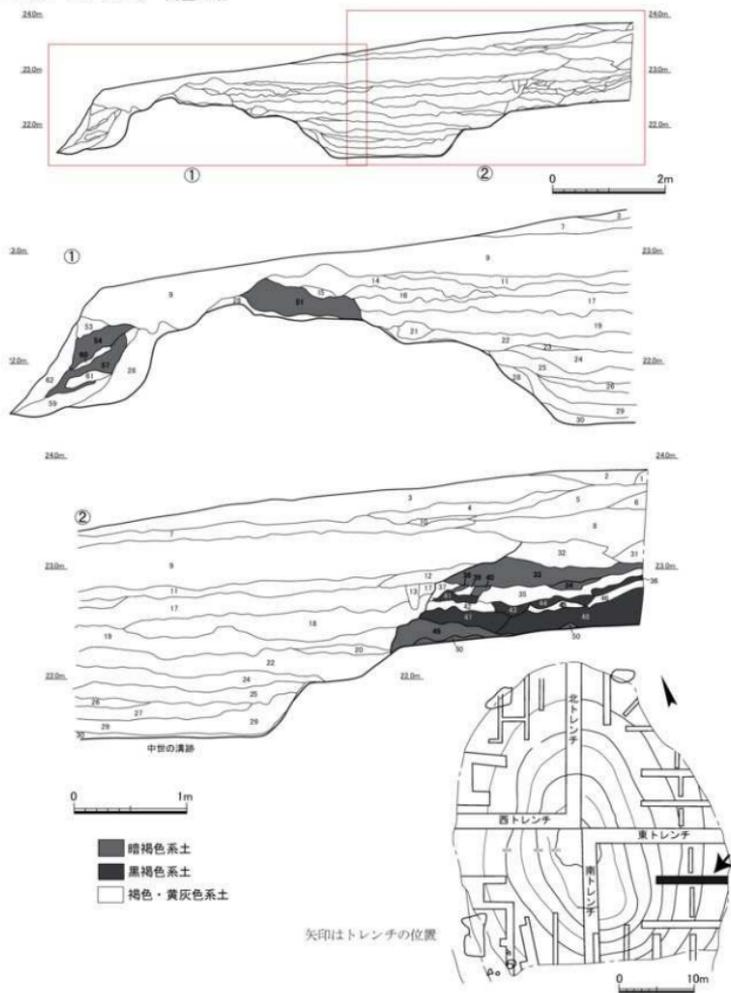
- 1 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(0.2cmの炭化物含む)
黄灰0.3~1cm(0.5~3cmの炭化物含む)
淡黒褐0.5~3cm 淡褐0.5~2cm 灰白0.1~0.2cm)
- 2 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 明黄褐0.3~1cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)
淡黒褐0.5~1cm(0.3~0.5cmの焼土含む)
灰白0.2~1cm)
- 3 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm(0.5~1cmの炭化物含む)
明黄褐0.5~1cm(0.2~0.3cmの焼土含む)
淡黒褐0.5~1cm)
- 4 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1.5cm(0.5~5cmの炭化物含む)
黄褐0.3~0.5cm(0.2~0.3cmの焼土含む)
- 5 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)
淡黒褐0.3~1cm(焼土・土器片含む)
- 6 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(0.2~0.5cmの炭化物含む)
黄灰0.4~1cm(0.2cmの焼土含む) 淡黒褐0.3~0.5cm
灰白0.2~0.5cm)
- 7 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(0.3cmの炭化物含む)
黄灰0.2~0.5cm(0.1~0.2cmの焼土・土器片含む)
- 8 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1cm 灰白0.1~0.5cm(土器片含む)
淡褐0.5~2cm(0.1~0.3cmの炭化物含む)
淡黒褐1~5cm(0.3cmの焼土含む)
- 9 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(0.3cmの炭化物含む)
淡黒褐1~5cm(0.3cmの焼土含む)
黄灰0.5~2cm(土器片含む) 灰白0.2~0.5cm)
- 10 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.2~0.5cm(0.3cmの炭化物含む)
明黄褐0.3~1cm(0.2~0.3cmの焼土含む)
淡黒褐0.3~1cm(土器片含む)
- 11 暗黄褐色土 10層に類似(やや暗い)(土器片含む)
- 12 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.3~3cm(0.3cmの炭化物含む)
淡黒褐0.5~1cm(砂粒含む)
灰白0.1~0.3cm(土器片含む)
- 13 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(土器片含む)
淡黒褐0.5~5cm 灰白0.3cm)
- 14 暗黄褐色土 ブロック(淡黒褐1~5cm(0.3~0.5cmの炭化物含む)
灰白0.2cm(土器片含む)
- 15 淡黒灰褐色土 ブロック(淡黒褐1~5cm(砂粒含む) 明黄褐0.3~1cm
(土器片含む) 灰白0.2cm)
- 16 淡黒灰色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(0.3cmの焼土含む)
黄灰0.5~1cm)
- 17 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.3cm(0.3cmの炭化物含む)
淡黒褐1~1cm(層状 0.2cmの焼土含む) 灰白0.1~0.3cm)
- 18 暗黄褐色土 ブロック(淡黒褐1~3cm(0.5cmの炭化物含む) 灰白0.2cm)
- 19 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(1cmの炭化物含む) 淡黒褐1~5cm(土器片含む)
黄灰3~5cm)
- 20 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.2~0.5cm(0.2cmの炭化物含む))
- 21 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.2cmの焼土含む))
- 22 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.3~0.5cm(0.3~0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.3~0.5cm)
- 23 暗黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm 淡黒褐0.3~1cm)
- 24 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~3cm(一部層状))
- 25 暗褐色土 8層に類似(やや暗い)
- 26 淡黒灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(砂粒含む) 淡褐0.5~2cm(土器片含む)
灰白0.2cm)



矢印はトレンチの位置

図20 ST1001北墳丘墓 B2トレンチ土層 (S=1/80,1/40)

ST1001 B2トレンチ 南壁土層

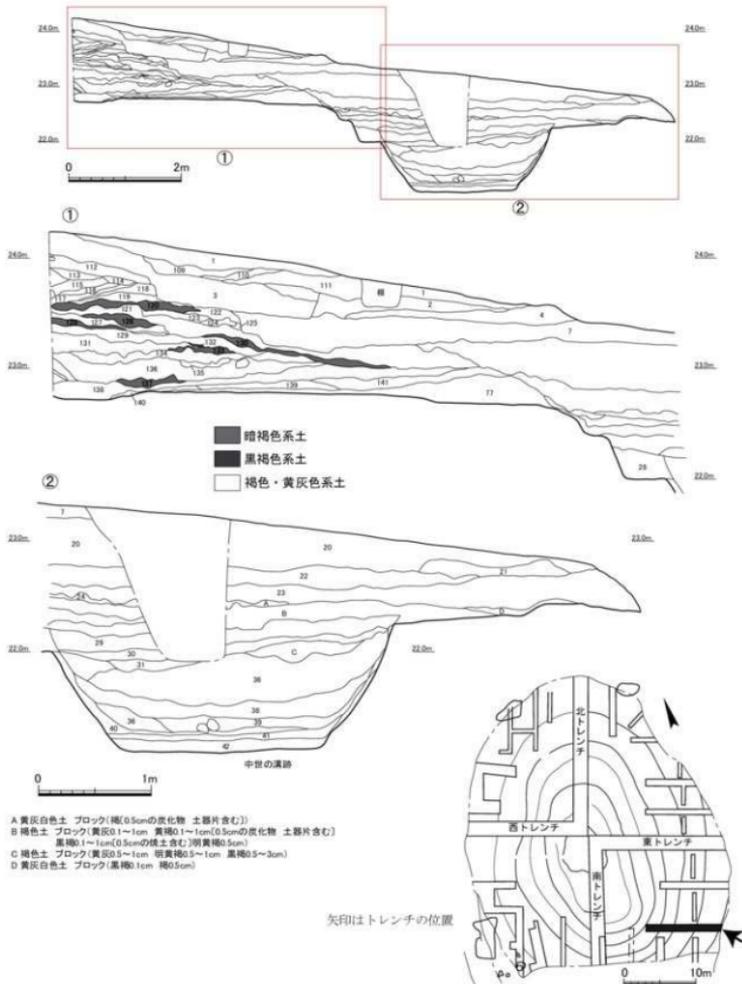


ST1001 B2トレンチ 南壁 土層注記

- 1 黄灰色土 ブロック(黄褐0.5~2cm(0.5cmの炭化物含む) 褐0.5~1cm(0.5~1cmの礫含む) 黒褐0.5~1cm(土器片含む))
- 2 灰褐色土 ブロック(黄灰0.3~2cm(0.3~0.5cmの炭化物含む))
- 3 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.5cmの炭化物含む) 黒褐1~2cm(1cmの礫含む) 黄褐0.5~1cm)
- 4 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 明黄褐0.5~1cm 暗褐0.5~1cm)
- 5 明灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm 明黄褐0.5~1cm 暗褐0.5~1cm)
- 6 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.5cmの炭化物 土器片含む))
- 7 灰褐色土 ブロック(土なし 0.1~0.2cmの砂粒含む)
- 8 灰褐色土 ブロック(黒褐1~2cm 明黄褐1~2cm)
- 9 黄灰褐色土 ブロック(暗黄灰0.3~1cm(土器片 0.5~2cmの礫含む))
- 10 灰褐色土 ブロック(土なし 腐炭の炭化物含む)
- 11 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(土器片含む) 黄褐0.5~2cm)
- 12 灰褐色土 ブロック(黄褐0.5~1cm 黒褐0.3~1cm)
- 13 灰褐色土 ブロック(土なし)
- 14 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm(0.5cmの焼土含む) 明黄褐0.5~1.5cm 黒褐0.5~1cm)
- 15 暗黄灰色土 ブロック(灰褐0.5~1cm)
- 16 暗灰褐色土 ブロック(暗褐1~3cm(0.5cmの焼土含む) 黒褐0.5~2cm)
- 17 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(1~2cmの炭化物含む) 黄褐0.5~1cm 黒褐0.5~5cm)
- 18 暗灰褐色土 ブロック(黒褐1~5cm 黄灰2~5cm 明黄褐1~3cm)
- 19 明灰褐色土 ブロック(黄灰0.3~2cm(1cmの炭化物含む) 明黄褐0.5~2cm(0.5~1cmの礫 0.1cmの砂粒含む))
- 20 明灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 明黄褐1~3cm 黒褐0.3~3cm)
- 21 灰褐色土 ブロック(黒褐2~5cm)
- 22 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(1cmの炭化物 土器片含む))
- 23 灰褐色土 ブロック(土なし)
- 24 暗灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(0.3cmの焼土含む) 黒褐0.5~5cm(0.5cmの炭化物 土器片含む))
- 25 淡黄褐色土 (弱粘土)
- 26 淡黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~20cm 暗褐1~3cm)
- 27 灰褐色土 ブロック(黄灰1~3cm(土器片含む))
- 28 明黄褐色土 (地山土)
- 29 灰褐色土 ブロック(土なし 土器片含む)
- 30 黄灰色土 (泥)
- 31 明黄灰色土 ブロック(明黄褐1~3cm(0.3cmの炭化物含む) 黒褐0.5~3cm(土器片含む))
- 32 黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm(土器片含む) 黄褐0.5~2cm 黒褐0.5~2cm)
- 33 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm(土器片含む) 明黄褐0.5~2cm 黒褐0.2~3cm)
- 34 暗褐色土 33層と同様 黄灰色土が大
- 35 黄灰色土 ブロック(明黄褐1~5cm 黒褐0.5~2cm)
- 36 黒褐色土 ブロック(明黄褐1~5cm)
- 37 黄灰色土 ブロック(黒褐0.5~3cm 明黄褐0.5~3cm)
- 38 暗褐色土 ブロック(明黄褐3cm)
- 39 明黄褐色土ブロック
- 40 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm 黒褐0.5~3cm)
- 41 黒褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm)
- 42 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~2cm)
- 43 黒褐色土 ブロック(黄灰1~5cm 明黄褐1~2cm)
- 44 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm)
- 45 黄灰色土 ブロック(灰白1~3cm)
- 46 黄灰色土 ブロック(黒褐1~5cm(1.5~2cmの礫含む))
- 47 黒褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(土器片含む) 黄褐0.5~3cm)
- 48 黒褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰1~10cm(土器片含む))
- 49 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm(一部礫状 土器片含む) 黒褐0.5~1cm)
- 50 暗褐色土(地山)
- 51 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~3cm(土器片含む))
- 52 暗褐色土 ブロック(黄灰0.3~2cm(0.3cmの焼土含む) 黒褐0.5~1cm)
- 53 明黄灰色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm) 7層に混入
- 54 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~5cm 黒褐0.5~5cm 明黄褐0.5~2cm)
- 55 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 黒褐0.5~2cm 明黄褐0.5~1cm)
- 56 黄灰色土 ブロック(黒褐0.5~1cm(0.5~1cmの礫含む) 明黄褐0.5~1cm(土器片含む))
- 57 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.2~1cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5~3cm(0.3~0.5cmの焼土 土器片含む))
- 58 暗褐色土 ブロック(黄灰2~5cm 明黄褐0.5~5cm)
- 59 明灰褐色土(黄褐色土) ブロック(黄褐0.3~0.5cm 黄灰0.3~2cm 灰白(腐炭 0.3cmの炭化物含む))
- 60 黄灰色土 ブロック(暗褐1~3cm 明黄褐0.3~0.5cm)
- 61 灰褐色土 ブロック(土なし (0.5cmの炭化物 0.3cmの焼土含む))
- 62 黄灰色土 ブロック(暗褐0.3~1cm(3cmの焼土含む) 明黄褐0.3~0.5cm(0.5~1cmの炭化礫含む))
- 63 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~2cm(土器片含む))
- 64 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.3~2cm(0.2cmの炭化物含む))
- 65 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm(0.3~0.5cmの炭化物含む))
- 66 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.3~0.5cm(0.3cmの焼土含む))
- 67 灰褐色土 ブロック(黄灰1cm(1~2cmの炭化物 石含む))
- 68 灰褐色土 ブロック(暗褐0.5~5cm)

図 21 ST1001 北墳丘墓 B4 トレンチ北壁土層 (S=1/80,1/40)

ST1001 B4トレンチ 北壁土層



ST1001 B4トレンチ 南壁土層

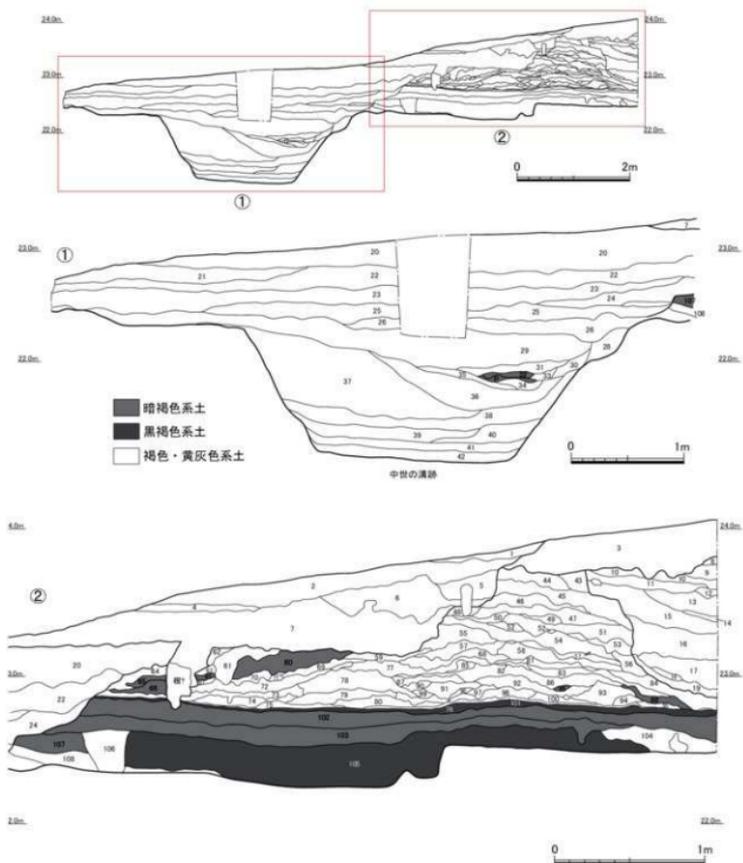


図22 ST1001北墳丘墓 B4トレンチ南壁土層 (S=1/80,1/40,1/30)

ST1001 B4 トレンチ 北壁・南壁

土層注記

- 1 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→2cm
 2 反硝色土 ブロック(黄灰0.5)→2cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→5cm
 黒灰2cm 黄灰0.5→2cm
 3 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黒灰0.5→1cm 黄灰0.5→1cm)
 4 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黄灰0.5→1cm)
 5 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黄灰0.5→1cm)
 6 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→1cm)
 7 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→1cm)
 8 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 土層片含む)
 ※1→は盛り土
 9 黄灰色土 ブロック(明黄灰1)→3cm
 10 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5)→1cm
 11 黄灰色土 ブロック(明黄灰0.5→2cm 黒灰0.5→1cm)
 12 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm 黄7cm 黒灰1cm 明黄灰1cm
 13 黄灰色土 ブロック(明黄灰1cm 黒灰1→3cm 黄灰1→5cm)
 14 黄灰色土 ブロック(明黄灰0.1→1cm 黒灰1→2cm)
 15 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5cm 明黄灰0.1cm)
 16 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm(土層片含む) 暗硝0.5→2cm
 17 黄灰色土 ブロック(明黄灰1)→2cm(土層片含む) 黄灰0.5→1cm 暗硝1→5cm
 18 黄灰色土 ブロック(明黄灰0.3→1cm 黒灰0.3→0.5cm)
 19 黄灰色土 ブロック(黒灰0.3→1cm 明黄灰0.5→1cm 黄灰白0.5cm)
 ※1→はクワンク
 20 褐色土 ブロック(黄灰0.5cm(0.5cmの炭化物含む) 黒硝0.5(0.1cmの硝土含む) 土層片含む)
 21 褐色土 ブロック(黄灰0.5cm 明黄灰0.5→1cm)
 22 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黄灰0.5→1cm)
 23 褐色土 ブロック(黄灰1)→1cm(土層片含む) 明黄灰0.5cm
 24 黄灰色土 ブロック(黒灰1.5→3cm(0.2cmの硝土含む) 明黄灰0.1cm(2→5cmの炭化物 土層片含む)
 25 褐色土 ブロック(黄灰1)→5cm(0.1cmの硝土含む) 暗硝1→2cm
 26 黄灰色土 ブロック(黄灰1→1cm(土層片含む) 黒硝1→1cm)
 27 文層
 28 褐色土 ブロック(明黄灰0.5→2cm(0.1cmの硝土含む) 黒硝1→1cm(0.3cmの炭化物含む)
 29 褐色土 ブロック(黄灰1)→2cm(0.1cmの硝土含む) 黒硝0.5cm(0.1cmの炭化物含む) 黄灰0.5→10cm(土層片含む)
 30 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝1cm)
 31 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→2cm(0.1cmの硝土含む) 黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む)
 32 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.5cmの硝土含む) 黒硝0.5cm)
 33 褐色土 ブロック(黄灰0.1→0.5cm 黄灰0.1→0.3cm)
 P 暗硝色土 ブロック(黄灰1)→5cm 黒硝0.5→1cm
 34 反硝色土 ブロック(黄灰0.1→5cm 黒硝0.1→1cm) 暗硝0.1→0.5cm 黄灰0.1(1cm)
 35 反硝色土 ブロック(黄灰0.1→0.5cm 黄灰0.5(5cm)
 36 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→7cm 黄灰0.5→2cm 黒硝0.3→1cm)
 37 反硝色土 ブロック(黄灰1)→5cm 黄灰1→5cm 黒硝1→3cm 明黄灰1→5cm)
 38 反硝色土 ブロック(黄灰0.5(5cm(5cmの炭化物含む) 黄灰0.5(5cm)
 39 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→1cm 黒硝0.5(1cm)
 40 反硝色土 ブロック(黄灰1)→3cm 暗硝1→3cm)
 41 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→2cm(層状) 暗硝1→3cm 黒硝1→2cm)
 42 黄灰色土(地味)ブロック(黄灰1)→0.5cm 黒硝0.5→1cm)
 ※20→42 層
 43 黄灰色土(地味)ブロック(黄灰0.5cm 黒硝0.5cm)
 44 反硝色土(層状)ブロック(黄灰0.2→0.5cmの硝土含む) 黒硝0.5→3cm 黄灰0.5→5cm)
 45 反硝色土 ブロック(黄灰1)→3cm(0.2cmの硝土含む)
 黄灰0.5→2cm(黄灰0.5→2cm) 暗硝0.5→2cm)
 46 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.5cmの炭化物含む) 暗硝0.5→1cm) 黒硝0.5→1cm)
 47 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.2cmの硝土含む) 黒硝0.5→3cm 黄灰0.5→2cm)
 48 褐色土 ブロック(黄灰1)→0.5cm
 49 反硝色土 ブロック(黄灰1)→4cm 黒硝0.1cm
 50 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 黄灰2→5cm 暗硝1→5cm)
 51 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黒硝0.3cm)
 52 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5cm 暗硝0.1→1cm)
 54 褐色土 ブロック(黄灰1)→2cm(土層片含む) 暗硝0.5→1cm(0.2cmの硝土含む)
 55 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→2cm(0.5cmの硝土含む) 暗硝0.5→2cm)
 56 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→2cm 暗硝0.5→1cm)
 57 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm(土層片含む) 暗硝0.5→1cm)
 58 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰1→5cm 暗硝0.3→1cm)
 59 暗硝色土 ブロック(黒灰0.5→3cm 黄灰0.5→3cm 暗硝0.5→1cm)
 60 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黒灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm)
 61 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 暗硝0.5→0.5cm)
 62 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm)
 63 黄灰色土 ブロック(黒硝0.5→1cm(0.3cmの硝土含む)
 64 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝0.5→1cm)
 65 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰1→3cm)
 66 黄灰色土 ブロック(黄灰0.2→1cm 黄灰1cm)
 68 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→5cm 暗硝1→3cm 黄灰白0.5→3cm)
 69 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→2cm(土層片含む) 黄灰0.5cm
 70 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm)

- 71 ブロック(黄灰1)
 72 褐色土 ブロック(黄灰白0.5→1cm 暗硝0.1→2cm)
 73 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝1cm(層状)
 74 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5cm)
 75 黄灰色土 ブロック(黄灰(層状) 黄灰0.5cm(層状))
 76 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.1cmの炭化物 0.2cmの硝土含む))
 77 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→5cm 黒硝0.2→1cm)
 78 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→5cm 黄灰0.5→6cm 黒硝0.2→2cm)
 79 黄灰色土 ブロック(黒灰0.5cm 黄灰0.5cm)
 80 黄灰色土 ブロック(黄灰1cm 白(石膏)0.1cm)
 81 黄灰色土 ブロック(黄灰1cm 黒硝1cm)
 82 黄灰色土 ブロック(黒灰0.5cm 黒硝1cm)
 83 褐色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 暗硝1cm(層状) 黒硝1→2cm(層状))
 84 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→2cm 黒硝1→4cm 黒硝1cm(層状)
 85 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝0.5→1cm)
 86 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝0.5→1cm 暗硝0.1→2cm)
 87 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝1→1cm)
 88 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→1cm)
 89 暗硝色土 ブロック(黄灰0.1→2cm)
 90 黄灰色土 ブロック(黄灰1cm)
 91 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 暗硝1→2cm)
 92 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5cm(0.5cmの炭化物含む) 暗硝0.5cm)
 93 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.2cmの硝土含む) 暗硝1→2cm)
 94 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm 黄灰0.5cm 暗硝0.5→1cm)
 95 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→5cm(0.1cmの硝土含む) 暗硝0.5cm)
 96 黄灰色土 ブロック(暗硝0.1→0.3cm 黄灰0.5cm)
 97 暗硝色土 ブロック(黄灰白1cm 暗硝0.1→0.2cm)
 98 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5cm 黄灰0.5cm)
 99 黄灰色土 ブロック(黄灰0.1→1cm)
 100 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm 黄灰0.5cm)
 101 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5cm 暗硝0.1→1cm)
 102 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.2cmの硝土含む) 暗硝0.5cm(0.3cmの硝土含む))
 103 暗硝色土 ブロック(黄灰0.1→0.3cm)
 104 褐色土 ブロック(黄灰1)→3cm(1→2cmの炭化物 0.5cmの硝土含む)
 105 褐色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.2cmの硝土含む) 黄灰0.5→1cm)
 106 褐色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm 黄灰白0.1→0.3cm)
 107 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm 黄灰白0.1→0.3cm)
 108 暗硝色土 ブロック(暗硝0.5cm(層状))
 109 反硝色土 ブロック(黄灰0.1→3cm(0.2cmの硝土含む) 黄灰0.5cm 黒硝1cm)
 110 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黄灰0.5cm 黒硝0.5cm)
 111 109
 112 褐色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 黒硝0.5→1cm(0.3cmの硝土含む) 木根によるカラカラ有り)
 113 反硝色土 ブロック(黄灰0.2→3cm 暗硝0.1→1cm 暗硝0.5→1cm)
 114 褐色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.2cm)
 115 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm 暗硝1→2cm)
 116 黄灰色土 ブロック(暗硝1→3cm(層状) 暗硝1→2cm)
 117 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm)
 118 黄灰色土 ブロック(暗硝1→3cm(層状) 暗硝1→2cm)
 119 黄灰色土 ブロック(暗硝0.5→3cm(0.5cmの炭化物含む) 暗硝0.5→3cm)
 120 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 黄灰0.5→1cm 黄灰0.5→5cm)
 121 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 暗硝0.5→1cm)
 122 黄灰色土 ブロック(黄灰1)→3cm 暗硝0.2→1cm)
 123 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm(0.5cmの硝土含む) 黄灰白0.5→1cm)
 124 褐色土 ブロック(暗硝1→3cm(0.1cmの硝土含む) 黄灰1→2cm)
 125 ブロック(黄灰白)
 126 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝0.5→2cm)
 127 黄灰色土 ブロック(暗硝0.2→0.5cm 黄灰白0.5cm)
 128 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm)
 129 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→5cm)
 130 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm)
 131 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→2cm)
 132 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5cm)
 133 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 暗硝1→3cm)
 134 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→5cm 暗硝0.5→5cm)
 135 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝1→2cm)
 136 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝1→2cm)
 137 暗硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 黄灰0.5→1cm)
 138 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→5cm 黄灰0.5→5cm)
 139 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 黒硝0.3→3cm 暗硝0.5cm)
 140 褐色土 ブロック(黄灰白0.5→1cm(0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.5→1cm)
 141 黄灰色土 ブロック(黄灰白0.5→2cm 暗硝0.5→5cm 黄灰0.5→5cm)
 142 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝0.1→4cm 暗硝0.5cm 黄灰0.5→2cm)
 143 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→2cm 黄灰0.5→1cm)
 144 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm(0.5cmの炭化物含む) 暗硝0.5→1cm(0.1cmの硝土含む) 黄灰0.5→5cm)
 145 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→1cm 暗硝0.5→5cm 黄灰0.5→5cm)
 146 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→5cm(土層片含む) 暗硝0.5→5cm 黒硝0.5→1cm)
 147 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝0.5→1cm(層状) 黄灰0.5→1cm)
 148 反硝色土 ブロック(黄灰0.5→3cm 暗硝0.1→7cm 黄灰0.5→2cm 黄灰白0.5→2cm)
 黄灰白0.5→2cm 暗硝0.5→2cm

図 23 ST1001 北垣丘墓 B6 トレンチ土層 (S-1/30)

と暗褐色土がほぼ水平に約0.5m堆積し、その上に細かい単位の盛土が累積して小丘状に堆積している。トレンチ右端（西端）の掘り込み（3層、8～19層）はカクランの可能性がある。

B4 トレンチ 北壁土層（図22）

トレンチ右側（西側）は中世の溝跡である。トレンチ左側（西側）では、単位の小さい盛土が累積して小丘状に堆積しており、南壁土層と一連のものとみられる。

B6 トレンチ 西壁・北壁・東壁土層（図23）

トレンチ下部に褐色土、黒褐色土、暗褐色土がほぼ水平に堆積している。西壁ではその上に北から南へ緩やかに傾斜しながら黄灰色系の土が堆積している。北壁の1～4層はカクランとみられる。

B7 トレンチ（図24）

トレンチ下部に暗褐色土が0.6mほど水平に堆積し、その上に黒褐色の薄い層が堆積している。さらにその上に黄灰・黄褐色系の土と暗褐色系の土が南から北へ傾斜するように堆積しており、全体として小丘状をなしている。

C4 トレンチ（図25）

基盤は褐色系の土が約0.3mの厚さで堆積している。トレンチ北側部分（①・②）では、細かい単位の土が幅約2m、高さ約1mほどの小丘状に堆積している

C1 トレンチ（図26）

C2 トレンチ（図27）

東壁の中央はカクランで削平されている。トレンチ南側（東壁右側）は地山が露出している。

C3 トレンチ（図28）

D2 トレンチ（図29）

中世の溝跡部分である。上層の1～4層は灰褐色土で、その下は暗褐色と褐色、明褐色系の土が緩やかなレンズ状に堆積している。

D4・D5 トレンチ（図30）

いずれも下部に黒褐色系土が0.3～0.4mの厚さで堆積している。

D6 トレンチ 東壁土層（図31）

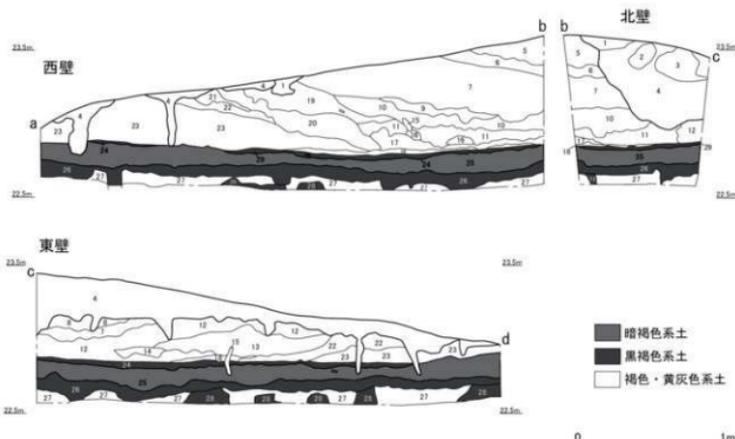
トレンチ北側（図の左側）は中世の溝跡である。

（2）遺構

A ST1001 北墳丘墓内の甕棺墓

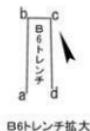
ST1001 北墳丘墓の内部から出土した甕棺墓は計14基で、所属時期は中期前半新段階（没田式新相）から中期後半新段階（須玖式新相）である。これらの墓坑は、全て墳丘盛土の上面から掘り込まれていることが確認されている。中世期に山城として利用されていることに加え、その後の削平や土圧等により棺体が破壊されているものがほとんどである。なお、14基全てが大型の甕と甕を合わせた成人用複式棺であり、一般墓地の同時期の甕棺と比べて法量がひとまわり大きい。また、14基全ての棺の内外面には黒塗りが施されているほか、6基の甕棺内からは水銀朱とみられる赤色顔料が検出されている。以下、各遺構についてみていく。

ST1001 B6トレンチ土層

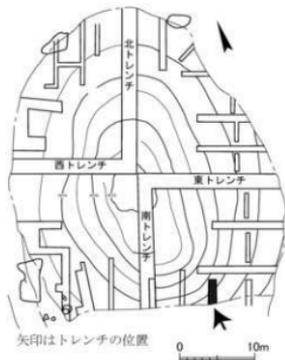


土層注記

- 1 黄灰色土 ブロック波瀾幅0.2~0.5cm(0.2cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~1.5cm(0.2cmの積土含む) 灰白1cm
- 2 黄灰白色土 ブロック明黄褐色0.5~1.5cm(0.2~0.5cmの炭化物含む) 波瀾0.5~1cm
- 3 黄灰白色土 ブロック波瀾幅2~1cm(0.3~1cmの炭化物含む) 明黄褐色0.5~1.5cm(0.2cmの積土含む) 波瀾幅1.5~2cm
- 4 灰褐色土 ブロック黄灰1.5~3cm(0.5~1cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~1cm(0.2cmの積土含む) 波瀾0.3~1.5cm(土器片含む)
- 5 黄灰色土 ブロック波瀾幅1.5~2.0cm(0.5cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~3.0cm(0.3cmの積土含む) 明黄褐色0.2~0.5cm
- 6 黄灰色土 ブロック波瀾幅0.5~1cm(0.3~1.5cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~1.5cm(0.1cmの積土含む)
- 7 黄灰色土 ブロック波瀾幅0.5~0.8cm(0.3~0.5cmの炭化物含む) 波瀾幅0.3~3cm(0.2~0.5cmの積土含む) 灰白0.5~1cm
- 8 黄灰色土 (6層に類似)
- 9 黄灰色土 ブロック波瀾幅0~2.0cm(0.2cmの炭化物含む) 波瀾0.5~1.5cm 明白色0.2cm
- 10 黄灰色土 ブロック波瀾幅0.5~3cm(0.2~0.3cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~4cm(0.2cmの積土含む)
- 11 黄灰色土 ブロック波瀾幅2.0~5cm(0.2cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~8cm(0.2cmの積土含む)
- 12 黄灰色土 ブロック波瀾幅0.5~2cm 波瀾2.0~4cm 灰白0.2cm
- 13 黄灰色土
- 14 黄灰白色土ブロック (灰白0.2cmを含む)
- 15 灰褐色土ブロック
- 16 波瀾褐色土ブロック (波瀾3cmを含む)
- 17 黄灰色土
- 18 黄灰白色土層状ブロック
- 19 黄灰色土 (9層に類似)(0.2~0.3cmの炭化物含む)
- 20 黄灰色土
- 21 黄灰白色土 ブロック波瀾幅0.5~1cm(0.2cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~1cm
- 22 黄灰色土 ブロック波瀾幅ブロックが比較的多い)
- 23 黄灰色土
- 24 波瀾褐色土 ブロック黄灰2~3cm(0.2cmの炭化物含む) 明黄褐色0.5~1cm
- 25 暗褐色土 ブロック波瀾幅0.5~1cm(0.3~0.5cmの炭化物含む) 灰白0.3cm(土器片含む)
- 26 黒褐色土 ブロック明黄褐色2~0.5cm(0.3~0.5cmの炭化物含む) 灰白1cm(土器片含む)
- 27 褐色土 ブロック明黄褐色0.5~2cm(0.2~0.4cmの炭化物含む) 波瀾幅0.5~2cm(土器片含む)
- 28 波瀾褐色土 ブロック明黄褐色0.5~1cm(0.5~1cmの炭化物 0.2cmの積土 土器片含む)



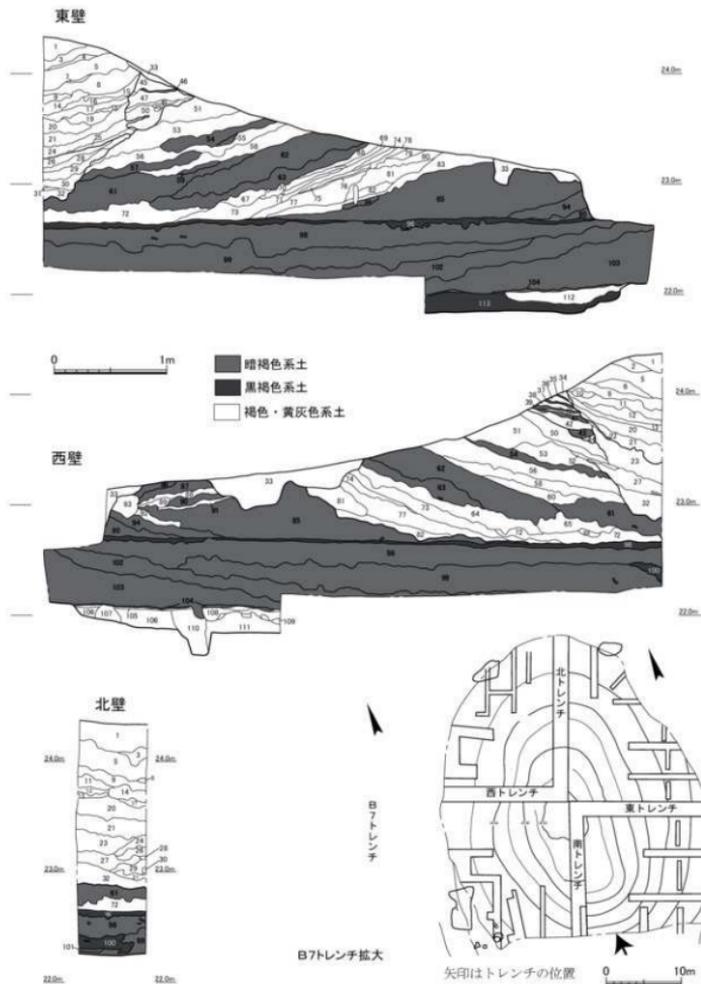
B6トレンチ拡大



矢印はトレンチの位置

図24 ST1001北壇丘墓 B7トレンチ土層 (S=1/40)

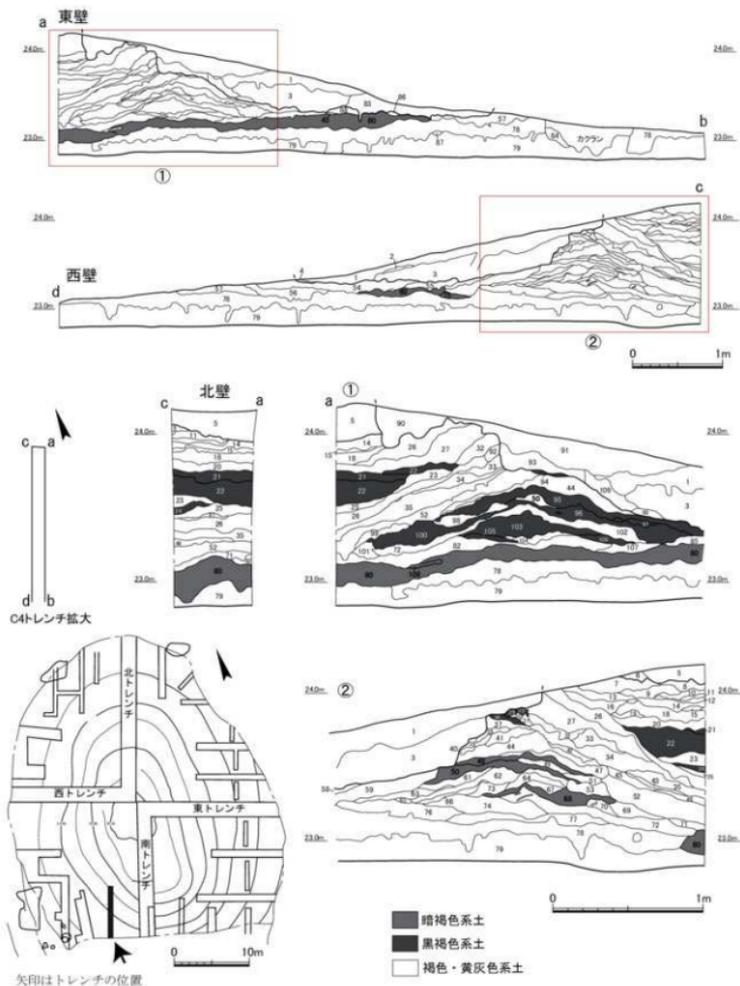
ST1001 B7トレンチ土層



ST1001 B7トレンチ西・東・北壁 土層注記

- 1 黄灰色土 ブロック(深埋0.5~1cm(1cmの確含む)) 明黄褐色 0.3~4cm
 2 黄灰色土 ブロック(黄褐色1~1.5cm(0.5~1cmの確含む)) 灰白0.5~1.5cm
 3 明黄褐色土 ブロック(黄褐色0.5~2cm 深埋0.5~3cm 埋積0.5~1cm)
 4 淡褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm(0.1cm以下の砂粒確含む)) 黄灰0.3~4cm
 5 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm(0.5~1cmの確含む)) 灰白0.3~4cm
 黒埋0.5~1.5cm
 6 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 灰白1~4cm 黄褐色0.5~1cm 黒埋0.5cm)
 7 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm)
 8 褐色土 ブロック(黄褐色1~2cm 黄灰0.5~1cm(一部腐状) 黒埋0.5~1.5cm
 黄埋0.5~1cm)
 9 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~10cm 灰白0.5~5cm 黄埋1~3cm)
 10 黄灰色土 ブロック(黒埋0.3~1cm 明黄褐色0.3~1.5cm)
 11 褐色土 ブロック(黄褐色0.5~1.5cm 黄灰0.3~2cm 埋積1~3cm 黒埋0.5~1cm)
 12 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 灰白1~3cm)
 13 淡褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 灰白0.5~1cm 埋積0.3~0.5cm)
 14 黄灰色土 ブロック(明黄褐色1~20cm 黄埋1~4cm 埋0.5~1cm)
 15 明黄褐色土 ブロックなし
 16 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm)
 17 明黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黒埋1cm)
 18 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm)
 19 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.3~2cm 黒埋0.3~0.5cm)
 20 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~10cm 黄埋0.3~2cm
 灰白0.5~3cm 黒埋0.3~2cm)
 21 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.3~5cm 黄埋0.5~10cm 黒埋0.5~1cm)
 22 暗褐色土 ブロック(黄灰0.3~0.5cm)
 23 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.3~2cm 黒埋0.3~1cm(0.5~1cmの確含む)
 灰白1~2cm(1cmの炭化物確含む))
 24 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm (0.5~2cmの炭化物確含む))
 25 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5~2cm)
 26 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黄埋1~5cm 黒埋1cm)
 27 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.3~5cm(一部腐状) 黒埋0.5~2cm
 0.5cmの炭化物確含む)
 28 淡褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黄灰0.5~3cm 黒埋0.3~1cm)
 29 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 埋積0.5~1cm 黒埋0.3~0.5cm)
 30 淡褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1.5cm 黄灰0.5~1cm 黄埋0.5~1cm)
 31 褐色土 ブロック(明黄褐色1~3cm 黒埋0.5~5cm)
 32 褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm 明黄褐色0.3~3cm 埋積0.5~2cm 黒埋0.3~4cm)
 33 反褐色土 カガラシ ブロック(明黄褐色 黄灰 黄埋 黒埋)
 34 黄灰色土 ブロックなし
 35 暗褐色土 ブロック(黄灰10cm)
 36 黄灰色土 14層と同じ
 37 暗褐色土 35層と同じ(土器片含む)
 38 黄灰色土 34層と同じ
 39 暗褐色土 35層と同じ
 40 黄灰色土 ブロック(明黄褐色1cm)
 41 暗褐色土 ブロック(明黄褐色1~2cm)
 42 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 埋積0.5~1cm)
 43 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 黒埋0.5~1cm)
 44 黄灰色土 ブロック
 45 黄灰色土 ブロック(明黄褐色1cm)
 46 暗褐色土 35層と同じ
 47 黄灰色土 ブロック(深埋0.3~1cm 明埋0.5~2cm 埋積0.5~1cm)
 48 黄灰色土 ブロックなし
 49 黄灰色土 ブロック
 50 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黄灰1~5cm 埋積1~2cm 黒埋1~2cm)
 51 黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.3~3cm 埋積0.3~1.5cm 黄灰0.3~2cm 黒埋0.3~1cm)
 52 明褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黒埋0.3~2cm)
 53 黄褐色土 ブロック(黄灰の量が91層より少ない)
 54 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黄灰0.3~2cm 黒埋0.5~2cm)
 55 暗褐色土 ブロック(4層より黄灰の量が多い)
 56 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~5cm 黄灰0.3~5cm 黒埋1~3cm)
 57 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 黄灰0.5~2cm(一部腐状) 黒埋1~2cm)
 58 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 黄灰1~4cm 黒埋1~2cm)
 59 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黄灰0.3~3cm)
 60 暗黄褐色土 ブロック(黄埋0.5~5cm 埋積1~2cm 黒埋1~2cm)
 61 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm(1cmの炭化物確含む)) 黄灰0.3~3cm
 埋1~3cm(一部腐状) 黒埋1~2cm)
 62 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~5cm 黄灰1~3cm 埋積0.5~2cm)
 63 暗褐色土 砂面に埋積 黄灰の量が多い
 64 黄灰色土 ブロック(明黄褐色1~3cm 黒埋0.5~2cm)
 65 黄褐色土 ブロック(明黄褐色2~5cm 黄灰2~3cm 黒埋1~3cm)
 66 暗黄褐色土 ブロック
 67 黄灰色土 64層と同じ 黄灰の量が多い
 68 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黒埋0.5~1cm)
 69 黄灰色土 ブロックなし
 70 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm)
 71 暗黄褐色土 ブロック(埋積0.5~1cm)
 72 ブロック黄灰0.3~1.5cm 明黄褐色0.3~1.5cm 黒埋 0.3~1.5cm 埋積0.3~1.5cm)
 73 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 埋積1~2cm)
 74 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(一部腐状))
 75 明黄褐色土
 76 暗黄褐色土 74層と同じ
 77 黄灰色土(地山土) ブロック(明黄褐色1~3cm(0.5~1.5cmの炭化物確含む)
 埋積1~2cm)
 78 暗黄褐色土 ブロック(黒埋)
 79 黄灰色土 ブロック(淡黄埋1~3cm 黒埋0.5~1cm(一部腐状))
 80 暗黄褐色土 ブロック(黄埋1~3cm 黒埋0.3~3cm)
 81 黄灰色土 ブロック(淡黄埋0.5~2cm(0.5~1cmの炭化物確含む)) 黄埋1~5cm
 黒埋0.5~2cm)
 82 暗黄褐色土 ブロック(淡黄埋0.5~3cm 黒埋1~3cm)
 83 暗黄褐色土 82層に類似 黒埋の量が多い
 84 暗褐色土 ブロック(黄埋0.5~3cm 黄灰0.5~2cm)
 85 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~10cm(土器片含む)) 明黄褐色0.5~5cm
 (1cmの炭化物確含む) 黄埋0.5~2cm(0.5~1cmの確含む) 黒埋1~2cm)
 86 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黄灰1~2cm)
 87 暗褐色土 黄灰0.5~1cm(土器片含む) 黄埋0.5~1cm)
 88 黄灰色土 ブロック(黄埋0.3~3cm 埋積0.3~3cm)
 89 淡黄褐色土 ブロック(明黄褐色1~2cm 埋積0.5~1cm)
 90 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(一部腐状) 明黄褐色0.5~1.5cm)
 92 明黄褐色土 ブロック(黒埋1~4cm)
 93 黄灰色土 ブロック
 94 暗褐色土 ブロック(黄灰0.3~2cm(0.5~1cmの炭化物確含む))
 明黄褐色0.3~1.5cm(0.3cmの粘土含む)
 95 暗褐色土 ブロック(黄灰0.3~4cm(0.3~0.5cmの炭化物確含む))
 明黄褐色0.5~3cm(0.3~0.5cmの炭化物確含む)
 96 黄褐色土(粘質)
 97 暗黄褐色土(粘質?)
 98 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.3~1cm (0.5~1cmの炭化物 土器片 鉄分を含む))
 99 暗褐色土 ブロック(黄埋0.5~1.5cm(0.5~1cmの炭化物 土器片を含む))
 100 黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm(土器片 0.3~0.5cmの炭化物
 0.2~0.5cmの粘土 1cmの確含む))
 101 暗褐色土 ブロック(黄埋0.3~2cm)
 102 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.3~0.5cm (0.3~1cmの炭化物確含む))
 103 暗褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~1.5cm(0.3~3cmの炭化物確含む))
 104 暗褐色土 (粘質・泥)
 105 明黄褐色土 (泥)
 106 暗黄褐色土 ブロック(黒埋0.5~3cm(一部腐状))
 107 明黄褐色土 ブロック(埋積0.5~1cm)
 108 明黄褐色土 (6層と同じ)
 109 暗黄褐色土 ブロック (埋積1cm)
 110 明黄褐色土 ブロック(埋積0.5~2cm(一部腐状))
 111 明黄褐色土(地山土?)
 112 明黄褐色土 ブロック(黒埋0.5~1cm(一部腐状))
 113 黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm(一部腐状))

ST1001 C4トレンチ



ST1001 C4 トレンチ

土層注記

- 1 灰褐色土 カクラン ブロック(黄灰0.5~1cm 明黄褐色0.5~1cm)
 2 灰褐色土 カクラン ブロック(黄灰0.5~3cm)
 3 暗灰褐色土 カクラン ブロック(反白質1~5cm(0.5cmの炭化植物含む) 明黄褐色1~10cm 黒褐色0.5~5cm)
 4 黄灰色土 腐植基質 ブロック(暗褐0.5~2cm 明黄褐色0.5~2cm) 壁1
 5 灰褐色土 反白基質 ブロック(黄灰0.5~2cm) 壁1
 6 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~1cm 暗黄褐色1~2cm)
 7 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~1cm 暗黄褐色1~2cm)
 8 暗黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~1cm 明黄褐色0.5~5cm 黄灰1~3cm)
 9 黄灰色土 ブロックなし
 10 暗黄灰色土
 11 暗黄灰色土
 12 黄灰白色土
 13 暗黄灰色土 ブロック(暗褐1~2cm 黒褐色0.5~1cm)
 14 暗黄灰色土 ブロック(黒褐0.5~1cm 黄褐色0.5~2cm(1cmの炭化植物含む) 明黄褐色0.5~1cm)
 15 淡褐色土ブロック
 16 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.3~1.5cm 黒褐1cm)
 17 灰白色土ブロック
 18 黄灰色土 ブロック(黒褐)
 19 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm)
 20 黄灰色土 ブロック(明黄褐色)
 21 淡黒褐色土ブロック(黄灰0.5~1cm)
 22 淡黒褐色土ブロック(黄灰0.5~3cm 暗褐0.5~1cm 明黄褐色1~3cm 黄褐(層状))
 23 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 黒褐色0.5cm)
 24 淡黒褐色土
 25 明黄褐色土ブロック(黄灰)
 26 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~4cm 黒褐色0.5~1cm)
 27 フラック構造 ブロック(明黄褐色1~3cm 黄灰0.5~2cm 黒褐1~3cm 暗褐0.4~4cm)
 28 黒褐色土ブロック
 29 淡黒褐色土ブロック
 30 灰白白色土ブロック
 31 淡褐色土ブロック
 32 黄灰白色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm)
 33 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 淡黒褐色0.5~1cm 黒褐0.5~2cm)
 34 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm(1cmの骨殖含む) 黄灰(層状) 黒褐0.5~3cm)
 35 黄灰色土 ブロック(明黄褐色1~3cm(土器片含む))
 36 淡黒褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm)
 37 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm)
 38 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm(0.1cmの粘土含む) 黒褐(土器片含む))
 39 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm)
 40 黄灰色土 ブロック(黄灰0.1~0.5cm(0.5cmの炭化植物含む) 暗褐0.5~2cm)
 41 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5~3cm 黒褐0.5~3cm 暗褐0.5~2cm)
 42 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 黒褐0.5~1cm 暗褐0.5~2cm)
 43 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 黄灰0.1~0.5cm 黒褐0.1~0.5cm 暗褐0.1cm)
 44 褐色土 ブロック(黄灰0.5~2cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~4cm(0.1~0.3cmの粘土含む) 明褐0.5~2cm(土器片含む) 黄灰0.1~1cm)
 45 黄灰色土 ブロック(黄灰0.5~2cm 黒褐0.5~2cm 暗褐0.5~2cm)
 46 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黄灰0.5~2cm 黒褐0.1~1cm)
 47 明黄褐色土 ブロック(暗1~5cm(0.5cmの炭化植物含む) 黒褐1~7cm 黄灰1~3cm)
 48 暗褐色土 ブロック(黄灰0.1~2cm 黒褐0.5cm 暗0.5~3cm)
 49 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5cm(0.5cmの炭化植物含む))
 50 暗褐色土 ブロック(黄灰0.1~3cm(0.1cmの粘土含む) 黄灰0.1~0.5cm 明黄褐色0.1cm)
 51 褐色土 ブロック(黄灰0.1~2cm(0.3cmの粘土含む) 黄灰0.5~1cm)
 52 黄褐色土 黄灰0.1~2cm(3cmの骨殖含む) 暗1~2cm
 53 黄褐色土 ブロック(明黄褐色1~5cm 黄灰0.1~0.5cm 暗1cm 黒褐0.5cm)
 54 灰白色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黄灰0.5~1cm(1cmの炭化植物含む) 黒褐0.5~1cm)
 55 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黄灰0.5~1cm 黒褐0.5cm)
 56 褐色土 ブロック(淡黄褐1~3cm(0.5cmの粘土含む) 黄褐1~2cm 黒褐1~2cm 黄灰0.5~1cm)
 57 褐色土 ブロック(暗褐1cm(0.1~0.3cmの粘土含む) 黒褐0.1~0.3cm(0.5cmの炭化植物含む) 黒褐0.1~0.3cm(0.5cmの炭化植物含む))
 58 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黄灰0.5~1cm 黒褐0.5cm)
 59 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黄灰0.5~1cm 黒褐0.5cm) 黄灰0.5~2cm(0.1cmの粘土含む) 黒褐0.1~0.5cm)
 60 暗褐色土 ブロック(黒褐0.1~1cm(0.5cmの炭化植物含む) 暗0.5~2cm(0.1cmの粘土) 土器片含む)
 61 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 明黄褐色0.5cm(0.5cmの炭化植物含む) 黒褐0.5cm)
 62 黄褐色土 ブロック(暗1~7cm 黒褐0.1~0.3cm)
 63 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.3cmの炭化植物含む) 黒褐0.5~2cm(0.5cmの粘土) 土器片含む)
 64 褐色土 ブロック(明黄褐色0.1~0.3cm(0.1~0.5cmの粘土含む) 黒褐0.1~0.3cm(0.1~0.5cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~0.5cm)
 65 褐色土 ブロック(黄灰0.5cm 黒褐0.1cm)
 66 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm 黒褐0.5~1cm(1cmの炭化植物含む))
 67 褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(0.3cmの炭化植物含む) 明黄褐色1~3cm)
 68 暗褐色土 ブロック(黄灰0.1~3cm(層状 0.5cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~1cm 黒褐1cm)
 69 褐色土 ブロック(黄灰0.1~7cm 黄灰1~2cm(1cmの炭化植物含む) 黒褐0.1cm)
 70 褐色土 ブロック(黄灰0.1cm(0.5cmの炭化植物) 土器片含む)
- 71 褐色土 ブロック(明黄褐色1~3cm 黄灰1~2cm 黄灰0.5~1cm)
 72 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 明黄褐色1~2cm(0.3cmの粘土含む) 黄灰1~3cm(土器片含む))
 73 褐色土 ブロック(黄灰0.1~1cm(0.5cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~0.5cm)
 74 褐色土 ブロック(黄灰1~2cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 黄灰1~2cm(0.5cmの粘土) 土器片含む)
 75 暗褐色土 ブロック(暗1~2cm(0.5cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~3cm(0.1cmの粘土含む))
 76 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.1~0.5cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~1cm(0.5cmの粘土含む))
 77 褐色土 ブロック(黄灰1cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 黄灰0.1~1cm(0.1cmの粘土) 土器片含む)
 78 淡褐色土 ブロック(黒0.5cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 明黄褐色0.1cm(0.1~0.3cmの粘土含む))
 79 褐色土 ブロック(黒褐1~2cm(3cmの炭化物) 土器片含む)
 80 暗褐色土 地山土ブロック(黄灰0.5~2cm(2cmの炭化物) 土器片含む))
 81 明黄褐色土 (褐色土ブロック)
 82 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1cm(0.5~1cmの炭化植物含む) 黒褐0.5~1cm)
 83 黄灰色土ブロック 明黄褐色1~3cm(0.5cmの粘土含む) 黄灰0.5~1cm(土器片含む) 黒褐0.5cm)
 84 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm(0.1cmの粘土含む) 明黄褐色0.5~1cm)
 85 淡黒褐色土ブロック
 86 褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~4cm(0.5cmの炭化植物含む) 淡黒褐0.5~1cm)
 87 淡褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~2cm 淡黒褐0.5~1.5cm(0.5cmの粘土含む))
 88 黄灰色土ブロック
 89 明黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1.5cm(0.3cmの粘土含む) 淡黒褐0.5~1.5cm)
 90 暗黄褐色土 ブロック(黄灰0.5~1.5cm 淡黒褐0.5~1.5cm)
 91 灰褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm 明黄褐色0.5~1.5cm 淡黒褐0.1~1.5cm(0.2cmの炭化植物含む))
 92 黄褐色土 ブロック(明黄褐色0.5~3cm 反白0.5~1.5cm 淡黒褐0.5~1cm)
 93 黄灰色土 ブロック(淡黒褐0.5~3cm)
 94 黄灰色土 ブロック(明黄褐色0.5~1cm 黒褐0.5~1cm)
 95 淡黒褐色土 ブロック(反白0.5~1cm 明黄褐色0.5~1cm)
 96 黄灰色土 ブロック(反白1~2cm(0.5cmの炭化植物含む) 明黄褐色(層状))
 97 黄灰色土 ブロック(暗褐0.5~1cm(0.3cmの炭化植物含む) 淡黒褐0.5~1cm(0.3cmの粘土) 土器片含む)
 98 黄褐色土土ブロック(暗黄褐色0.5~2.5cm(0.3cmの炭化植物含む))
 99 黄褐色土土ブロック(暗黄褐色0.5~2cm 淡黒褐1~2cm)
 100 淡黒褐色土 ブロック(黄灰0.5~3cm)
 101 黄褐色土土ブロック
 102 黄褐色土土ブロック(淡黒褐0.5~1cm(0.5cmの炭化植物含む) 明黄褐色0.2~3cm)
 103 淡黒褐色土 ブロック(明黄褐色1.5~5cm(一部層状) 土器片含む)
 104 暗灰白色土ブロック
 105 淡黒褐色土土ブロック(黄灰0.1~1.5cm)
 106 黄褐色土土ブロック(明黄褐色1~3cm 黄灰0.5~2cm)
 107 暗灰褐色土土ブロック(明黄褐色0.5~1cm(0.2cmの炭化植物含む) 反白0.5~1cm(0.3cmの粘土含む))
 108 暗褐色土土ブロック(黄灰1~4cm)
 109 暗褐色土 カクラン土 4層1層(疑似)

図 26 ST1001 北畑丘墓 C1 トレンチ土層 (S-1/50)

ST1001 C1トレンチ 東壁土層

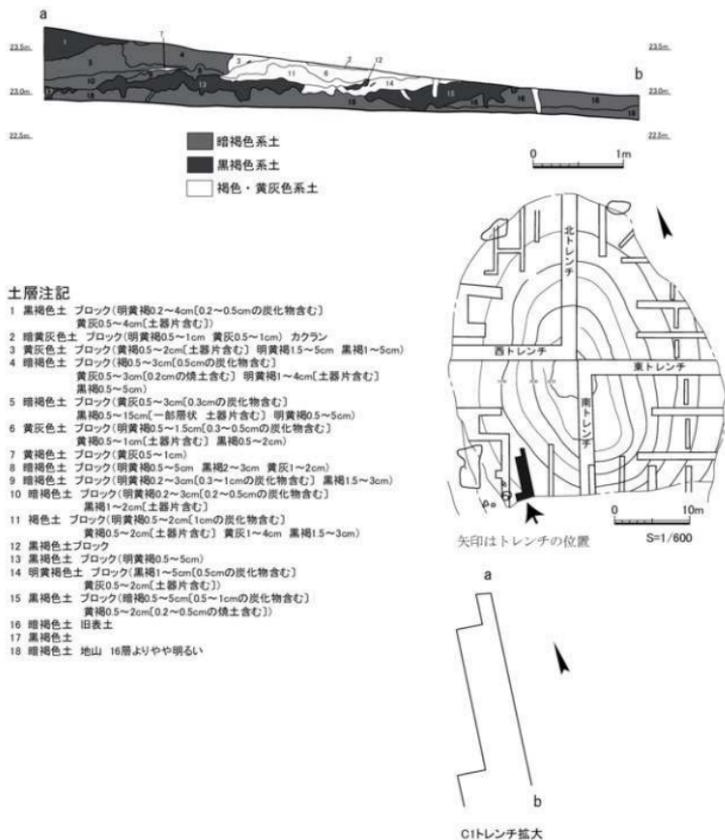
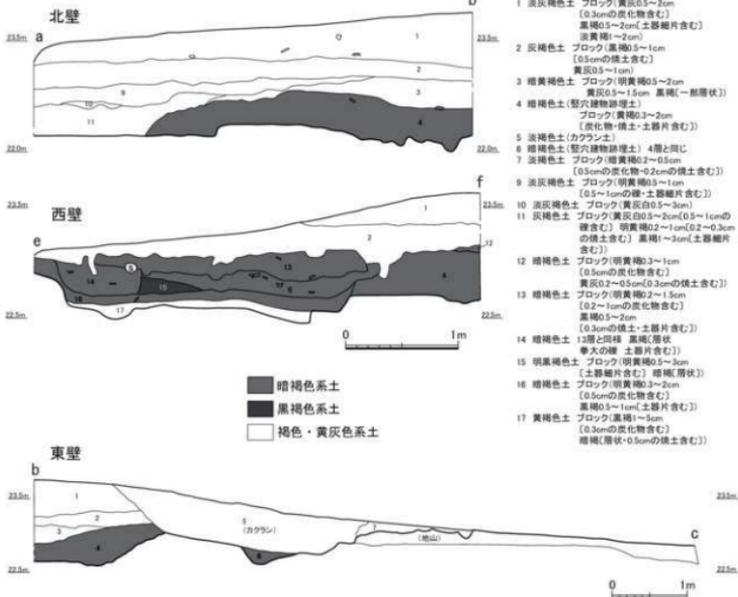


図27 ST1001北墳丘墓 C2トレンチ土層 (S=1/40,1/60)

ST1001 C2トレンチ 土層



土層注記

- 1 淡灰褐色土 ブロック黄灰0.5~2cm
〔0.3cmの炭化物含む〕
黒褐色0.5~2cm〔土器細片含む〕
黒炭層(→3cm)
- 2 灰褐色土 ブロック(黒褐色)0.5~1cm
〔0.5cmの焼土含む〕
黄灰0.3~1cm
- 3 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐色)0.5~2cm
黄灰0.5~1.5cm 黒褐色(一部層状)
- 4 暗褐色土(壁穴跡物跡埋土)
ブロック(黄褐色)0.3~2cm
(炭化物・焼土・土器片含む)
- 5 淡褐色土(カクラン土)
- 6 暗褐色土(壁穴跡物跡埋土) 4層と同じ
黄灰0.3~1cm 土器細片含む
〔0.5cmの炭化物+0.2cmの焼土含む〕
- 7 淡灰褐色土 ブロック(明黄褐色)0.5~1cm
(0.3~1cmの壁・土器細片含む)
- 8 淡灰褐色土 ブロック(黄灰)0.5~3cm
- 9 淡灰褐色土 ブロック(黄灰)0.3~2cm(0.3~1cmの
焼土含む) 明黄褐色0.2~1cm(0.2~0.3cm
の焼土含む) 黒褐色(→3cm〔土器細片
含む〕)
- 10 暗褐色土 ブロック(明黄褐色)0.3~1cm
(0.3cmの炭化物含む)
- 11 暗褐色土 ブロック(明黄褐色)0.2~1.5cm
(0.2~1cmの炭化物含む)
黒褐色0.5~2cm
(0.3cmの焼土・土器片含む)
- 12 暗褐色土 1層と同様 黒褐色(層状
褐色の層 土器片含む)
- 13 明黄褐色土 ブロック(明黄褐色)0.5~3cm
〔土器細片含む〕 暗褐色(層状)
- 14 暗褐色土 ブロック(明黄褐色)0.3~2cm
(0.3cmの炭化物含む)
- 15 黄褐色土 ブロック(黄灰)0.5~1cm(土器片含む)
- 16 黄褐色土 ブロック(黄灰)0.5~1cm(土器片含む)
暗褐色(層状+0.5cmの焼土含む)

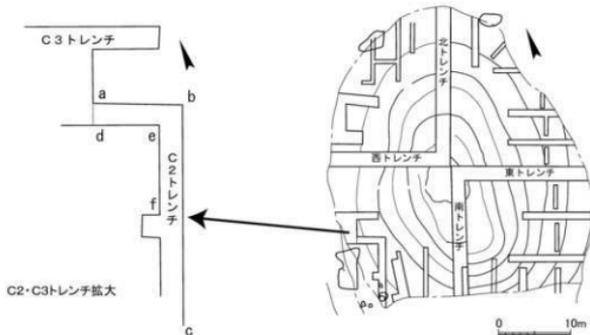
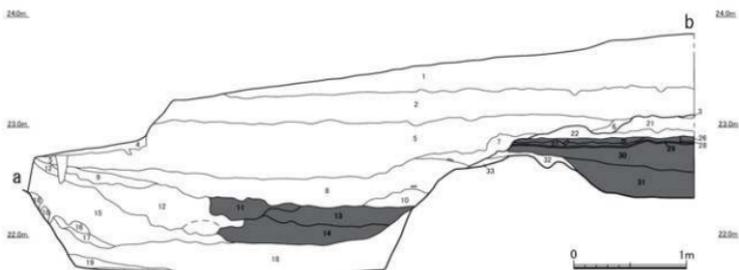


図28 ST1001北墳丘墓 C3トレンチ土層 (S=1/40)

ST1001 C3トレンチ 北壁土層



土層注記

- 1 褐色土 ブロック(黄灰0.5~2.0m(土器細片含む) 明黄褐0.5~3.0m[0.5~1.0mの炭化物含む] 黒褐0.5~3.0m(石灰含む)
- 2 褐色土 ブロック(黄灰1~2.0m(0.5~1.0mの炭化物含む) 明黄褐0.5.0.5m(石灰含む) 黒褐1~2.0m 黒褐0.5.0.5m)
- 3 黄灰色土 ブロックなし
- 4 褐色土 ブロック(黄灰0.5~1.0m 黒褐0.5~1.0m 黒褐0.5~1.0m)
- 5 褐色土 ブロック(黄灰0.3.0.3m(0.1.0.1mの炭化物含む) 明黄褐0.3.0.3m(焼土0.1~0.2.0.2mの焼土 土器細片含む)
- 6 淡褐色土 ブロック(黄灰0.5~3.0m 明黄褐0.5.0.5m 黒褐1.0m)
- 7 褐色土 ブロック(黄灰1.0m(1.0mの炭化物含む) 明黄0.5~1.0m(0.2.0.2mの焼土含む) 黒褐0.5~1.0m)
- 8 褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2.0m(0.5.0.5mの炭化物含む) 黄灰0.1~2.0m(0.1.0.1mの焼土含む) 黒褐1~3.0m)
- 9 褐色土 ブロック(黄灰1~2.0m 明黄褐1.0m 黒褐0.5~2.0m)
- 10 褐色土 ブロック(明黄褐1.0m 黄褐0.5.0.5m 黄灰2.0m)
- 11 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1.0m 黄褐0.5~1.0m 黄灰0.5.0.5m 黒褐1.0m)
- 12 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~4.0m 黄灰1.0m 黒褐0.5~5.0m 黒褐0.5~1.0m)
- 13 暗褐色土 ブロック(黄灰0.5~2.0m(0.5.0.5mの炭化物含む) 明黄褐1~2.0m(0.5.0.5mの焼土含む)
- 14 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~8.0m(0.5.0.5mの炭化物含む) 黄灰0.5~8.0m(土器細片含む)
- 15 褐色土 ブロック(黄灰0.5~10.0m(c.a.チップ含む) 明黄褐0.5~7.0m)
- 16 明黄褐色土 地山ブロック
- 17 黄褐色土 地山ブロック 16層より粗い
- 18 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1.0m(0.5.0.5mの焼土含む) 黄灰 黒褐0.5~1.0m)
- 19 黄褐色土 地山ブロック
- 20 明黄褐色土 鉄分多いブロック
- 21 淡褐色土 ブロック(明黄褐0.2~2.0m(0.1~0.2.0.2mの炭化物含む) 黄灰0.2~1.0m 黄褐0.5~2.0m 黒褐0.2~0.5.0.5m 黒褐0.2~0.5.0.5m)
- 22 淡褐色土 ブロック(層状) 21層とほぼ同じ
- 23 明黄褐色土 地山ブロック
- 24 明黄褐色土 地山ブロック 23層より黄味が強い
- 25 暗褐色土 ブロック(明黄褐1~8.0m(層状 0.1~0.3.0.3mの炭化物 0.1.0.1mの焼土含む) 黄灰0.5~3.0m(一部層状))
- 26 暗褐色土 21~26層と同じ 鉄分が多い
- 27 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1.0m(0.1~0.2.0.2mの炭化物含む) 黄褐0.2~2.0m(土器細片含む) 黒褐0.1~0.3.0.3m)
- 28 暗褐色土 21層と同一層
- 29 暗褐-黒褐色土 鉄分層 硬い
- 30 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~1.0m(0.1~0.5.0.5mの炭化物含む) 黒褐0.1~2.0m(土器片含む) 明黄褐0.1~0.3.0.3m)
- 31 暗褐色土 淡黄褐色土ブロック(黄褐0.3~3.0m(0.1~0.5.0.5mの炭化物含む) 鉄分)

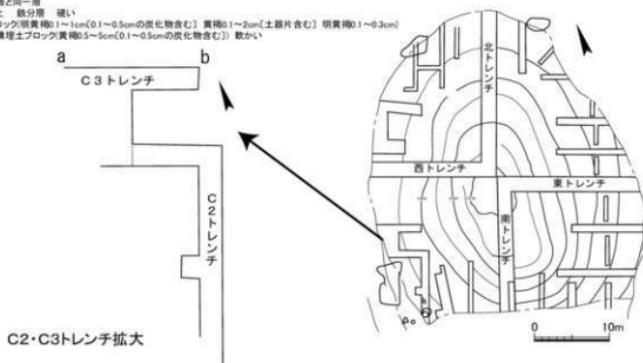
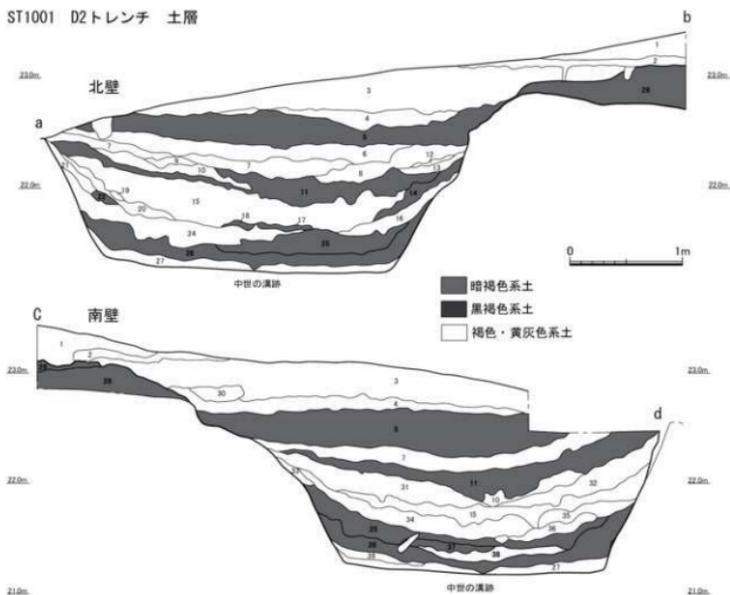
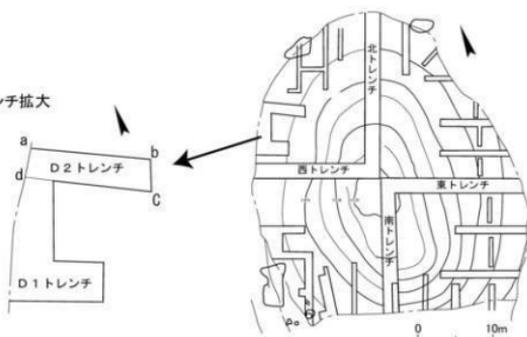


図29 ST1001北墳丘墓 D2トレンチ土層 (S=1/40)

ST1001 D2トレンチ 土層



D1・D2トレンチ拡大

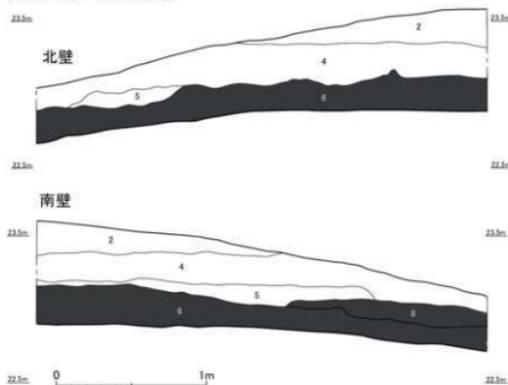


ST1001 D2トレンチ北壁・南壁 土層注記

- 1 灰褐色土 ブロック(明黄褐色2~1cm[土器細片含む] 黒褐0.2~1cm[2cm程の礫含む]) 散らかい
- 2 灰褐色土 ブロックなし(0.3cmの炭化物 1~2cmの礫 土器片含む) 散らかい
- 3 灰褐色土 ブロック(明黄褐色1~1cm[0.1~0.3cmの炭化物含む] 暗褐1cm前後[0.5cmの焼土含む] 黒褐0.5~2cm[土器片・黒曜石含む])
- 4 灰褐色土 ブロック(明黄褐色1~3cm[0.1~0.4cmの炭化物含む] 明黄褐色1~0.5cm[0.1cmの焼土 土器片含む])
- 5 暗褐色土 ブロック(黒褐0.3~1cm[0.2~0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.5~1cm[焼土含む] 黄灰1cm)
- 6 褐色土 ブロック(黒褐0.2~1cm 黄褐0.1~2cm)
- 7 褐色土 ブロック(黒褐0.2~1cm[0.1cmの炭化物含む] 明黄褐0.1~3cm[0.1cmの焼土含む] 黄褐0.1~1cm)
- 8 褐色土 ?層とほとんど同じブロック 明黄褐が?層より多い 散らかい
- 9 褐色土 ブロック(黒褐0.5~4cm 明黄褐0.5~4cm 黄褐 0.2~2cm)
- 10 褐色土 ブロック(明黄褐0.5~3cm 黄灰0.1~1cm 暗褐0.1~1cm 黒褐0.5cm)
- 11 暗褐色土 ブロック(黒褐0.5~3cm[0.1~0.3cmの焼土含む] 明黄褐0.5~4cm 黄褐0.5~3cm)
- 12 明黄褐色土 ブロック(焼土 黒褐1cm)
- 13 褐色土 ブロック(黄褐0.5~1.5cm 明黄褐0.5~2cm 黒褐0.5~1cm)
- 14 暗褐色土 ブロック(黒褐0.5~3cm[0.5cmの炭化物含む] 明黄褐0.5~4cm [0.1cmの焼土含む])
- 15 灰褐色土 ブロック(暗褐0.5~5cm[層状 0.1~0.3cmの焼土・礫含む] 明黄褐1~4cm 黄灰1~5cm)
- 16 明黄褐色土 ブロック(暗褐[層状 0.3cmの炭化物含む] 黄褐0.5~10cm[粘質] 黄灰0.5~1cm)
- 17 暗褐色土 ブロック(明黄褐1~2cm[土器片含む] 黒褐0.5~1cm 黄灰1cm)
- 18 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~1cm)
- 19 明褐色土 ブロック
- 20 明黄褐色土 ブロック(暗黄灰[層状] 暗褐1~2cm)
- 21 暗黄灰色土 ブロック(明黄褐1~2cm)
- 22 暗褐色土 ブロック
20・21・22は同一層
- 23 欠番
- 24 明黄褐色土 地山土主体ブロック(黄灰1~10cm[1mmの焼土含む] 暗褐3~10cm[土器細片含む] 黒褐0.5~2cm)
- 25 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm[0.3~0.5cmの炭化物含む] 黄灰0.5~1cm[0.5cmの焼土含む] 黒褐0.5~1cm[土器細片含む])
- 26 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.1~2cm 黒褐0.2~1cm 黄灰0.5~1cm)
- 27 暗黄灰色土 地山土主体ブロック(明黄褐0.5~3cm 暗褐0.5~1cm 黒褐1.5~3cm 層の最下層に砂鉄屑と肥土が厚さ2cm程度堆積)
- 28 暗褐色土 境丘盛土ブロック(明黄褐0.1~2cm[1mmの炭化物含む] 黄褐1~1cm [0.2~0.5cmの焼土含む] 黒褐0.5~2cm[土器片含む]) 堅い
- 29 暗褐色土 境丘盛土ブロック(明黄褐0.5~4cm[0.5cmの炭化物含む] 黒褐0.5~1cm)
- 30 褐色土 ブロック(明黄褐0.2~1cm [土器片含む])
- 31 明黄褐色土 地山ブロック 散らかい
- 32 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm[一部層状 1cmの炭化物 0.2~0.5cmの焼土含む] 明黄灰0.5~1cm[土器片含む] 黒褐0.5~1cm)
- 33 黄褐色土 ブロックなし 散らかい
- 34 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~20cm [0.2~0.5cmの炭化物含む])
- 35 暗黄褐色土 ブロック(明黄褐0.5~5cm 黄灰2cm [土器細片含む])
- 36 灰褐色土 ブロック(明黄褐0.0~10cm)
- 37 暗褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm[土器片含む] 黒褐1~2cm)
- 38 明黄褐色土 粘質 31層よりやや暗い
- 39 暗灰褐色土 ブロック(明黄褐0.3~1cm[0.2cmの炭化物含む] 暗褐0.3~0.5cm)

図30 ST1001北境丘墓 D4・D5トレンチ土層 (S=1/30,1/40)

ST1001 D4トレンチ土層



土層注記

- 1 淡褐色土 ブロック(明黄褐0.5~2cm
[0.3cmの炭化物含む]) 黄灰白0.3~1cm
黒褐0.5~4cm
- 2 暗灰褐色土 ブロック(明黄褐0.5~4cm
[0.3cmの炭化物含む]) 黒褐0.5~8cm
[-一部層状 0.1~0.3cmの焼土含む]
黄灰白0.5~3cm
- 3 淡灰褐色土 ブロック(黄灰白0.3~4cm
[0.1~0.3cmの焼土・土器片含む])
- 4 暗灰褐色土 ブロック(黒褐0.5~3cm
[0.2cmの炭化物含む])
黄灰白0.1~2cm[0.3cmの焼土含む]
- 5 黄褐色土 ブロック(黒褐0.5~4cm
[-一部層状 0.5cmの焼土含む])
黄灰白0.5~3cm
- 6 淡黒褐色土 ブロック(黄褐0.3~1cm
[土器片・0.5~2cmの炭化物・
0.5cmの焼土含む])
- 7 淡灰褐色土 ブロック(淡黒褐0.5~1.5cm)
- 8 淡黒褐色土 ブロック(黄灰白0.3~1cm
[磚・土器細片含む]) 黒褐0.5~4cm
黄褐0.3~1cm

ST1001 D5トレンチ 東壁土層



- 暗褐色系土
- 黒褐色系土
- 褐色・黄灰色系土

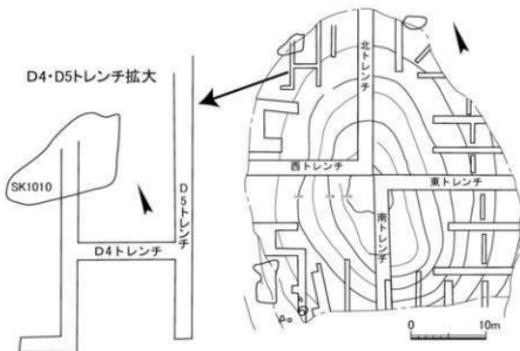
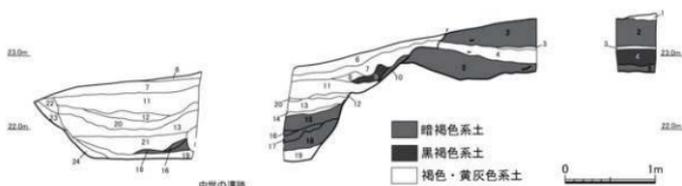


図31 ST1001北墳丘墓 D6トレンチ土層 (S=1/50)

ST1001 D6トレンチ 東壁土層



土層注記

- | | |
|---------|--|
| 1 灰褐色土 | ブロック(明黄褐0.1~0.5cm 黄灰0.1~0.5cm) 軟質 褐色が強い |
| 2 暗褐色土 | ブロック(黒褐0.1~0.5cm(0.1~0.5cmの炭化物含む) 黄灰0.1~2cm(土器片含む) 明黄褐0.1~10cm(0.2~1cmの礫含む)) |
| 3 明黄褐色土 | ブロック(黄灰0.2~2cm 黒褐0.1~2cm) 上半は褐色気味 |
| 4 黒褐色土 | ブロック(褐0.1~1cm(0.2~0.5cmの炭化物含む) 明黄褐0.1~3cm(土器片含む) 黄灰0.2~1cm) |
| 5 暗褐色土 | ブロック(黄褐0.1~3cm(0.2~1cmの炭化物含む) 明黄褐0.1~1cm(土器片含む) 黄灰0.5cm) |
| 6 灰褐色土 | ブロック(黒褐1~2cm(土器片含む) 黄灰0.1~0.2cm) |
| 7 黄褐色土 | ブロック(暗褐0.5~2cm(土器片含む) 褐0.5~3cm 明黄褐0.5~2cm) |
| 8 黄褐色土 | ブロック(暗褐0.1~0.3cm) |
| 9 暗褐色土 | ブロック(褐1~4cm(土器細片含む) 暗褐0.5~1cm(0.1cmの炭化物含む)) |
| 10 暗褐色土 | ブロック(黒褐1~1cm 明黄褐1cm) |
| 11 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~0.5cm(0.1~0.3cmの炭化物含む) 明黄褐0.1~2cm 黒褐0.2~0.5cm) |
| 12 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~1cm(0.2cmの炭化物含む) 明黄褐0.1~0.5cm) |
| 13 褐色土 | |
| 14 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~1cm(0.1~0.5cmの礫含む) 明黄褐0.1~0.5cm 黄灰0.1~0.5cm) |
| 15 暗褐色土 | ブロック(褐0.1~1cm 黄灰0.1~0.5cm 明黄褐0.1~0.5cm) |
| 16 暗褐色土 | ブロック(褐0.1~0.5cm(土器片含む)) |
| 17 暗褐色土 | ブロック(褐0.1~1cm 黒褐0.1~0.5cm) |
| 18 暗褐色土 | ブロック(褐0.1~0.3cm 黄灰0.1~0.3cm) |
| 19 褐色土 | ブロック(褐0.1~0.3cm 暗褐0.1~0.3cm(0.2cmの炭化物含む) 黄灰0.1~0.3cm) |
| 20 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~0.5cm(土器片含む) 明黄褐1~2cm(0.2cmの礫含む) 黒褐0.2~0.5cm) |
| 21 褐色土 | ブロック(黒褐0.1~1cm(土器片含む) 暗灰0.1~1cm(0.2cmの礫含む)) |
| 22 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~0.5cm 明黄褐0.1~2cm(0.2cmの礫含む) 黒褐0.2~0.5cm) |
| 23 褐色土 | ブロック(暗褐0.1~0.5cm(0.2cmの礫含む) 明黄褐0.1~2cm 黒褐0.2~0.5cm) |
| 24 褐色土 | ブロック(黒褐0.1~0.5cm(0.2cmの礫含む) 黄褐0.1~0.5cm) |

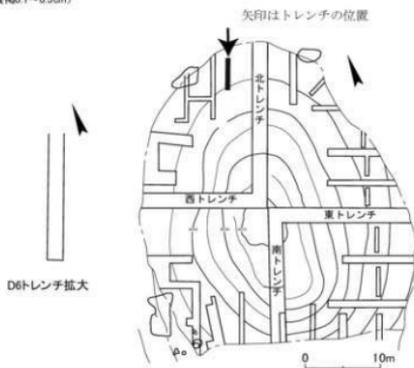


図 32 ST1001 北墳丘墓 竪穴墓の位置 (S=1/250)

SJ1002～SJ1007、SJ1009 は平成元年度の調査で検出した豊棺墓である。

SJ1002 は ST1001 の中央西側に位置する。棺体の向きは墳丘墓の主軸とほぼ直行する東西方向で、棺は西から東に挿入されている。棺の傾斜角度は約 20 度である。削平により墓坑と上裏の大半、下裏の一部を欠損する。合口部分には白色の目張り粘土が残存している。下裏中央部内面からは水銀朱が検出された。下裏中央の棺底付近から、有柄細形銅剣が棺の長軸とほぼ直行するように先端を北側に向けた状態で出土し、その西側からガラス製管玉 79 個が重なり合った状態で出土した。銅剣には布(絹・大麻)の破片が付着していた(『113集』)。

SJ1003 は ST1001 の中央北に位置する。棺体の向きは墳丘墓の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は北から南に挿入されている。棺の傾斜角度は約 10 度である。削平により上裏はほとんど破壊され、下裏の上半部も大きく破壊されている。合口部分には粘土が残存していた。副葬品は出土していない。なお、棺内埋土から打製石鏃が 1 点出土しているが、この墓に伴うものかどうかは不明である。

SJ1004 は ST1001 の中央東に位置する。棺体の向きは墳丘の南北主軸に対して斜めで、棺は北東から南西に挿入されている。棺の傾斜角度は約 5 度である。削平により下裏の上半部と上裏の一部が破壊されている。棺内からは水銀朱が検出された。副葬品は出土していない。

SJ1005 は ST1001 の北西部に位置する。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は北から南に挿入されている。棺の傾斜角度は約 10 度である。削平により上裏と下裏の一部が残存する。合口部破壊されている。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は南から北に挿入されている。棺内から水銀朱が検出されたほか、下裏棺内の口縁付近から先端を欠損した細形銅剣 1 本が先端を北東に向破壊されている。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は南から北に挿入されている。棺内から水銀朱が検出されたほか、下裏棺内の口縁付近から先端を欠損した細形銅剣 1 本が先端を北東に向けた状態で出土した。また、この豊棺の破片とともに磨製石鏃が 1 点出土しており(378)、調査時の所見では墓に伴う可能性が指摘されている(『132集』)。

SJ1006 は ST1001 北墳丘墓で最初に埋葬された豊棺墓で、ほぼ中央に位置する。一次墓坑は長軸 4.12m、短軸 3.74m の平面長方形で、北西部に二次墓坑が設けられている。深さは 1.75m 残存している。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は南から北に挿入されている。棺の傾斜角度はほぼ水平である。土圧のため下裏が一部潰れている。合口部分には大量の目張り粘土が残る。棺内から水銀朱が検出されたほか、下裏中央付近から細形銅剣 1 本が二つに折れた状態で出土した。また、棺内から人の歯が出土している。

SJ1007 は墳丘墓の南中央に位置する。一次墓坑は長軸 3.37m、短軸 2.49m の平面長方形で、北側に二次墓坑が設けられている。深さは 1.68m 残存している。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は南から北に挿入されている。棺の傾斜角度は約 8 度である。上裏、下裏とも削平と土圧により上半部が破壊されている。下裏の棺内中央付近から細形銅剣 1 本と青銅製把頭飾 1 点が出土した。銅剣は先端が棺底部(北東方向)を向き、先端部を欠損し、残存する部分も二つに折れた状態であった。また、棺内から頭骨片と上肢骨片が出土している。

SJ1009 は墳丘墓の南西部に位置する。墓坑と上裏は削平のためほとんど残存しておらず、下裏も大半が破壊されている。棺体の向きは墳丘の主軸とほぼ平行する南北方向で、棺は南から北に挿入されている。棺内から水銀朱が検出されたほか、下裏棺内の口縁付近から先端を欠損した細形銅剣 1 本が先端を北東に向

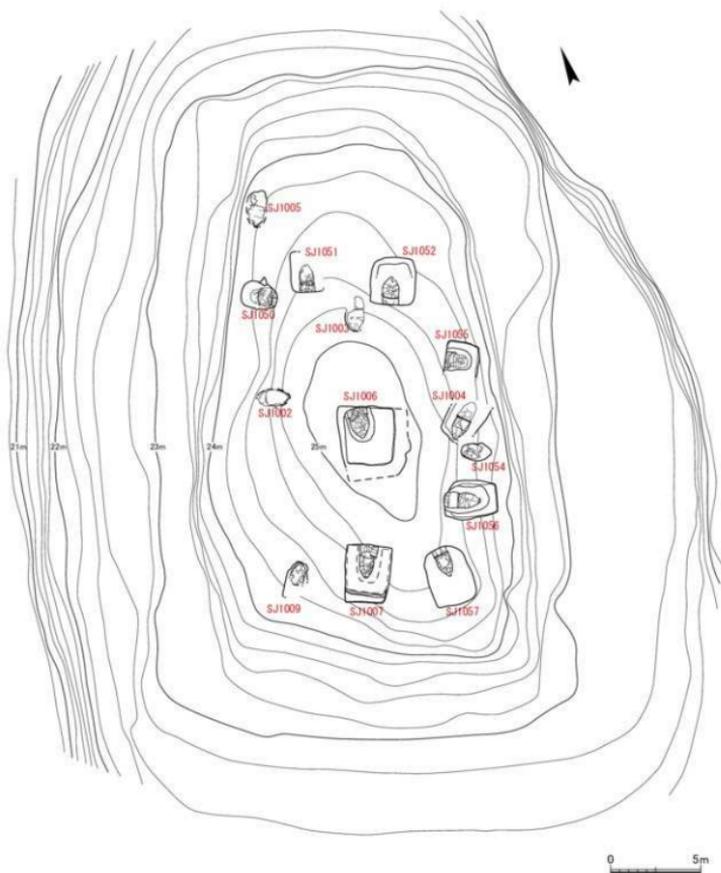
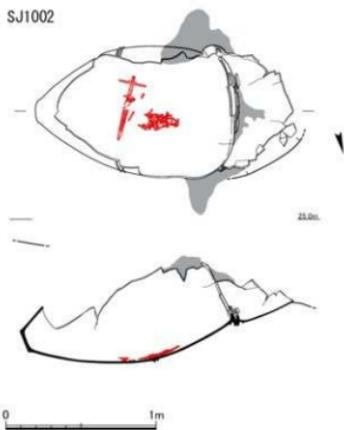


図16 ST1001 北墳丘墓 A1 トレンチ土層 (S=1/60)

ST1001 北墳丘墓

SJ1002



有柄銅剣・ガラス管玉出土状況

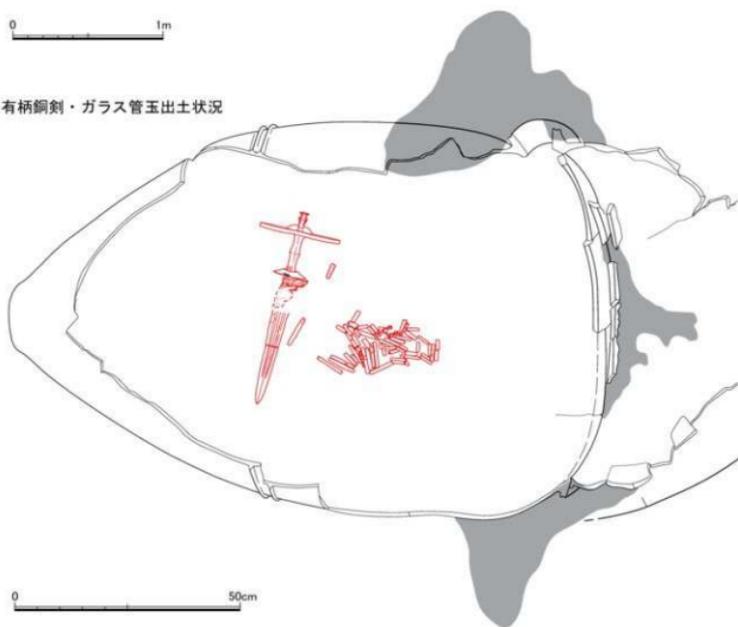


図 33 ST1001 北墳丘墓 葬棺墓 1 (S=1/30,1/10)

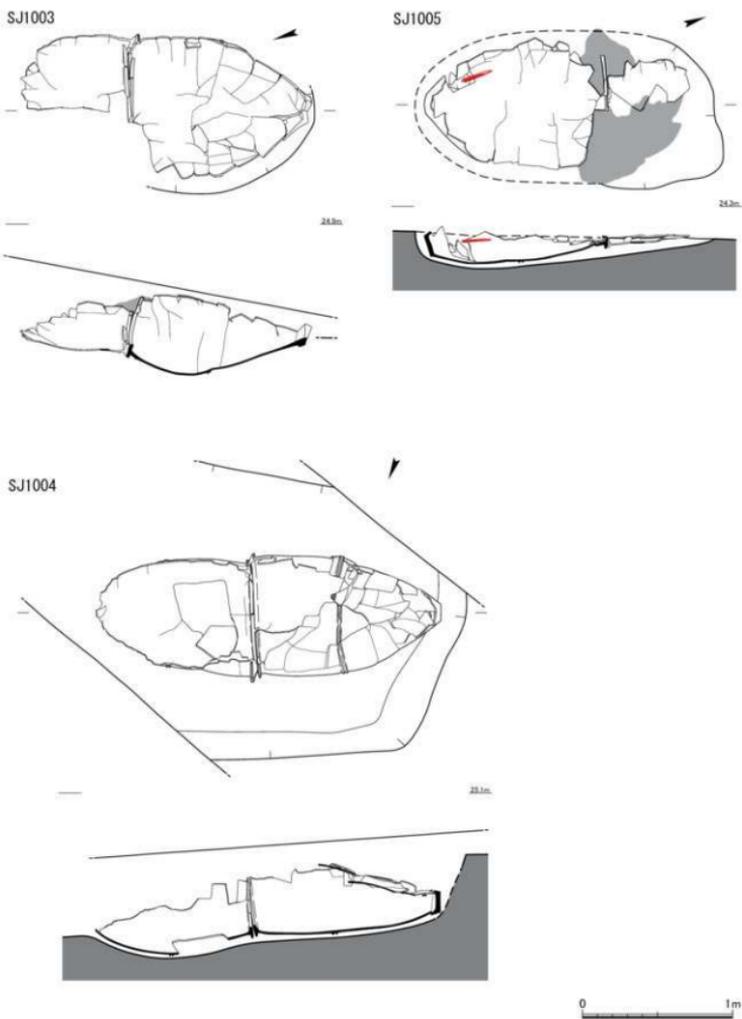


圖 34 ST1001 北墳丘墓 甕棺墓 2 (S=1/30)

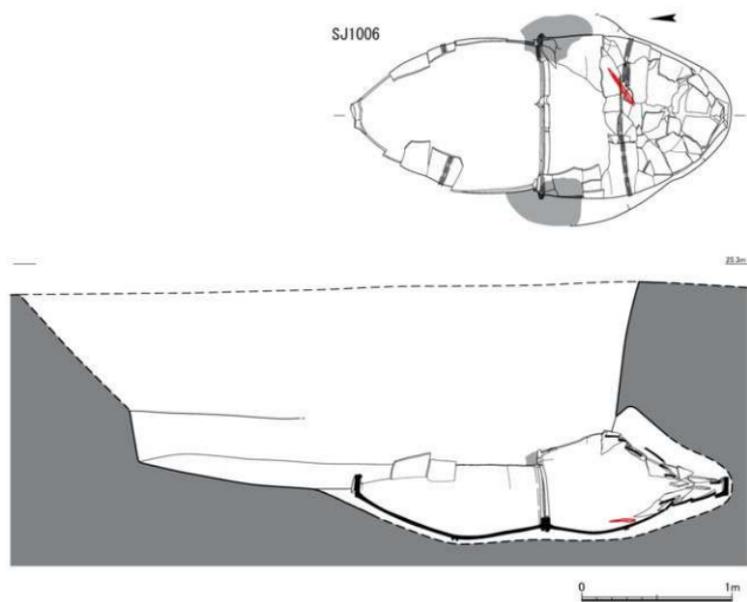


図 35 ST1001 北墳丘墓 雙棺墓 3 (S=1/30)

けた状態で出土した。

SJ1050～SJ1052、SJ1054～SJ1057は平成4年度の再調査で出土した裏棺墓である。

SJ1050は墳丘墓の北西、SJ1002とSJ1005の中間に位置する。削平のため墓坑と棺体の大半を破壊されている。棺体の向きは墳丘墓の南北主軸と直行する東西方向で、棺は西から東に挿入されている。棺の傾斜角度は約15度である。合口部分には大量の目張り粘土が残る。棺内から人骨片が少量出土している。副葬品は出土していない。

SJ1051は墳丘墓の北西、SJ1003とSJ1005の中間に位置する。墓坑の大半と上裏の上半部を大きく欠損する。棺体の向きは墳丘墓の主軸と平行する南北方向で、棺は北から南に挿入されている。棺の傾斜角度は約20度である。棺内から人骨片が少量出土している。

SJ1052は墳丘墓の北、SJ1003の北東に位置する。削平と土圧により棺体は上下とも大きく破壊されている。棺体の向きは墳丘墓の主軸と平行する南北方向で、棺は北から南に挿入されている。棺の傾斜角度は約27度である。合口部分には大量の目張り粘土が残る。棺内から人骨片が少量出土している。副葬品は出土していない。

SJ1054は墳丘墓の東、SJ1004とSJ1055の中間に位置する。削平により墓坑と棺体の大半が破壊されている。上裏はほとんど残存していないが、構造は裏と裏の合口である。棺体の向きは墳丘墓の南北主軸と直行する東西方向で、棺は東から西に挿入されている。棺の傾斜角度は約15度である。棺内から水銀朱が検出されたほか、下裏中央やや北から先端を東に向けた状態で細形銅剣1本が出土している。

SJ1055は墳丘墓の北東、SJ1004とSJ1052の間に位置する。削平により墓坑と棺体の大半が破壊されている。棺体の向きは墳丘墓の南北主軸と直行する東西方向で、棺は東から西に挿入されている。棺の傾斜

SJ1056は墳丘墓の南東、SJ1054とSJ1057の中間に位置する。削平と土圧により墓坑と棺体が破損しているが、ほぼ全体が復元できる。棺体の向きは墳丘墓の南北主軸と直行する東西方向で、棺体は東から西に挿入されている。合口部分には大量の目張り粘土が残る。棺の傾斜角度は約5度である。棺内の下裏中央付近から先端を東に向けた状態で細形銅剣が1本出土した。

SJ1057は墳丘墓の南東、SJ1056とSJ1007の間に位置する。墓坑は削平を受けており、上下棺とも土圧により潰れているが、ほぼ全体が復元できる。棺体の向きは墳丘墓の主軸と平行する南北方向で、棺体は南から北に挿入されている。合口部分には大量の目張り粘土が残る。棺の傾斜角度は約6度である。棺内の下裏中央付近から先端を南に向けた中細形銅剣1本が出土し、棺内のやや離れた位置から青銅製把頭飾1点が出土した。

B その他の遺構

ここでは、ST1001北墳丘墓に関連する他の遺構についてみていく。

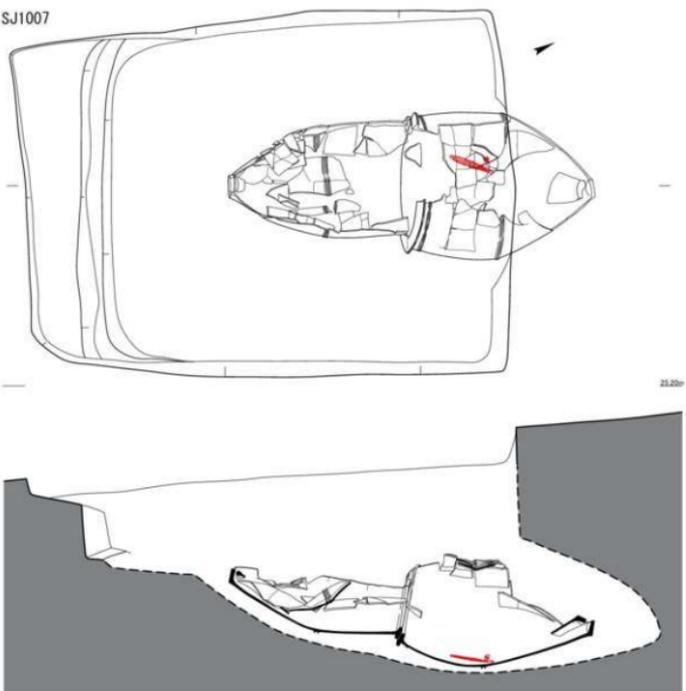
SJ1008裏棺墓は、ST1001北墳丘墓南西のC2トレンチ南部に位置する。構造は小型の裏と裏の合口で、いわゆる小児棺である。平成元年度の調査で検出されているが、位置やレベルからみて北墳丘墓に伴う墳墓ではなく、北墳丘墓の築造以前に営まれた墳墓と判断される。

P42は、SD1011が北に途切れる部分の北東に位置する。平面楕円形で、長径1.8m、深さ1.1mが残存する。図示していないが、埋土からは弥生土器の小片が少量出土している。立柱跡か。

SK1010は、ST1001北墳丘墓の北西に位置する不整形の土坑で、上層から中期初頭の土器が出土して

ST1001 北墳丘墓

SJ1007



SJ1009

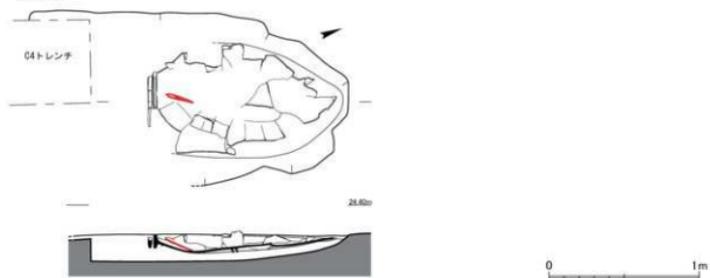


図 36 ST1001 北墳丘墓 羨棺墓 4 (S=1/30)

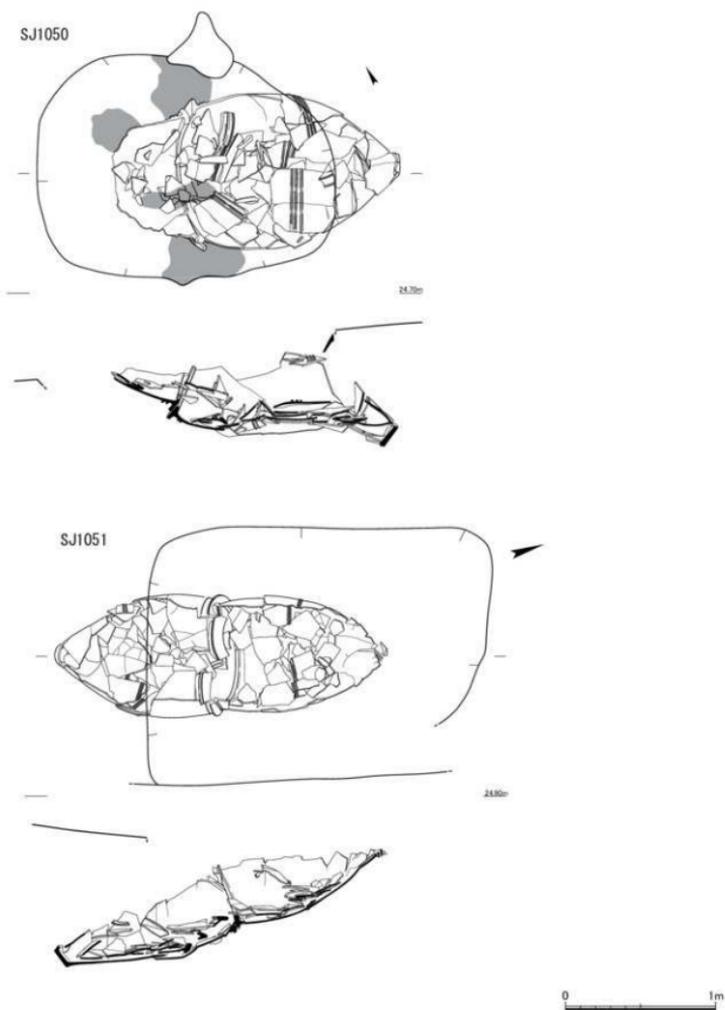


图38 ST1001北墳丘墓 羨棺墓6 (S=1/30)

ST1001 北墳丘墓

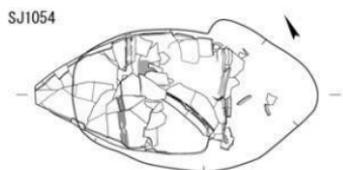
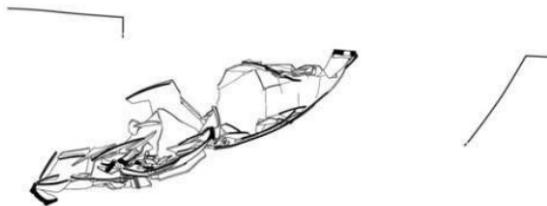
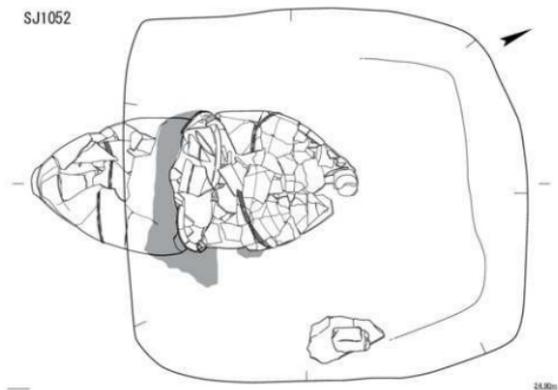


图 37 ST1001 北墳丘墓 葬棺墓 5 (S=1/30)

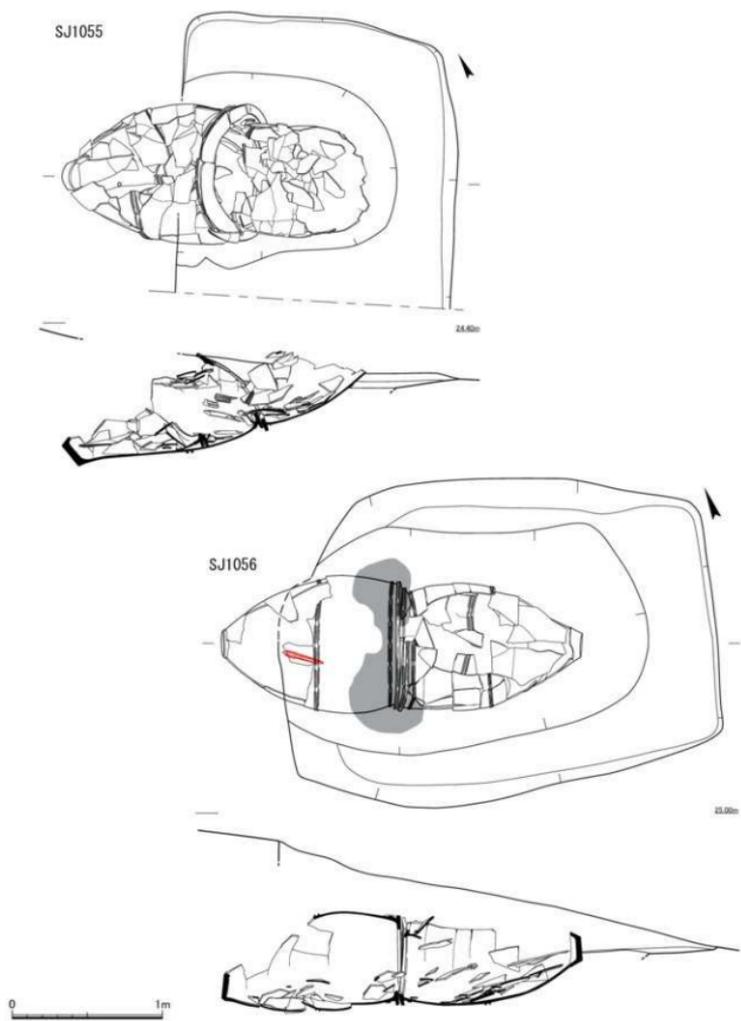


图39 ST1001北墳丘墓 甕棺墓7 (S=1/30)

SJ1057

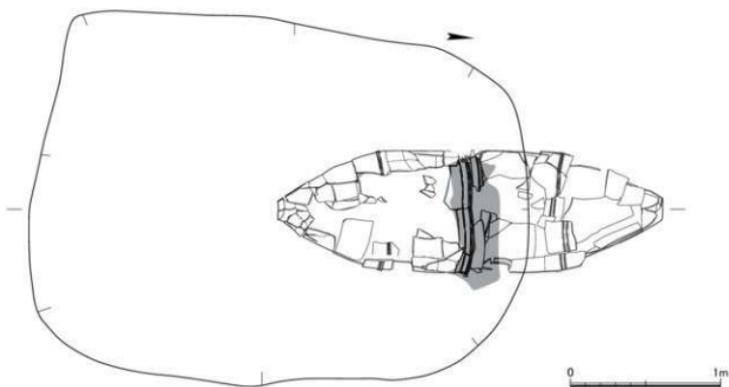


図 40 ST1001 北墳丘墓 葬棺墓 8 (S=1/30)

表 1 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 北墳丘墓 葬棺墓

遺構番号	葬棺形式			棺の埋置 (°)		一次墓坑の規模 (m)			時期	人骨		特記事項	その他の遺物
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深		性別	年齢		
SJ1002	合口	喪	喪	N75.5E	30				中期後半	不明	不明	黒塗リ・朱	有柄銅剣 1点・ガラス管玉 79点 銅明に布 (絹・大絹) 片付着
SJ1003	合口	喪	喪	南北	—				中期後半	—	—	黒塗リ	
SJ1004	合口	喪	喪	N68E	-6		1.9		中期後半	—	—	黒塗リ・朱	
SJ1005	合口	喪	喪	N19E	—				中期後半	—	—	黒塗リ・朱	細形銅剣 1点
SJ1006	合口	喪	喪	N175W	-3			1.3+	中期後半	不明	不明	黒塗リ・朱	細形銅剣 1点・黄
SJ1007	合口	喪	喪	N153.5W	9	3.12	2.36	1.0+	中期後半	不明	不明	黒塗リ	細形銅剣 1点・青銅製肥前飾 1点・ 人骨片
SJ1009	合口	不明	喪	N160W	0				中期後半	—	—	黒塗リ・朱	細形銅剣 1点
SJ1050	合口	喪	喪			1.9	1.5		中期後半	不明	不明	黒塗リ	人骨片
SJ1051	合口	喪	喪			2.4	1.6		中期後半	不明	不明	黒塗リ	人骨片
SJ1052	合口	喪	喪	N193W		2.55	2.4		中期後半	不明	不明	黒塗リ	人骨片
SJ1054	不明	不明	喪						中期後半	—	—	黒塗リ・朱	細形銅剣 1点
SJ1055	合口	喪	喪			1.8+	1.74		中期後半	—	—	黒塗リ	
SJ1056	合口	喪	喪			2.76	2.1		中期後半	不明	不明	黒塗リ	細形銅剣 1点
SJ1057	合口	喪	喪			3.17	2.4		中期後半	不明	不明	黒塗リ	中細形銅剣 1点・青銅製肥前飾 1点・人骨片

いる。墓地に伴う祭祀土坑というよりは、北墳丘墓築造前の集落に伴う土坑（貯蔵穴）の可能性がある。

SK1014は、ST1001北墳丘墓の南に位置する。平面長方形の土坑で、床面の一部から焼土集中部が検出されているほか、埋土には炭化物を含んでいる。出土遺物が乏しいため、遺構の詳しい性格は不明である。

SK1039はST1001北墳丘墓の北東に位置する。平面不整長楕円形の土坑で、中層～上層にかけて中期前半の土器がまとまって出土している。墳墓に伴う祭祀土坑と考えられる。

SH1012はST1001北墳丘墓南に位置する円形竅穴建物跡で、径約7mである。掘削したのは東側約1/2である。構造は中央土坑とその両側に一對の主柱穴を持ついわゆる松菊里型住居跡で、埋土から土器片や石器剥片が多数出土したほか、炭化米数粒も出土している。特に遺構下部の4～8層では土器片を多く含んでいる。中期初頭の土器が多く出土していることから、ST1001北墳丘墓の築造直前に埋没したものと考えられる。なお、出土遺物の実測図については『207集』を参照されたい。

C 墓道状遺構 (SD1011)

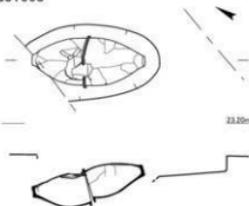
ST1001北墳丘墓の南端から西にかけて逆L字状に延びる溝状の遺構で、平成元年度の調査で確認された（『113集』）。長さ約27m、最大幅7.5m、残存する深さ約2mで、底面が幅広い断面逆台形をなしている。遺構底面の幅は最大約2mである。遺構内からは丹塗土器を含む弥生時代中期前半～後期前半の土器が大量に出土しているほか、枝がついたままの細い木の樺数本が出土している。また、平成7（1995）年に実施した211調査区の調査で、SD1013外環壕の出入り口（陸橋）部分が検出されており、SD1011と接続すると判断されている（『132集』）。位置関係や規模、構造等から考えて、北墳丘墓への祭祀行為に係る付属施設であった可能性が高い。

D 大型祭祀土坑 (SK1699)

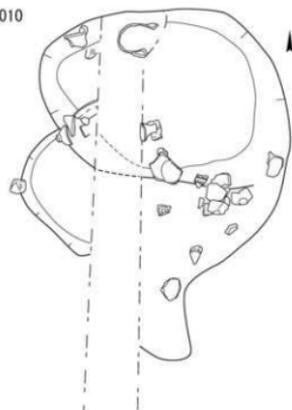
SK1699はST1001北墳丘墓の東側に隣接する大型の土坑で、工業団地計画に伴う昭和63（1988）年の発掘調査で確認された。平成元年の確認調査（54～56、63～67調査区）では、内部から丹塗土器などを含む大量の土器が出土したことから、北墳丘墓に関連する祭祀土坑である可能性が高いと判断された（『100集』・『113集』）。平面形は長楕円形の溝状をなし、主軸は墳丘墓と同じ南北方向である。土坑北側の54調査区、土坑中央の55調査区では、部分的に土器片が密集した状態で出土している。

その後、平成5（1993）年に再調査を行い（183調査区SK1699）、遺構範囲の表土を除去し、東西方向に8本のトレンチ（A～H）を設けて掘削を行った。その結果、遺構の規模は長さ約53m、幅約13mで、深さは約2m以上残存しており、大量の土器を含む自然堆積により埋没したと判断されたほか、この土坑の目的がST1001墳丘墓の築造に係る採土場であった可能性が指摘された（『132集』）。遺物の項で図示しているように、SK1699から出土した土器の時期は中期前半～後期前半が中心であることから、北墳丘墓への埋葬が行われている中期前半～後半の間だけでなく、埋葬が終了した中期末以降においても北墳丘墓への祭祀行為が継続して行われていたと考えられる。

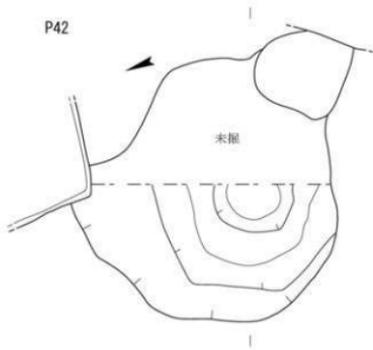
SJ1008



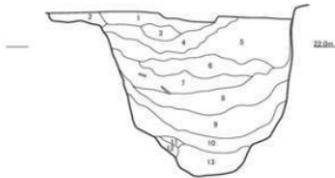
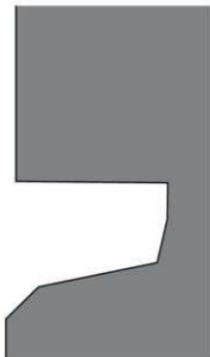
SK1010



P42



22.8m

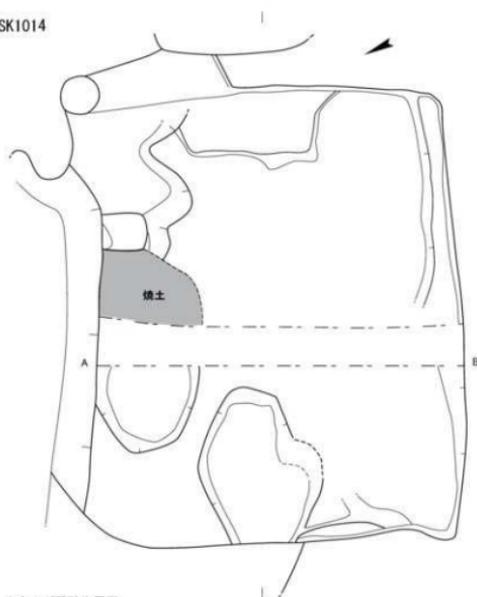


- 1 暗黄灰色土 明褐色とブロックを食む
- 2 暗褐色土 暗黄褐色(少)・暗黄灰色(多)ブロック混じり
- 3 暗褐色土 暗黄灰色・明褐色のブロック混じり 1~5cm隙を食む
- 4 暗褐色土 暗褐色とのブロック(少)混じり 1~5cm隙を食む
- 5 暗褐色土 数mm~5cmの明褐色土ブロック(多)・数mmの暗黄灰色土ブロック(少)混じり 1~5cmの隙を食む
- 6 暗褐色土 数mm~2cmの明褐色土ブロック混じり 1~数mmの隙を食む
- 7 暗褐色土 1~数mmの暗褐色土ブロック混じり 1~数mmの黄灰色土ブロック混じり 隙を食む
- 8 暗褐色土 数とほとんど同じだが>より明褐色のブロック多い
- 9 暗褐色土 <ほとんど同じだが<より明褐色のブロック多い
- 10 暗褐色土 ほとんど同じだが<よりやや暗い
- 11 明褐色土 (地山ブロック)
- 12 黄褐色土 (地山ブロック)
- 13 暗黄褐色土 1cm以上の隙を少量食む

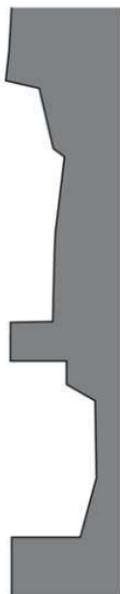
0 1m

図41 ST1001 北墳丘墓 出土遺構1 (S=1/30)

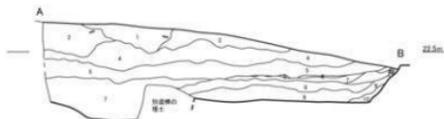
SK1014



E2.5m



SK1014 中央アゼ西壁土層図



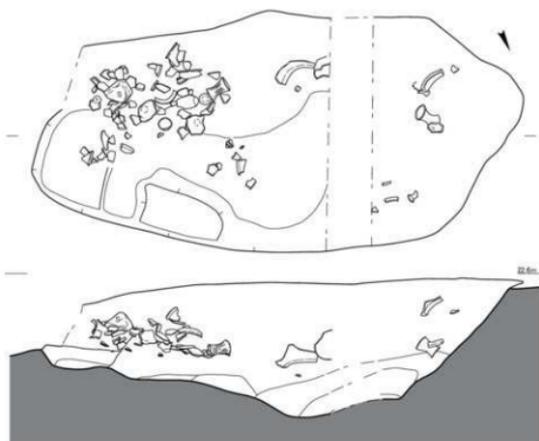
- | | |
|---------|--|
| 1 褐色土 | 明黄褐色・暗褐色土の1mm~1cmのブロック混じり |
| 2 褐色土 | 明黄褐色・暗褐色土の1mm~数mmのブロック混じり、1mm程の炭を少量含む |
| 3 褐色土 | 明黄褐色・暗褐色土の1mm~1cmのブロックが多く混じる、1mm~数mmの炭焼土を含む |
| 4 褐色土 | 黒褐色土の数mm~1cmのブロックが多く混じる、明黄褐色土の1mm~数mmのブロックが少量混じる、炭・焼土はほとんど含まない |
| 5 暗褐色土 | |
| 6 明褐色土 | |
| 7 暗褐色土 | 明黄褐色・黒褐色・黄灰色土の1mm~2cmのブロック混じり |
| 8 褐色土 | 明黄褐色土の1mm~2cmのブロック多く混じり、1mm程の炭を少量含む |
| 9 暗褐色土 | 明黄褐色土の1mm~1cmのブロック混じり、1mm~5mmの炭を少量含む |
| 10 明褐色土 | 暗褐色土の数mm~1cmのブロック混じり |

0 1m

図42 ST1001北墳丘墓 出土遺構2 (S=1/30)

ST1001 北墳丘墓

SK1039



SK1039 (完掘)

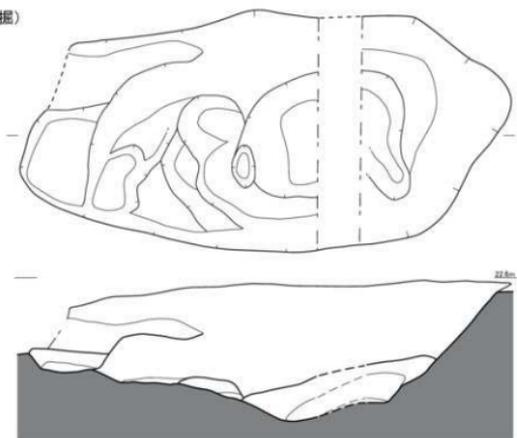


图43 ST1001 北墳丘墓 出土遺構3 (S=1/30)

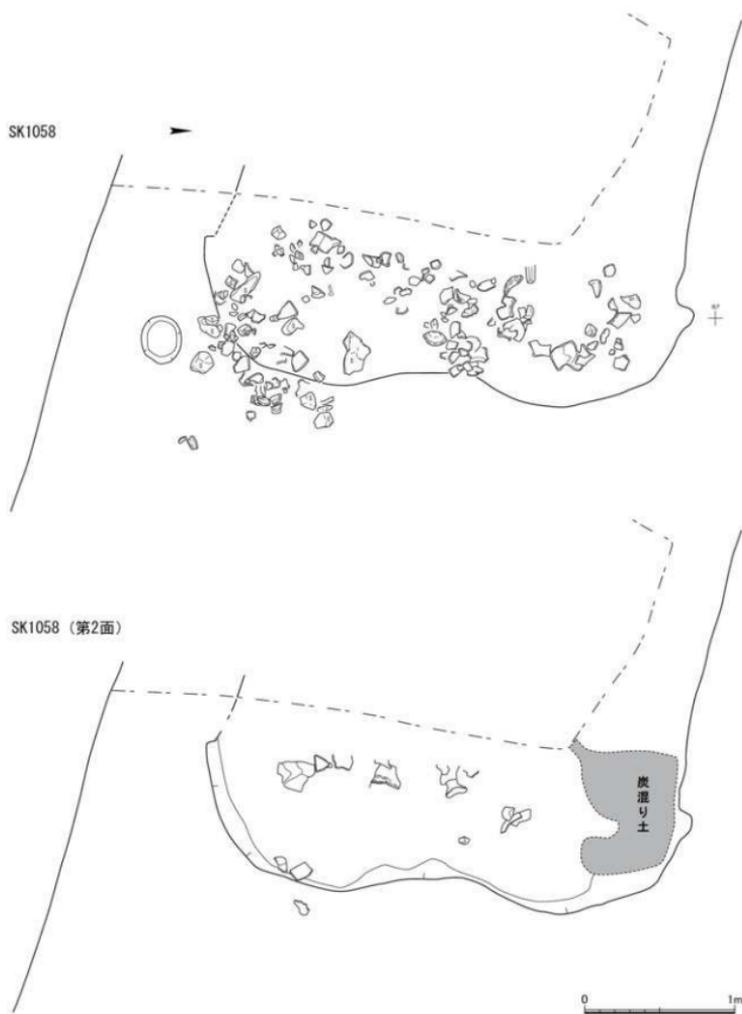
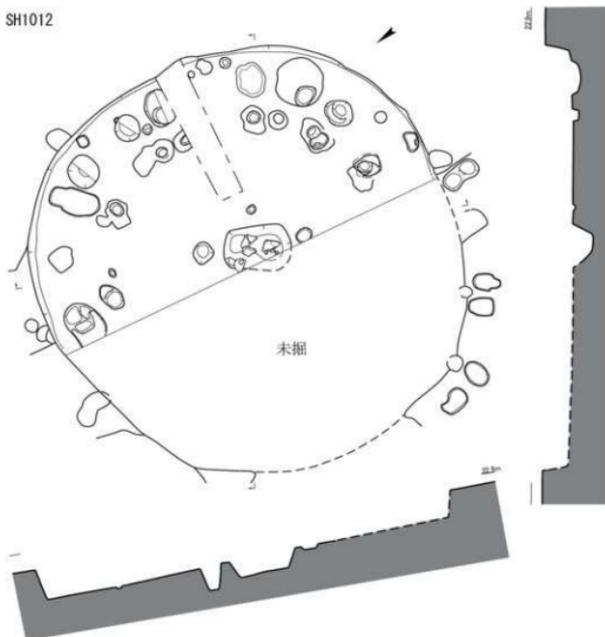
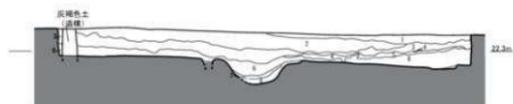


図44 ST1001北墳丘墓 出土遺構4 (S=1/30)

SH1012



SH1012 西壁土層図



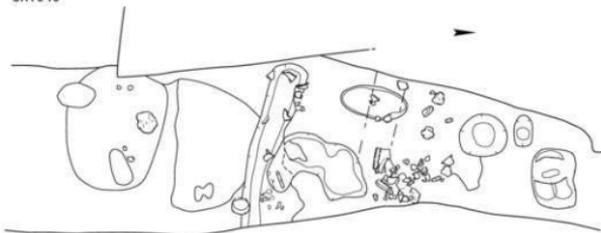
1. 暗褐色土 明黄褐色土の大きな片(数cm)・1~2mmの灰、1~数mmの埴土(少量)混じる・2層よりやや細かい
2. 暗褐色土 1~10mmの明黄褐色土 1~数mmの灰、1mm前後の埴土(少量)が混じる
3. 暗褐色土 1~10mmの明黄褐色土(多量) 1~5mmの黄褐色土(少量) 1~3mmの埴土(少量) 1~3mmの埴土(少量)が混じる 2層よりやや黄色味を帯びる
4. 黄褐色土 1mm~数cmの明黄褐色土・暗褐色土 1mm~1cmの灰(少量)、1mm前後の埴土(少量)が混じる
5. 黄褐色土 4層とほぼ同じ 4層より明黄褐色土が多く混じる
6. 暗褐色土 3層とほぼ同じ 3層より灰化物(数mm~2cm)、埴土(1mm~数mm)が多く混じる
7. 暗褐色土 1~数cmの黄褐色土 明黄褐色土が多く混じる 1mm前後の埴土(少量) 3層、6層より粗る
8. 暗褐色土 1cm前後の黄色土、1~5mmの黄褐色土、1~数cmの灰(多量)が混じる

※ 4層~6層は土器片をかなり含む

0 2m

図45 ST1001北墳丘墓 出土遺構5 (S=1/80)

SH1049



SH1049 (第2面)

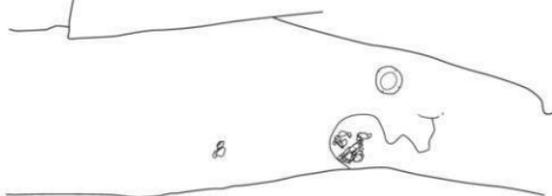


図46 ST1001北墳丘墓 出土遺構6 (S=1/60)

表2 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001北墳丘墓 出土遺構

遺構番号	規模			深さ	新旧関係		時期 (出土遺物)	特記事項
	平面形	長軸	短軸		旧	新		
SH1008	楕円					ST1001	中期前半	小型甕 埋没角度19°
P42	不整円	1.8*	1.7	1.2			期中～中期	立石跡分
SK1010	不整楕円	2.38	1.78				中期前面	的滅穴分
SH1012	円	7.7				ST1001	中期前面	灰化床・石器
SK1014	方	3.1	2.7*	0.65				粘土
SK1039	不整楕円	3.2	1.64	0.93			中期前半	同SK1009
SH1040	円					ST1001	中期前半	
SH1041	円					ST1001	中期	
SK1042	長方							
SK1043	長方							
SH1044	円						中期	
SH1045	円					ST1001	中期	
SH1049	楕円長方						中期前半	
SK1058	不整楕円						中期前面	灰化物
SD1011	—	27.0*	7.5	2.0*			中期～後期	墓道状遺構
SK1699	—	53.0*	13.0*	2.0*			中期～後期	大型祭祀土坑

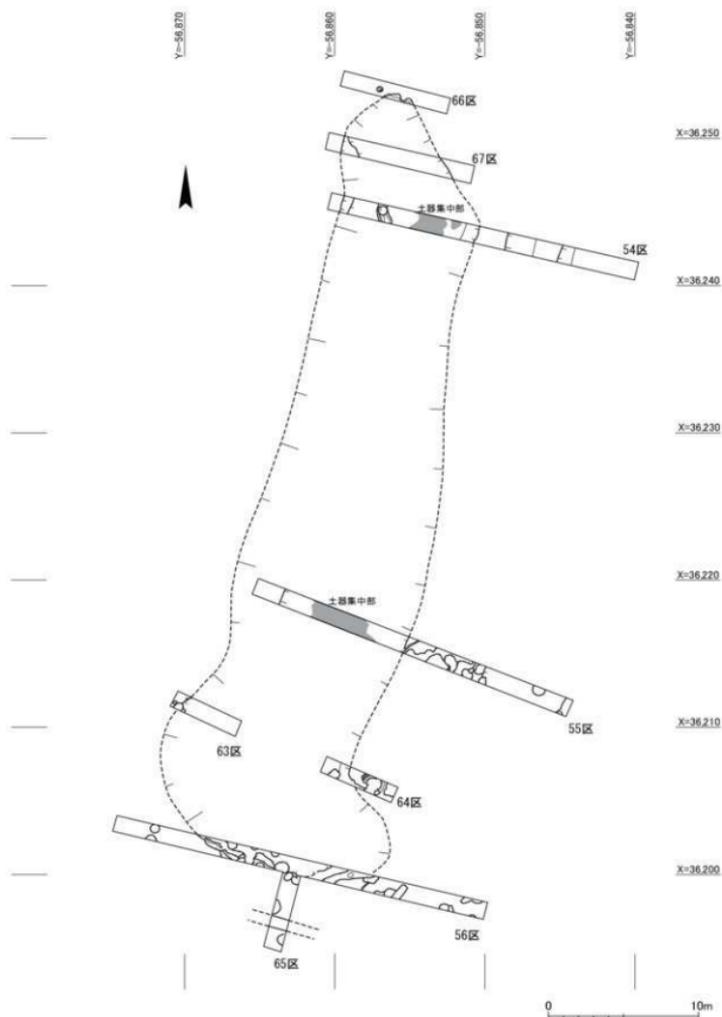


图 47 吉野ヶ里丘陵地区 V 区 SK1699 [平成元年度調査区] (S=1/300)

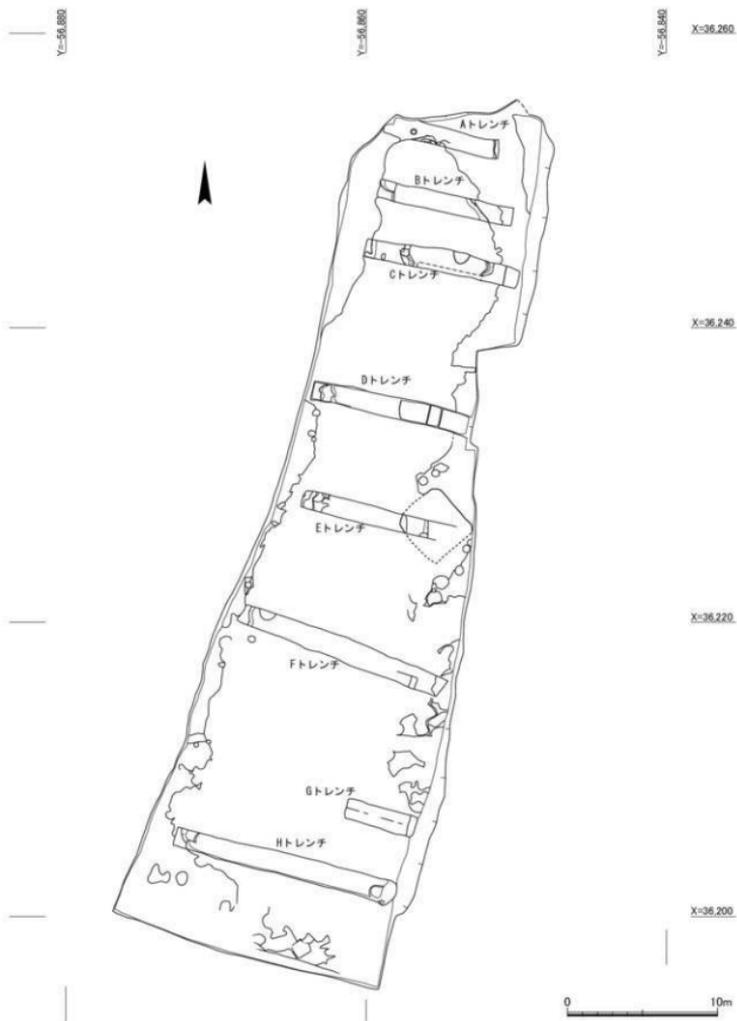
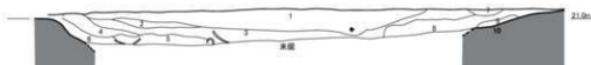


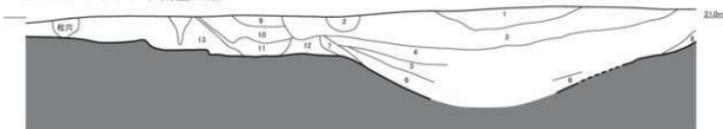
図48 吉野ヶ里丘陵地区V区 SK1699〔平成5年度183調査区〕(S=1/300)

SK1699 B トレンチ南壁土層



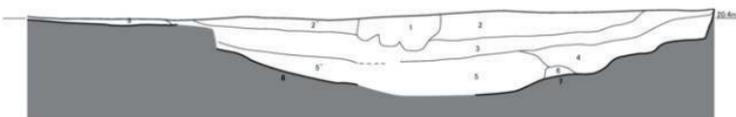
- 1層 暗褐色土層 1~3cm程の淡褐色ブロックを少量含む。土器片も少量含む
 - 2層 暗茶褐色土層 紅穴か?
 - 3層 暗茶褐色土層 2層よりやや暗い色調を成す。土器片を少量含む。0.1cm程の淡褐色土粒を少量含む
 - 4層 暗茶褐色土層 0.5cm以下の淡褐色土粒を多量に含む
 - 5層 暗茶褐色土層 3層と類似するが、しまりがなく淡褐色土粒も含まない
 - 6層 暗茶褐色土層 淡褐色土を含む。層底部に多量に含む。西側では少量含む
 - 7層 灰褐色土層 か? (乱)
 - 8層 淡褐色土層
 - 9層 淡黄褐色土層 若干暗味を帯びる
 - 10層 淡黄褐色土層 地山
 - 11層 淡黄褐色土層 地山
- 3層及び5層に比較的大きな土器片を含む

SK1699 D トレンチ南壁土層



- 1層 暗茶褐色土層 土器粒を少量含む
- 2層 暗茶褐色土層 紅穴か?
- 3層 暗褐色土層 暗茶褐色土をブロック状に多量に含む。土器粒を少量含む
- 4層 暗茶褐色土層 層底部は暗茶褐色を成し、層西側では淡褐色を成し、その境は明確ではない。この層下半部に土器片を多量に含む
- 5層 暗褐色土層 この層にも多量の土器片が含まれるが、小破片が多い
- 6層 暗褐色土層 1~3cm程の淡褐色土ブロック及び淡黄褐色土ブロックを多量に含む
- 7層 暗褐色土層 構成は6層と同様であるが層より多量のブロックを含む。中でも淡黄褐色土ブロックの割合が高い
- 8層 淡褐色土層 1~3cm程の淡黄褐色土ブロック、暗褐色土層、明褐色土ブロックを多量に含む
- 9層 暗褐色土層 3層よりも暗褐色土ブロックを多量に含む。土器片は含まない
- 10層 明褐色土層 層下半の一部には淡黄褐色土を含む
- 11層 暗褐色土層 5~8cm程の明褐色土ブロック1~5cm程の淡黄褐色土ブロックを多量に含む
- 12層 淡黄褐色土層 やや暗味を帯びる 地山?
- 13層 淡黄褐色土層 地山
- 14層 淡黄褐色土層 地山

SK1699 E トレンチ南壁土層



- 1層 淡褐色土層 土層には覆れていないが、遺棄器破片等はこの層に含まれるのではないかと推察される
- 2層 淡褐色土層 土器粒、砂粒、灰粒を少量含む。1層の最下部に土器片が含まれる
- 3層 暗褐色土層 土器粒、灰粒を含む。また1~5cm程の淡黄褐色土及び暗褐色土層を層中位を中心に含む
- 4層 淡褐色土層 下層暗味を帯びる。少量の土器片を含む
- 5層 淡褐色土層 土器片を少量含む。一部に暗灰褐色土を含む
- 6層 淡褐色土層 基本[?]には4層と連続するものと考えられるが、若干暗い色調を成す
- 7層 淡褐色土層 6層の連続か?。若干色調が異なるがDトレンチの土色を考慮すると6層の連続ともとれる
- 8層 暗褐色土層 淡褐色土が少量含まれる
- 9層 淡灰褐色土層 1~2cm程の淡褐色土ブロックが少量含まれる
- 10層 淡灰褐色土層 2~3cm程の淡黄褐色土ブロックを多量に含む



図 49 吉野ヶ丘丘陵地区V区 SK1699 トレンチ土層断面1 (S=1/30)

(3) 出土遺物

A 甕棺

1～25はST1001北墳丘墓から出土した甕棺である。14基全てが大型の裏と裏の合口で、個体数は計28個であるが、このうち復元することができた25点について報告する。なお、全個体の内外面に黒塗りが施されている。

1はSJ1002上裏で、口縁から胴部中位付近までが残存する。口縁断面逆L字状をなし、口縁上面はやや外傾する。口縁下に断面台形の突帯が1条巡る。2はSJ1002下裏で、ほぼ完形である。口縁断面T字状をなし、口縁上面はやや外傾する。断面三角形の突帯が口縁下に1条、胴部中位に2条巡る。

3はSJ1003上裏で、口縁から胴部中央付近までが残存する。口縁上面はほぼ水平で、断面は内側に厚く張り出すT字状をなす。胴部は丸みを帯びる。断面三角形の突帯が口縁下に1条、胴部中位に2条巡る。

4はSJ1003下裏で、ほぼ完全に復元できる。口縁上面はほぼ水平で、内側に厚く張り出す断面T字状をなす。胴部は丸みを帯びる。断面M字形の突帯が口縁下に1条、断面三角形の突帯が胴部に2条巡る。

5はSJ1004上裏で、口縁から胴部中位にかけて残存する。口縁は内側に厚く張り出す断面T字状をなす。胴部は丸みを帯びる。胴部中位に断面三角形の突帯が2条巡る。6はSJ1004下裏で、ほぼ完形である。口縁上面は外傾し、断面T字状をなす。器形は口縁下が窄まり、胴部中位に断面三角形の突帯が2条巡る。

7はSJ1005下裏で、口縁から胴部にかけて一部欠損する。口縁上面は外傾し、断面は外側に延びるT字状をなす。口縁下には突帯はなく、胴部中央やや下位に断面三角突帯が2条巡る。

8はSJ1006上裏で、ほぼ完存している。口縁は内側に厚く長く張り出し、口縁上面は外傾する。胴部は丸みを帯び、中位付近を最大径とする。口縁下には突帯はなく、胴部中央やや下位に断面三角突帯が2条巡る。

9はSJ1006下裏で、ほぼ完存している。口縁は内側に厚く長く張り出し、口縁上面はほぼ水平である。上裏に比べ丸みはなく、砲弾形をなす。口縁下には突帯はなく、胴部中位に断面三角突帯が2条巡る。

10はSJ1007上裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面T字形をなし、口縁上面はやや外傾する。器形は砲弾形で、口縁下には突帯は無く、胴部中央やや下位に断面三角突帯が2条巡る。11はSJ1007下裏で、ほぼ完存している。口縁は内側がより厚く長い断面T字形で、口縁上面はやや外傾する。胴部は丸みを帯び、上位を最大径とする。口縁下に断面M字形の突帯が1条、胴部中央やや下位に断面三角突帯が2条巡る。

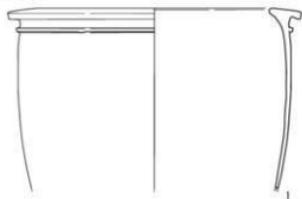
12はSJ1009下裏で、口縁から胴部にかけて部分的に残存する。口縁は外側により長く延びる断面T字形で、口縁上面はやや外傾する。口縁下に断面コの字形の突帯が1条、胴部に断面コの字形の突帯が2条巡る。

13はSJ1050上裏で、口縁から胴部にかけて部分的に残存する。口縁は外側に長く延びる断面T字状で、口縁上面はやや外傾する。口縁下に断面コの字形の突帯が2条巡る。14はSJ1050下裏で、ほぼ完存している。口縁は外側に延びる断面T字状で、口縁上面は外傾する。断面コの字形の突帯が口縁下に2条、胴部中位に3条巡る。

15はSJ1051上裏で、ほぼ全形が復元できる。口縁は内側に長く延び、口縁上面は外傾する。口縁下には突帯は無く、胴部中位に断面三角形の突帯が2条巡る。16はSJ1051下裏で、ほぼ完存している。口縁は内側に長く延び、口縁上面は外傾する。断面三角形の突帯が口縁下に1条、胴部中位に2条巡る。

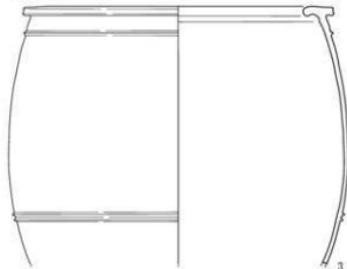
17はSJ1052上裏で、一部欠損している。口縁は内外に延びる断面T字形で、口縁上面はほぼ水平である。断面三角形の突帯が口縁下に1条、胴部中位に2条巡る。18はSJ1052下裏で、ほぼ完存している。口縁は内側に長く延び、口縁上面は外傾する。口縁下に突帯は無く、胴部下位に断面三角形の突帯が2条巡る。

SJ1002上



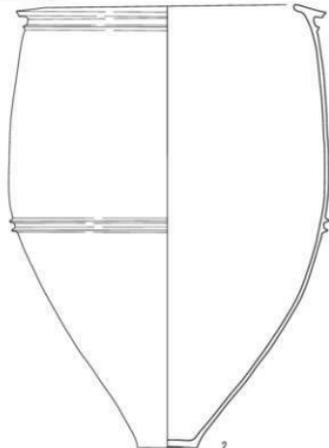
1

SJ1003上



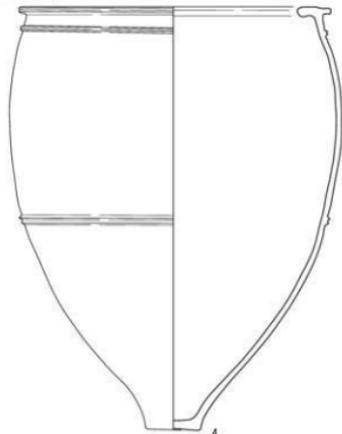
3

SJ1002下



2

SJ1003下



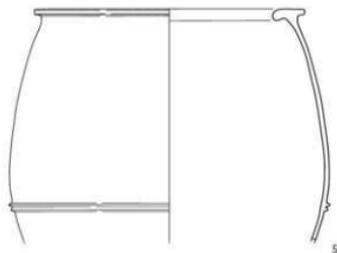
4



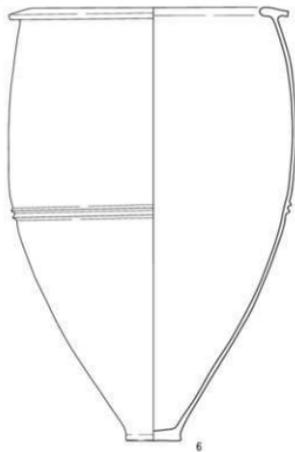
図51 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 甕棺1 (S=1/12)

ST1001 北墳丘墓

SJ1004上



SJ1004下

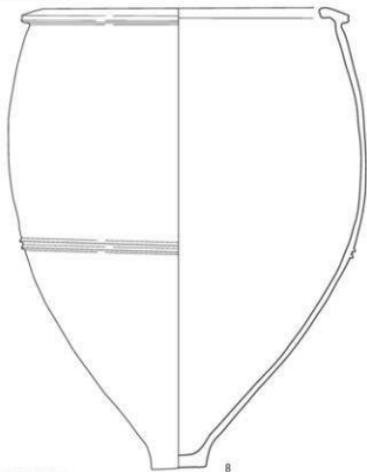


SJ1005下

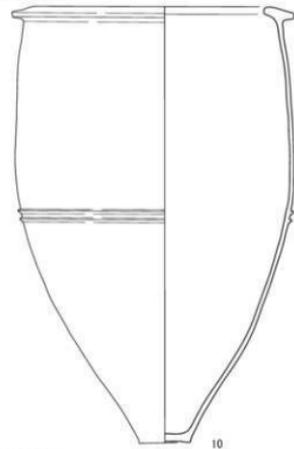


图 52 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 甕棺 2 (S=1/12)

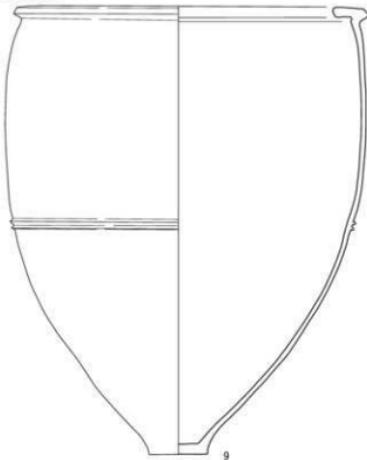
SJ1006上



SJ1007上



SJ1006下



SJ1007下

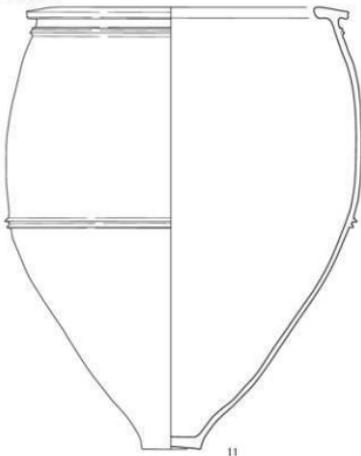
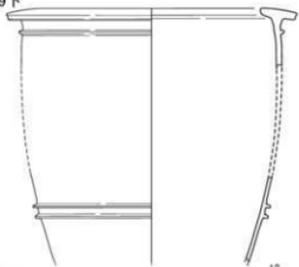


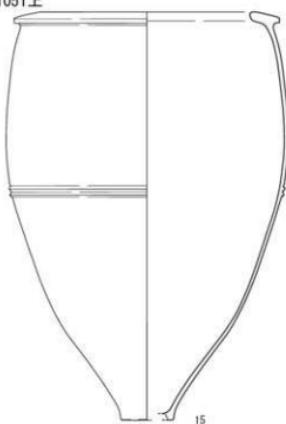
图 53 吉野分里丘陵地区V区 ST1001 甕棺 3 (S=1/12)

ST1001 北墳丘墓

SJ1009下



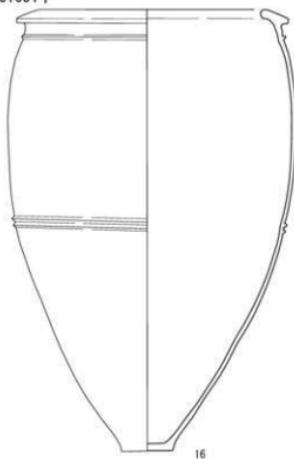
SJ1051上



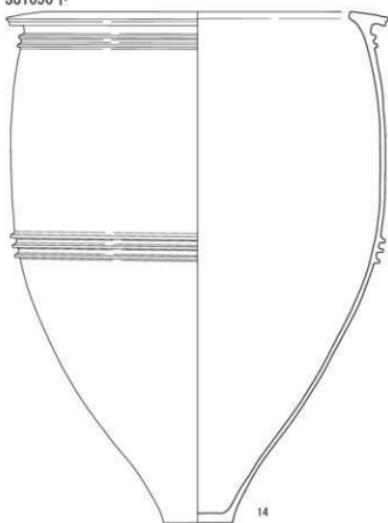
SJ1050上



SJ1051下



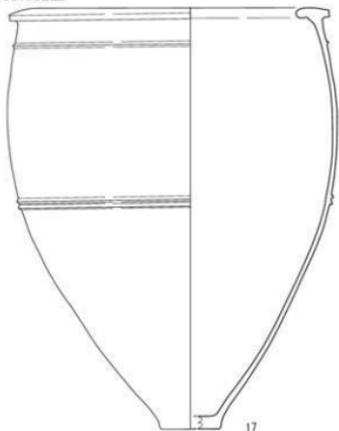
SJ1050下



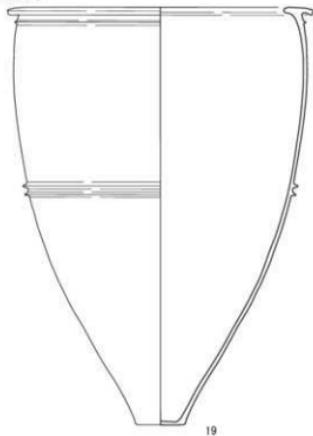
0 50cm

図 54 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 甕棺 4 (S=1/12)

SJ1052上



SJ1054下



SJ1052下

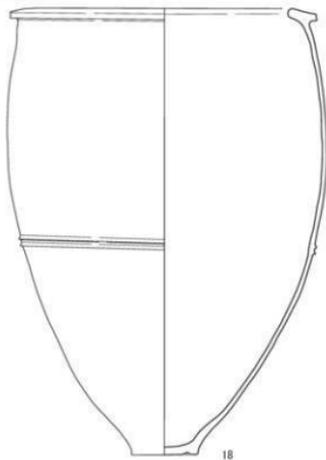
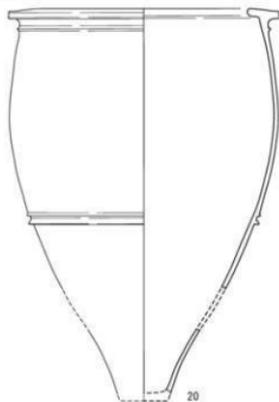


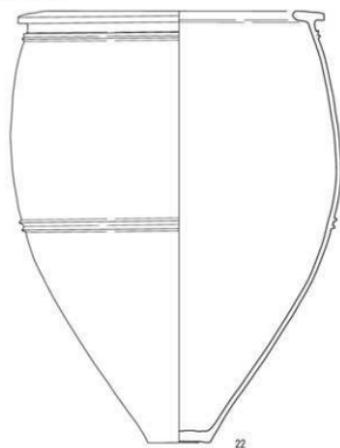
图 55 吉野分里丘陵地区V区 ST1001 甕棺 5 (S=1/12)

ST1001 北墳丘墓

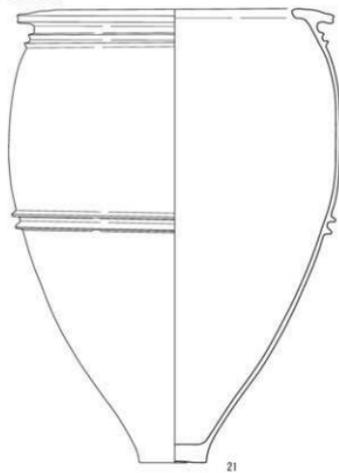
SJ1055上



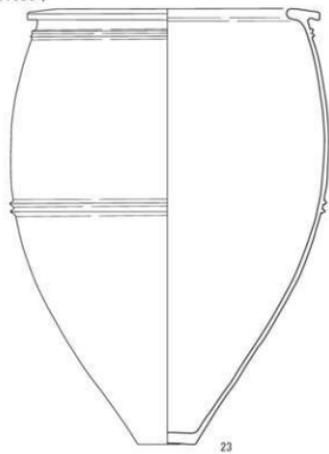
SJ1056上



SJ1055下



SJ1056下



0 50cm

図 56 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 甕棺 6 (S=1/12)

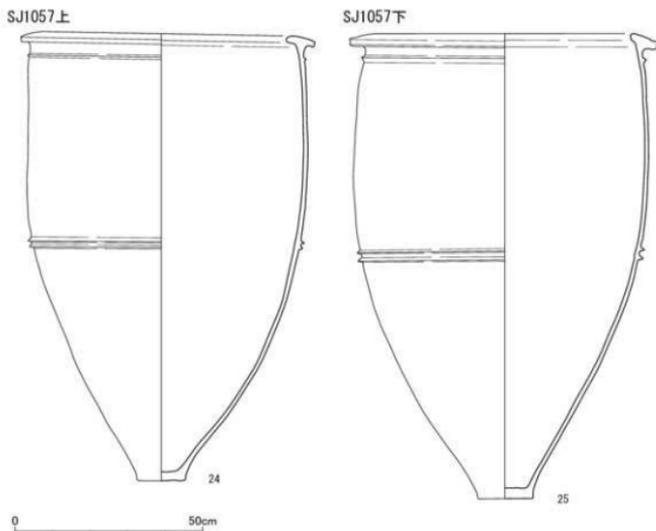


図57 吉野ヶ里丘陵地区V区 S1001 妻棺7 (5=1/12)

表3 吉野ヶ里丘陵地区V区 S1001 出土妻棺

採掘・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口徑	底径	器高	外面	内面	
図51-1	98000752	SJ1002上	横	78.6*			淡褐	淡褐	内外面黒塗り
図51-2	98000753	SJ1002下	横	82.6	16.0	119.6	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図51-3	98000754	SJ1003上	横	83.0*			淡褐	淡褐	内外面黒塗り
図51-4	98000755	SJ1003下	横	83.2	14.6	115.3	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図52-5	98000756	SJ1004上	横	72.0*			淡褐	淡褐	内外面黒塗り
図52-6	98000757	SJ1004下	横	74.5	14.5	117.9	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図52-7	98000758	SJ1005下	横	81.8*	14.4	117.5	淡褐	淡褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図53-8	98000759	SJ1006上	横	87.4	14.6	146.0	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図53-9	98000760	SJ1006下	横	94.5	15.5	121.6	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図53-10	98000761	SJ1007上	横	75.4	13.8	118.4	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図53-11	98000762	SJ1007下	横	86.0	15.4	120.0	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図54-12	98000763	SJ1009下	横	77.6*			明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図54-13	98000764	SJ1050上	横	93.7*			明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図54-14	98000765	SJ1050下	横	101.8*	18.5	139.0	淡褐	淡褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図54-15	98000766	SJ1051上	横	70.8	14.0	110.6*	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図54-16	98000767	SJ1051下	横	72.4	13.6	120.2	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図55-17	98000768	SJ1052上	横	86.7	15.0	114.3	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図55-18	98000769	SJ1052下	横	81.8	17.6	121.3	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図55-19	98000770	SJ1054下	横	81.5	13.4	113.7	淡褐	淡褐	内外面黒塗り
図56-20	98000771	SJ1055上	横	72.4	8.6*	106.8*	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図56-21	98000772	SJ1055下	横	84.4	17.8	123.3	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図56-22	98000773	SJ1056上	横	86.0	16.5	117.4	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図56-23	98000774	SJ1056下	横	78.0	15.1	126.2	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図57-24	98000775	SJ1057上	横	78.4	13.0	121.6	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り
図57-25	98000776	SJ1057下	横	82.2	14.6	126.4	明黄褐	明黄褐	内外面黒塗り・内面朱付着
図65-115	16000677	SJ1008上	横	30.1*		34.0*	赭	赭	小型胎
図65-116	16000678	SJ1008下	横	32.0		37.1	黄赭	赭	小型胎

19 は SJ1054 下裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、断面三角形の突帯が口縁下に 1 条、胴部中位に 2 条巡る。胴部突帯が大きい。

20 は SJ1055 上裏で、口縁から胴部にかけて部分的に欠損している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、口縁上面はやや外傾する。断面三角形の突帯が口縁下に 1 条、胴部中位に 2 条巡る。胴部突帯が大きい。

21 は SJ1055 下裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、口縁上面はやや外傾する。口縁下に断面三角形の突帯が 1 条、胴部中位に断面コの字形の突帯が 2 条巡る。

22 は SJ1056 上裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、口縁上面はほぼ水平である。全体的に丸みを帯びた器形である。口縁下に断面 M 字形の突帯が 1 条、胴部中位に断面三角形の突帯が 2 条巡る。23 は SJ1056 下裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、口縁上面はやや外傾する。上裏と同様に器形は丸みを帯びており、口縁下に断面 M 字形の突帯が 1 条、胴部中位に断面三角形の突帯が 2 条巡る。

24 は SJ1057 上裏で、ほぼ完存している。口縁は内外に延びる断面 T 字形で、口縁上面はやや外傾する。断面三角形の突帯が口縁下に 1 条、胴部中位に 2 条巡る。25 は SJ1057 下裏で、ほぼ完存している。口縁は外側に厚く長く延び、口縁上面は外傾する。断面三角形の突帯が口縁下に 1 条、胴部中位に 2 条巡る。

115・116 は ST1001 南西に位置する SJ1008 甕棺で、ともに小型の甕である。115 は上裏で、底部を欠損する。口縁断面逆 L 字形をなし、口縁上面は僅かに凹む。摩耗のため調整は不明である。116 は下裏で、口縁断面逆 L 字形をなし、口縁上面はほぼ平坦である。調整は外面ハケメ、内面ナデである。

B 青銅器

26～35 は ST1001 北墳丘墓内の甕棺墓から出土した青銅器である。26～31 は昭和 64（平成元）年の調査、32～35 は平成 4 年の再調査でそれぞれ出土した。

26 は SJ1002 出土の有柄細形銅剣である。先端から 13.2cm の部分で 2 折しているが、接合し完形である。全長 44.3cm で、剣身長が 30.4cm、鐔から把頭飾までが 13.9cm となっている。刃部の研ぎ出しは劔方下方まで施されている。実測図では出土時の上面を A 面、下面を B 面としている。把頭飾は平面十字形で方柱の先端に円盤が載った形態であり、同じ ST1001 の SJ1007 甕棺墓から出土した青銅製把頭飾と同形態である。剣身の脊の中心線と柄部の中心線との間に約 2mm のズレが生じており、かつ、鐔の部分を境に剣身が B 面側に屈曲している。また、盤状の把頭と鐔は振れが認められる。A 面の関から柄部にかけて銅片の付着が認められ、鞘の可能性がある木質も一部付着していた。

27 は SJ1005 出土の細形銅剣で、刃部に細かい欠損がみられるがほぼ完形である。全長 21.1cm。刃部の研ぎ出しは関部まで施されている。剣身の幅は切先付近までほぼ等しく、切先部で丸みをもって尖る形状をなす。

28 は SJ1006 出土の細形銅剣で、先端と刃部の一部を欠損する。残存長は 28.8cm で、先端から約 2/5 の部分で 2 折している。刃部の研ぎ出しは関部まで施されている。剣身は劔方部から切先にかけてやや先細りの形状をなす。茎には柄との固定用とみられる細かな溝が多数残存している。

29 は SJ1007 出土の細形銅剣で、切先と劔方の一部を欠損する。残存長は 30.6cm。刃部の研ぎ出しは切先から関部まで施されている。茎にも研磨によって鋳が作り出されており、横断面八角形をなす。剣身は劔方から切先にかけてやや先細りの形状をなす。

SJ1002

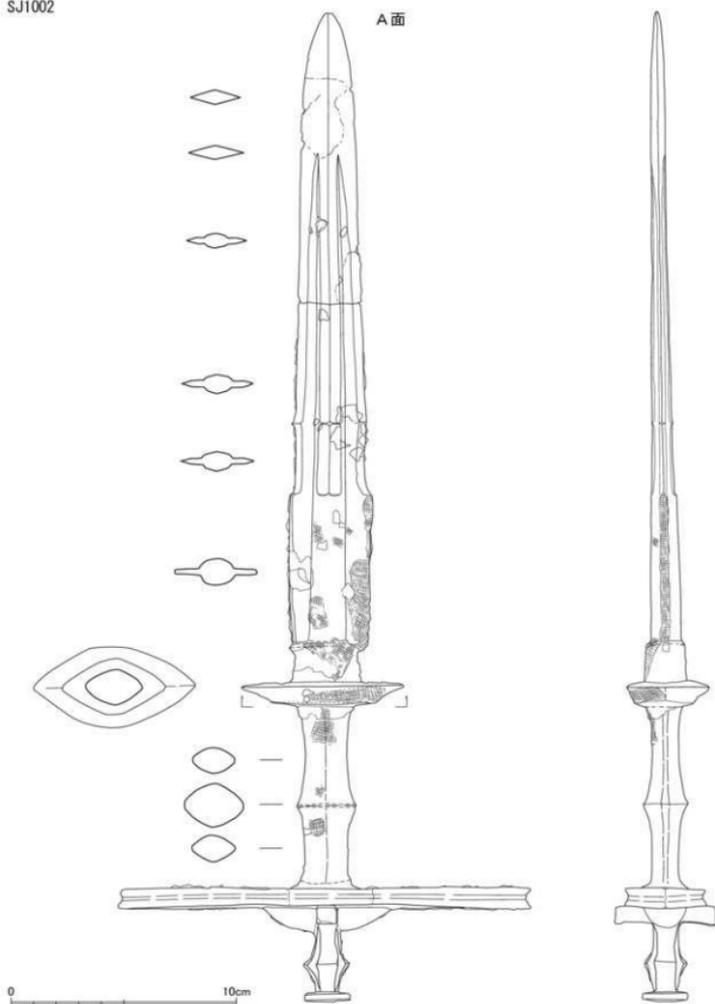


图 58 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青銅器 1 (S=1/2)

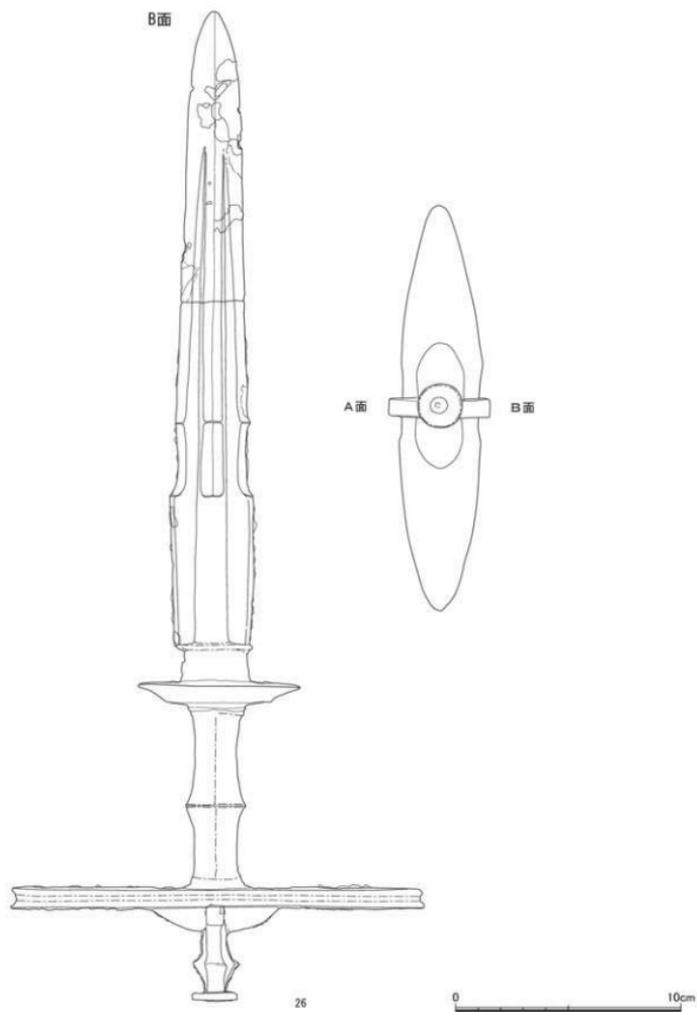


图 59 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青銅劔 2 (S=1/2)

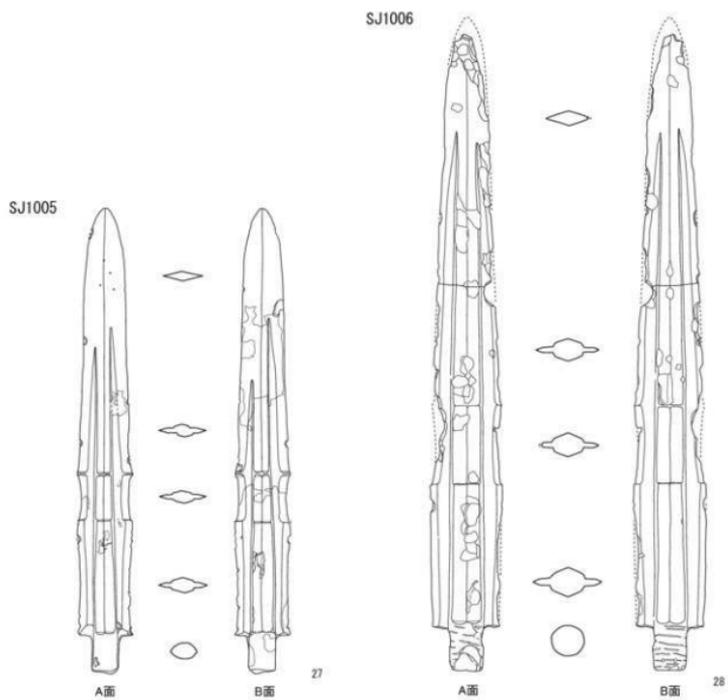


图60 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青銅器3 (S=1/2)

SJ1007

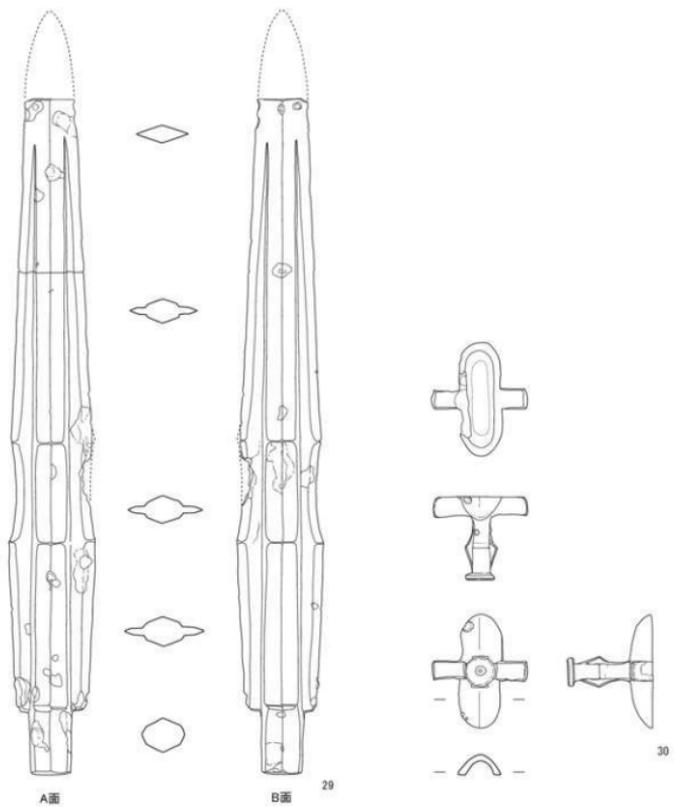
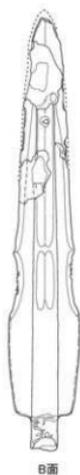


图 61 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青铜器 4 (S=1/2)

SJ1009



SJ1054

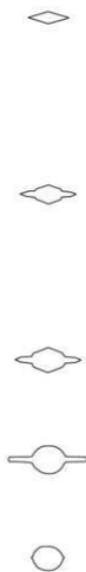
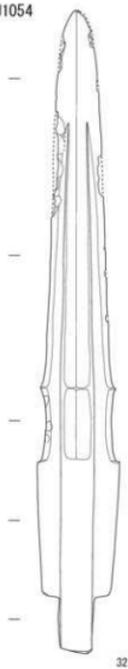


图 62 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青铜器5 (S=1/2)

ST1001 北墳丘墓

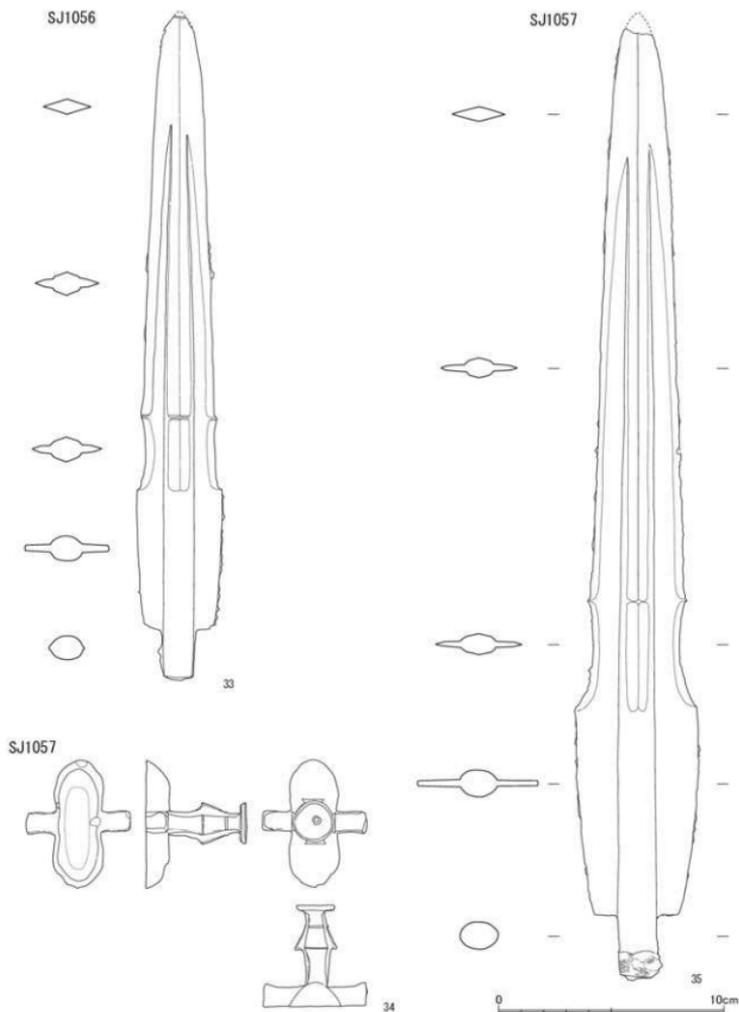


图 63 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 青铜器 6 (S=1/2)

表4 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 出土青銅器

神図・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			重量 g	備考
				長さ	幅	厚さ		
図 58・59-26	92001489	SJ1002	銅剣	44.3	17.37	1.16	858.0	有柄・細形
図 60-27	92001487	SJ1005	銅剣	21.1	11.5	0.77	82.0	細形
図 60-28	92001491	SJ1006	銅剣	28.8	3.2	1.38	236.0	細形
図 61-29	92001492	SJ1007	銅剣	30.6	3.82	1.59	403.0	細形
図 61-30	92001488	SJ1007	把頭飾	5.08	4.26	3.73	42.0	
図 62-31	92001486	SJ1009	銅剣	19.7	3.11	0.97	110.0	細形
図 62-32	04003729	SJ1054	銅剣	29.1	3.7	1.2	264.0	細形
図 63-33	04003730	SJ1056	銅剣	29.9	3.85	1.1	242.0	細形
図 63-34	04003731	SJ1057	銅剣	43.0	5.4	1.3	460.0	中細形
図 63-35	17000349	SJ1057	把頭飾	5.7	4.7	4.35	85.1	

30はSJ1007出土の青銅製把頭飾である。細形銅剣から3cm離れた位置から出土しており、錆化の状況や色調が銅剣と同様である。平面十字形で、中彫れの方柱には四方に切り込みがあり、その先端に円盤がつく。

31はSJ1009出土の細形銅剣で、切先と刃円の一部を欠損する。残存長19.7cm。刃部の研ぎ出しは切先から刃方下端部まで施されている。茎の表面には柄と固定するためのものとみられる縞状の痕跡が残る。

32はSJ1054出土の細形銅剣で、切先部と刃部の一部を欠損しているがほぼ完形である。刃方部から先端にかけて先細りの形態をなす。刃部の研ぎ出しは切先から刃方下端まで施されている。色調は、刃部の一部が錆化のため黄色を帯びた薄い緑色、それ以外の部分は暗緑色を呈する。

33はSJ1055出土の細形銅剣で、切先部分を僅かに欠損するがほぼ完形である。刃部の研ぎ出しは先端から刃方下端まで施されている。また、剣身中央やや先端よりの部分に布片の痕跡があるほか、刃方から茎の間に朱の付着が一部認められる。色調は、剣身の下端約1/3が錆化のためやや黄色を帯びた薄い緑色、それ以外の部分は青みがかった緑色を呈する。

34はSJ1057出土の中細形銅剣で、切先の一部を欠損するがそれ以外はほぼ完形である。刃部の研ぎ出しは切先から刃方下端まで施されている。両面の一部に朱が付着しているほか、片面の刃方から円と茎の部分にかけて布片の痕跡が認められる。

35はSJ1057出土の青銅製把頭飾で、僅かに欠損部があるがほぼ完形である。十字形で、中彫れの方柱には四方に切り込みがあり、その先端には円盤がつく。SJ1007出土の把頭飾(30)に比べて大型であるが、形態的には酷似している。色調はやや明るい黄褐色の緑色を呈する。

C 装身具

36～114はST1001北墳丘陵のSJ1002 喪棺墓棺内から出土したガラス製管玉である。破損しているものもあるが、確認している個体数は計79点である。下喪棺内の床に近い位置で、約50点がやや上層に、残りが棺底に近い部分から出土した。喪棺内には水銀朱が厚く堆積していたことから、約半数の玉は朱を被った状態であった。人骨が遺存していなかったため不明であるが、棺の埋置角度や埋葬姿勢から考えると、被葬者の首から胸にあたる位置とみられる。管玉は縦方向と横方向とに組み合わせられていたとみられ、上(上喪側)から下にかけて広がる形状であったと推定される。

分析の結果、管玉の素材は「鉛・バリウムガラス」であることが判明している(『113集』)。色調は、半透明質の明るい青色、透明感のない暗い青色、明るい青色に白色の縞模様が混じるもの、の大きく3種類

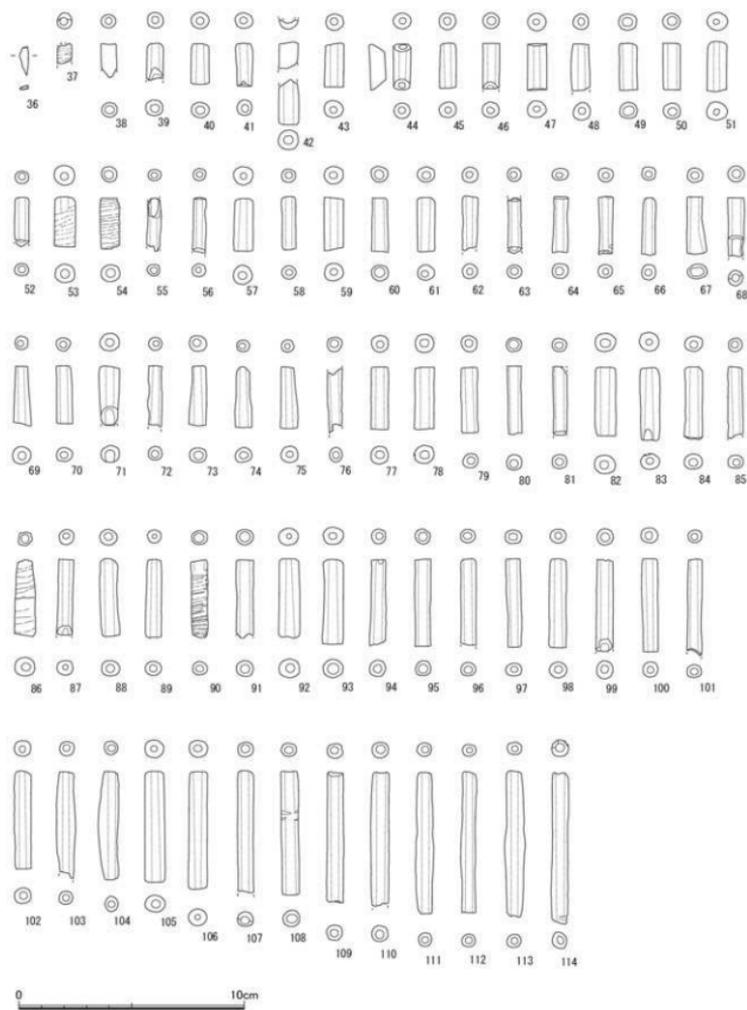


図 64 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉 (S=1/2)

があるが、白色のものは風化による変色と考えられる。管玉の大きさは、破損しているものを除くと長さ1.86～6.81cm、径0.51～0.95cmで、孔径は0.23～0.61cmである。

表面に横方向の細かな螺旋状の筋や溝が残るものがみられることから、心棒を溶解したガラス原料を巻き、全体を一つの管玉とし、心棒を抜く「巻き抜き技法」により製作されたと考えられる。管玉の平面形は円筒形であるが、側縁が湾曲するものや表面に稜を持つものもみられる。端部の形状は、製作時の表面張力による丸みを帯びたままのものや、研磨により平坦に整形されたもの、研磨痕はないが意図的に折られたと考えられるものなどがあり、埋没時の土圧の影響によって折れたとみられるものもある。

その他、1点のみ上下端部を斜めに研磨整形したもの(44)があり、組合せの際の角部に使用された可能性がある。横断面形は円形がほとんどであるが、楕円形や隅丸長方形のものも一部みられる。6cm以上のものなかには両端とも丸みを帯びたままのもの(113・114)もあることから、6cm程度の長さを目単位として作られ、短いものは2～3個に折って加工された可能性が考えられる。

D 祭祀遺構出土土器

117～367はST1001北墳丘墓一帯の祭祀遺構から出土した土器である。

117～131はSK1010から出土した。117～123は口縁断面三角形の甕である。124・125は反外口縁の壺で、124は口縁内面に磨きが施される。125は口縁端部に刻み目が施される。126～131は甕底部で、平底と上げ底の両方がある。

132～153はSK1039から出土した。132、135～140は口縁断面逆L字形の甕、133・134は鋤先状口縁の壺で、135は口縁断面逆L字形の壺である。141・142は甕棺の口縁部である。143・144は蓋で、上面が窪む。145は甕底部、147は壺底部、148・149は樽型甕の底部である。150は小型の高環の脚部で、外面ミガキが施される。151～153は器台で、ほぼ上下対称である。

154～195は墓道状遺構SD1011から出土した。154～168は甕で、154～156、162は口縁断面逆L字形、157・158は断面萌芽的な「く」の字形、160・161・163・164は断面「く」の字形である。165～168は底部で、165は樽型甕底部である。

169～172は甕棺の口縁部片である。175・176は鋤先口縁の広口壺である。176は復元口径43.2cm、器高43.7cmと大型で、口縁端部の上下に楕円形の刻み目が施されている。

177は袋状口縁壺で、口縁は屈曲し稜を持つ。178は口縁断面「く」の字形の甕、179は蓋、180はミニチュアの壺である。181～183は壺底部で、181はレンズ状底、182は平底、183はややや上げ底である。184は椀型の鉢、185は小型平底の壺底部、186は断面「く」の字形の鉢、187は反外口縁の鉢である。

188～190は高環で、188は脚部以下を欠損し、189・190は脚部のみ残存する。189は受部との間が粘土接合部分で折れている。191～195は器台である。195は脚部に長方形の透孔4か所を持つ筒形器台で、裾部に暗文が施されている。

196～377は大型祭祀坑土器SK1699から出土した。196～198は詳細な出土位置が不明なものである。196は短く直線的に立ち上がる小型の壺で、胴部中に焼成後穿孔が施されている。197は単純口縁の鉢で、底部を欠損する。外面丹塗りで、内外面ハケメが施される。198は器台で、端部に刻み目が施されている。

199～202はBトレンチから出土した。199は袋状口縁壺で、袋部内面に稜を持つ。200は高環の裾部で、外面ミガキが施される。201は内湾口縁の壺で、全体的に厚手である。202は支脚で、受け部中央に円孔

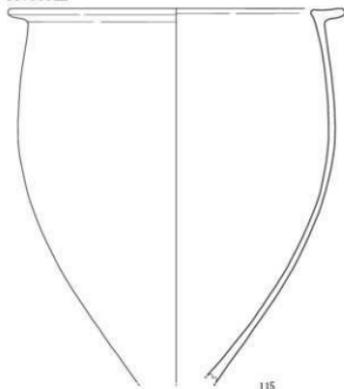
表5 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉

挿入 番号	調査時 取上番号	寸法 cm		端部の形状		色調	備考
		長さ	径	上端	下端		
図 64-36	84					明青	
37	17~21		0.78	丸	折れ	明青	縮模様
38	32	1.48+	0.71	平	折れ	明青	
39	39	1.67+	0.79	丸	折れ	明青	
40	75	1.86	0.76	平 研磨	平 研磨	明青	
41	45	1.92	0.77	丸	平 研磨	明青	
42	22・23	1.96+	0.91	丸	平 研磨	暗青	
43	40	1.97	0.79	丸	平	暗青	
44	79	2.01	0.77	斜 研磨	斜 研磨	明青	縦断面台形
45	26	2.02	0.71	丸	平 研磨	明青	
46	78	2.06+	0.75	平 研磨	折れ	明青	
47	14	2.07	0.87	平 研磨	平 研磨	暗青	
48	50	2.11+	0.84	平 研磨	折れ	明青	
49	44	2.12	0.78	丸	平 研磨	明青	
50	54	2.12	0.73	平 研磨	平 研磨	明青	
51	1	2.20	0.80	丸	平	明青	
52	67	2.21+	0.57	丸	折れ	明青	
53	63	2.25	0.89	丸 研磨	平 研磨	暗青	薄い織状
54	74	2.29	0.82	丸	丸	明青	縮模様
55	64	2.34+	0.57	折れ	折れ	明青	
56	12	2.35+	0.51	平 研磨	折れ	明青	
57	43	2.36	0.87	丸	平 研磨	明青	
58	4	2.38	0.64	丸	平 研磨	明青	
59	80	2.40	0.85	平 研磨	平 研磨	暗青	
60	7	2.42	0.72	平 研磨	平 研磨	明青	
61	52	2.43	0.74	丸 研磨	平 研磨	明青	
62	28	2.44+	0.69	丸	折れ	明青	
63	15	2.45+	0.58	折れ	折れ	明青	
64	33	2.51	0.72	丸 研磨	平 研磨	明青	
65	29	2.55	0.65	平 研磨	折れ	明青	
66	30	2.55	0.67	丸	平 研磨	明青	
67	9	2.56	0.86	平 研磨	丸	明青	
68	10	2.6+	0.69	平 研磨	折れ	明青	
69	16	2.64	0.81	平 研磨	折れ	明青	
70	72	2.65	0.70	平 研磨	平 研磨	明青	
71	83	2.7+	0.86	平 研磨	折れ	明青	
72	3	2.7+	0.62	平 研磨	折れ	明青	
73	37	2.72	0.74	丸	平 研磨	明青	
74	77	2.73	0.78	丸	平 研磨	明青	
75	73	2.76	0.82	丸	平 研磨	明青	
76	35	2.81+	0.71	折れ	折れ	明青	
77	42	2.83	0.80	丸	平 研磨	暗青	
78	41	2.86	0.86	平 研磨	平 研磨	明青	
79	76	2.94	0.72	丸	平 研磨	明青	
80	5	3.05	0.62	平 研磨	折れ	明青	
81	6	3.05+	0.63	平	折れ	明青	
82	38	3.10	0.86	平 研磨	平 研磨	暗青	
83	13	3.25	0.90	丸	丸	暗青	
84	34	3.30	0.81	丸	丸 研磨	明青	
85	65	3.3+	0.70	丸	折れ	明青	
86	62	3.38	0.95	丸	平 研磨	明青	縮模様
87	11	3.39+	0.72	平	折れ	明青	
88	49	3.47	0.79	丸	平 研磨	明青	
89	60	3.51	0.72	丸	丸	暗青	
90	51	3.53	0.73	丸	丸	明青	縮模様
91	71	3.55+	0.75	平 研磨	折れ	明青	
92	82	3.60	0.85	丸	丸	暗青	
93	2	3.81	0.62	丸	平 研磨	明青	
94	24	3.84	0.73	平 研磨	折れ	明青	

表5 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 SJ1002 出土ガラス製管玉

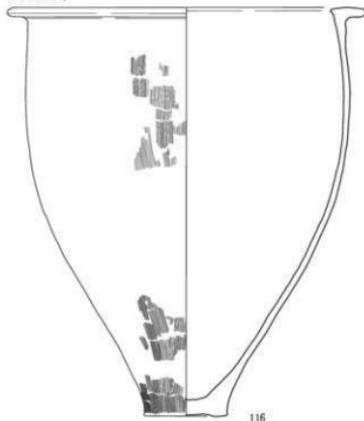
種別- 番号	調査時 取上番号	寸法 cm		端部の形状		色調	備考
		長さ	径	上端	下端		
図64-95	55	3.94	0.75	平 研磨	平 研磨	明青	
96	70	3.95+	0.65	丸	折れ	明青	
97	8	3.97	0.63	平 研磨	平 研磨	明青	
98	81	4.00	0.75	丸	平 研磨	明青	
99	25	4.11+	0.74	平 研磨	折れ	明青	
100	27	4.19	0.67	丸	平 研磨	明青	
101	68	4.35+	0.55	平 研磨	折れ	明青	
102	31	4.38	0.78	丸	平 研磨	明青	
103	36	4.8+	0.85	平 研磨	折れ	明青	
104	53	4.85	0.92	丸	丸	明青	
105	69	5.00	0.90	丸	平 研磨	暗青	
106	48	5.29	0.83	丸	丸	暗青	
107	47	5.51+	0.72	丸	折れ	明青	
108	56	5.59	0.79	丸	平 研磨	明青	
109	46	5.88	0.74	折れ	平 研磨	明青	
110	66	6.1+	0.90	丸	折れ	明青	
111	57	6.31	0.84	丸	丸	明青	
112	58	6.34	0.63	丸	平 研磨	明青	
113	61	6.60	0.86	丸	丸	明青	
114	59	6.79	0.79	丸	丸	明青	

SJ1008上



115

SJ1008下



116

0 10cm

図65 吉野ヶ里丘陵地区V区 SJ1008 甕棺 (S=1/4)

を持つ。

203～211はDトレンチから出土した。203・204は口縁断面「く」の字状の甕、205は口縁断面逆L字形の甕である。206は口縁断面「く」の字形の平底の壺である。207・208は平底の甕底部である。209は袋状口縁壺で、底部付近を欠損する。口縁断面逆「く」の字に屈曲し、頸部下と胴部中に断面三角形の突帯が2条ずつ巡る。調整は内外面ハケメが施される。210・211は高環の脚部で、ともに丹塗りが施され、裾部付近に断面台形の突帯が1条巡る。

212～215はEトレンチから出土した。212は口縁断面逆L字形の甕、213は口縁断面萌芽的「く」の字状の甕、214は鋤先口縁の高環、215は短く直線的に立ち上がるである。

216～220はHトレンチから出土した。216～219は口縁断面逆L字形の甕、220は器台で、径は受部より裾部がやや広い。

221～255はFトレンチから出土した。221～236は甕で、221～223は口縁断面逆L字形、224～233は口縁断面「く」の字形である。228は胴部の接合位置が不明だが同一個体とみられる。234～236は底部で、234・235は平底、236は上げ底である。

237～247は壺である。237は外反口縁、238は口縁断面萌芽的「く」の字形、239・240は袋状口縁、241・242は鋤先口縁である。243・244は広口壺で、243は器壁が厚く、244は口縁内面が肥厚する。245は口縁断面「く」の字形である。246は口縁部を欠損し、頸部と胴部にそれぞれ断面三角形の突帯が1条ずつ巡る。247は壺底部である。

248～252は鉢で、248・249は単純口縁、250は内湾口縁、251は手捏ねの鉢形土器、252は波状口縁である。253～255は高環で、253は鋤先口縁、254は脚部片である。255は脚部から裾部の破片で、外面丹塗りが施され、断面M字形の突帯が1条巡る。

256～330はSK1699の54調査区(トレンチ)部分から出土した。256～291は甕で、口縁断面は256・257・260が逆L字形、258・259、271～274が萌芽的な「く」の字形、261～270が「く」の字形である。271～291は底部で、ほぼ全て平底である。

292～297は鉢である。295は内外面に粗いハケメが施され、底部中央には穿孔が施されている。296は口縁端部が短く外反する。

298～310は高環である。298～300は鋤先状の口縁部、302～310は脚部から裾部の破片で、脚上部または脚部部に断面M字形の突帯が巡るものと突帯を持たないものがある。299、302～304、306は丹塗りが施されている。

311～319は器台である。318は筒形器台の受部片で、長方形の透孔が4ヶ所に施されている。319は大型の筒形器台の裾部片とみられる。

320～330は壺である。322は長頸壺で、口縁はほぼ直行する。326・327は鋤先状口縁の広口壺で、丹塗りが施されている。口縁上面に放射状の暗文が施されている。330は復元口径43.6cmの大型の広口壺で、口縁端部外面に刻み目が施されている。

331～377はSK1699の55調査区(トレンチ)部分から出土した。

331～345は甕で、331～335は口縁断面「く」の字形をなす。336～345は底部で、339は底部が突出し外面にタタキが施されている。

346・347は鉢で、口縁断面萌芽的な「く」の字形をなす。348は鋤先口縁の高環、349は高環脚部で、

SK1010

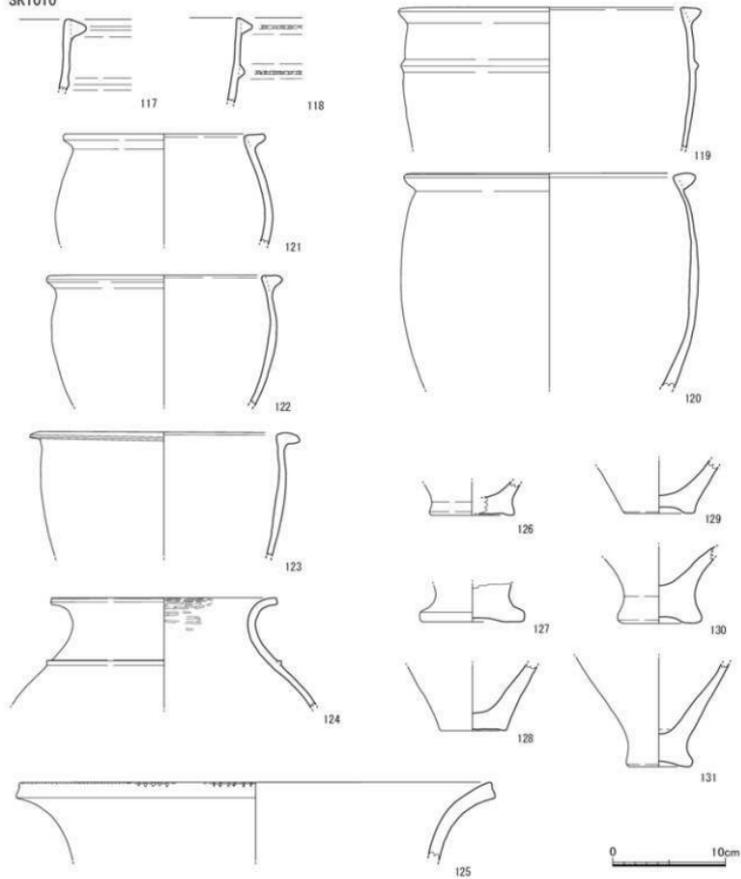


图66 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 祭祀遺構出土土器1 (S=1/4)

SK1039

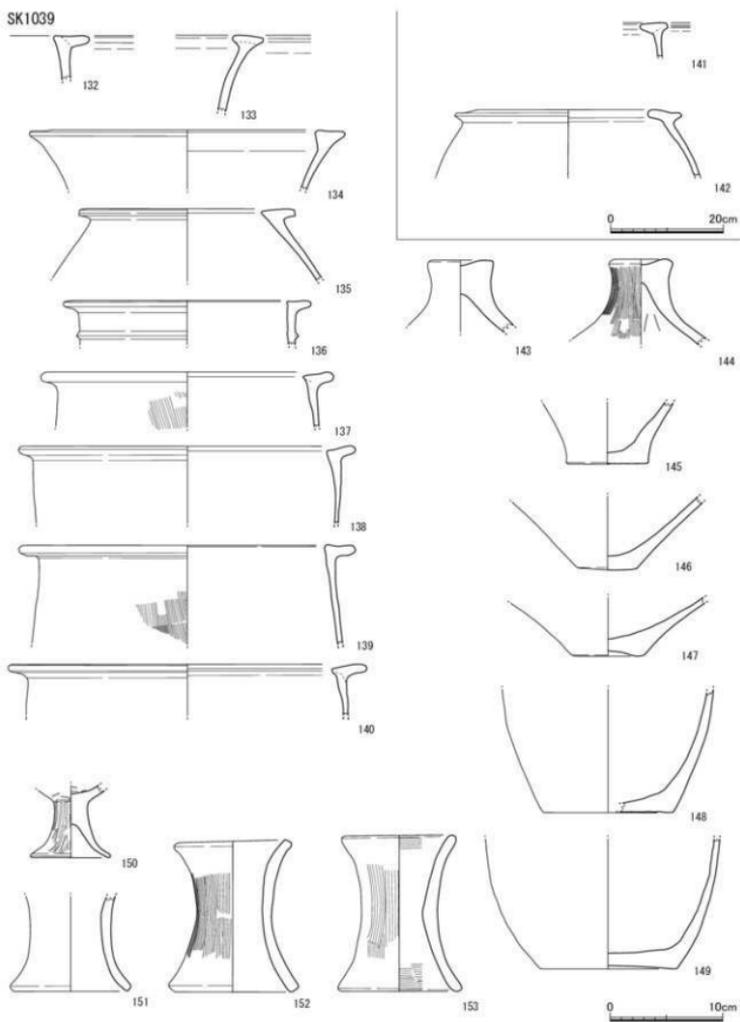


図 67 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 祭祀遺構出土土器 2 (S=1/4,1/8)

SD1011

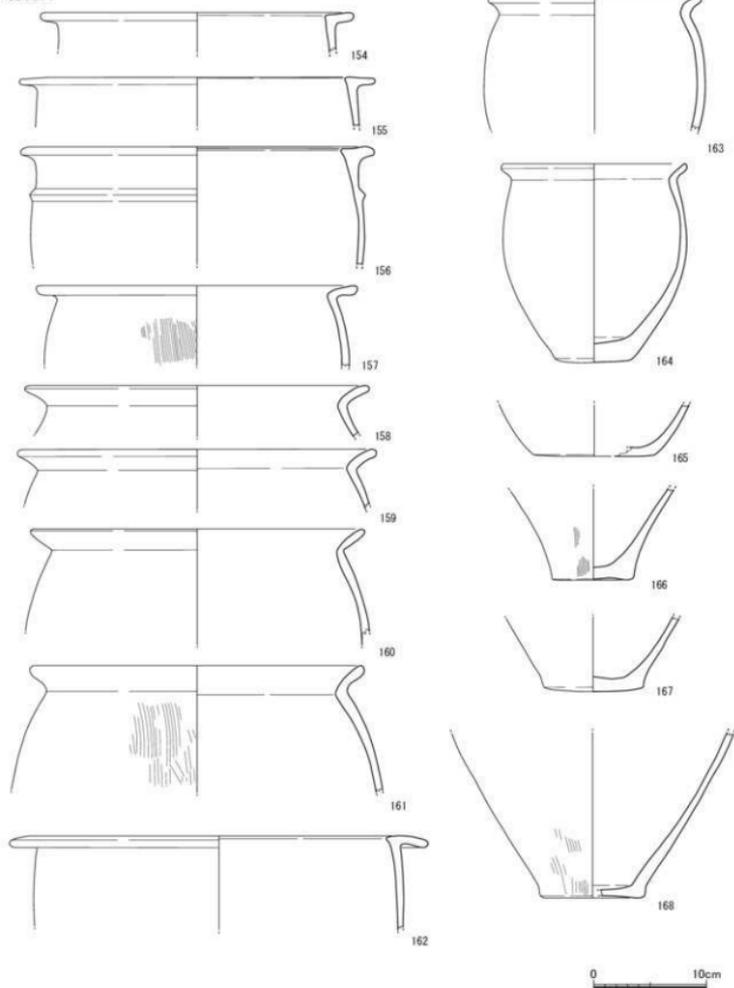


図 68 吉野ヶ里丘陵地区V区 墓道状通構 (SD1011) 出土土器 1 (S=1/4)

ST1001 北墳丘墓

SD1011

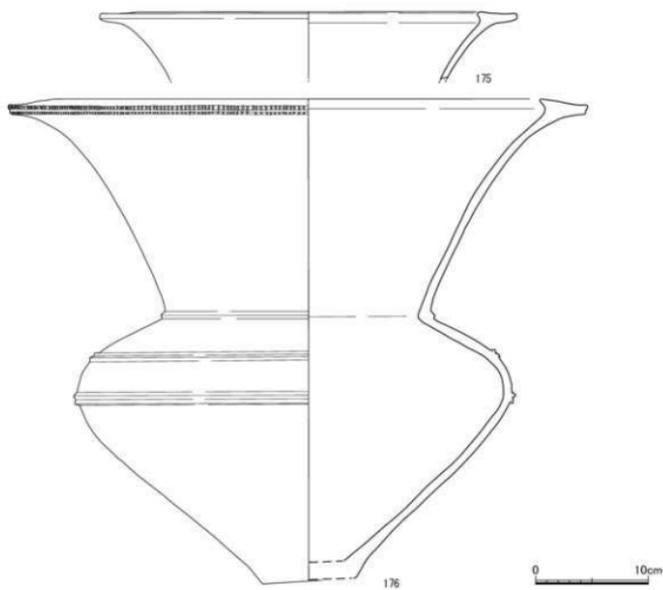
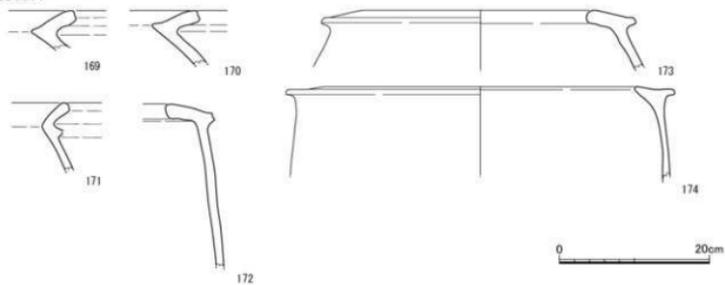


図 69 吉野ヶ里丘陵地区V区 墓道状遺構 (SD1011) 出土土器 2 (S=1/6,1/4)

SD1011

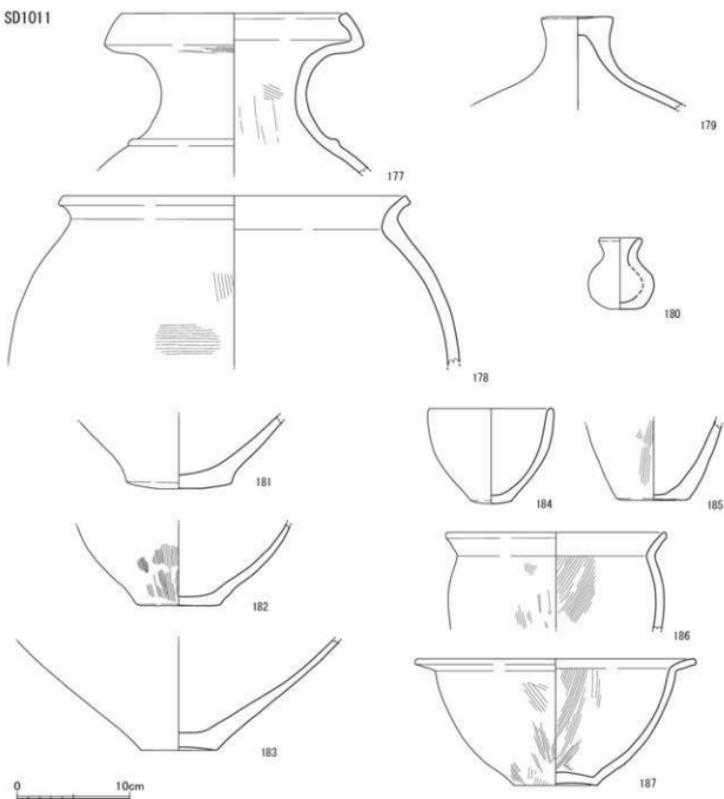


図70 吉野ヶ里丘陵地区V区 墓道状通構 (SD1011) 出土土器3 (S=1/4)

SD1011

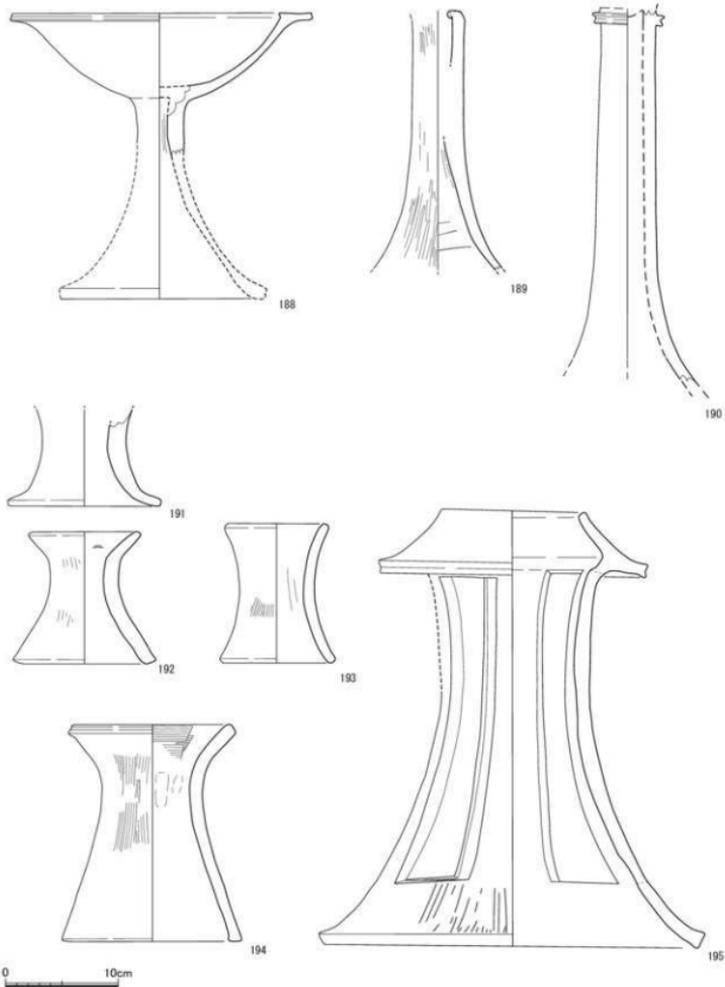
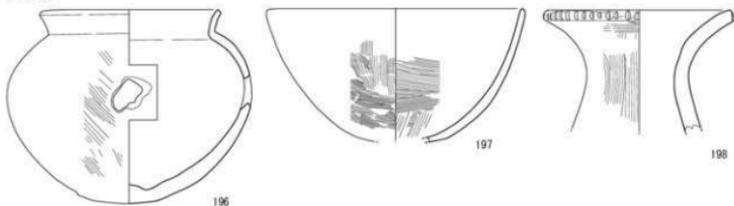
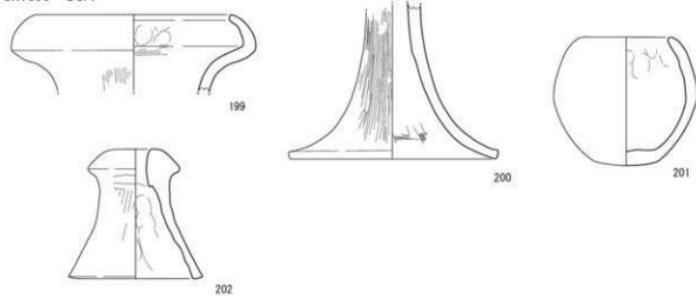


図71 吉野ヶ里丘陵地区V区 墓道状通櫃 (SD1011) 出土土器4 (S=1/4)

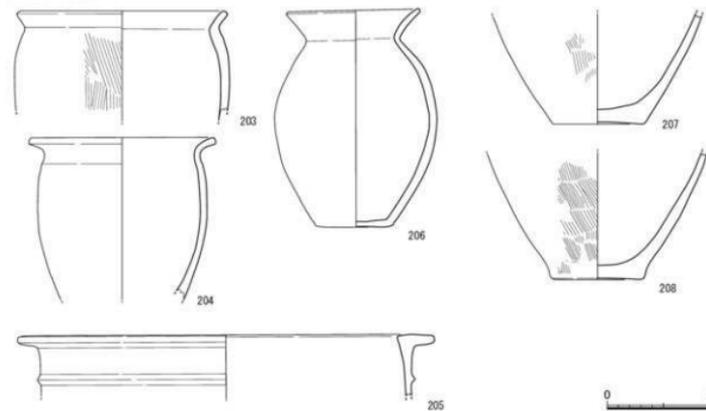
SK1699



SK1699 Btr.



SK1699 Dtr.

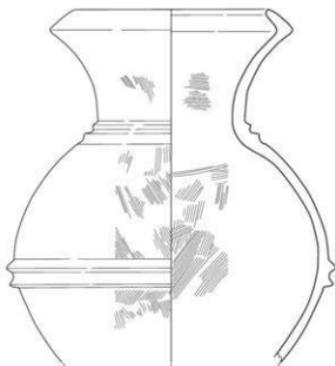


0 10cm

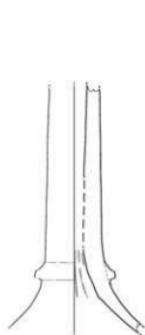
图72 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑(SK1699)出土土器1(S=1/4)

ST1001 北墳丘墓

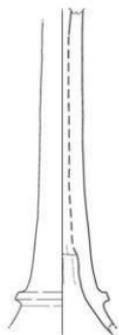
SK1699 Dtr.



209

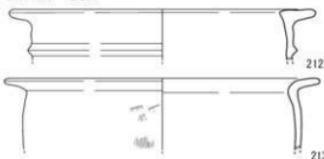


210



211

SK1699 Etr.



212



213

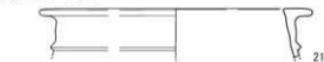


214



215

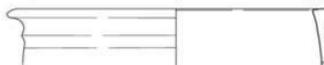
SK1699 Htr.



216



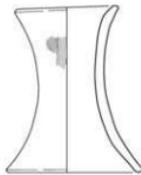
217



218



219



220

0 10cm

图73 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器2 (S=1/4)

SK1699 Ftr.

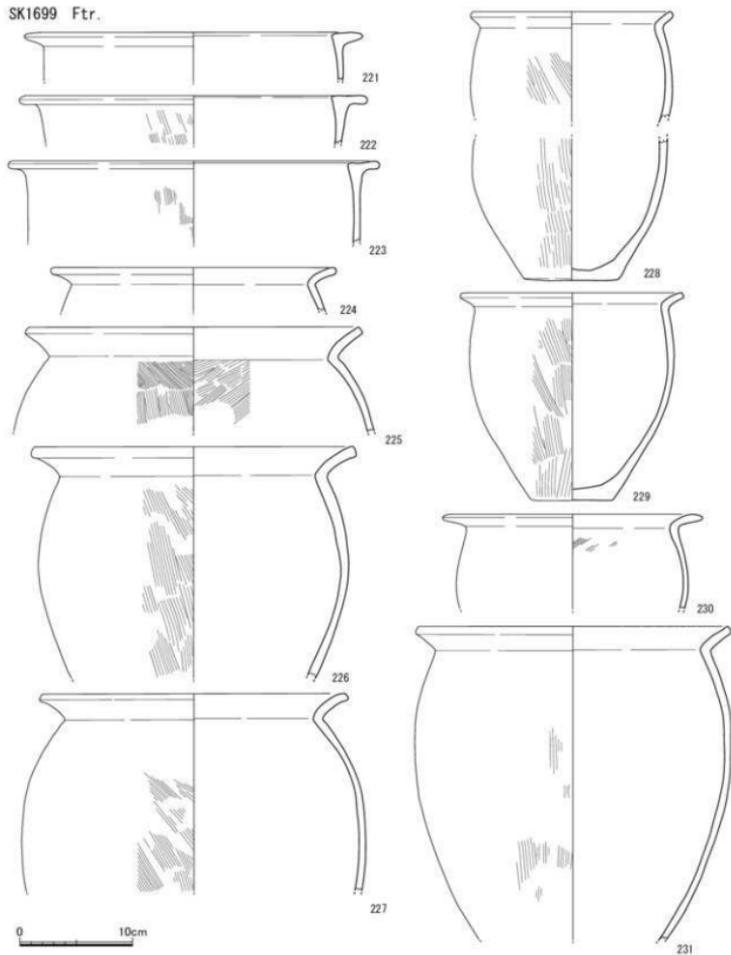


図74 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器3 (S=1/4)

ST1001 北墳丘墓

SK1699 Ftr.

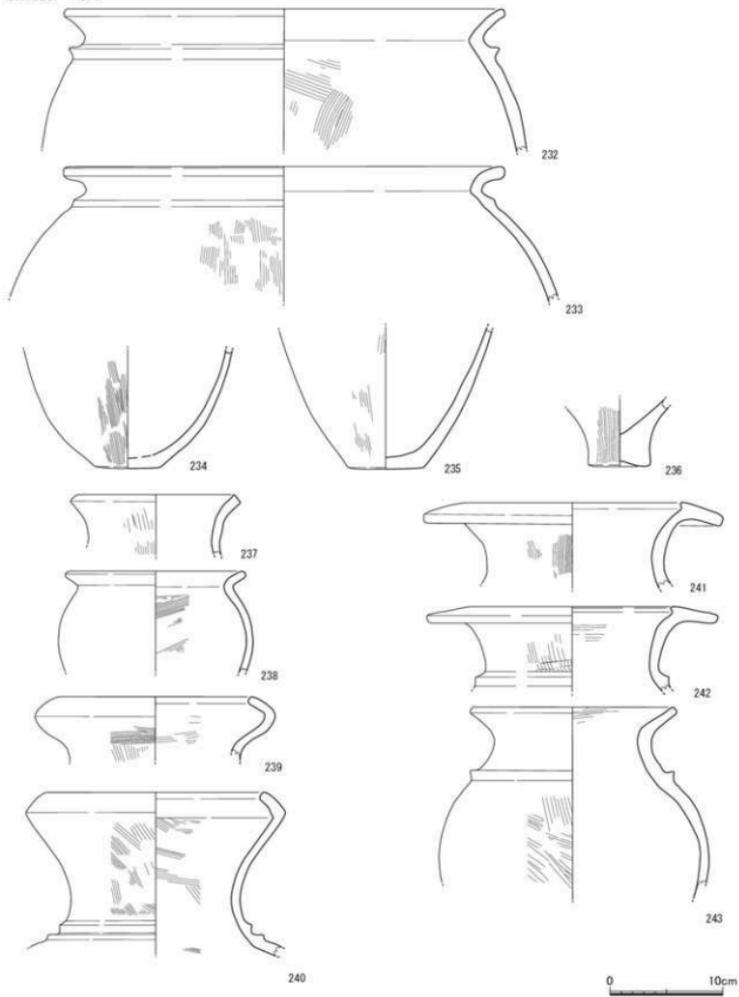


图75 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器4 (S=1/4)

SK1699 Ftr.

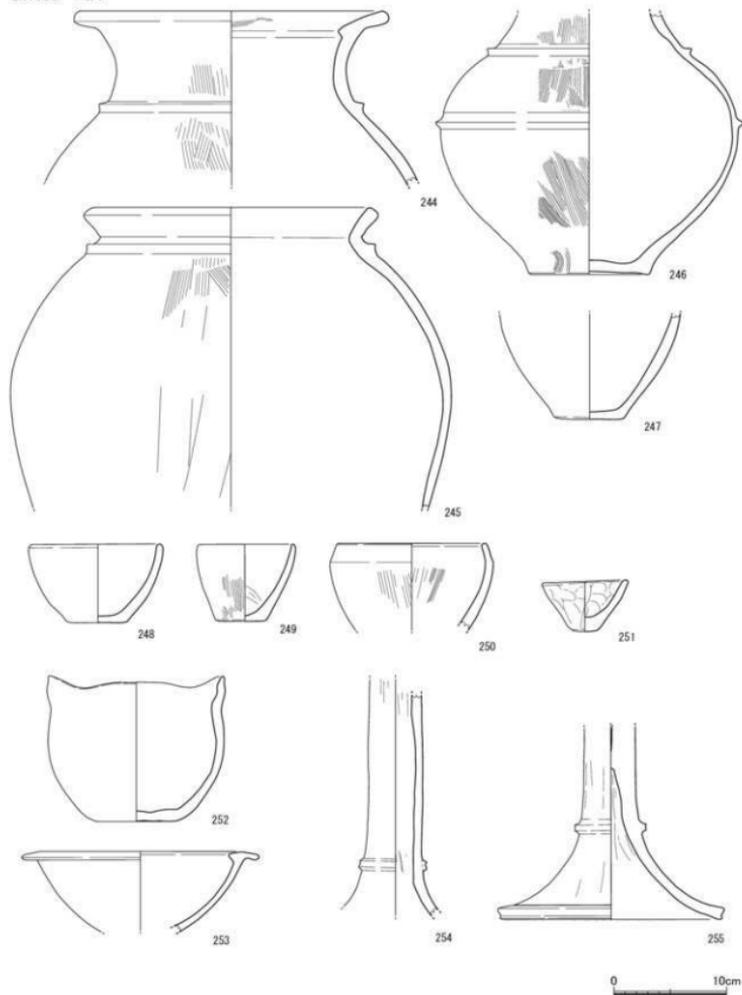


图76 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器5 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

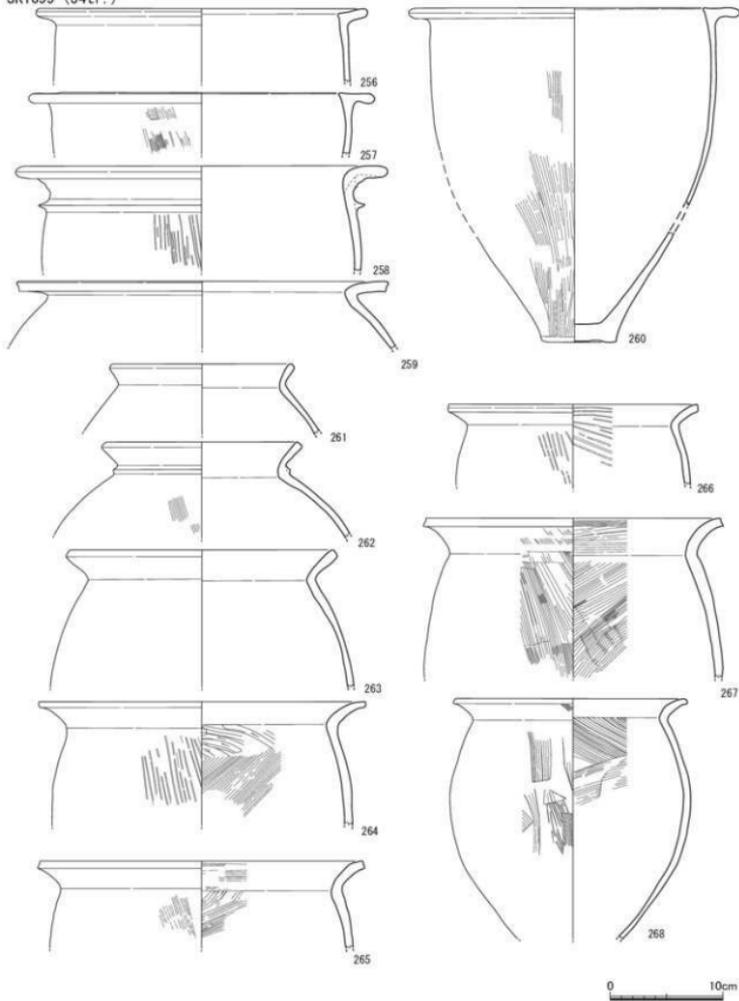


图 77 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 6 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

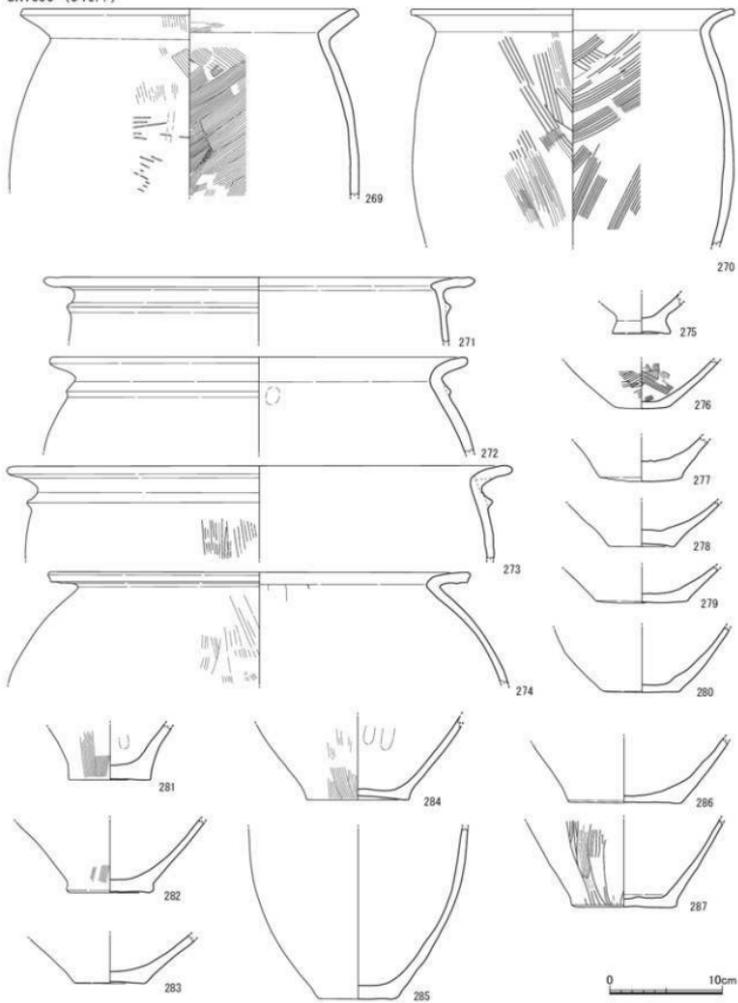


图78 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器7 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

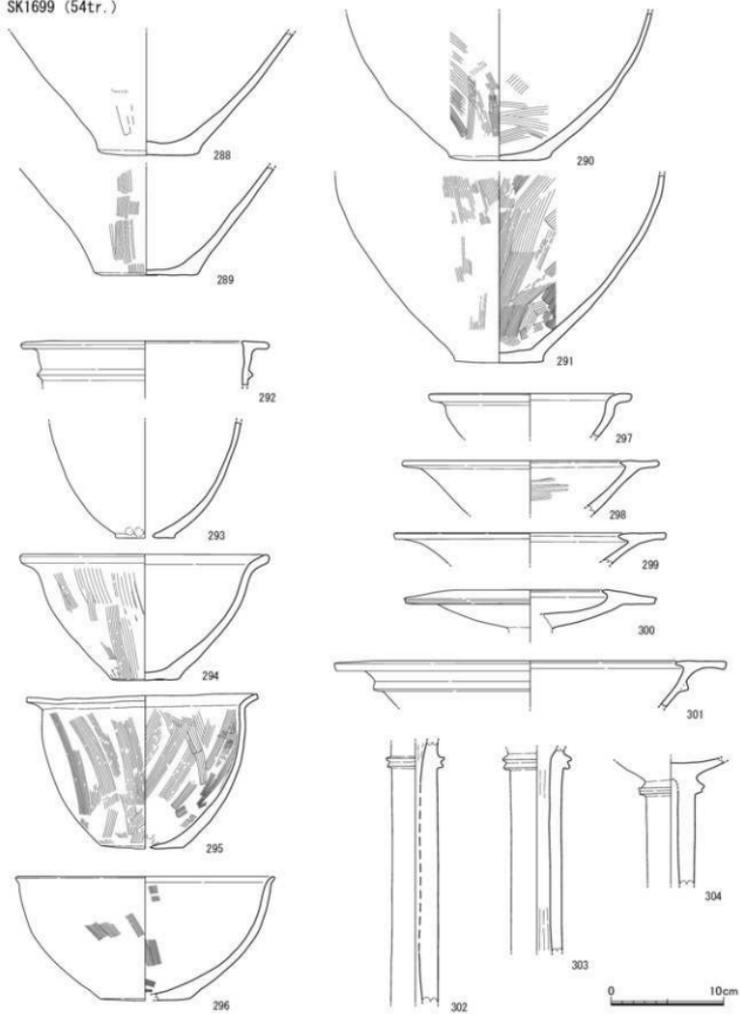


图 79 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 8 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

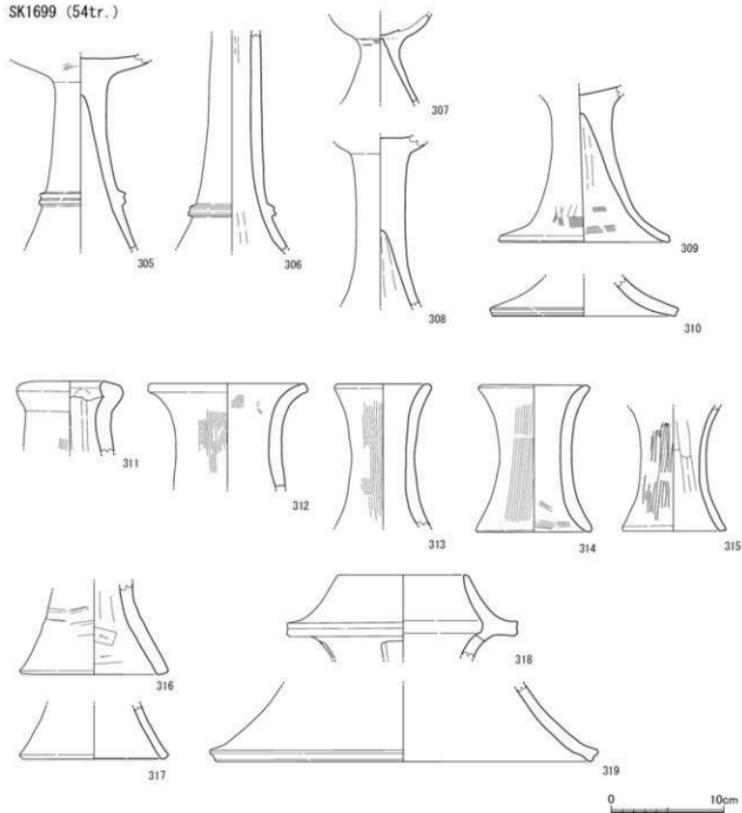


图80 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器9 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

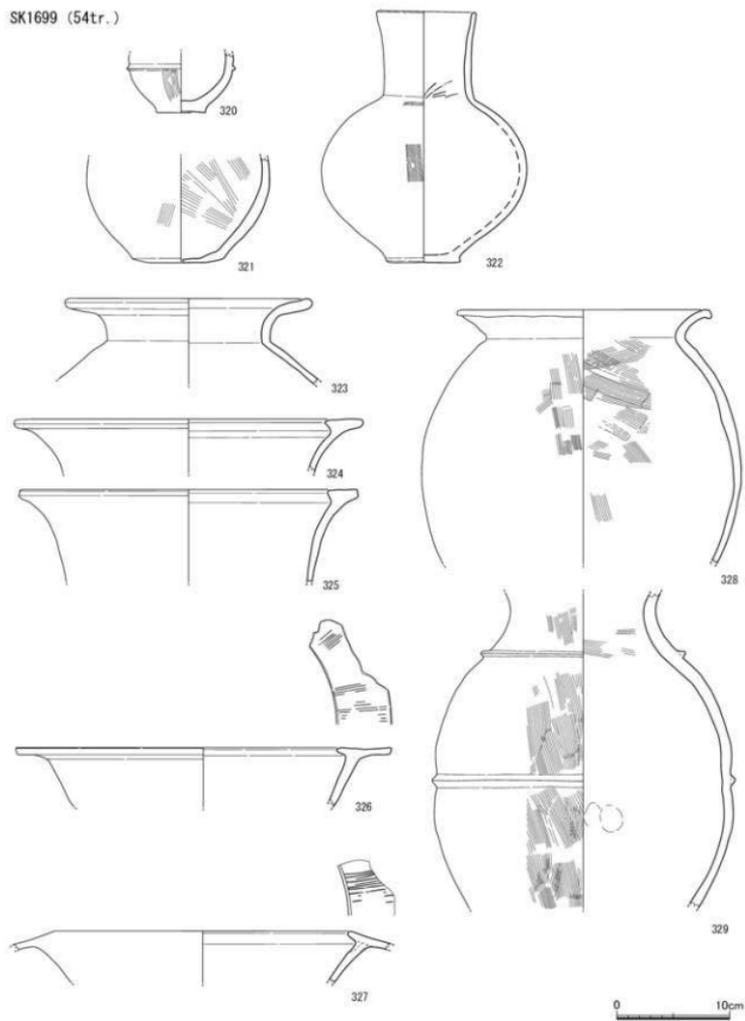


图81 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器10 (S=1/4)

SK1699 (54tr.)

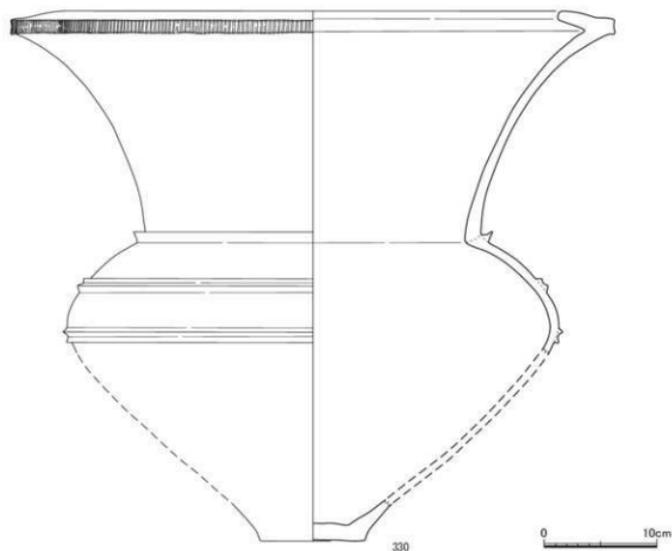


図 82 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 11 (S=1/4)

外面にタタキが施されている。

350～369は壺である。350～354は小型の短頸壺、356は二重口縁壺、357・358・365は広口壺、362～364は袋状口縁壺である。

370・371は支脚の受部片、372～376は器台である。

377は注口土器で、口縁部を欠損する。扁平楕円形の胴部中位に断面三角形の突帯が1条通り、2ヶ所に穿孔が施されている。調整は胴部上位が工具ナデ、胴部下位から脚部にハケメが施される。

SK1699 (55tr.)

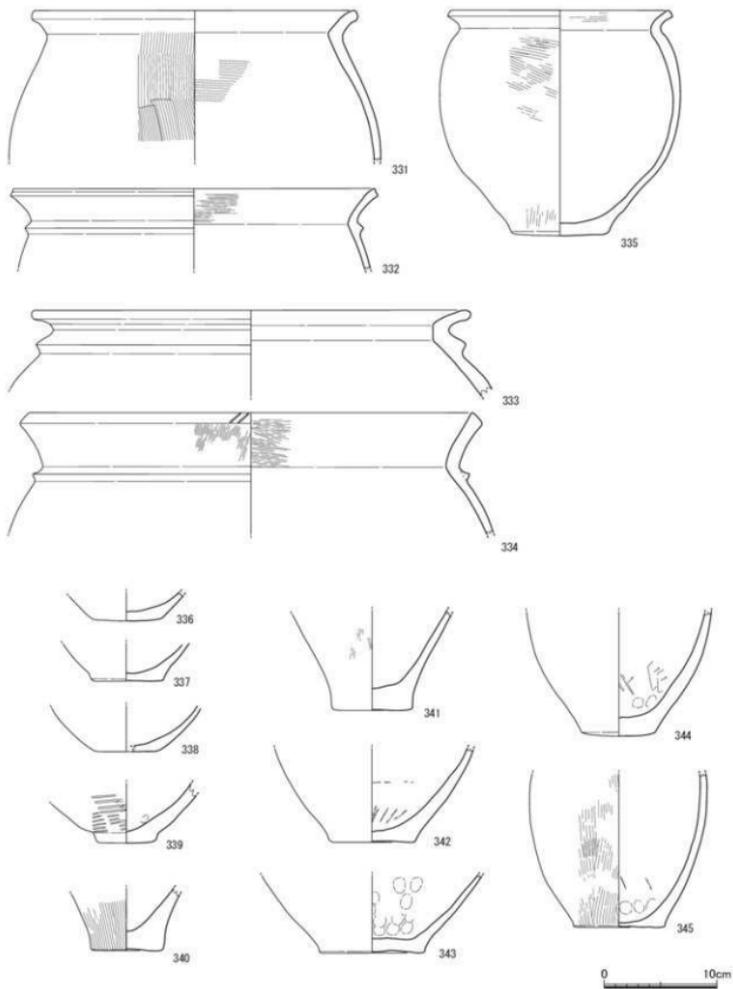


图 83 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 12 (S=1/4)

SK1699 (55tr.)

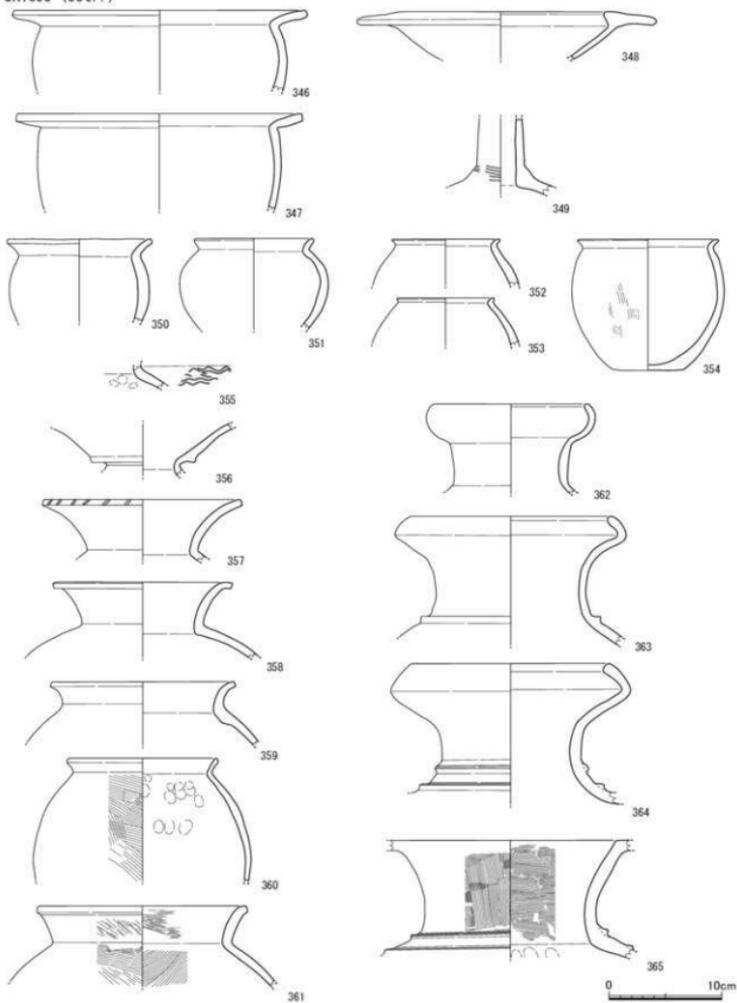


图84 吉野ヶ里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 13 (S=1/4)

ST1001 北墳丘墓

SK1699 (55tr.)

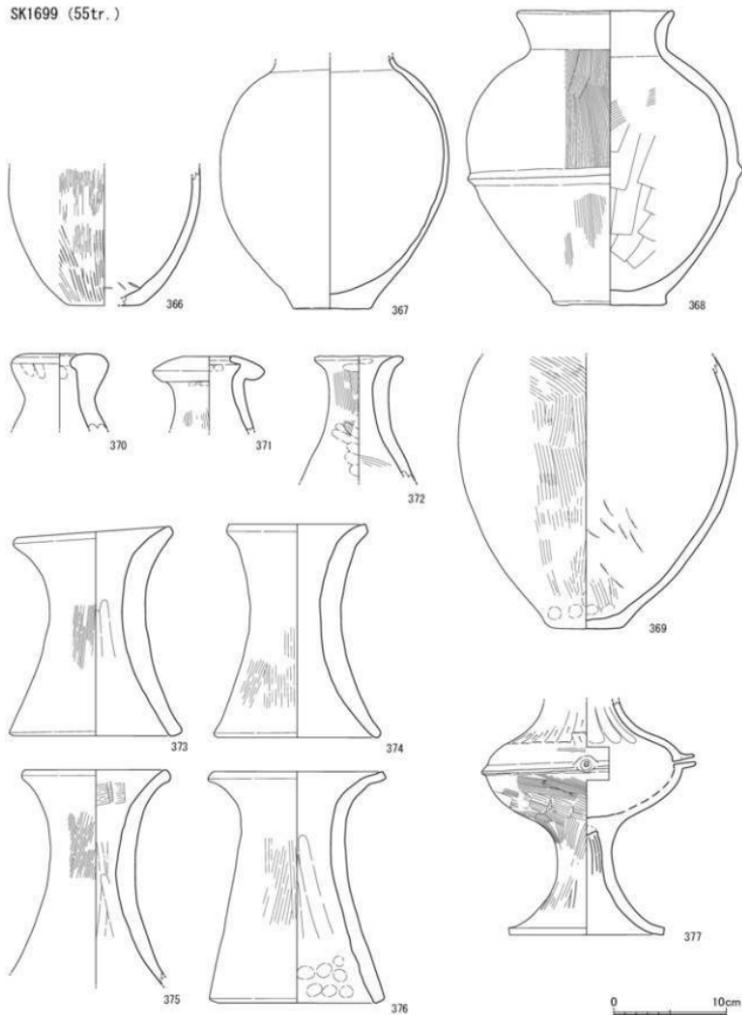


图 85 吉野分里丘陵地区V区 大型祭祀土坑 (SK1699) 出土土器 14 (S=1/4)

表6 吉野ヶ里丘陵地区V区 祭祀遺構出土土器

採掘・番号	瓦質品遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考	
				口径	底径	器高	外面	内面		
図66-117	16000709	SK1010	甕				浅黄釉	浅黄釉		
118	16000710	SK1010	甕				にぶい・黄釉	にぶい・釉		
119	16000701	SK1010	甕	27.0*			浅黄釉	灰白		
120	16000706	SK1010	甕	26.0*			浅黄釉・にぶい・釉	浅黄		
121	16000699	SK1010	甕	18.0*			にぶい・黄釉	にぶい・黄釉		
122	16000700	SK1010	甕	21.0*			灰黄釉	にぶい・黄釉		
123	16000708	SK1010	甕	24.0			にぶい・釉	釉		
124	16000697	SK1010	甕	20.1*			にぶい・黄釉	明黄釉・釉		
125	16000698	SK1010	甕	42.6*				釉		
126	16000703	SK1010	甕		7.5*		にぶい・黄釉	にぶい・黄釉		
127	16000711	SK1010	甕		9.3*		にぶい・黄釉	にぶい・黄釉		
128	16000702	SK1010	甕		5.9		釉	灰濁		
129	16000705	SK1010	甕		6.3		釉	釉		
130	16000704	SK1010	甕		7.5		にぶい・釉	灰濁		
131	16000707	SK1010	甕		5.9		浅黄釉・浅釉	浅黄釉		
図67-132	16000723	SK1039	甕				浅黄釉	浅黄釉		
133	16000733	SK1039	甕				浅黄釉	浅黄釉		
134	16000732	SK1039	甕	28.0*			にぶい・黄釉・灰白	釉		
135	16000731	SK1039	甕	11.2*			にぶい・黄釉・釉	釉		
136	16000726	SK1039	甕	22.0*			釉	明黄釉		
137	16000729	SK1039	甕	26.0*			釉	釉		
138	16000728	SK1039	甕	30.0*			釉	釉		
139	16000725	SK1039	甕	30.0*			釉	釉・にぶい・黄釉		
140	16000724	SK1039	甕	32.0*			赤釉・にぶい・黄釉	浅黄釉		
141	16000727	SK1039	甕				釉	釉	黄釉	
142	16000730	SK1039	甕	40.4*			明赤釉・明黄釉	釉	黄釉	
143	16000719	SK1039	蓋	5.8			釉	釉		
144	16000718	SK1039	蓋	5.7			明赤釉	明赤濁		
145	16000714	SK1039	甕		7.3		釉・にぶい・黄釉	明濁		
146	16000716	SK1039	甕		5.3		釉	にぶい・濁		
147	16000715	SK1039	甕		6.4		釉	釉		
148	16000713	SK1039	甕		11.6*		釉	黄濁		
149	16000712	SK1039	甕		12.2		釉	釉		
150	16000717	SK1039	高坏		7.1		釉	釉		
151	16000720	SK1039	器台		10.7*		釉	釉		
152	16000721	SK1039	器台	10.4	11.5	13.8	釉	釉		
153	16000722	SK1039	器台	10.1	11.0	14.2	釉	釉		
図68-154	15000645	SD1011	甕	27.8*			3.7*	釉		
155	15000644	SD1011	甕	31.5*			4.5*	釉		
156	15000643	SD1011	甕	31.3*			10.7*	浅黄釉	にぶい・浅黄釉	
157	15000636	SD1011	甕	28.5*			7.2*	釉	釉	
158	15000659	SD1011	甕	30.5*			4.7*	にぶい・釉	浅黄釉	
159	15000660	SD1011	甕	31.8*			5.4*	にぶい・釉	浅黄	
160	15000661	SD1011	甕	29.7*			10.5*	にぶい・黄釉	にぶい・釉	
161	15000652	SD1011	甕	29.6*			11.5*	釉	釉	
162	15000648	SD1011	甕	37.1*			8.5*	浅黄釉	浅黄釉	
163	15000662	SD1011	甕	18.9*			12.2*	にぶい・黄釉	にぶい・黄釉	
164	07002437	SD1011	甕	16.5*	6.9	18.0		明黄濁	明黄濁	
165	15000647	SD1011	甕		10.7*		4.7*	にぶい・黄濁	にぶい・濁	
166	15000646	SD1011	甕		7.2	8.3*		釉	明濁	
167	15000667	SD1011	甕		8.8	6.8*		にぶい・濁	にぶい・黄濁	
168	15000649	SD1011	甕		9.3*	15.0*		浅黄釉	濁灰	
図69-169	15000637	SD1011	黄釉				5.3*	濁灰	濁灰	
170	15000638	SD1011	黄釉				7.4*	にぶい・黄釉	にぶい・濁	
171	15000639	SD1011	黄釉				9.2*	にぶい・濁	にぶい・濁	
172	15000640	SD1011	黄釉				22.2*	釉	釉	
173	15000658	SD1011	黄釉	41.3*			8.0*	釉	釉	
174	15000657	SD1011	黄釉	51.8*			12.7*	浅黄釉	浅黄釉	
175	15000665	SD1011	甕	37.0*			6.2*	浅黄釉	黄釉	
176	96002885	SD1011	甕	43.2*	8.4*			明黄濁	明黄濁	1.層掘目
図70-177	15000654	SD1011	甕	20.0*			14.6*	浅黄釉	浅黄釉	
178	15000651	SD1011	甕	31.1*			13.5*	釉	釉	
179	15000650	SD1011	甕	6.4			8.5*	黄釉	釉	
180	15000635	SD1011	黄釉	3.4*			6.5	浅黄釉	浅黄釉	ミニチュア
181	15000653	SD1011	甕		9.3	6.6*		釉	釉	
182	15000655	SD1011	甕		7.5	7.5*		浅黄釉	浅黄釉	
183	15000666	SD1011	甕		6.6	10.0*		浅黄釉	浅黄釉	
184	15000669	SD1011	鉢	11.2*		8.6		にぶい・釉	釉	

表 6 吉野ヶ里丘陵地区V区 祭祀遺構出土土器

図例・番号	底質明遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
185	15000668	SD1011	壺		6.4	7.3	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
186	15000663	SD1011	鉢	19.6*		8.8+	緑	緑	
187	15000664	SD1011	鉢	24.9*	7.3	11.5	緑	緑	
図71-188	96002883	SD1011	高杯	26.5	18.1*	25.9*	明茶褐	明茶褐	腹部以下は推定復元
189	15000636	SD1011	高杯	4.7		23.5+	緑	緑	粘土結合部で折損
190	96002884	SD1011	高杯	40.3*	28.1*	54.8*	明茶褐	明茶褐	受部と腹部は推定復元
191	15000642	SD1011	器台		13.6*	8.7+	緑	浅黄緑	
192	15000641	SD1011	器台	10.0*	12.7*	11.9	緑	緑	
193	15000670	SD1011	器台	9.2	10.2*	12.6	緑	緑	
194	01000863	SD1011	器台	14.8	16	10.6	明黄緑	明黄緑	
195	96002886	SD1011	器台	12.65	23.3	39.75			
図72-196	15000331	SK1699	壺	18.1		17.6	にんい・黄緑	にんい・黄緑	長方形透孔 幅文
197	15000332	SK1699	鉢	23.0*		12.1+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	丹塗り
198	15000334	SK1699	器台	17.0		11.0+	緑	緑	
199	15000335	SK1699 Br.	壺	17.4*		6.9+	緑	浅黄緑	
200	15000333	SK1699 Br.	高杯		18.7	14.1+	緑	緑	
201	15000336	SK1699 Br.	壺	7.8*		11.6	にんい・黄緑	濁灰	
202	15000337	SK1699 Br.	支脚		11.9	11.7	緑	黄緑	
203	15000343	SK1699 Dr.	壺			9.9+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
204	15000339	SK1699 Dr.	壺	16.6*		14.7+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
205	15000341	SK1699 Dr.	壺		8.1	10.0+	緑	にんい・黄緑	
206	15000344	SK1699 Dr.	壺	11.8*	6.8	19.8	浅黄緑	浅黄緑	
207	15000340	SK1699 Dr.	壺		8.2	11.5+	浅黄緑	にんい・黄緑	
208	15000342	SK1699 Dr.	壺	36.9*		5.6+	緑	緑	
図73-209	15000347	SK1699 Dr.	壺	17.1*		32.0+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
210	15000345	SK1699 Dr.	高杯			22.4+	緑	浅黄緑	丹塗り
211	15000346	SK1699 Dr.	高杯			29.3+	緑	浅黄緑	丹塗り
212	15000373	SK1699 Etr.	壺	27.2*		4.6+	にんい・黄緑	緑	
213	15000372	SK1699 Etr.	壺	28.0*		6.5+	にんい・黄緑	緑	
214	15000382	SK1699 Etr.	高杯		25.0*	3.0+	緑	緑	
215	15000371	SK1699 Etr.	壺	11.8*		12.3+	浅黄緑	浅黄緑	
216	15000385	SK1699 Etr.	壺	24.3*		4.6+	浅黄緑	浅黄緑	
217	15000386	SK1699 Etr.	壺	29.4*		4.6+	浅黄緑	浅黄緑	
218	15000384	SK1699 Etr.	壺	30.0*		5.1+	浅黄緑	浅黄緑	
219	15000383	SK1699 Etr.	壺	35.8*		4.7+	緑	にんい・黄緑	
220	15000326	SK1699 Fr.	器台	9.2	12.1	15.1	にんい・黄緑	緑	
図74-221	15000378	SK1699 Fr.	壺	30.0*		4.4+	緑	緑	
222	15000379	SK1699 Fr.	壺	30.8*		4.5+	緑	緑	
223	15000376	SK1699 Fr.	壺	32.9*		7.5+	緑	緑	
224	15000377	SK1699 Fr.	壺	25.3*		4.0+	にんい・黄緑	緑	
225	15000356	SK1699 Fr.	壺			9.5+			
226	15000348	SK1699 Fr.	壺	28.9*		21.0+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
227	15000358	SK1699 Fr.	壺	27.4*		17.8+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
228	15000364	SK1699 Fr.	壺	18.0*	8.3		にんい・黄緑	灰黄緑 にんい・黄緑	
229	15000349	SK1699 Fr.	壺	19.8*		7.3	18.8	緑	
230	15000370	SK1699 Fr.	壺	23.1*		8.6+	浅黄緑	浅黄緑	
231	15000352	SK1699 Fr.	壺	28.0*		28.3+	明茶褐	浅黄緑	
図75-232	15000375	SK1699 Fr.	壺	39.0*		12.7+	にんい・黄緑	緑	
233	15000369	SK1699 Fr.	壺	39.1*		12.3+	緑	緑	
234	15000363	SK1699 Fr.	壺		5.7	10.7+	にんい・黄緑	浅黄緑	
235	15000362	SK1699 Fr.	壺		6.7	13.0+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
236	15000381	SK1699 Fr.	壺		5.5	6.1+	緑	緑	
237	15000325	SK1699 Fr.	壺	15.1		5.5+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
238	15000361	SK1699 Fr.	壺	16.0*		9.2+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
239	15000355	SK1699 Fr.	壺	17.1*		5.8+	緑	緑	
240	15000354	SK1699 Fr.	壺	19.2*		14.8+	明黄緑・灰黄緑	明黄緑	
241	15000351	SK1699 Fr.	壺	26.6		7.8+	緑	緑	
242	15000367	SK1699 Fr.	壺	25.8*		7.7+	浅黄緑	浅黄緑	
243	15000330	SK1699 Fr.	壺	18.3*		17.3+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
図76-244	15000350	SK1699 Fr.	壺	28.0*		15.8+	緑	明黄緑	
245	15000324	SK1699 Fr.	壺	28.0*		29.2+	緑	黄緑	
246	15000366	SK1699 Fr.	壺		10.8	23.7+	黄緑	にんい・黄緑	
247	15000368	SK1699 Fr.	壺		6.1	9.6+	にんい・黄緑	にんい・黄緑	
248	15000327	SK1699 Fr.	鉢	11.9	5.3	7.1	浅黄緑	明黄緑	
249	15000357	SK1699 Fr.	鉢	8.3*	4.4	6.9	緑	緑	
250	15000360	SK1699 Fr.	鉢	13.4*		7.8+	浅黄緑	浅黄緑	
251	15000359	SK1699 Fr.	鉢形	7.6*		4.7	灰黄緑	灰黄緑	ミニチュア
図76-252	15000328	SK1699 Fr.	鉢	15.6*	7.1	13.1	浅黄緑	浅黄緑	

表6 吉野ヶ里丘陵地区V区 祭祀遺構出土土器

編年・番号	任意照遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
253	15000329	SK1099 Ftr.	高坏	21.1*		7.3+	橙	橙	
254	15000368	SK1099 Ftr.	高坏			21.4+	橙	黄灰・橙	表面剥落
255	15000353	SK1099 Ftr.	高坏			20.1*	橙	橙	丹塗り
図77-256	89002006	SK1099 54tr.	甕	29.0		6.7+	黄灰	橙	
257	89002019	SK1099 54tr.	甕	30.6*		5.6+	淡褐	淡褐	
258	89002020	SK1099 54tr.	甕	33.0*		10.5+	橙褐	橙褐	
259	89001983	SK1099 54tr.	甕	32.5		5.9+	黄灰褐	黄灰褐	
260	89001980	SK1099 54tr.	甕	29.6	6.6	30.2	淡棕褐	淡棕褐	
261	89001995	SK1099 54tr.	甕	15.8		6.4+	黄灰	黄灰	
262	89001989	SK1099 54tr.	甕	18		8.7+	黄灰褐	黄灰褐	
263	89001990	SK1099 54tr.	甕	23.4		12.4+	黄灰	黄灰	
264	89001969	SK1099 54tr.	甕	29.0*		11.4*	橙褐	橙褐	
265	89001973	SK1099 54tr.	甕	28.6*		6.9+	橙	橙	
266	89002021	SK1099 54tr.	甕	22.2*		7.3+	暗橙褐	暗橙褐	
267	89001970	SK1099 54tr.	甕	26.2*		14.4*	暗橙・淡里褐	暗橙	
268	89001976	SK1099 54tr.	甕	20.4*		21.7+	暗橙褐	暗橙褐	
図78-269	89001958	SK1099 54tr.	甕	30		16.0+	淡褐	淡褐	
270	89002044	SK1099 54tr.	甕	28.6*		21.4+	橙褐	橙褐	
271	89001971	SK1099 54tr.	甕	38.4*		5.8+	褐	褐	
272	89002007	SK1099 54tr.	甕	36.8		8.7+	暗黄灰褐	暗黄灰褐	
273	89001974	SK1099 54tr.	甕	45*		8.5+	橙褐	橙褐	
274	89001968	SK1099 54tr.	甕	37.4*		10.1*	褐	褐	
275	89002001	SK1099 54tr.	甕		5.2	3.6+	橙・黄灰褐	橙・黄灰褐	
276	89001963	SK1099 54tr.	甕			4.3+	淡橙・淡褐	橙	
277	89001962	SK1099 54tr.	甕	7.2		3.6+	橙	橙	
278	89001984	SK1099 54tr.	甕	5.6		4.1+	橙	灰褐	
279	89001985	SK1099 54tr.	甕	8.2		3.3+	橙	橙褐	
280	89001987	SK1099 54tr.	甕	6.7	5.95+		橙・黄褐	黄褐	
281	89001961	SK1099 54tr.	甕	7.2		4.7+	橙	明黄灰・淡灰	
282	89001986	SK1099 54tr.	甕	7.7		6.6+	橙褐	灰里	
283	89002031	SK1099 54tr.	甕	6.2	4.4+		橙・黄褐	橙・黄褐	
284	89001960	SK1099 54tr.	甕	9.6	6.7+		淡橙・黄灰	暗橙・黄灰	
285	89001982	SK1099 54tr.	甕	6.8	15.5+		橙	橙	
286	89001975	SK1099 54tr.	甕	10.0		5.8+	橙	橙	
287	89002014	SK1099 54tr.	甕	9.4+		8.0+	淡褐・黑褐	淡褐	
図79-288	89002017	SK1099 54tr.	甕	9.0+		11.1+	褐	褐	
289	89001988	SK1099 54tr.	甕	9.1		7.9+	暗黄灰	暗黄灰	
290	89002045	SK1099 54tr.	甕		9.0*	13.0+	黄褐・橙褐	黄褐	
291	89001959	SK1099 54tr.	甕			7.8	17+	褐	
292	89001993	SK1099 54tr.	鉢	22.0		4.05+	橙	橙	
293	89002043	SK1099 54tr.	鉢	5.2*		10.4+	黄灰	黄灰	
294	89002041	SK1099 54tr.	鉢	22.1*	6.0	11.4	明黄褐	明黄褐	
295	89002039	SK1099 54tr.	鉢	20.4	7.3	24.0	黄灰	黄灰	底部穿孔
296	89002042	SK1099 54tr.	鉢	23.0*		11.2	黄灰	黄灰	
297	89001996	SK1099 54tr.	高坏				橙	橙	
298	89001997	SK1099 54tr.	高坏	22.4		4.85+	赤褐	赤褐	丹塗り
299	89002032	SK1099 54tr.	高坏	24		2.8+	赤褐	赤褐	丹塗り
300	89002016	SK1099 54tr.	高坏	22.4*		3.4+	橙	橙	
301	89002005	SK1099 54tr.	高坏	34.8		4.25+	橙	橙	
302	89002025	SK1099 54tr.	高坏			23.5+	橙褐	灰褐	丹塗り
303	89002026	SK1099 54tr.	高坏			18.5+	赤褐	灰褐	丹塗り
304	89002024	SK1099 54tr.	高坏			11.4+	橙褐	橙褐	丹塗り
図80-305	89002028	SK1099 54tr.	高坏			17.3+	橙	橙	
306	89002027	SK1099 54tr.	高坏			19.6+	橙	橙	丹塗り
307	89002022	SK1099 54tr.	高坏			8.0+	褐	褐	
308	89002029	SK1099 54tr.	高坏			15.3+	橙	橙	
309	89002023	SK1099 54tr.	高坏		15.2	14.0+	橙	橙	
310	89002003	SK1099 54tr.	高坏		16.2	3.45+	橙	橙	
311	89001967	SK1099 54tr.	器台	6		8.4+	黄灰	黄灰	
312	89001966	SK1099 54tr.	器台	13.6		9.4+	褐	褐	
313	89001964	SK1099 54tr.	器台	8*		12.9+	褐	褐	
314	89001991	SK1099 54tr.	器台	0.9*	10.1	14.3+	橙	橙	
315	89001978	SK1099 54tr.	器台		9.2	11.1+	橙	橙	
316	89001965	SK1099 54tr.	器台		13.2	8.3+	褐	褐	
317	89002034	SK1099 54tr.	器台		13.2	4.9+	黄灰褐	黄灰褐	
318	89002037	SK1099 54tr.	器台	11.3		7.5+	橙	橙	圆形・长方形穿孔
319	89002035	SK1099 54tr.	器台		34.4	6.9+	橙	橙	
図81-320	89002040	SK1099 54tr.	器		4.3*	5.4+	黄灰	褐	

表 6 吉野ヶ里丘陵地区V区 祭祀遺構出土土器

編年・番号	任意照遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
321	89002030	SK1699 54tr	甕		7.6	9.5+	黄灰陶	黄灰陶	
322	89001957	SK1699 54tr	甕	8.9		22.8	明黄緑・橙褐	明黄緑・橙褐	圧縮
323	89002015	SK1699 54tr	甕	22.0*		7.6+	淡褐	淡褐	
324	89002018	SK1699 54tr	甕	30.0*		4.9+	褐・暗褐	褐・暗褐	
325	89002004	SK1699 54tr	甕		29.8		暗褐	暗褐	
326	89002033	SK1699 54tr	甕	33.6		5.3+	赤褐	赤褐	丹塗り
327	89001972	SK1699 54tr	甕	25.0*		4.4+	赤褐	暗褐	丹塗り
328	89002036	SK1699 54tr	甕	22.2		23.0+	暗褐	暗褐	
329	89001981	SK1699 54tr	甕			28.5+	淡褐	淡褐	
図 82-330	89001955	SK1699 54tr	甕	43.6*			黄陶	黄陶	口縁割目
図 83-331	89002105	SK1699 55tr	甕	28.4*		13.6+	明陶	明陶	
332	89002090	SK1699 55tr	甕	32.0*		7.3+	浅黄緑	黄褐	
333	89002102	SK1699 55tr	甕	39.0*		7.1	明陶	明陶	
334	89002091	SK1699 55tr	甕	39.2*		11.1+	黄褐	浅黄緑	
335	89002084	SK1699 55tr	甕	19.9*	8.7*	20.4	赤褐・橙	橙	
336	89002096	SK1699 55tr	甕		8.1	2.7+	浅黄緑	浅黄緑	
337	89002094	SK1699 55tr	甕		6.2	3.5+	浅黄緑	浅黄緑	
338	89002095	SK1699 55tr	甕		5.6	4.1+	浅黄緑	紅・紅・橙	
339	89002116	SK1699 55tr	甕		5.2	4.3+	淡黄	淡黄	
340	89002093	SK1699 55tr	甕	6.3	5.7+		紅・紅・黄緑	紅・紅・黄緑	
341	89002079	SK1699 55tr	甕		7.2	9.0+	橙・紅・紅・橙	紅・紅・橙	
342	89002075	SK1699 55tr	甕				明赤褐	黄灰	
343	89002074	SK1699 55tr	甕	9.4	7.0		浅黄緑	浅黄緑	
344	89002076	SK1699 55tr	甕	6.5	11.3+		灰黄	灰黄	
345	89002077	SK1699 55tr	甕	8.1	13.9		橙・黑灰	紅・紅・黄緑	黒灰
図 84-346	89002104	SK1699 55tr	鉢	25.8*		4.3+	明陶	明陶	
347	89002103	SK1699 55tr	鉢	25.2*		8.7+	明陶	明陶	
348	89002108	SK1699 55tr	高坏	27.6*		4.3+	茶褐	茶褐	
349	89002115	SK1699 55tr	高坏			6.15+	茶褐	茶褐	
350	89002106	SK1699 55tr	甕	12.6*		7.5+	灰白	灰白	
351	89002110	SK1699 55tr	甕	10.4*		8.2+	茶褐	茶褐	
352	89002111	SK1699 55tr	甕	9.5*		4.2+	茶褐	茶褐	
353	89002112	SK1699 55tr	甕	8.4*		4.1+	茶	茶	
354	89002078	SK1699 55tr	甕	12.6*	6.3	11.9	暗灰黄	淡黄	
355	89002114	SK1699 55tr	甕			1.8+	茶褐	茶褐	
356	89002113	SK1699 55tr	甕			3.8+	茶褐	茶褐	
357	89002107	SK1699 55tr	甕	17.4*		5.3	橙	橙	
358	89002086	SK1699 55tr	甕	16.0*		6.9+	淡褐	淡褐	
359	89002087	SK1699 55tr	甕	16.2*		5.8+	淡褐	浅黄緑	
360	89002089	SK1699 55tr	甕	13.0*		11.1+	紅・紅・橙	橙	
361	89002085	SK1699 55tr	甕	18.2*		7.3+	浅黄緑	浅黄緑	
362	89002120	SK1699 55tr	甕	13.8*		7.9+	明陶	明陶	
363	89002123	SK1699 55tr	甕	20.5		11.7+	紅・紅・赤褐	紅・紅・赤褐	
364	89002083	SK1699 55tr	甕	17.5		12.7+	橙・浅黄緑	橙・浅黄緑	
365	89002082	SK1699 55tr	甕			10.6+	橙	灰黄陶	
図 85-366	89002097	SK1699 55tr	甕	6.6	12.6+		紅・紅・橙	紅・紅・橙	
367	89002122	SK1699 55tr	甕	6.6	22.8+		紅・紅・赤褐	紅・紅・赤褐	
368	89002121	SK1699 55tr	甕	15.5	10.1	26.7	明茶褐	明茶褐	
369	89002081	SK1699 55tr	甕	7.0	24.7+		明赤褐・紅・紅・赤褐	明赤褐	
370	89002118	SK1699 55tr	支脚	8.6	6.8+		明陶	明陶	
371	89002117	SK1699 55tr	支脚	9.8	6.6+		茶褐	茶褐	
372	89002119	SK1699 55tr	器台	7.8	11.3+		茶褐	茶褐	
373	89002098	SK1699 55tr	器台	13.5	15.3	19.0+	浅黄緑・紅・紅・橙	浅黄緑・紅・紅・橙	
374	89002099	SK1699 55tr	器台	12*	14.8	19.3+	浅黄緑	浅黄緑	
375	89002101	SK1699 55tr	器台	12.5		19.5+	浅黄緑	浅黄緑	
376	89002100	SK1699 55tr	器台	15.1	15.5	21.0+	浅黄緑	浅黄緑	
377	89002124	SK1699 55tr	注口		11.8*	21.1+	明黄緑・褐	明黄緑・褐	

E 出土石器・石製品・鉄器

378～397はST1001北墳丘墓一带から出土した石器、石製品、鉄器である。

378は磨製石鎌である。ST1001内のSJ1005西側から多数の裏楕片とともに出土したことから、SJ1005に伴う可能性がある（『132集』）。先端部を欠損し、扁平で細長い凹基式で、横断面レンズ形をなす。石材は董青石ホルンフェルスである。

379はST1001北東に位置する祭祀土坑SK1039から出土した磨製石剣である。刃部途中の破片とみられ、両面とも鋸が残り、横断面形はやや非対称な凸レンズ状をなす。石材は董青石ホルンフェルスである。

380はST1001北面部から出土した石製把頭飾で、頂部を欠損する。

381はST1001内のSJ1007墓坑西から出土した石庖丁で、全体の約1/3が残存する。背部の端が下がるが、本来の形態であるかは不明である。両面とも部分的に研磨痕が残る。石材は董青石ホルンフェルスである。

382は石庖丁である。現場での遺物取り上げ時のラベルに「ST1001南東SH」とあることから、SH1012竪穴建物跡出土と思われる。孔部分で折損しており、全体の約2/3が残存する。平面形は直背の外湾刃半月形で、背部は平坦面を持つ。紐孔は両側からの敲打後回転穿孔が施されている。石材は董青石ホルンフェルスである。

383は太形始刃石斧の基部片である。両側縁は基部に向かって窄まり、基部端は平坦面を持つ。両側縁に稜はなく、横断面楕円形をなす。石材は玄武岩である。384はST1001の墳丘斜面南で出土した太形始刃石斧の刃部片で、基部側からの加撃により身の主軸と直交して折損している。両側縁に緩やかな稜を持ち、横断面凸レンズ状をなす。石材は玄武岩である。385はST1001の墳丘斜面東で出土した太形始刃石斧で、刃先を欠損する。基部側と刃部側の両方からの加撃により剝離または折損している。横断面は厚みのある楕円形をなす。石材は玄武岩である。

386～394は大型祭祀土坑SK1699から出土した石器、鉄器である。

386は打製石鎌とみられる。不整形で厚みがあることから、未成品の可能性がある。石材は安山岩である。

387は打製石鎌で、先端部と基部を欠損する。平面柳葉形で両側縁はやや非対称である。背面中央に主要剥離面を残す。石材は安山岩である。

388はEトレンチから出土した板状鉄製品で、器種は不明である。389は鉄鍔で、基部を欠損する。先端が丸みを帯びる。

390はEトレンチ上層から出土した石庖丁である。孔部分で折損し、全体の約1/3が残存する。研ぎ減りにより背部と刃部の幅が狭まったものとみられる。石材は赤紫色泥岩である。391はDトレンチ上層から出土した石庖丁である。孔部分で折損し、全体の約半分が残存する。孔は両面からの直接回転穿孔による。石材は赤紫色泥岩である。392はF～Hトレンチ間上層から出土した磨製石剣である。刃部中央付近の破片で、片面中央に鋸が通る。石材は董青石ホルンフェルスである。393はHトレンチから出土した柱状片刃石斧である。基部と刃部を僅かに欠損する。各面とも丁寧な研磨整形が施されており、横断面台形をなす。全体として厚みの割に長さが短い。石材は砂岩とみられる。394はHトレンチ下層から出土した蔽石の完形品である。花崗岩の円礫を素材としており、両面とも中央部分に敲打集中部が残る。

395～397は墓道状遺構SD1011から出土した石器である。395は石庖丁で、直背の外湾刃半月形をなす。孔部分が僅かに残存する。残存する刃縁部分から左右交互刃とみられる。石材は董青石ホルンフェルスである。396は扁平片刃石斧で、小型の完形品である。石材は層灰岩で、葉理方向は身の長軸と平行する縦目

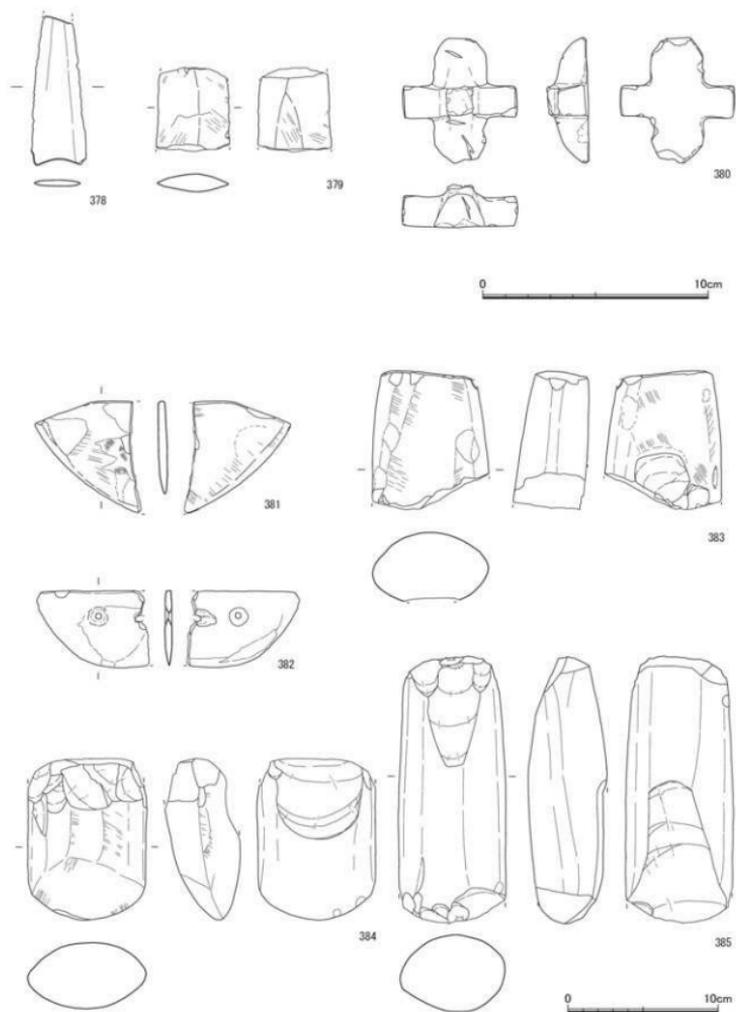
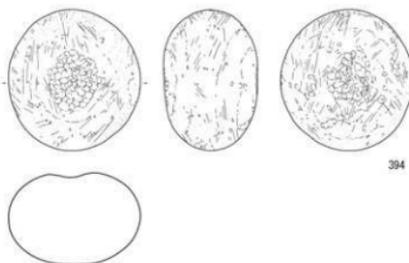
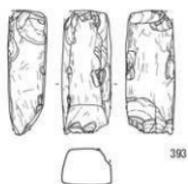
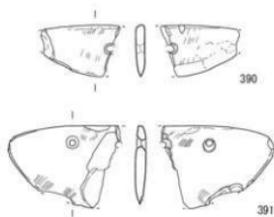
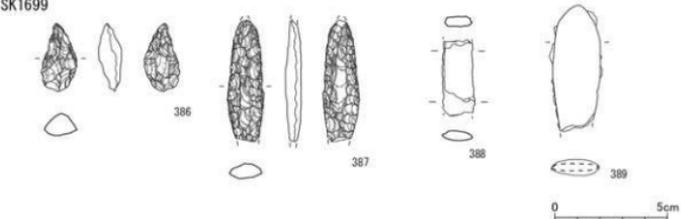


图 86 吉野・里丘陵地区V区 ST1001 出土石器・石製品 1 (S=1/2,1/3)

SK1699



SD1011

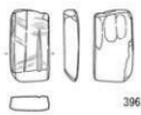
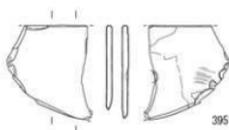


図 87 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 出土石器・鉄器 (S=1/2,1/3)

表7 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 出土石器・石製品・鉄器

採回・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	種別	器種	長さ	幅	厚さ	重量 g	石材	備考
図86-378	17000350	ST1001 SJ1005西側 裏積片群中	磨製石器	石鏃	6.7+	2.5	0.3		重青石ホルン フェルス	
379	04002044	SK1039	磨製石器	石鏃	3.8+	3.3+	0.8	14.4+	重青石ホルン フェルス	旧SK1009
380	04003732	ST1001 北西部	石製品	斧頭飾	5.7	4.7	1.8+	85.1+		
381	16000900	SJ1007 墓坑西	磨製石器	石苞丁	7.05+	8.6+	0.6	33.7+	重青石ホルン フェルス	
382	16000899	ST1001 南東のSH (SH1012か?)	磨製石器	石苞丁	7.5+	5.2	0.45+	26.7+	重青石ホルン フェルス	
383	17000225	SK1039	磨製石器	石斧	9.4+	7.75+	5.0+	606.2+	玄武岩	太形輪刃
384	16000774	墳丘斜面南	磨製石器	石斧	10.95+	7.85	5.05+	641.1+	玄武岩	太形輪刃
385	16000775	墳丘斜面東	磨製石器	石斧	18.15+	7.15	5.25	1113.1+	玄武岩	太形輪刃
図87-386	08003552	SK1699	打製石器	石鏃	3.1	1.6	1.0	4.0	安山岩	
387	08003548	SK1699	打製石器	石鏃	5.5+	1.6	0.7	6.6+	安山岩	
388	13000969	SK1699 Eトレ	鉄製品	板状	3.45+	1.9	0.45	5.2+	—	
389	89001952	SK1699	鉄製品	鉄鏃	5.8+	2.1	0.35			
390	16000898	SK1699 Eトレ上層	磨製石器	石苞丁	5.25+	3.0+	0.6+	14.5+	赤紫色泥岩	
391	16000778	SK1699 Dトレ上層	磨製石器	石苞丁	7.5+	5.6+	0.7+	32.7+	赤紫色泥岩	
392	08003587	SK1699 F～Hトレ間上層	磨製石器	石鏃	7.8+	3.2	0.75	31.5+	重青石ホルン フェルス	
393	08003508	SK1699 Hトレ	磨製石器	石斧	8.45+	3.3	2.55	136.2+	砂岩?	柱状片刃・腹目
394	08003522	SK1699 Hトレ上層	磨製石器	磨石	9.6	8.75	6.25	745.0	花崗岩	
395	16000776	SD1011 1～2アゼ間	磨製石器	石苞丁	5.65+	6.4+	0.45+	26.0+	重青石ホルン フェルス	
396	13000385	SD1011 2～3アゼ	磨製石器	石斧	4.9	2.6	1.0	24.7	砂岩	扁平片刃・腹目
397	08003586	SD1011 2～3アゼ	磨製石器	石鏃	2.9+	1.8	0.55	14.6+	堆積岩系	

である。397は磨製石製の基部片で、基部両側縁は窄まり平基をなす。刃部は両面に鋸が通り、横断面変形をなす。石材は堆積岩系である。

(4) 小結

ST1001 北墳丘墓は、地形的には志波屋・吉野ヶ里段丘上面の標高約25mの小高い丘の上にあたる部分に位置している。北墳丘墓の盛土下部からは複数の竪穴建物跡や土坑などが検出されており、弥生時代前期末～中期初頭を中心とする土器が出土している。このことから、北墳丘墓の築造直前までこの地に小規模な集落が展開していたことが窺える（『113集』・『132集』・『207集』）。北墳丘墓の下部全体について調査が及んでいないため、この集落の性格については明らかではないが、中期初頭～前半頃の集落中心部である遺跡南部（田手二本黒木地区Ⅲ区等）と比較して、竪穴建物跡の規模が大きいこと、竪穴建物どうしの間隔が広いこと、遺構の切り合いがあまりみられないことなどが特徴的である。

盛土の構築についてみると、各トレンチの土層断面の観察から、基盤となる地山土の上に黒褐色、暗褐色系の土が水平に1m程度の厚さで堆積している点で共通しており、墳丘構築当初にこれらの黒褐色、暗褐色系の土で覆ったものと考えられる。さらに、この層の上に、種類が異なる複数のブロック土が累積して形成された小高い丘状をなす盛土の単位が複数箇所認められる。この小丘状の盛土の大きさは大・小があり、また、葬棺墓の各位置と対応している様子は見受けられない。

この小丘状の盛土単位はいわゆる土腰頭のようなものと考えられ、大・小あるうちの小さいほうの規模は底面幅約2m、高さ約0.8～0.9mで、種類の異なる複数の小単位の土がブロック状に累積している（例：B4トレンチ南壁、C4トレンチ西壁）。このことから、大・小の丘状の盛土が累積して墳丘が構築されていったものと考えられる。なお、ST1001 北墳丘墓の北、西、東側は中世の溝状遺構により大きく削平されている

ることから、本来の堆積状況が明らかでない。

次に、ST1001北墳丘墓における喪棺墓の埋葬順序について、墳丘墓主軸に対する棺の主軸・挿入方向、棺の埋置角度、墓坑の深さなどをとくに整理する。

最初に埋葬されたのは北墳丘墓の中央に位置するSJ1006で、時期は中期前半新段階（汲田式新段階）とみられる。棺の主軸と挿入方向は墳丘墓主軸に対し南→北で、埋置角度は30度である。墓坑最底面レベルは23.4mで、14基のなかで最も深い。続いて埋葬されたと考えられるのは、北中央に位置するSJ1003、北西に位置するSJ1051、北東に位置するSJ1052、南中央に位置するSJ1007、東に位置するSJ1004の5基で、時期は中期後半古段階（須玖式古段階）とみられる。SJ1004以外の棺の主軸は南北方向で、SJ1004のみ北東-南西方向である。棺の挿入方向は、SJ1003、SJ1051、SJ1052が北→南、SJ1007が南→北、SJ1004が北東→南西である。位置関係をみると、5基ともに中央に埋葬されたSJ1006を北、東、南から取り囲むように埋葬されている。墓坑最底面レベルは、SJ1003が23.86m、SJ1051が23.73m、SJ1052が23.38m、SJ1007が23.25m、SJ1004が23.98mで、最大約60cmの差がある。

続いて埋葬されたと考えられるのは、南西のSJ1009、北東のSJ1055、東～南東のSJ1054、SJ1056、SJ1057の5基で、時期は中期後半（須玖式）とみられる。位置関係をみると、前段階までに埋葬された喪棺墓の間を埋めるように埋葬されている。棺の主軸と挿入方向は、SJ1009が南→北方向、SJ1055、SJ1054、SJ1056が東→西方向、SJ1057が南東→北西方向である。墓坑最底面レベルは、SJ1009が24.02m、SJ1055が23.43m、SJ1054が24.12m、SJ1056が23.65mで、前段階に比べてやや高いものと、あまり変わらないものがある。

最終段階で埋葬されたと考えられるのは、北西のSJ1005、SJ1050、西のSJ1002の3基で、時期は中期後半新段階（須玖式新段階）とみられる。位置関係をみると、それまで空白地帯であった墳丘墓内の北西から西にかけて等間隔で埋葬されている。棺の主軸と挿入方向は、SJ1005が北→南方向、SJ1050、SJ1002が西→東方向である。墓坑最底面レベルは、SJ1005が23.88m、SJ1050が23.66m、SJ1002が24.0mで、前段階とほぼ同じである。なお、これら3基のなかではSJ1050が型式的にみて最も新しく、中期末（立岩式）に近い特徴を持つ。14基の最後に埋葬されたものと考えられる。

前述したように、北墳丘墓の上面は中世の山城等によって大きく削平されており、14基以外にも喪棺墓が存在していた可能性も否定できない。しかし、北墳丘墓内のトレンチ調査で出土した土器は中期前半～後半を中心とする時期であり、喪棺片も出土しているが中期末以降のものはない。このことから、北墳丘墓への埋葬は中期前半に開始し、中期後半新段階には終了していた可能性が高いと考えられる。北墳丘墓の性格については、一般墓地から離れた標高の高い場所に盛土を構築していること、14基全て黒塗りが施された超大型の複式棺であること、6基から水銀朱が検出されていること、計8本の青銅製武器や79個のガラス製管玉が副葬されていることなどから、吉野ヶ里集落における歴代の有力者のみを埋葬する墓（有力集団墓）であったと考えられる。

ST1001 北墳丘墓

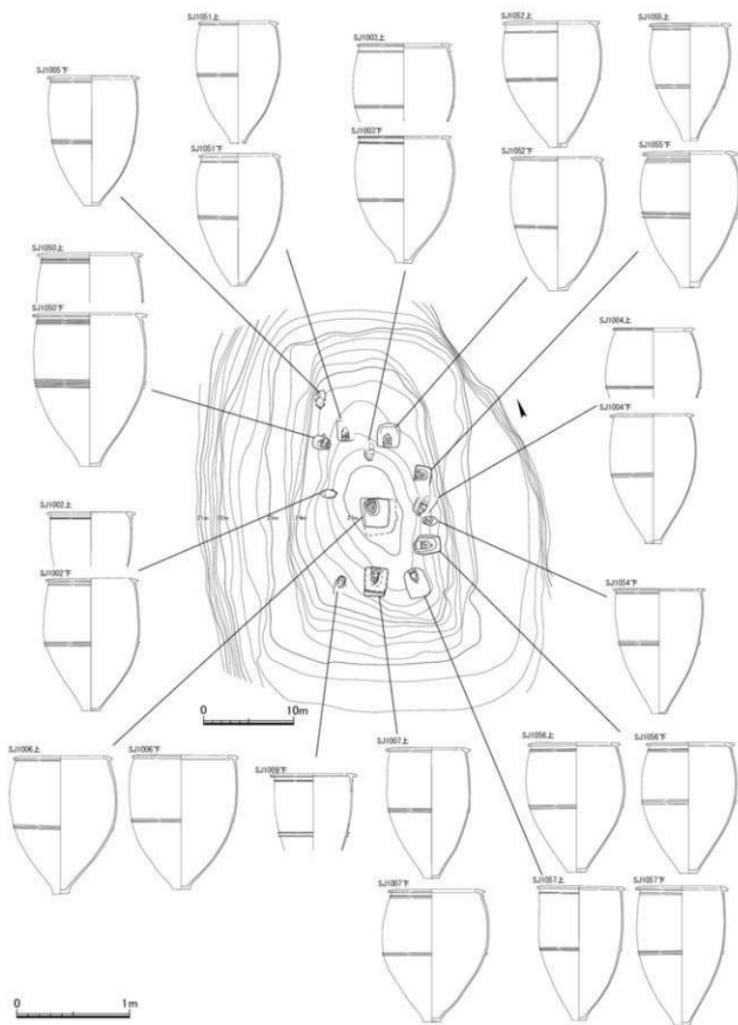


図 88 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 墳丘墓と甕棺 (墳丘墓 1/500, 甕棺 1/40)

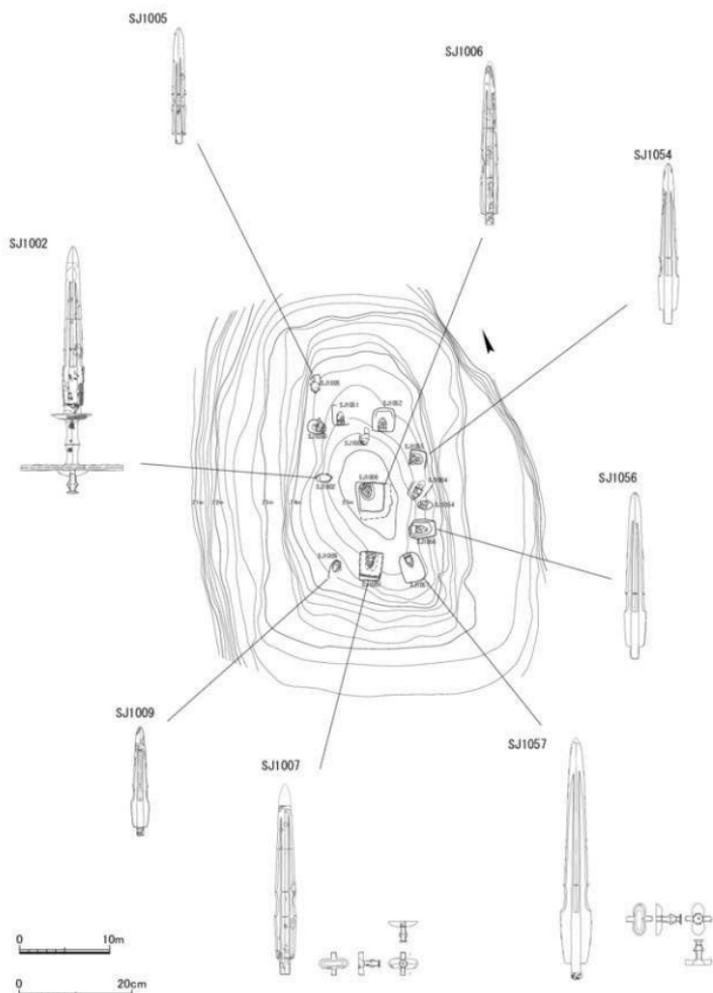


図 89 吉野ヶ里丘陵地区V区 ST1001 墳丘墓喪槍と青銅器 (墳丘墓 1/500, 青銅器 1/8)

第2節 吉野ヶ里丘陵地区V区

1. 概要

本節では、前節で述べたST1001北墳丘墓とその関連遺構を除く吉野ヶ里丘陵地区V区の弥生時代墳墓及び関連遺構の報告を行う。対象となるのは、甕棺墓371基、石棺墓1基、土坑墓・木棺墓5基、祭祀土坑10基である。なお、これは別に、神埼工業団地計画に伴う調査で検出された甕棺墓等が約50基あるが、これらは遺構の詳しい調査を実施しておらず、かつ遺構番号が付与されていないことから、ここでは報告対象から除外する。

甕棺墓371基の分布状況を概観すると、V区南部の182調査区で228基、V区北部の184調査区で126基と、ST1001北墳丘墓の北と南に分かれて集中的に分布している。182調査区では、丘陵尾根に沿って南北方向に二列基調で埋葬されており、列の両側には墳墓に付属する祭祀土坑とみられる遺構が複数検出されている。また、ST1001北東部の丘陵緩斜面上に位置する184調査区では、北側と南側にそれぞれ甕棺墓群が展開しているが、ともに明確な列をなしていない。注目されるものとして、184調査区南の中央に位置するSJ1768（中期後半）、及びSJ1777（中期初頭）の棺内から人骨とともに絹布片が出土しており、特にSJ1768出土例は織りの異なる絹布を縫い合わせた痕跡を残しており特筆される。また、ST1001の北側を巡るSD1013外環壕の北側では、径約15mの範囲に甕棺墓や土坑墓、祭祀土坑など約15基が円弧状に分布しており、集団墓地の中でも特別に区画されて埋葬が行われた可能性がある（「I13集」・「I32集」）。

なお、遺跡保存決定後に調査を実施した区域の遺構については基本的に完掘をせず、検出のみにとどめているものがほとんどであることから、墓の構造や時期等について不明なものもある。

2. 吉野ヶ里丘陵地区V区の調査成果

(1) 遺構

A 甕棺墓

ST1001北墳丘墓出土の14基を除く吉野ヶ里丘陵地区V区の甕棺墓371基の内訳は、中～大型棺217基、小型棺72基、不明82基である。棺の構造は、合口（接口）式が166基、覆口式が30基、呑口式2基、単棺3基、不明170基である。上下棺の器種の組合せは、甕+甕が198基、鉢+甕が32基、壺+甕が2基、鉢+壺が1基、その他不明が135基である。

ST1001北墳丘墓の南に位置する182調査区は丘陵の尾根上に位置しており、南北約90m、東西約20mの細長い調査区内に228基の甕棺墓が分布している。182調査区の甕棺墓の時期は中期初頭～中期前半を主体とし、中期後半には減少する。中期初頭の甕棺墓は調査区中央から南部にかけて約70基が分布しており、集塊状と列状の中間のようなありかたを示している。中期前半になると調査区全体に甕棺墓の分布範囲が広がり、おおむね列状をなしているが、明確な二列基調ではない。182調査区の甕棺墓に伴う遺物として、SJ1405、SJ1419、SJ1620の棺内埋土から打製石鏃がそれぞれ1点ずつ出土しているほか、SJ1438からも打製石鏃が1点出土している。その他、SJ1478埋土からはガラス製管玉が1点、SJ1578埋土からは磨製石剣の切先が1点、SJ1598からは鑄造鉄斧片再加工品とみられる板状鉄製品が1点出土している。

ST1001墳丘墓の北東に位置する184調査区は、丘陵の緩斜面上に位置しており、北と南の調査区から甕棺墓計126基検出されている。所属時期は中期初頭～後期前半であるが、中期が主体である。

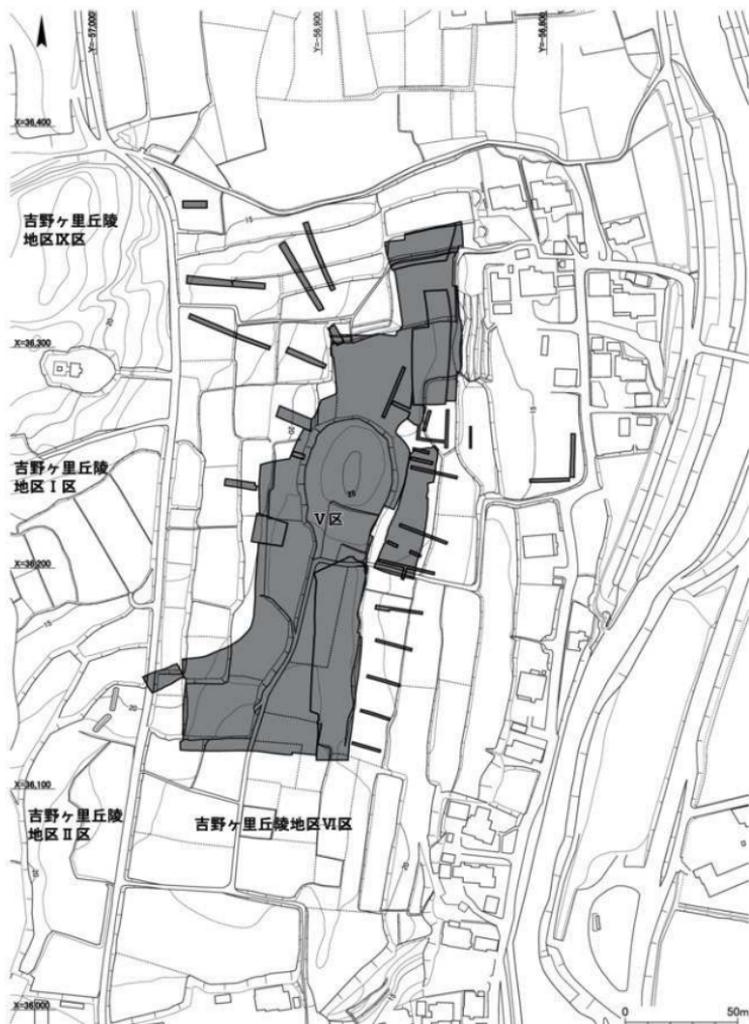


図90 吉野ヶ里丘陵地区V区 調査区的位置 (1/2,000)

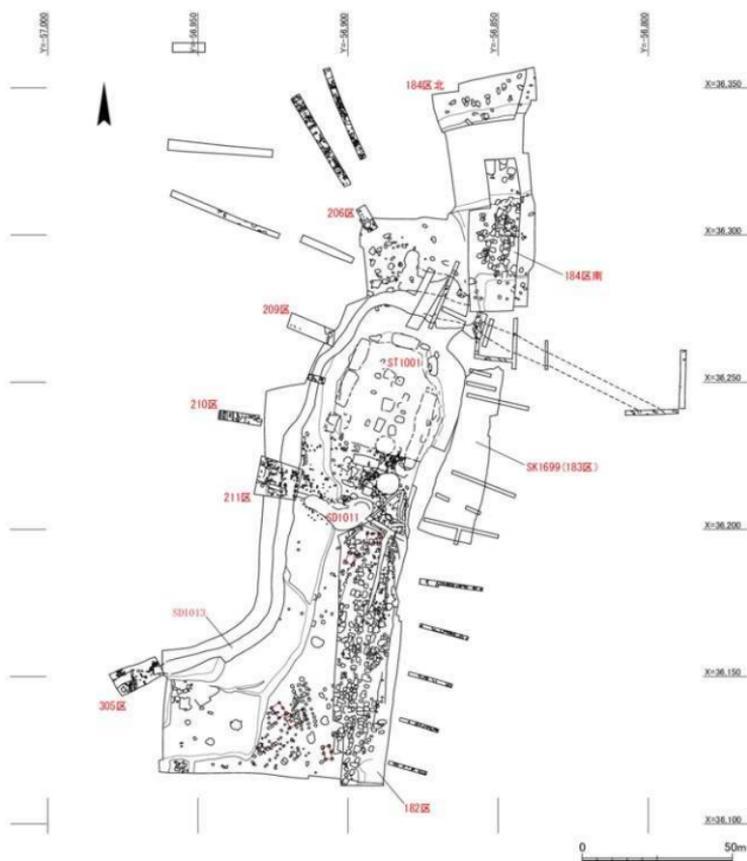


图 91 吉野ヶ里丘陵地区V区 全体图 (1/1,500)

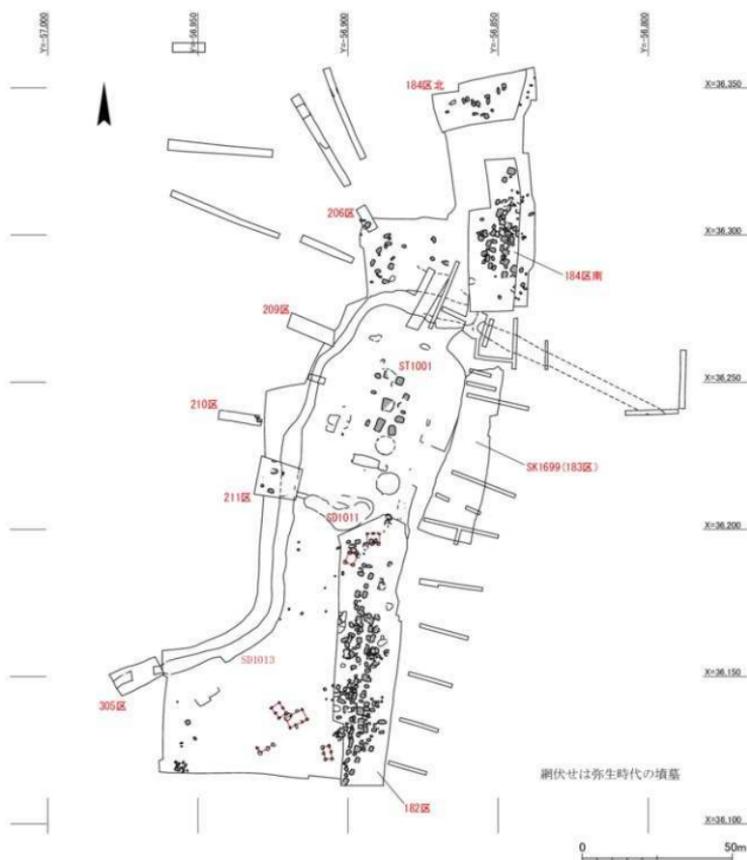


図 92 吉野ヶ里丘陵地区V区 弥生時代遺構の分布略図 (1/1,500)

吉野ヶ里丘陵地区V区



図93 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区)遺構の分布(左)・墓地遺構分布略図(右)(1/500)

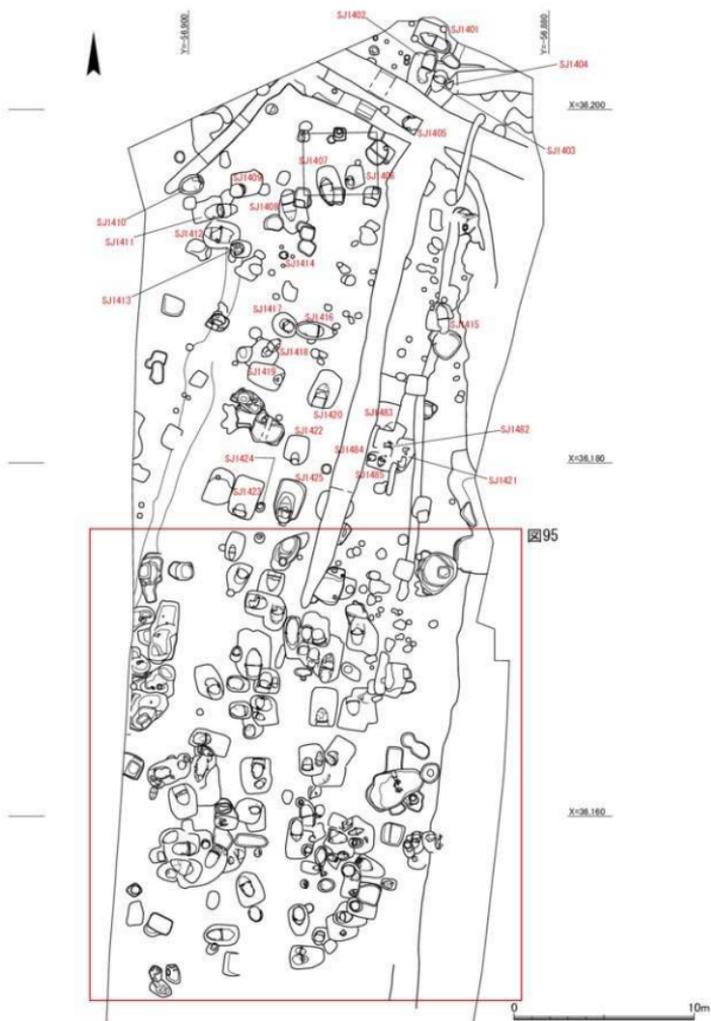


図95

図 94 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 遺構の分布詳細図1 (1/250)

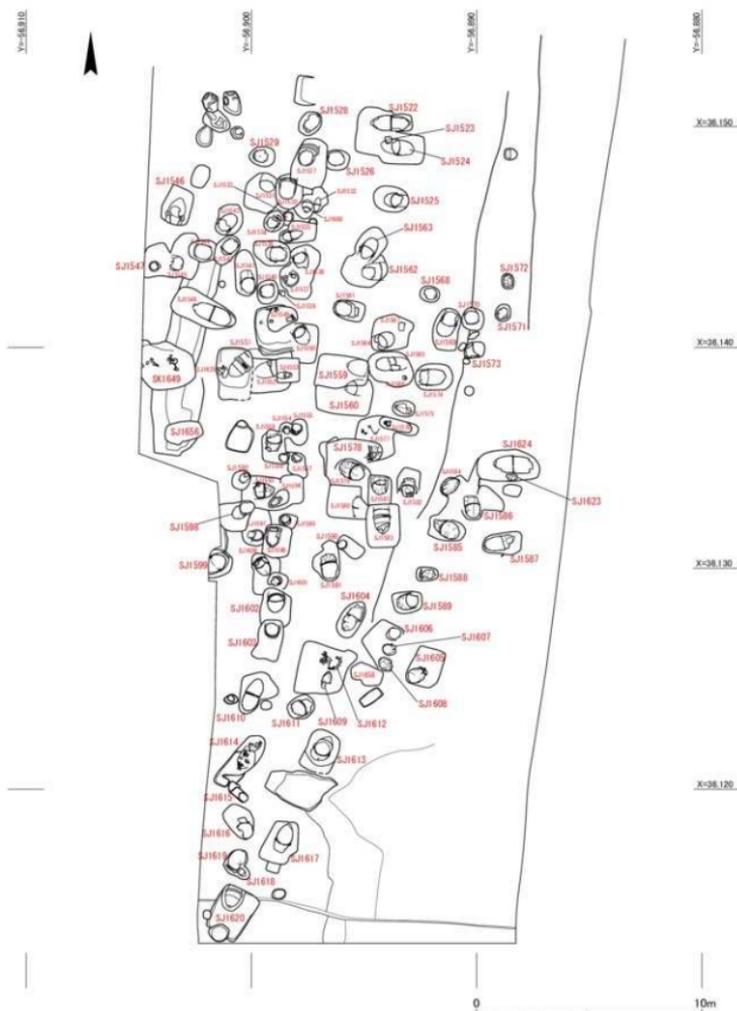


図 96 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 通構の分布詳細図2 (1/200)



図 97 吉野ヶ里丘陵地区V区北部 遺構の分布 (1/500)

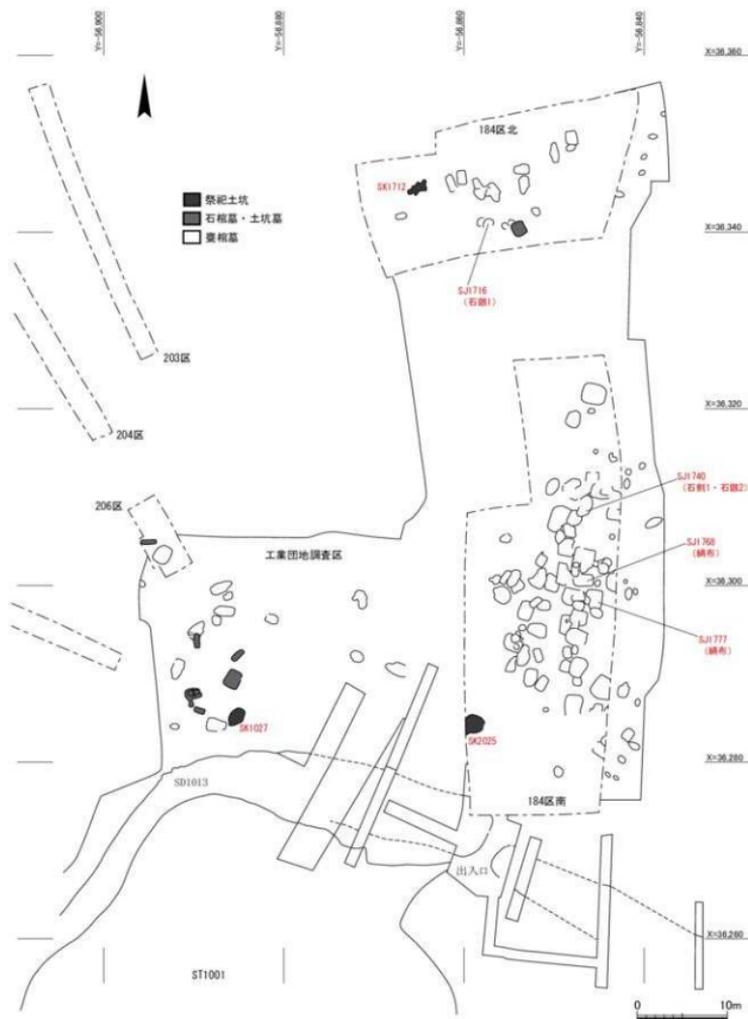


図98 吉野ヶ里丘陵地区V区北部 遺構の分布略図 (1/500)

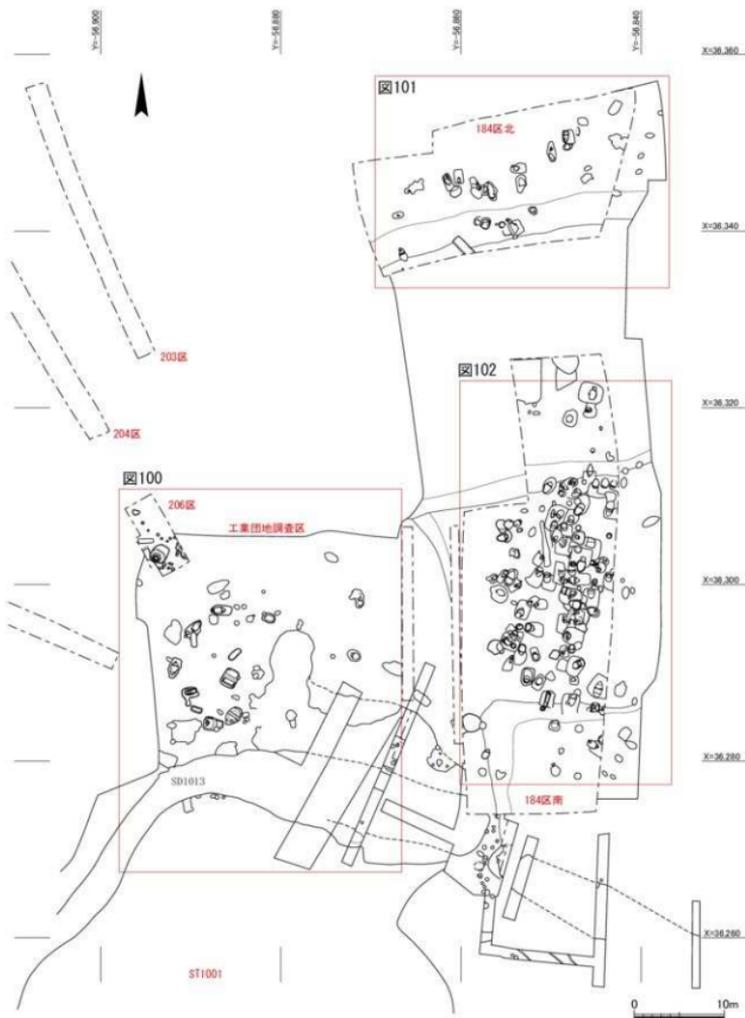


図99 吉野ヶ里丘陵地区V区北部 遺構の分布詳細図の位置 (1/500)

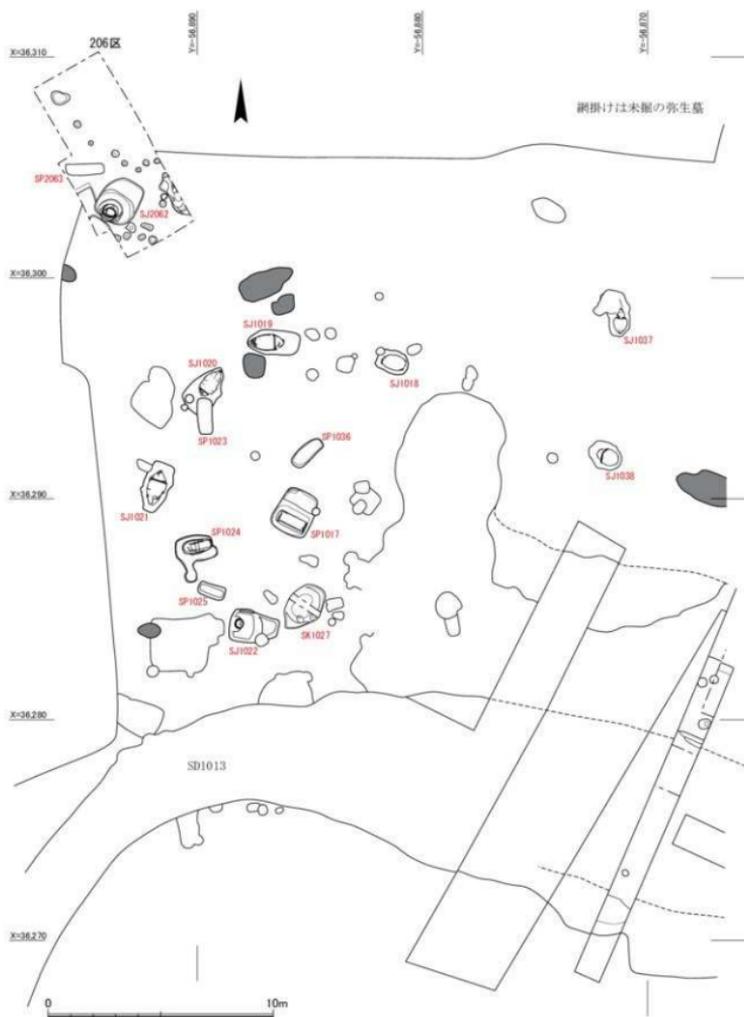


図 100 吉野ヶ里丘陵地区V区北部(工業団地調査区) 遺構の分布詳細図1 (1/200)

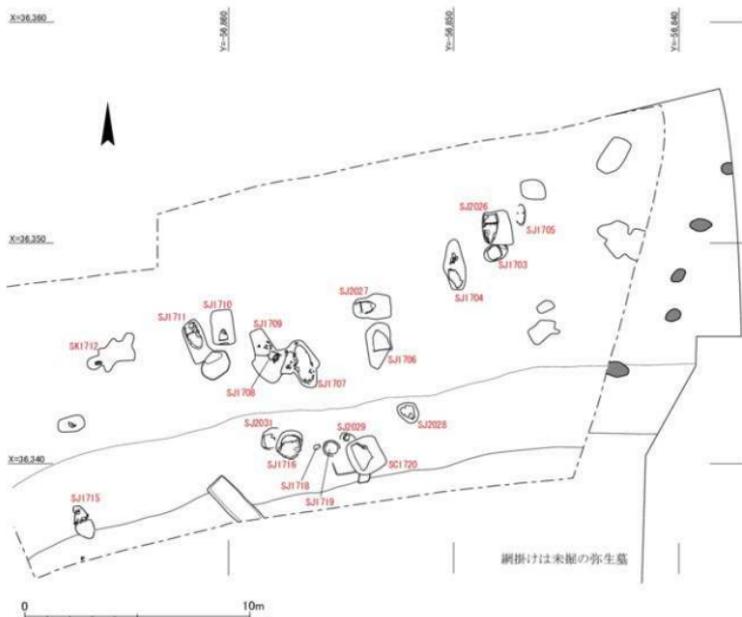


図 101 吉野ヶ里丘陵地区V区北部(184調査区北) 遺構の分布詳細図 2 (1/200)

中期所頭の甕棺墓は甕棺墓は約 17 基あり、184 調査区南の中央に分布している。184 区南の中央やや東に位置する SJ1777 は、図示していないが、構造は甕と甕の合口で、内部からは人骨とともに絹布の破片が出土している。出土人骨は性別不明の壮年～熟年と鑑定されている。中期前半の甕棺墓は約 59 基あり、184 調査区の北と南の両方に分布している。棺の主軸方向は統一性がなく、明確な列は形成されていない。

中期後半の甕棺墓は約 23 基で、184 調査区南の中央から北側に分布している。なかでも、SJ1768 は大型の鉢と甕の合口で、内部には人骨が一部遺存しており、布片が上肢骨とみられる骨に付着した状態で出土した。絹布は織りが異なる 2 枚の絹が縫い合わせられたものである(七田 2005)。出土人骨は熟年女性と鑑定されている。また、184 調査区南の中央付近に位置する SJ1740 は、構造が甕と甕の合口で、削片のため上甕の大半を欠損している。未完掘であるが、棺内の下甕底面から磨製石剣の切先 1 点と打製石磯 2 点が出土している。

ST1001 北墳丘墓の北及び西側に位置する 206・210・211 区では、甕棺墓 8 基が確認されている。所属時期は中期末～後期初頭頃で、182・184 調査区の甕棺墓地の盛行期よりもやや後出する。部分的なトレンチ調査のため、周辺の状況や墓地の規模等は不明であるが、北墳丘墓への埋葬が終了した中期後半新段階以降においても、ST1001 に近接する場所で甕棺墓の造営が継続していたことがうかがえる。

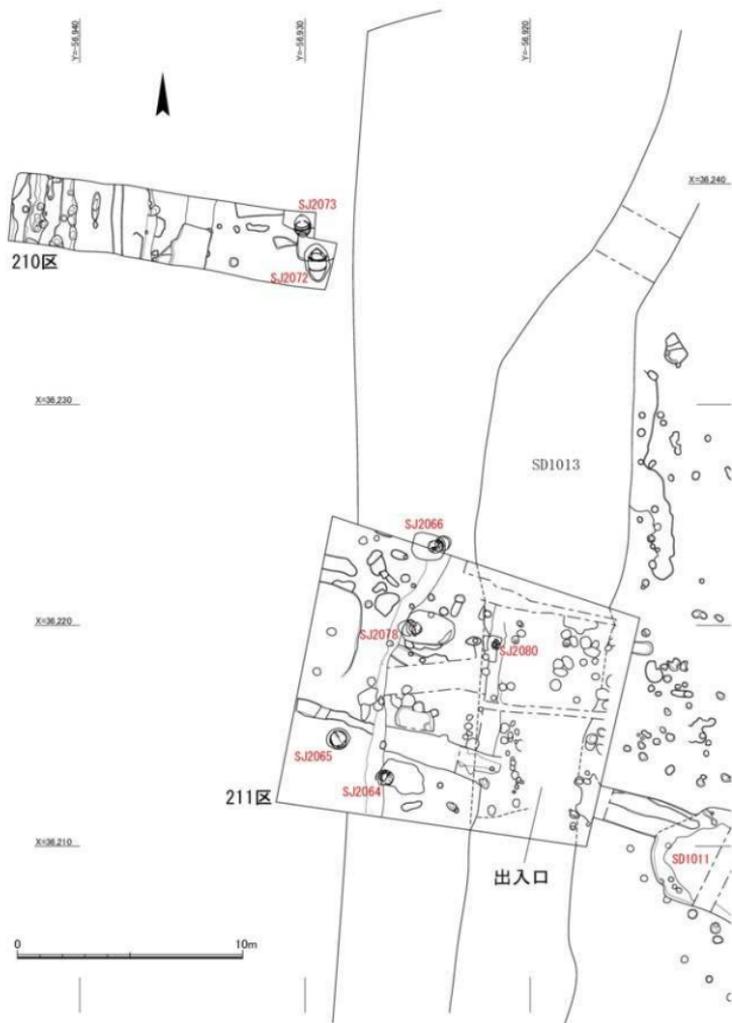


図 103 吉野ヶ里丘陵地区V区 (210・211調査区) 遺構の分布 (1/200)

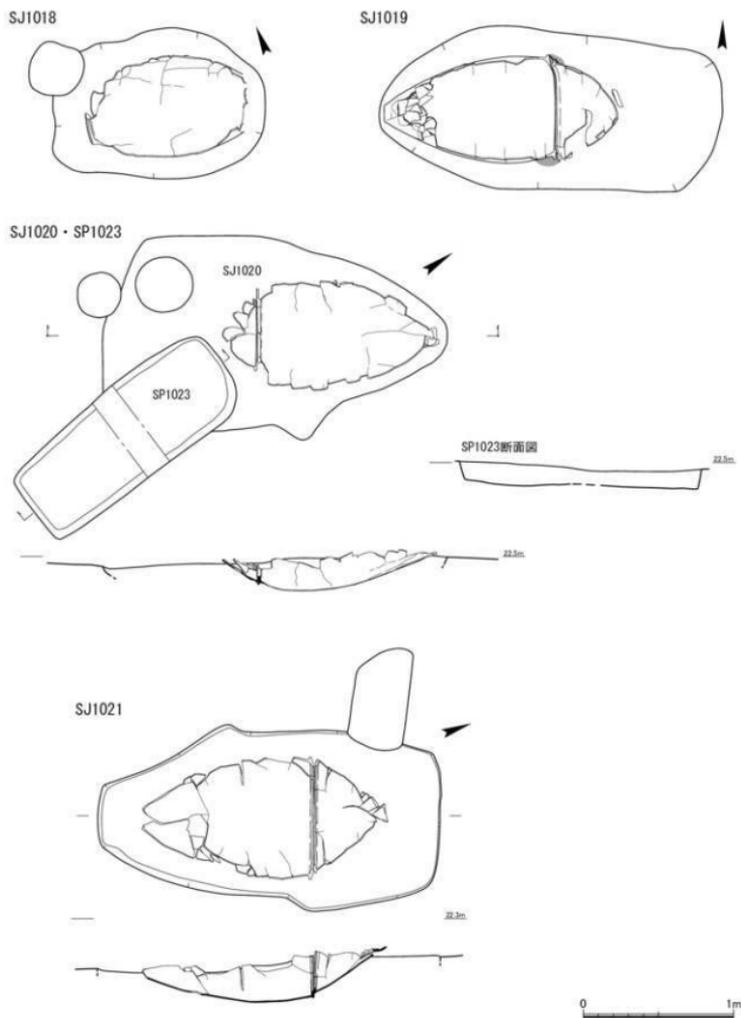
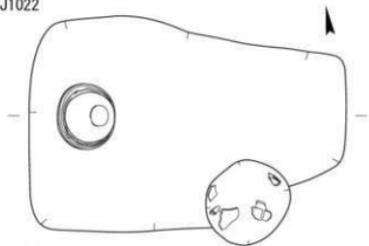
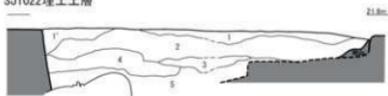


図104 吉野ヶ里丘陵地区V区(工業団地調査区) 惣柵墓1 (1/30)

SJ1022

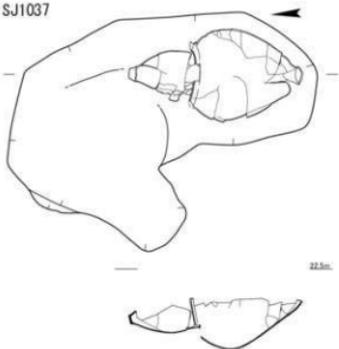


SJ1022埋土土層



- 1. 褐色土 1m程度の砂粒。0.2~1m程度の黄灰色土を少量含む
- 1' 黄褐色土、黄灰色土が混ざる
- 2. 明褐色土 少量の淡黄褐色土が混ざる
- 3. 黄灰色土 1と同様だが黄灰色土の混入量が多い
- 4. 褐色土 1と同様だが黄灰色土の混入量が多い
- 5. 黄灰色土 淡褐色土が多く混ざる

SJ1037



SJ1038

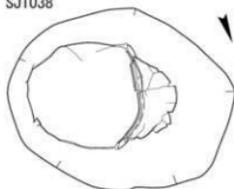
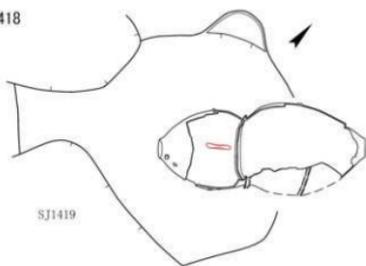


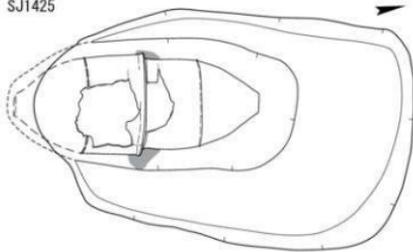
図 105 吉野ヶ里丘陵地区V区（工業団地調査区）発掘墓 2 (1/30)

SJ1418



SJ1419

SJ1425



SJ1551 · SJ1625

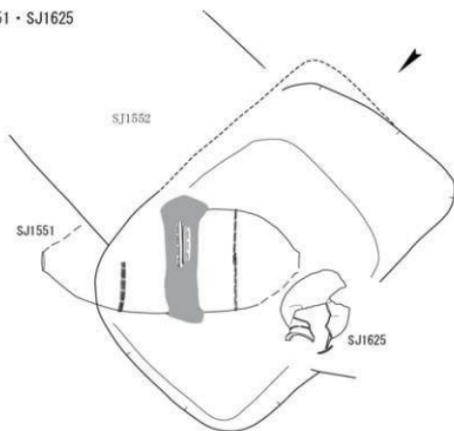
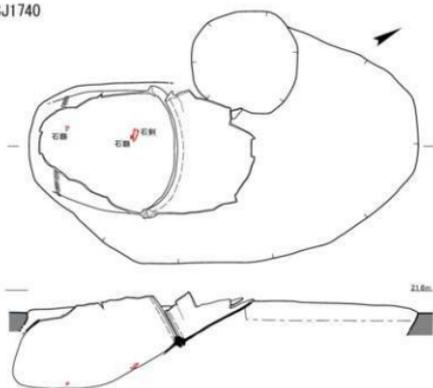


图 106 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 甕棺墓 (1/30)

SJ1740



SJ1768

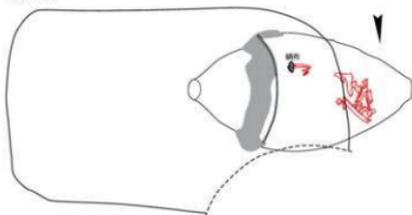
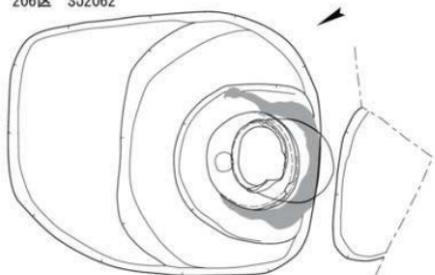
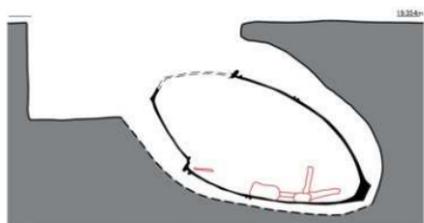
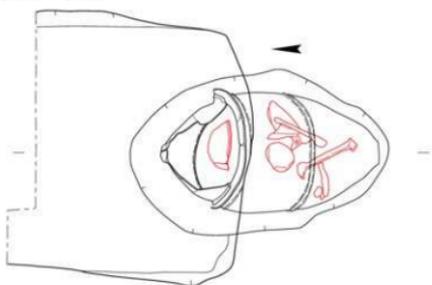


図 107 吉野ヶ里丘陵地区V区 (184 調査区) 塚棺墓 (1/30)

206区 SJ2062



210区 SJ2072



210区 SJ2073

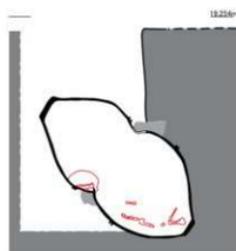
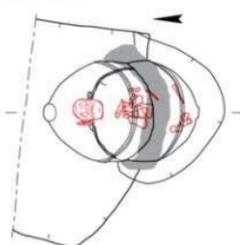
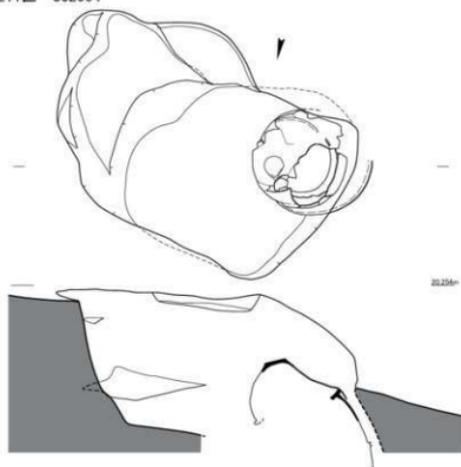
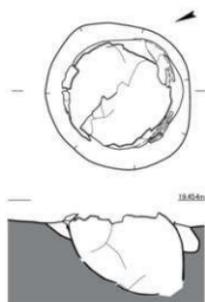


図108 吉野ヶ里丘陵地区V区(206・210調査区) 甕棺墓 (1/30)

211区 SJ2064



211区 SJ2065



211区 SJ2066

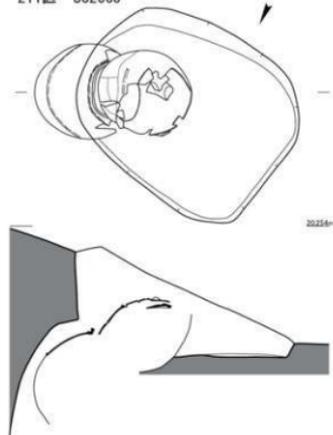
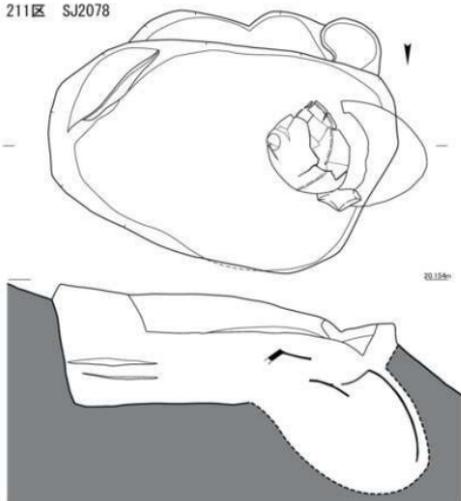


图 109 吉野ヶ里丘陵地区V区 (211調査区) 建物群1 (1/30)

211区 SJ2078



211区 SJ2080

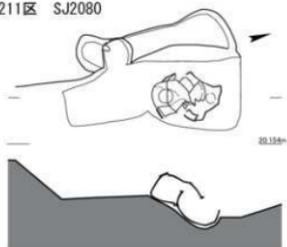


图 110 吉野・里丘陵地区V区(211調査区)墓棺墓2(1/30)

表7 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 葬棺墓

遺構番号	調査区	葬棺形式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上喪	下喪	旧	新		性別	年齢	
SJ1018	工業団地	不明	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1019	工業団地	合口	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1020	工業団地	合口	鉢	喪		SP1023	中期後半	—	—	
SJ1021	工業団地	合口	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1022	工業団地	合口	鉢	喪			中期	不明	不明	人骨片
SJ1037	工業団地	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1038	工業団地	合口	喪	喪			中期	—	—	小片のみ
SJ1401	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1402	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1403	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1404	182区	不明	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1405	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	打製石鏃 1
SJ1406	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1407	182区	合口	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1408	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1409	182区	合口	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1410	182区	不明	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1411	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1412	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1413	182区	単棺	石蓋?	喪			中期後半	—	—	
SJ1414	182区	不明					—	—	—	
SJ1415	182区	合口	喪	喪			中期前半?	—	—	
SJ1416	182区	合口	鉢	喪			中期後半	—	—	
SJ1417	182区	合口	喪	喪			中期後半	—	—	
SJ1418	182区	合口	喪	喪			中期後半	不明	不明	
SJ1419	182区	覆口	喪	喪			中期後半	—	—	打製石鏃 1
SJ1420	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1421	182区	不明	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1422	182区	不明	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1423	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1424	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1425	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1426	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1427	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1428	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1429	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1430	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1431	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1432	182区	不明	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1433	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1434	182区	覆口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1435	182区	不明					—	—	—	
SJ1436	182区	不明	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1437	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1438	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	打製石鏃 1
SJ1439	182区	不明	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1440	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1441	182区	不明					—	—	—	
SJ1442	182区	合口	喪	喪			—	—	—	
SJ1443	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1444	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1445	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1446	182区	不明	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1447	182区	合口	喪	喪			中期前半	不明	不明	
SJ1448	182区	合口	喪	喪			中期初頭	—	—	
SJ1449	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1450	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1451	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1452	182区	合口	喪	喪			中期前半	—	—	
SJ1453	182区	不明	喪				中期前半	—	—	

表8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 葬棺墓

遺構番号	調査区	葬棺形式			新任関係		時期	人件		特記事項
		構造	上葬	下葬	旧	新		性別	年齢	
SJ1454	182区	不明		葬			中期前半	—	—	
SJ1455	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1456	182区	不明					—	—	—	
SJ1457	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1458	182区	不明		葬			中期前半	—	—	
SJ1459	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1460	182区	不明					—	—	—	
SJ1461	182区	不明	葬				中期前半	—	—	
SJ1462	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1463	182区	不明					—	—	—	
SJ1464	182区	不明		葬			中期前半	—	—	
SJ1465	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1466	182区	不明					—	—	—	
SJ1467	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1468	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1469	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1470	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1471	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1472	182区	合口	壺	葬			中期初頭	—	—	
SJ1473	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1474	182区	不明					—	—	—	
SJ1475	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1476	182区	合口	葬	葬			中期	—	—	
SJ1477	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1478	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1479	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1480	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1481	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1482	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1483	182区	不明					—	—	—	
SJ1484	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1485	182区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1486	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1487	182区	不明					中期	—	—	
SJ1488	182区	覆口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1489	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1490	182区	不明	鉢?	壺			中期初頭?	—	—	
SJ1491	182区	合口					中期後半	—	—	
SJ1492	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1493	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1494	182区	不明					中期後半	—	—	
SJ1495	182区	不明					—	—	—	
SJ1496	182区	覆口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1497	182区	不明					—	—	—	
SJ1498	182区	合口	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1499	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1500	182区	不明					—	—	—	
SJ1501	182区	合口					—	—	—	
SJ1502	182区	不明		葬			中期初頭	—	—	
SJ1503	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1504	182区	不明					—	—	—	
SJ1505	182区	覆口	葬	葬			後期	—	—	
SJ1506	182区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1507	182区	不明					—	—	—	
SJ1508	182区	不明					中期	—	—	
SJ1509	182区	合口	葬	葬			中期前半	不明	不明	
SJ1510	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1511	182区	覆口	葬	葬			中期初頭	不明	不明	
SJ1512	182区	不明					—	—	—	
SJ1513	182区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	

表8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳墓周辺) 表格幕

遺構番号	調査区	表格式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上表	下表	旧	新		性別	年齢	
SJ1514	182区	合口	鉢	表			中期後半	—	—	
SJ1515	182区	不明					中期後半	—	—	
SJ1516	182区	合口	表				中期初頭	—	—	
SJ1517	182区	不明					—	—	—	
SJ1518	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1519	182区	覆口	表	表			—	—	—	
SJ1520	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1521	182区	覆口	鉢	表			中期初頭	不明	不明	
SJ1522	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1523	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1524	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1525	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1526	182区	不明					—	—	—	
SJ1527	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1528	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1529	182区	不明					—	—	—	
SJ1530	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1531	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1532	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1533	182区	不明	表	表			中期前半	—	—	
SJ1534	182区	不明	表	表			—	—	—	
SJ1535	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1536	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1537	182区	不明	表	表			中期前半	—	—	
SJ1538	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1539	182区	不明	表	表			中期前半	—	—	
SJ1540	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1541	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1542	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1543	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1544	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1545	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1546	182区	合口	表	表			中期初頭	不明	不明	
SJ1547	182区	覆口	表	壺			中期初頭	—	—	
SJ1548	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1549	182区	不明					—	—	—	
SJ1550	182区	合口	表	表			中期前半	—	—	
SJ1551	182区	不明	表	表	SJ1552		中期前半	—	—	
SJ1552	182区	合口	表	表		SJ1551	中期初頭	—	—	
SJ1553	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1554	182区	覆口	表	壺			中期初頭	—	—	
SJ1555	182区	覆口	表	壺			中期初頭	—	—	
SJ1556	182区	覆口	表	壺			—	—	—	
SJ1557	182区	不明		壺			—	—	—	
SJ1558	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1559	182区	不明	表				中期前半	—	—	
SJ1560	182区	不明	表				—	—	—	
SJ1561	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1562	182区	不明	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1563	182区	覆口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1564	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1565	182区	合口	表	表			中期初頭	—	—	
SJ1566	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1567	182区	不明					—	—	—	
SJ1568	182区	不明					—	—	—	
SJ1569	182区	覆口	表	表			中期	—	—	
SJ1570	182区	不明	表				中期初頭	—	—	
SJ1571	182区	不明					—	—	—	
SJ1572	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1573	182区	不明					中期初頭	—	—	

表8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 甕棺墓

遺構番号	調査区	甕棺形式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上甕	下甕	旧	新		性別	年齢	
SJ1574	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1575	182区	不明					中期後半?	—	—	
SJ1576	182区	不明					—	—	—	
SJ1577	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1578	182区	合口	甕	甕			中期後半	—	—	石剣1
SJ1579	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1580	182区	不明					—	—	—	
SJ1581	182区	覆口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1582	182区	覆口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1583	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1584	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1585	182区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	
SJ1586	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1587	182区	合口	甕	甕			—	—	—	
SJ1588	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1589	182区	覆口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1590	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1591	182区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	
SJ1592	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1593	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1594	182区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	
SJ1595	182区	覆口	甕	壺			中期初頭	—	—	
SJ1596	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1597	182区	單箱	石蓋?	甕			中期初頭	—	—	
SJ1598	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	鍔造鉄片1
SJ1599	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1600	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1601	182区	覆口	甕	壺			中期初頭	—	—	
SJ1602	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1603	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1604	182区	覆口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1605	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1606	182区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	
SJ1607	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1608	182区	不明					—	—	—	
SJ1609	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1610	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1611	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1612	182区	不明					中期後半	—	—	
SJ1613	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1614	182区	不明					—	—	—	
SJ1615	182区	不明					—	—	—	
SJ1616	182区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1617	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1618	182区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1619	182区	不明					中期前半	—	—	
SJ1620	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	打製石鏃1
SJ1621	182区	不明					—	—	—	
SJ1622	182区	不明	鉢	甕			中期前半	—	—	
SJ1623	182区	不明					中期	—	—	
SJ1624	182区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1625	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1626	182区	合口	甕	甕			中期後半	—	—	
SJ1656	182区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1658	182区	不明					—	—	—	甕棺抜き跡か
SJ1701	184区	不明					—	—	—	
SJ1702	184区	不明					中期	—	—	
SJ1703	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1704	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1705	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	

表8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 葬棺墓

遺構番号	調査区	葬棺形式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上葬	下葬	旧	新		性別	年齢	
SJ1706	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1707	184区	不明						—	—	
SJ1708	184区	不明					中期前半?	—	—	
SJ1709	184区	不明					中期前半?	—	—	
SJ1710	184区	合口	葬	葬			—	—	—	
SJ1711	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1715	184区	合口	葬	葬			後期前半	—	—	
SJ1716	184区	単棺	石蓋	葬			中期末~後期 初頭	—	—	打製石礫1・人骨
SJ1717	184区	不明					—	—	—	
SJ1718	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1719	184区	不明					中期末?	—	—	
SJ1721	184区	不明					—	—	—	
SJ1722	184区	不明					中期後半	—	—	
SJ1723	184区	不明	葬				中期前半	—	—	
SJ1724	184区	不明	葬				中期後半	—	—	
SJ1725	184区	不明					—	—	—	
SJ1726	184区	不明					中期	—	—	
SJ1727	184区	合口	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1728	184区	合口	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1729	184区	合口	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1730	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1731	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1732	184区	合口	鉢	葬			—	—	—	
SJ1733	184区	不明					—	—	—	
SJ1734	184区	合口	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1735	184区	覆口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1736	184区	不明	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1737	184区	合口	葬	葬			中期後半	—	—	
SJ1738	184区	不明	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1739	184区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1740	184区	合口	葬	葬			中期後半	—	—	打製石礫2・磨製石剣1
SJ1741	184区	合口	葬	葬			中期後半	—	—	
SJ1742	184区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1743	184区	合口	葬	葬			中期後半	—	—	
SJ1744	184区	不明	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1745	184区	不明	葬				中期初頭	—	—	
SJ1746	184区	合口	葬	葬			—	—	—	
SJ1747	184区	合口	葬	葬			—	—	—	
SJ1748	184区	不明					中期後半	—	—	
SJ1749	184区	合口	葬				中期後半	—	—	
SJ1750	184区	合口	葬	葬			中期後半	—	—	
SJ1751	184区	不明	鉢				中期後半	—	—	
SJ1752	184区	不明	鉢	葬			中期後半	—	—	
SJ1753	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1754	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1755	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1756	184区	不明	葬	葬			中期後半	—	—	
SJ1757	184区	不明	葬				中期前半	—	—	
SJ1758	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1759	184区	不明	葬				中期初頭	—	—	
SJ1760	184区	不明					—	—	—	
SJ1761	184区	不明					中期	—	—	
SJ1762	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1763	184区	合口	壺	葬			中期後半	—	—	
SJ1764	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1765	184区	不明	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1766	184区	合口	葬	葬			中期前半	—	—	
SJ1767	184区	合口	葬	葬			中期初頭	—	—	
SJ1768	184区	合口	鉢	葬			中期後半	女性	熟年	縫い目のある絹布片

表8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘周辺) 甕棺墓

遺構番号	調査区	甕棺形式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上甕	下甕	旧	新		性別	年齢	
SJ1769	184区	覆口	甕	志			中期初頭	—	—	
SJ1770	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1771	184区	不明					—	—	—	
SJ1773	184区	不明					中期後半	—	—	
SJ1774	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1775	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1776	184区	不明	鉢	甕			中期後半	—	—	
SJ1777	184区	合口	甕	甕			中期初頭	不明	壮年 ~ 熟年	副布片
SJ1778	184区	不明					中期	—	—	
SJ1779	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1780	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1781	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1782	184区	不明					—	—	—	
SJ1783	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1784	184区	不明					中期初頭	—	—	
SJ1785	184区	合口	鉢	甕			中期後半	—	—	
SJ1786	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1787	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ1788	184区	不明					—	—	—	
SJ1789	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1790	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1791	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1792	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1793	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1794	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1795	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1796	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1797	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1798	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1799	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	
SJ1800	184区	不明					中期前半	—	—	
SJ2001	184区	不明					—	—	—	旧SJ1801
SJ2003	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1803
SJ2004	184区	不明					中期前半	—	—	旧SJ1804
SJ2005	184区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	旧SJ1805
SJ2006	184区	不明	鉢	甕			中期前半	—	—	旧SJ1806
SJ2007	184区	不明					—	—	—	旧SJ1807
SJ2008	184区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	旧SJ1808
SJ2009	184区	不明					中期後半	—	—	旧SJ1809
SJ2010	184区	不明					—	—	—	旧SJ1810
SJ2011	184区	不明					—	—	—	旧SJ1811
SJ2012	184区	不明	鉢	甕			中期前半	—	—	旧SJ1812
SJ2013	184区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	旧SJ1813
SJ2014	184区	合口	甕	甕			中期初頭	—	—	旧SJ1814
SJ2015	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1815
SJ2016	184区	不明	甕	甕			中期後半	—	—	旧SJ1816
SJ2017	184区	不明	甕	甕			中期初頭	—	—	旧SJ1817
SJ2018	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1818
SJ2019	184区	合口	甕	甕			—	—	—	旧SJ1819
SJ2020	184区	不明					中期前半	—	—	旧SJ1820
SJ2021	184区	合口	鉢	甕			中期前半	—	—	旧SJ1821(※SJ1772から変更)
SJ2022	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1822
SJ2023	184区	合口	鉢	甕			中期初頭	—	—	旧SJ1823
SJ2024	184区	不明					—	—	—	旧SJ1824
SJ2026	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1826
SJ2027	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1827
SJ2028	184区	不明					—	—	—	旧SJ1828
SJ2029	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	旧SJ1829

表 8 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 甕棺墓

遺構番号	調査区	甕棺形式			新旧関係		時期	人骨		特記事項
		構造	上蓋	下蓋	旧	新		性別	年齢	
SJ2030	184区	不明					—	—	—	旧 SJ1830
SJ2031	184区	不明	甕	甕			中期前半	—	—	旧 SJ1831
SJ2034	184区	不明					—	—	—	旧 SJ1834
SJ2035	184区	合口	甕	甕			中期前半	—	—	旧 SJ1835
SJ2062	206区	合口	鉢	甕	甕	甕	中期未?	不明	不明	
SJ2064	211区	覆口	甕	甕			中期未～後期 初頭	—	—	上蓋口縁打欠
SJ2065	211区	合口	甕	甕			中期後半	—	—	
SJ2066	211区	不明					中期未～後期 初頭	—	—	
SJ2072	210区	合口	鉢	甕			中期後半	不明	不明	
SJ2073	210区	覆口	甕	甕			中期未	不明	不明	
SJ2078	211区	呑口	甕	甕			中期未～後期 初頭	—	—	
SJ2080	211区	不明	甕	甕			後期前半	—	—	下蓋口縁打欠
SJ0002	83区	不明					—	—	—	

B 石棺墓、土坑墓・木棺墓

石棺墓は1基、土坑墓・木棺墓は5基を確認した。SC1720石棺墓は184調査区北に位置する。一次墓坑は平面隅丸長方形で、大型の板石一枚を蓋石とする。図示していないが、内部構造は板石を組み合わせた平面長方形の箱式石棺である。

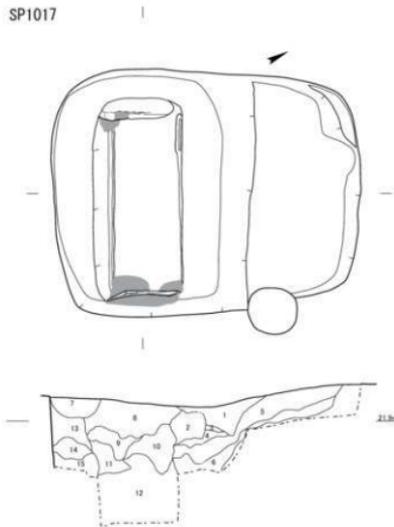
土坑墓・木棺墓としたもののうち、SP1017、SP1024、SP1025、SP1036はST1001墳丘墓北を巡るSD1013環壕の北側に位置する。この区域には土坑墓・木棺墓4基に加え、甕棺墓5基と祭祀土坑1基が平面円弧状に分布している。SP1017はこの墓域の中央付近に位置する。一次墓坑は平面隅丸長方形で、二段掘りの底面に長方形の二次墓坑が設けられている。両側の小口には板石が立てられ、目張り粘土が残る。二次墓坑の規模は長軸1.4m、短軸0.6mと小さい。SP1024は平面不整形の一次墓坑内部に隅丸長方形の二次墓坑が設けられ、小口片側に小型の板石1枚が立てられている。二次墓坑の規模は長軸1.31m、短軸0.65mと小さい。SP1025、SP1036は素掘りで、上部は削平を受けている。ともに墓坑規模は小さい。

SP2063は墳丘墓北西の206調査区中央西側に位置する石蓋土坑墓である。平面長方形で、板石4枚を蓋とし、石の間に目張り粘土が施されている。遺物は出土していない。

C 祭祀土坑

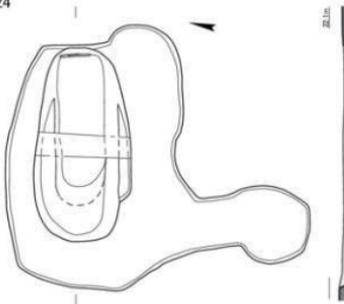
墳墓に伴う祭祀土坑及びその可能性がある遺構として10基を報告する。SK1027はST1001墳丘墓北を巡るSD1013環壕の北側に位置する。平面不整形円形の浅い土坑で、周囲には甕棺墓や土坑墓・木棺墓が集中して分布している。遺物がほとんど出土していないため詳細な時期は不明である。SK1649～SK1655の7基は182調査区に位置する。いずれも調査区中央に南北方向に展開する甕棺墓群の両脇に展開しており、特に墓列中央西側には4基の土坑(SK1650～SK1654)が集中して営まれている。中期初頭～前半の土器が出土しており、甕棺墓群の時期と一致する。SK1712は184調査区北側に位置する。平面不整形で、内部からは中期前半の土器が出土している。SK2025は184調査区南に位置し、中期前半の土器が出土している。

SP1017



1. 暗褐色土 0.2~1cmの黄灰色土を少量含む
2. 褐色土 5~10cmの黄灰色土、3~5cmの黄褐色土を多く含む
3. 暗褐色土 1層に類似するが黄灰色土の量が多
4. 黒褐色土 1~5cmの淡褐色土、1~2cmの黄灰色土を含む
5. 暗黄灰色土 1~5cmの淡褐色土、黄褐色土、暗褐色土を多く含む
土の量がやや多い
6. 暗褐色土 2層と同
7. 暗褐色土 0.5~2cmの黄灰色土、黒褐色土、淡褐色土を含む
8. 暗褐色土 8層に類似するが土人の量が多(基壇上層土)
9. 暗褐色土 8層に類似するが土人の量が多(基壇上層土)
10. 暗褐色土 8層に類似するが土人の量が多(基壇上層土)
11. 黄灰色土 2~5cmの明黄褐色土、淡褐色土、少量の黒褐色土を含む
(基壇上層土)
12. 黄灰色土 2~10cmの明黄褐色土、淡褐色土、少量の黒褐色土を含む
(基壇上層土、暗褐色土は、量が多い)
13. 黄灰色土 2~5cmの淡褐色土、少量の暗褐色土を含む
14. 暗褐色土 2~5cmの淡褐色土、黄灰色土を少量含む
15. 黄灰色土 11層に類似するが黒褐色土の土人の量

SP1024



0 1m

図 111 吉野ヶ里丘陵地区V区(工業団地調査区)土坑墓1 (1/30)

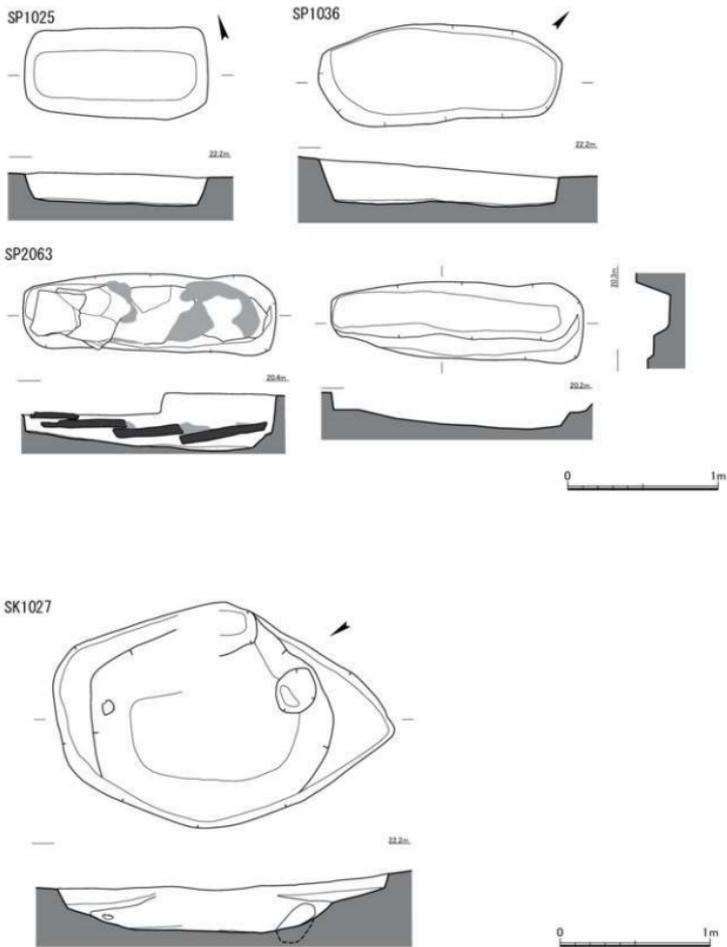


図 112 吉野ヶ里丘陵地区V区（工業団地調査区）土坑墓2・祭祀土坑（1/30）

表9 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 石棺墓・土坑墓・木棺墓

遺構番号	調査区	平面形	構造	一次墓坑		深さ	二次墓坑		新旧関係		時期	特記事項
				長軸	短軸		長軸	短軸	旧	新		
SC1720	184区北	楕丸長方		1.7	1.5						弥生	甬式石棺墓
SP1017	I型団地	楕丸長方	二段掘	2.05	1.7	0.64	1.4	0.6			弥生	内側の小口に板石
SP1024	I型団地	楕丸長方	二段掘	1.65	1.11		1.31	0.65			弥生	片側の小口に板石
SP1025	I型団地	楕丸長方	素掘				1.21	0.62			弥生	
SP1036	I型団地	長楕円	素掘				1.61	0.7			弥生	
SP2063	206区	楕丸長方	二段掘				1.68	0.53			弥生?	石蓋土坑墓

表10 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 祭祀土坑

遺構名	調査区	平面形	規模(m)			新旧関係		時期	特記事項
			長軸	短軸	深さ	旧	新		
SK1027	I型団地	不整形円	2.27	1.54	0.32				
SK1649	182区	不整形円	2.7*	2.2				中期初頭～前半	
SK1650	182区	不整形円							
SK1651	182区	不整形円							
SK1652	182区	楕丸長方	3.5	2.0				中期初頭	
SK1653	182区	不整形円						中期前半	
SK1654	182区	長方		0.9					
SK1655	182区	不整形円	3.4	2.1					
SK1712	184区北	不整形	2.5	1.4				中期前半	
SK2025	184区南	不整形円	2.1	2.0				中期前半	旧SK1825

(3) 出土遺物

A 葬棺

1～20は葬棺である。

1はSJ1037上襲。小型の襲で、口縁及びその下に断面三角形の突帯が巡る。2はSJ1037下襲。中型の襲で、口縁は内面に強く突出する。

3はSJ1469上襲。小型の襲で、口縁断面逆L字形をなし、口縁下に断面M字形の突帯が巡る。4はSJ1469下襲。小型の襲で、口縁断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が2条巡る。

5はSJ1598下襲。丸みを帯びた中型の襲で、口縁は外側に短く突出し、胴部中位付近に断面三角突帯が1条巡る。

6はSJ1768上鉢。大型の鉢で、口縁は外傾し断面T字形をなす。口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。外面に黒塗りが残る。7はSJ1768下襲。大型の襲で、口縁は外傾し内側に強く突出する。胴部上位を最大径とし、胴部中位に断面三角形の突帯が2条巡る。外面に黒塗りが残る。

8はSJ1777上襲。大型の襲で、口縁は内傾し内側に突出する。胴部中位を最大径とし、断面三角形の突帯が1条巡る。9はSJ1777下襲。大型の襲で、口縁上面はほぼ水平をなし、内側に強く突出する。器形は砲弾形で、口縁直下に3条の沈線が巡り、胴部中位に断面三角形の突帯が1条巡る。葬棺の裝飾が沈線から突帯へと転換する過渡期的なものであろうか。底部外面付近に一部ハケメが残る。

10はSJ2062上襲で口縁は打欠である。11はSJ2062下襲で、口縁断面「く」字状をなす。胴部中位に断面台形の突帯が3条巡る。

12はSJ2064上襲。丸みを帯びた中型の襲で、口縁には打欠が施される。胴部中位に断面三角形の突帯

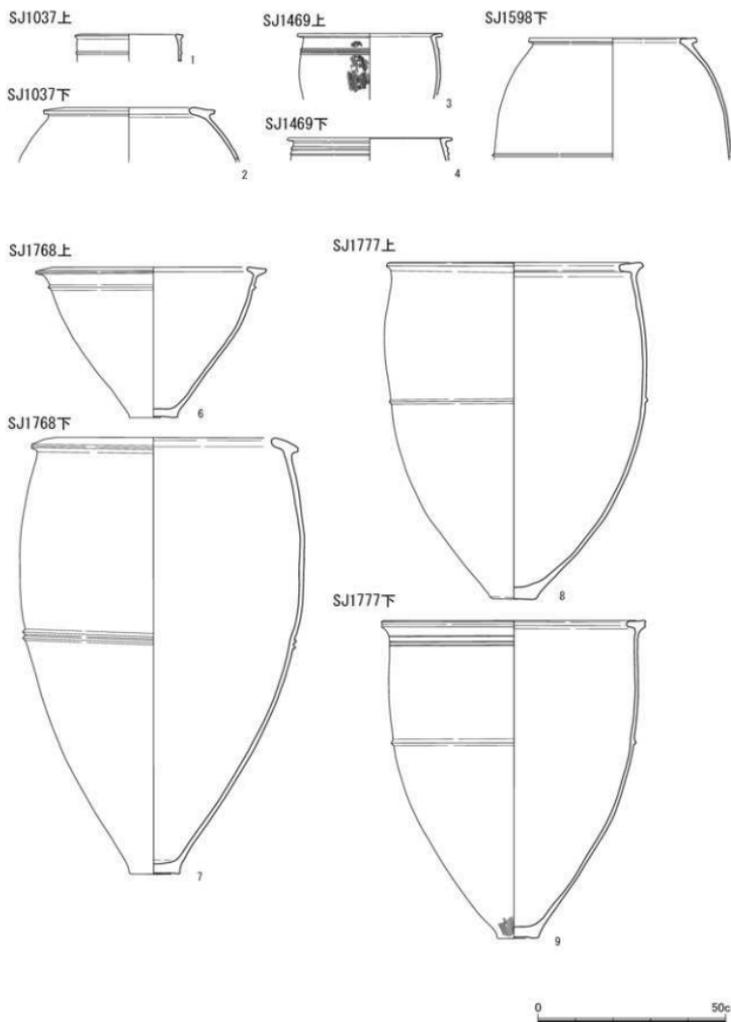


図 113 吉野ヶ里丘陵地区V区 出土鏡銘 1 (1/12)

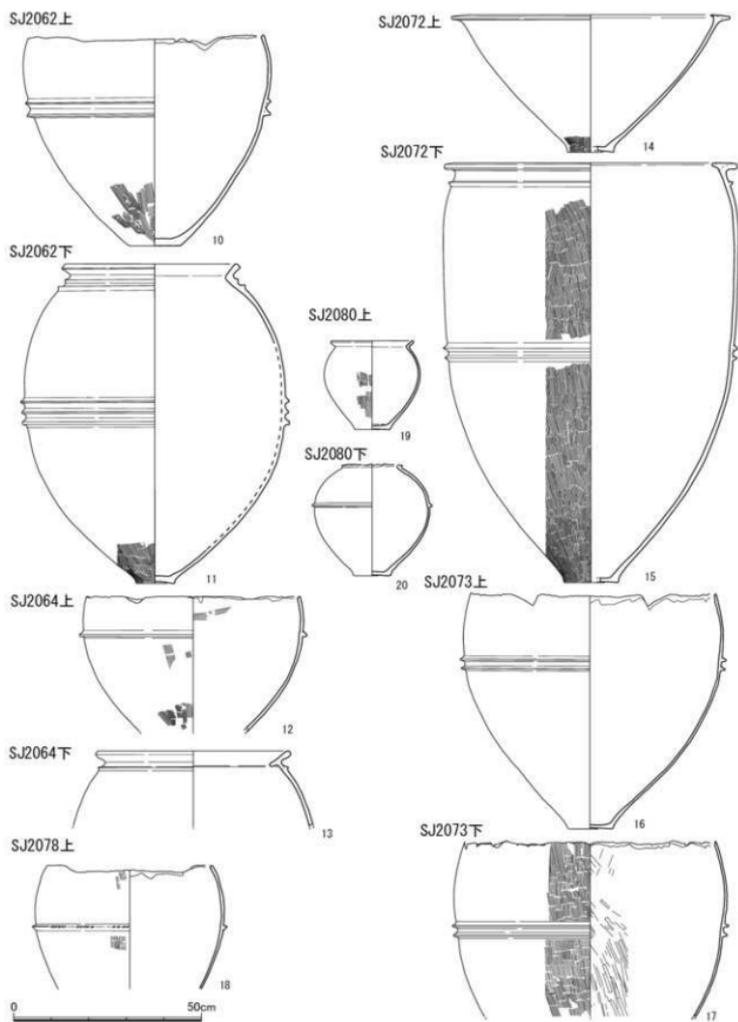


図114 吉野ヶ里丘陵地区V区 出土甕棺 2 (1/12)

表 11 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土土器

挿図-番号	佐賀県遺物 登録番号	調査区	遺構番号	器種	寸法 cm			色調		備考
					口径	底径	器高	外面	内面	
図 113-1	14001179	工業団地	SJ1037 上	甕	28.8*			明黄褐	明黄褐	
2	14001180	工業団地	SJ1037 下	甕	45.6*			橙	橙	
3	14000256	182 区	SJ1469 上	甕	38.4*			淡褐	淡褐	
4	14000257	182 区	SJ1469 下	甕	44.0*			明黄褐	明黄褐	
5	14000755	182 区	SJ1598 下	甕	44.8*			明黄褐	明黄褐	
6	16000891	184 区	SJ1768 上	鉢	61.3	12.9	40.8	橙	橙	黒塗り
7	16000892	184 区	SJ1768 下	甕	71.1	13.2	118.6	橙	橙	黒塗り
8	10000488	184 区	SJ1777 上	甕	68.4	12.4	91.5	明黄褐	明黄褐	
9	10000489	184 区	SJ1777 下	甕	70.4	11.0	66.4	明黄褐	明黄褐	
図 114-10	17000347	206 区	SJ2062 上	甕	63.0	13.9	57.4	橙	橙	口縁打欠
11	17000348	206 区	SJ2062 下	甕	46.0	10.2*	86.8	浅黄橙	橙	
12	17000109	210 区	SJ2064 上	甕	57.0*			黄橙	浅黄橙	口縁打欠
13	17000110	210 区	SJ2064 下	甕	52.0*			明黄橙	黄橙	
14	17000105	210 区	SJ2072 上	鉢	74.0*	12.4	37.4	浅黄橙	浅黄橙	底部外面黒唐
15	17000106	210 区	SJ2072 下	甕	78.0*	14.5*	114.0	浅黄橙	明黄褐	
16	17000107	211 区	SJ2073 上	甕	65.2*	12.0	64.2	橙	橙	口縁打欠
17	17000108	211 区	SJ2073 下	甕	67.0*			橙	橙	口縁打欠
18	17000111	210 区	SJ2078 上	甕	44.0*			橙	橙	口縁打欠
19	16000680	211 区	SJ2080 上	甕	22.2	9.4	24.2*	明黄褐	明黄褐	
20	16000681	211 区	SJ2080 下	甕	16.1*	10.0	30.5	浅黄橙	に赤い黄橙	口縁内側打欠

が1条巡る。13はSJ2064下甕。口縁断面「く」字をなし、内側に強く突出する。口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。

14はSJ2072上鉢。大型の鉢で、口縁断面逆L字状をなし、内面に鋭く突出する。胴部から底部にかけては直線的である。底部付近外面ハケメが残る。15はSJ2072下甕。大型の甕で、口縁断面逆L字状をなし、内側に短く突出する。器形は口縁下が窄まる砲弾形をなす。断面三角形の突帯が口縁下に1条、胴部中に2条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。

16はSJ2073上甕。丸みを帯びた中型の甕で、口縁には打欠が施される。胴部中に断面三角形の突帯が2条巡る。17はSH2073下甕。丸みを帯びた中型の甕で、口縁には打欠が施される。胴部中に断面台形の突帯が2条巡る。外面ハケメ、内面工具ナデである。

18はSJ2078上甕。丸みを帯びた中型の甕で、口縁には打欠が施される。胴部中に刻み目が施された断面三角形の突帯が1条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。

19はSJ2080上甕。小型の甕で、口縁断面「く」字形をなし、胴部上位が張り出す。調整は外面ハケメ、内面は摩耗のため不明である。20はSJ2080下甕で、口縁部は打欠が施される。胴部は球形で、中に断面台形の突帯が1条巡る。摩耗のため調整は不明である。

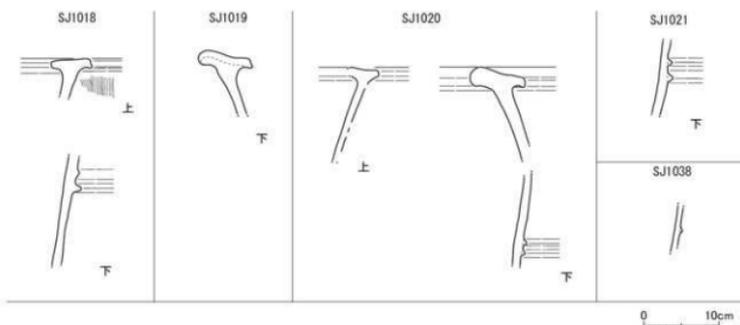


図 115 吉野ヶ里丘陵地区V区（工業団地調査区）出土竊棺部分実測（1/6）

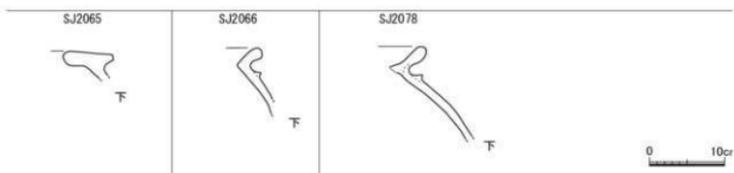


図 116 吉野ヶ里丘陵地区V区（210・211調査区）出土竊棺部分実測（1/6）

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区（墳丘墓周辺）出土竊棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1018	鉢		甕			14001174・14001175
SJ1019			甕	黒塗り		16000893
SJ1020	鉢	口縁内面欠損	甕			14001176・14001177
SJ1021			甕			14001178
SJ1038					上下不明	16000894
SJ2065			甕			16000659
SJ2066			甕			16000660
SJ2078			甕	口縁内面打欠		16000661

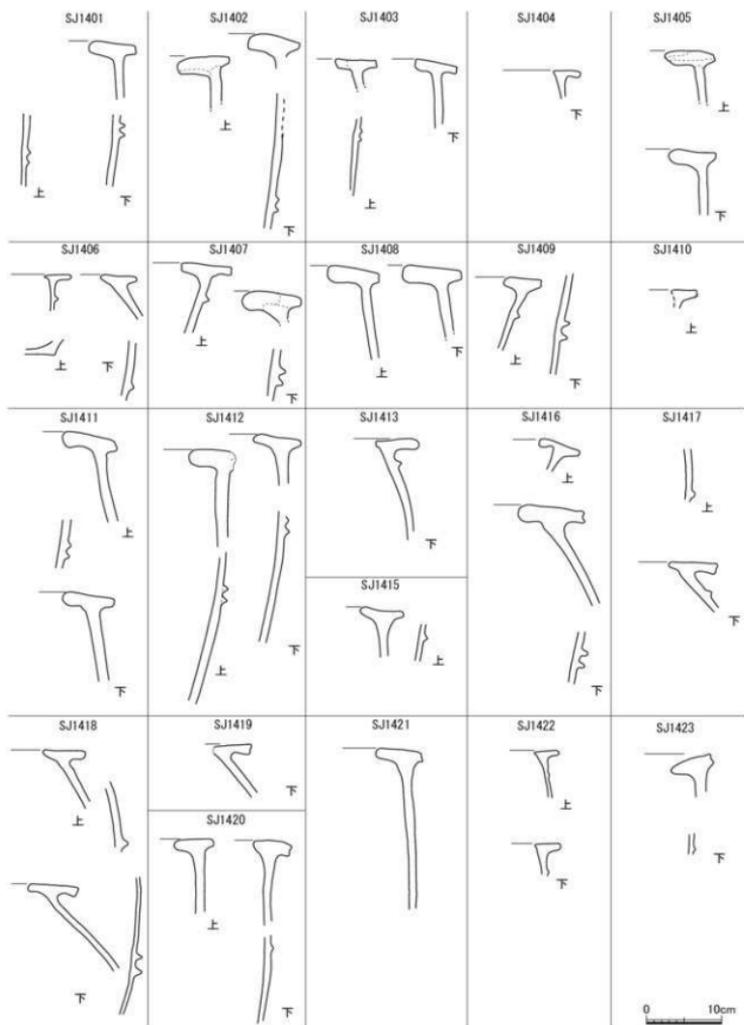


図 117 吉野ヶ里丘陵地区V区 (182調査区) 出土唐椀部分実測 1 (1/6)

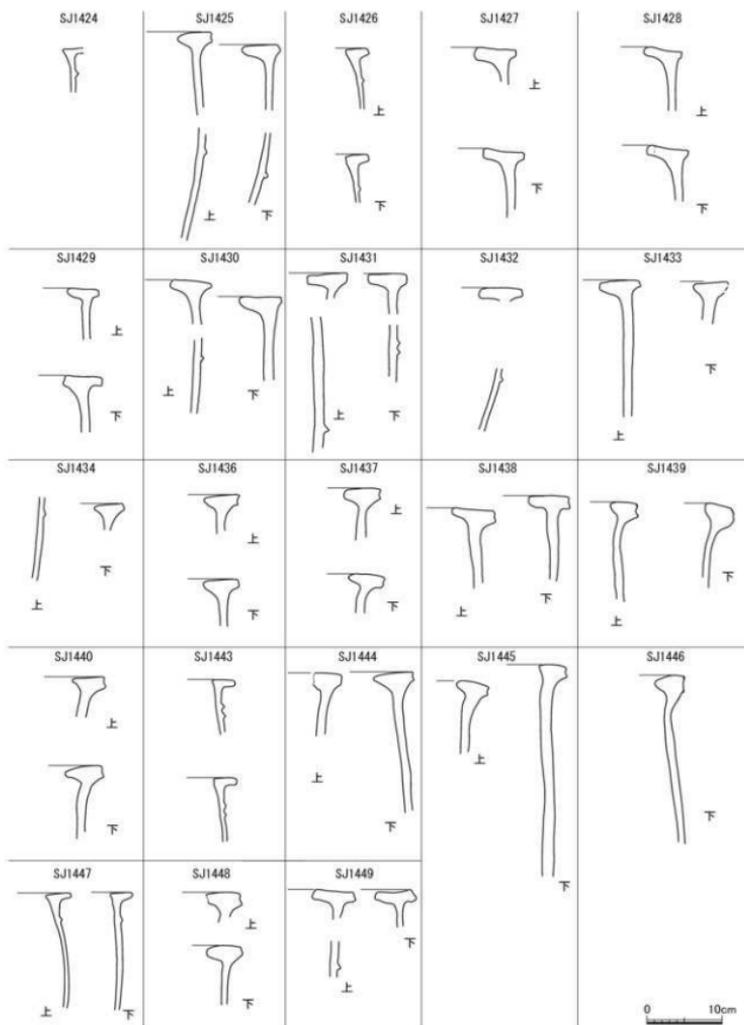


図118 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区)出土土器部分実測2(1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土竊棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1401	甕		甕			14000148・14000149
SJ1402	甕		甕			16000610・14000150
SJ1403	甕		甕			16000611・14000151 ・14000152
SJ1404			甕			14000153
SJ1405	甕		甕			16000612・14000154
SJ1406	甕		甕			14000155・14000156
SJ1407	鉢		甕			14000157・16000613 ・14000158
SJ1408	甕		甕	黒塗り		14000159・16000614
SJ1409	鉢		甕			14000160・14000161
SJ1410	甕	口縁内面剥落				14000162
SJ1411	甕		甕			14000163・14000164
SJ1412	甕	口縁外面打欠	甕			14000165・14000166
SJ1413			甕			14000167
SJ1415	甕					14000168・14000170
SJ1416	鉢		甕			14000172・14000173
SJ1417	甕		甕			14000174・14000175
SJ1418	甕		甕			14000176・14000177
SJ1419			甕	口縁内面打欠		14000178
SJ1420	甕		甕	黒塗り		14000179・14000180
SJ1421					上下不明	14000181
SJ1422	甕		甕			14000182・14000183
SJ1423			甕			14000185・14000186
SJ1424					上下不明・外側欠損	14000187
SJ1425	甕		甕			14000188・14000189
SJ1426	甕		甕			14000190・14000191
SJ1427	甕		甕			14000192・14000193
SJ1428	甕		甕			14000194・14000195
SJ1429	甕		甕			14000196・14000197
SJ1430	甕		甕			14000198・14000199
SJ1431	甕		甕			14000200・14000201
SJ1432					上下不明	14000202・14000203
SJ1433	甕		甕	口縁外側剥落		14000204・14000205
SJ1434	甕		甕			14000206・14000207
SJ1436	甕		甕			14000208・14000209
SJ1437		口縁下沈線	甕			14000210・14000211
SJ1438	甕		甕			14000212・14000213
SJ1439	甕	口縁刻み目 沈線横2条縦4条	甕	口縁刻み目		14000214・14000215
SJ1440	甕		甕			14000216・14000217
SJ1443	甕		甕		上下不明	14000218・14000219
SJ1444	甕	口縁内面打欠	甕			14000220・14000221
SJ1445	甕		甕	横2条沈線		14000222・14000223
SJ1446			甕	口縁刻み目 沈線横2条縦3条		14000224
SJ1447	甕		甕			14000225・14000226
SJ1448	甕	口縁部内面打欠	甕			14000227・14000228
SJ1449	甕		甕			14000229・14000230

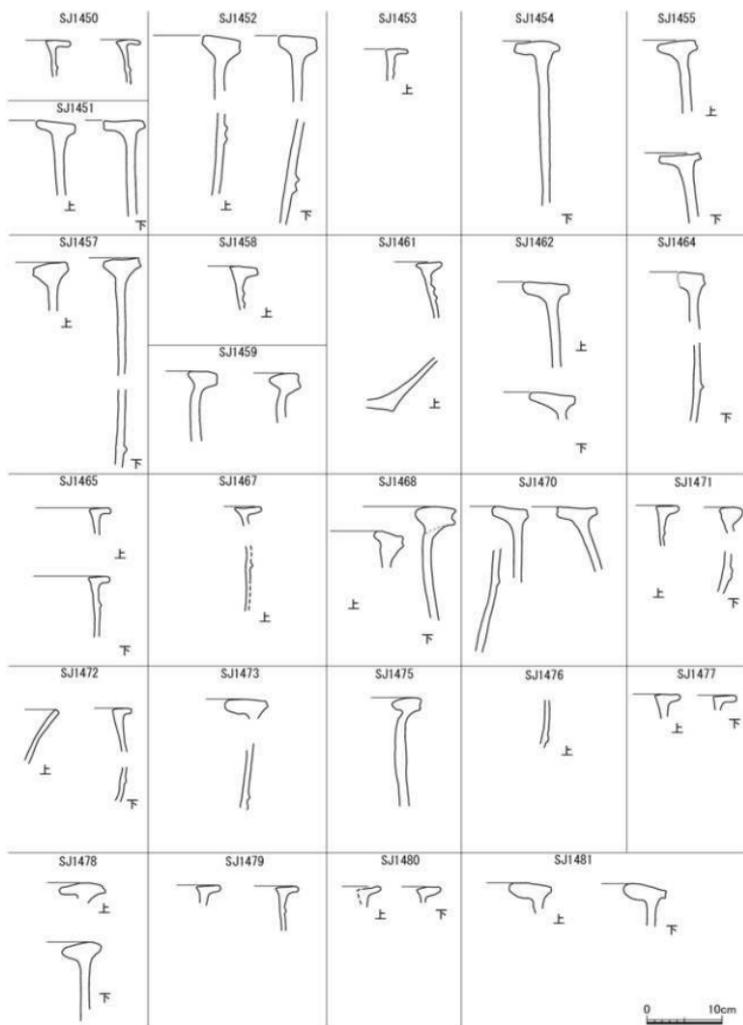


図 119 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区)出土土器部分実測3(1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土甕棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1450	甕		甕		上下不明	14000231・14000232
SJ1451	甕		甕			14000233・14000234
SJ1452	甕		甕			14000235・14000236
SJ1453	甕					14000237
SJ1454			甕			14000238
SJ1455	甕		甕			14000239・14000240
SJ1457	甕		甕			14000241・14000242
SJ1458	甕					14000243
SJ1459	甕		甕		上下不明・沈没	14000244・14000245
SJ1461	甕					14000246
SJ1462	甕		甕			14000247・14000248
SJ1464			甕	口縁部内面打欠		14000250
SJ1465	甕		甕			14000251・14000252
SJ1467	甕					14000253
SJ1468	甕		甕			14000254・14000255
SJ1470	甕		甕		上下不明	14000258・14000259
SJ1471	甕		甕			14000260・14000261
SJ1472	壺		甕			14000262・14000263
SJ1473					上下不明	14000264
SJ1475					上下不明	14000265
SJ1476	甕					14000266
SJ1477	甕		甕			14000267・14000268
SJ1478	甕		甕			14000269・14000270
SJ1479	甕		甕		上下不明	14000272・14000273
SJ1480	甕	口縁内面剥落	甕			14000274・14000275
SJ1481	甕		甕			14000276・14000277

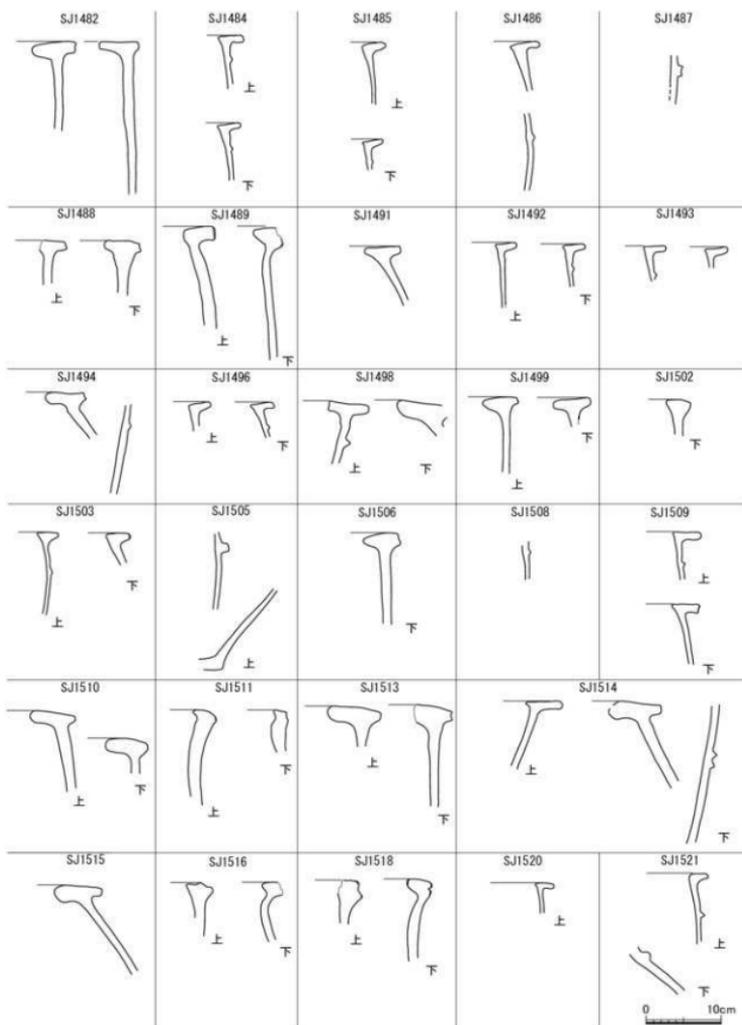


図120 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 出土墓棺部分実測4(1/6)

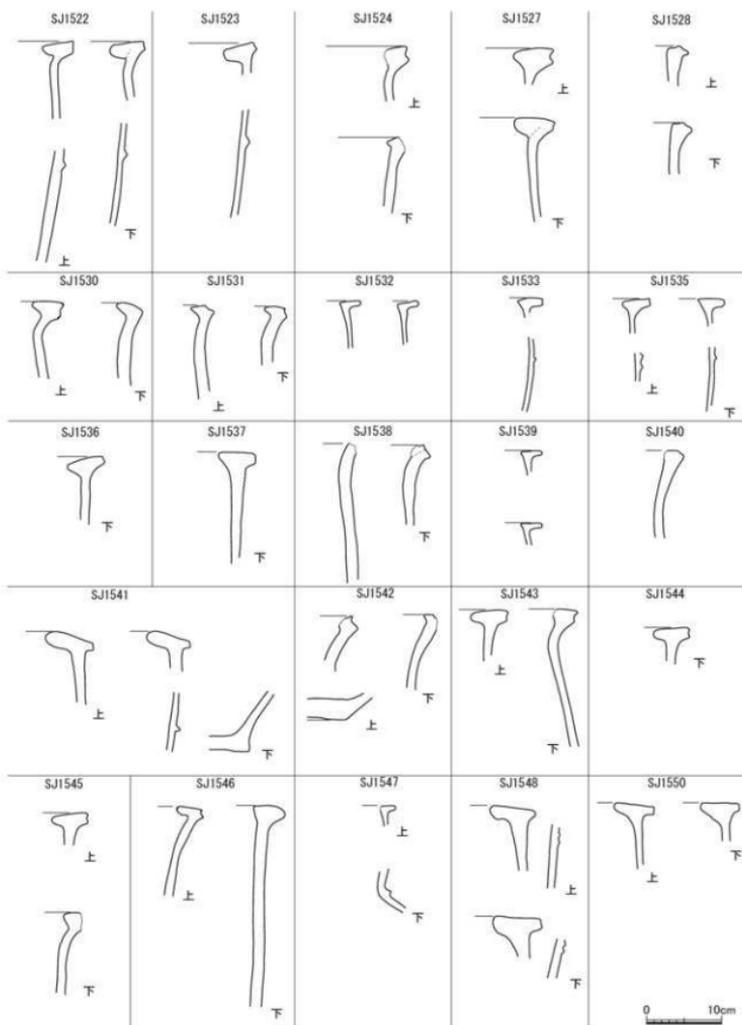


図 121 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 出土墓棺部分実測5 (1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土遺物部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1482	甕		甕		上下不明	14000278・14000279
SJ1484	甕		甕			14000280・14000281
SJ1485	甕		甕			14000282・14000283
SJ1486					上下不明	14000284
SJ1487					上下不明	14000285
SJ1488	甕	口縁内面打欠	甕			14000286・14000287
SJ1489	甕	口縁刻み目	甕	口縁外面打欠・刻み目		14000288・14000289
SJ1491					上下不明	14000292
SJ1492	甕		甕			14000293・14000294
SJ1493	甕		甕			14000295・14000296
SJ1494					上下不明	14000297
SJ1496	甕		甕			14000298・14000299
SJ1498	鉢		甕	口縁外側欠損		14000300・14000301
SJ1499	甕		甕			14000302・14000303
SJ1502	甕		甕	口縁刻み目		14000304
SJ1503	甕		甕	口縁刻み目		14000305・14000306
SJ1505	甕					14000307
SJ1506			甕			14000308
SJ1508					上下不明	14000309
SJ1509	甕		甕	口縁刻み目		14000310・14000311
SJ1510	甕		甕			14000312・14000313
SJ1511	甕	口縁刻み目	甕			14000314・14000315
SJ1513	甕		甕	口縁内面打欠		14000316・14000317
SJ1514	鉢		甕	口縁内面欠損		14000318・14000319
SJ1515					上下不明	14000320
SJ1516	甕		甕	口縁外面打欠		14000321・14000322
SJ1518	甕	口縁内面打欠 口縁外側刻み目	甕	口縁内外刻み目		14000323・14000324
SJ1520	甕	口縁刻み目				14000325
SJ1521	鉢	口縁刻み目	甕	口縁打欠		14000326・14000327
SJ1522	甕					14000328・14000329
SJ1523					上下不明	14000330
SJ1524	甕	口縁内面打欠 口縁外側刻み目	甕	口縁外面打欠		14000331・14000332
SJ1527	甕		甕			14000337・14000338
SJ1528	甕		甕			14000339・14000340
SJ1530	甕	口縁刻み目・沈線	甕			14000341・14000342
SJ1531	甕	沈線	甕	口縁刻み目		14000343・14000344
SJ1532	甕		甕		上下不明	14000345・14000346
SJ1533					上下不明・外面ミガキ	14000347
SJ1535	甕		甕			14000348・14000349
SJ1536			甕			14000350
SJ1537			甕			14000351
SJ1538	甕	口縁外面打欠	甕	口縁内面打欠		14000352・14000353
SJ1539	甕		甕		上下不明	14000354・14000355
SJ1540					上下不明 口縁内面打欠	14000356
SJ1541	甕		甕			14000357・14000358
SJ1542	甕	口縁内面打欠	甕	口縁外面打欠		14000359・14000360
SJ1543	甕		甕	口縁内面打欠		14000361・14000362
SJ1544			甕			14000363
SJ1545	甕		甕	口縁外面打欠		14000364・14000365
SJ1546	甕	口縁内外刻み目	甕			14000366・14000367
SJ1547	甕		甕			14000369・14000368
SJ1548	甕		甕			14000370・14000371
SJ1550	甕		甕			14000372・14000373

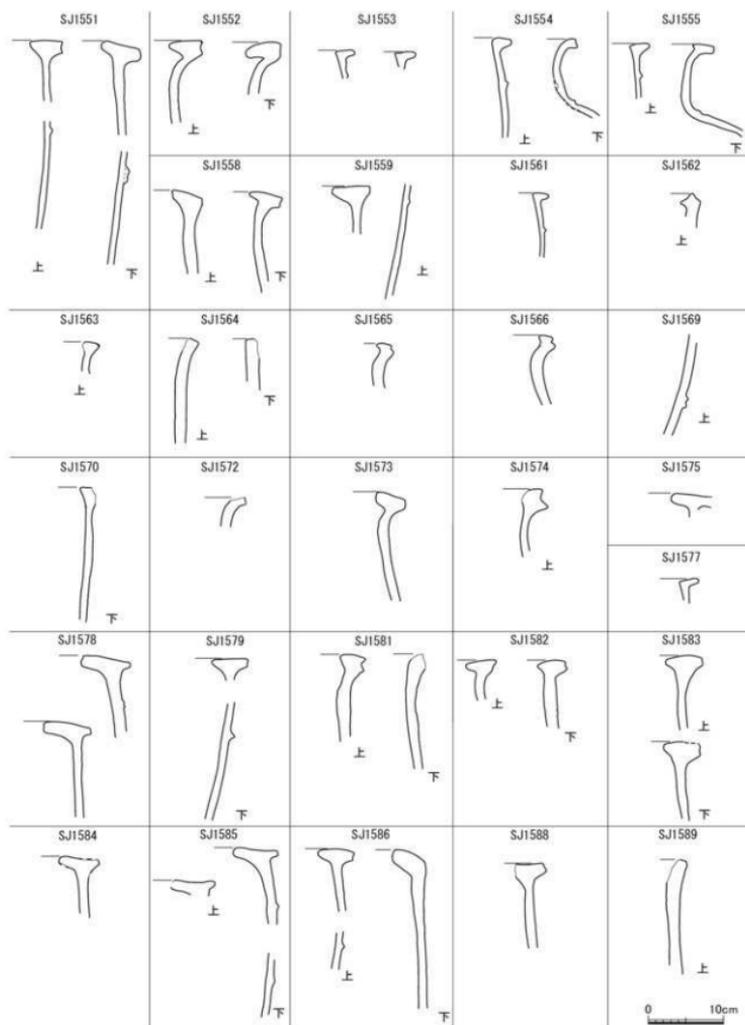


図 122 吉野ヶ里丘陵地区V区(182調査区) 出土窯棺部分実測6(1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区（墳丘墓周辺）出土遺物部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1551	甕		甕			14000372・14000373
SJ1552	甕	口縁刻み目 沈線横 3 条縦 4 条	甕			14000376・14000377
SJ1553	甕		甕		上下不明	14000378・14000379
SJ1554	甕		甕			14000380・14000381
SJ1555	甕		甕			14000382・14000383
SJ1558	甕		甕			14000384・14000385
SJ1559	甕					14000386
SJ1551	甕		甕			14000374・14000375
SJ1552	甕	口縁刻み目 沈線横 3 条縦 4 条	甕			14000376・14000377
SJ1553	甕		甕		上下不明	14000378・14000379
SJ1554	甕		甕			14000380・14000381
SJ1555	甕		甕			14000382・14000383
SJ1558	甕		甕			14000384・14000385
SJ1559	甕					14000386
SJ1561					上下不明	14000387
SJ1562	甕					14000388
SJ1563	甕	口縁内面打欠 口縁外側刻み目				14000389
SJ1564	甕	口縁内面打欠	甕	口縁外面打欠		14000390・14000391
SJ1565					上下不明	14000392
SJ1566					上下不明	14000393
SJ1569	甕					14000394
SJ1570					上下不明・口縁外面打欠	14000395
SJ1572					上下不明・口縁内面打欠	14000396
SJ1573					上下不明・沈線横 2 条	14000397
SJ1574	甕	口縁内面打欠				14000398
SJ1575					上下不明・口縁欠損	14000399
SJ1577					上下不明	14000400
SJ1578	甕		甕		上下不明	14000401・14000402
SJ1579			甕			14000403
SJ1581	甕		甕	口縁打欠		14000404・14000405
SJ1582	甕		甕	沈線横 2 条		14000406・14000407
SJ1583	甕		甕	黒塗り		14000408・14000409
SJ1584					上下不明・口縁剥落	14000410
SJ1585	鉢	口縁内面欠損	甕			14000411・14000412
SJ1586	甕	黒塗り	甕	口縁上面に沈線?		14000413・14000414
SJ1588					上下不明・口縁内面打欠	14000415
SJ1589	甕	口縁内面打欠				14000416

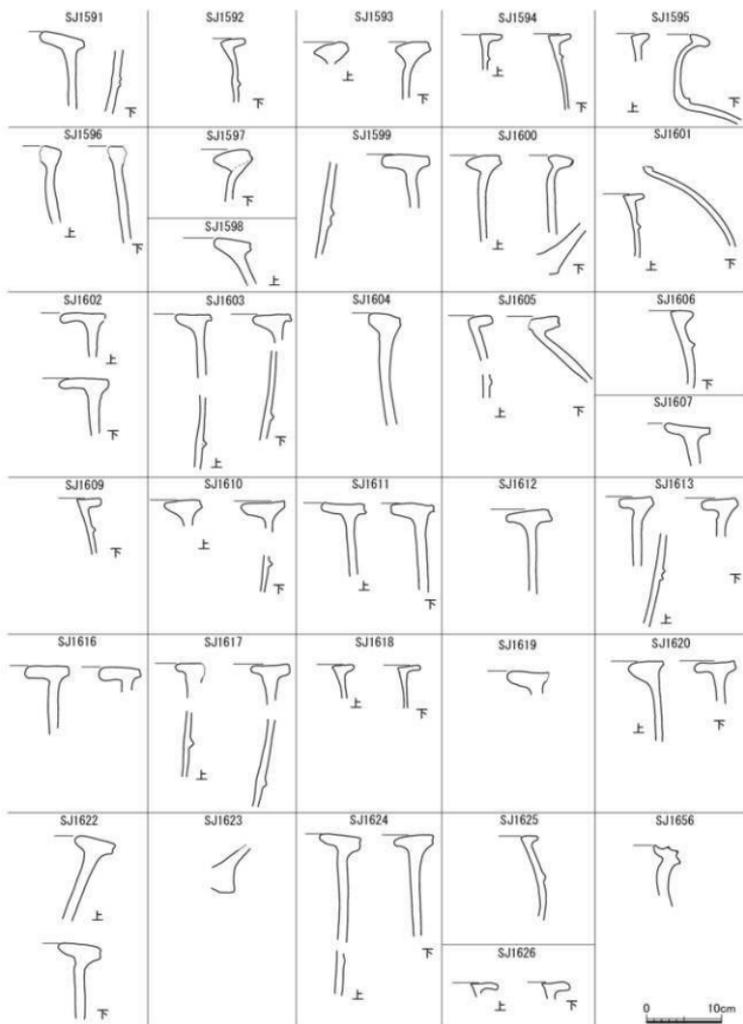


図 123 吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区) 出土墓棺部分実測 7 (1/6)

表12 吉野ヶ里丘陵地区V区（墳丘墓周辺）出土埴輪部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1591			甕			14000418
SJ1592			甕			14000419
SJ1593	甕		甕	黒塗り		14000420・14000421
SJ1594	鉢		甕			14000422・14000423
SJ1595	甕		甕			14000424・14000425
SJ1596	甕	口縁内面打欠	甕	口縁内外面打欠		14000426・14000427
SJ1597			甕	沈線横2条		14000428
SJ1598	甕					14000752
SJ1599	甕		甕		上下不明	14000429・14000430
SJ1600	甕	沈線横4条	甕	口縁刻み目		14000431・14000432
SJ1601	甕		甕	口縁打欠		14000433・14000434
SJ1602	甕		甕			14000435・14000436
SJ1603	甕		甕			14000437・14000438
SJ1604					上下不明	14000439
SJ1605	甕		甕	口縁内面打欠 外側刻み目		14000440・14000441
SJ1606			甕			14000442
SJ1607					上下不明	14000443
SJ1609			甕	黒塗りか		14000444
SJ1610	甕	黒塗り	甕	黒塗り		14000445・14000446
SJ1611	甕	黒塗り	甕			14000447・14000448
SJ1612					上下不明	14000449
SJ1613	甕	黒塗り	甕			14000450・14000451
SJ1616					上下不明・黒塗り	14000452・14000453
SJ1617	甕	口縁外面打欠			黒塗り	14000454・14000455
SJ1618	甕		甕			14000456・14000457
SJ1619					上下不明・口縁外面打欠か	14000458
SJ1620	甕		甕	黒塗り		14000459・14000460
SJ1622	鉢	黒塗り	甕	黒塗り	上下不明	14000461・14000462
SJ1623					上下不明	14000463
SJ1624	甕		甕			14000464・14000465
SJ1625	甕					14000466
SJ1626	甕		甕	黒塗りか		14000467・14000468
SJ1656					上下不明・刻み目	14000469

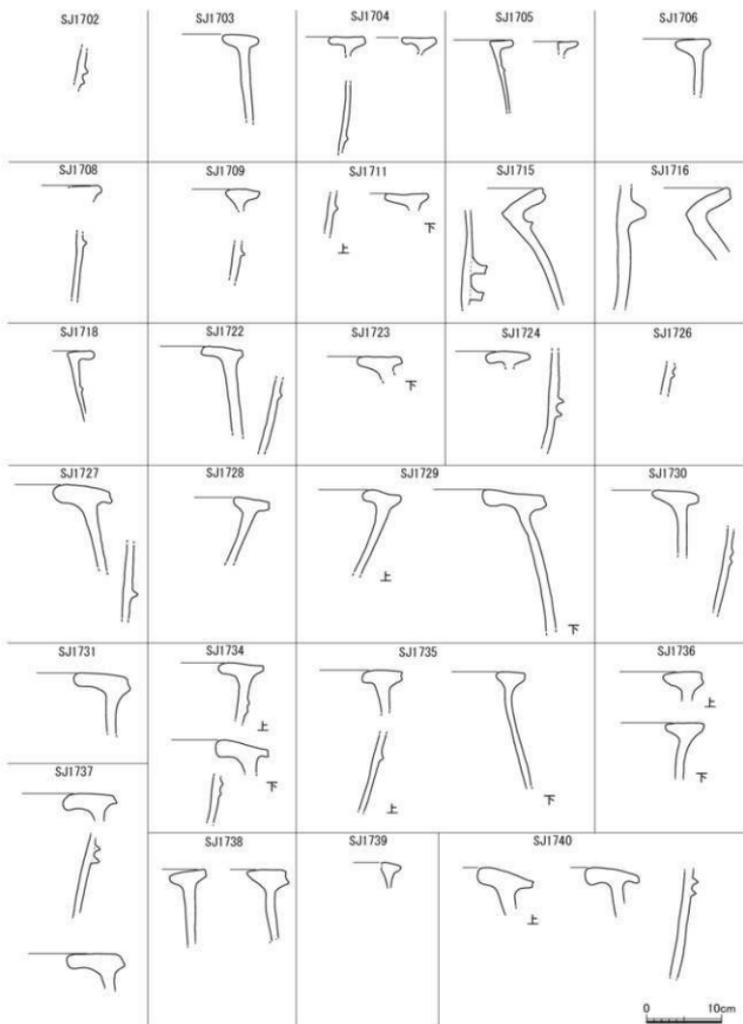


図 124 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区) 出土竪棺部分実測1 (1/6)

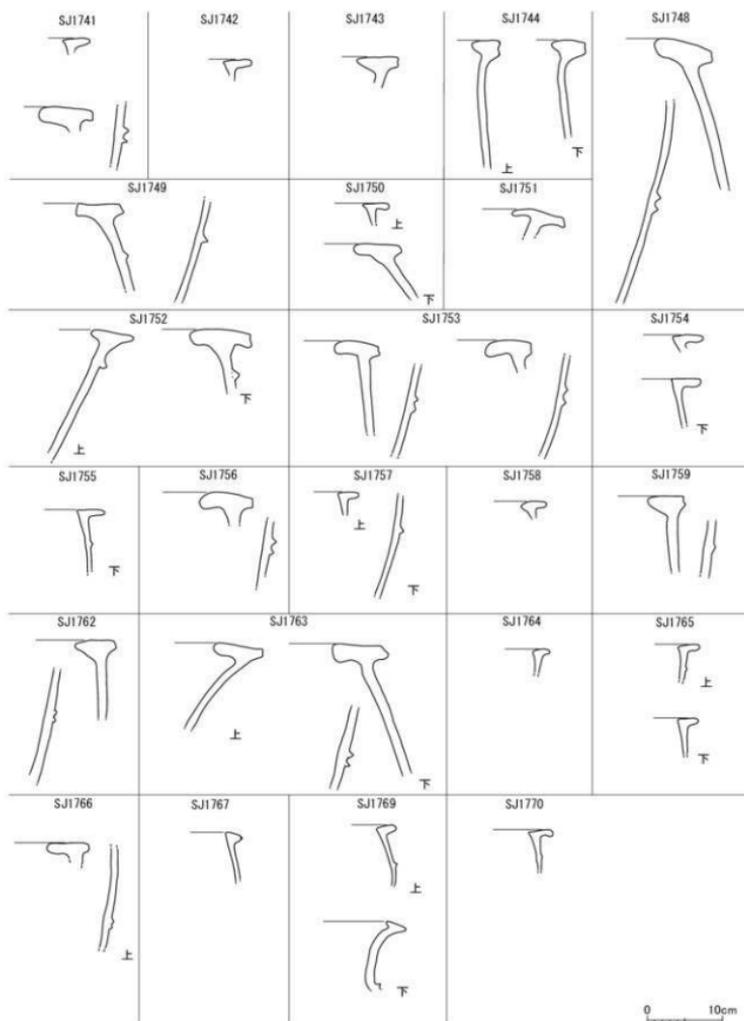


図 125 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区) 出土墓棺部分実測2 (1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土燧石部分実測

遺物番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1702					上下不明	13001755
SJ1703					上下不明	13001758
SJ1704	甕		甕		上下不明	13001759・13001760
SJ1705	甕		甕		上下不明	13001761・13001762
SJ1706					上下不明	13001763
SJ1708					上下不明	13001766
SJ1709					上下不明	13001767
SJ1711	甕		甕			13001885・13001886
SJ1715			甕		上下不明	13001888・13001889
SJ1716					上下不明	13001890
SJ1718					上下不明	13001891
SJ1722					上下不明	13001768
SJ1723			甕			13001769
SJ1724					上下不明・黒塗り	13001770・13001771
SJ1726					上下不明	13001772
SJ1727					上下不明	13001773・13001775
SJ1728					上鉢か	13001776
SJ1729	鉢		甕			13001778・13001779
SJ1730					上下不明	13001845
SJ1731					上下不明	13001846
SJ1734	甕		甕			13001847・13001848
SJ1735	甕		甕			13001849・13001850
SJ1736	甕		甕			13001812・13001813
SJ1737					上下不明	13001814・13001816
SJ1738	甕		甕			13001818・13001819
SJ1739					上下不明・口縁内面打欠	13001820
SJ1740	甕		甕			13001893・13001894
SJ1741					上下不明	13001895・13001896
SJ1742					上下不明	13001897
SJ1743					上下不明	13001898
SJ1744	甕	口縁刻み目 沈線横 2 条	甕	沈線横 3 条		13001899・13001900
SJ1748					上下不明	13001851
SJ1749					上下不明	13001852
SJ1750	甕		甕			13001853・13001854
SJ1751					上下不明	13001855
SJ1752	鉢		甕			13001856・13001857
SJ1753					上下不明	13001858・ 13001860・13001861
SJ1754	甕		甕	口縁刻み目		13001862・13001863
SJ1755			甕			13001864
SJ1756					上下不明	13001865
SJ1757	甕		甕			13001868・13001869
SJ1758					上下不明	13001870
SJ1759					上下不明	13001871
SJ1762					上下不明・口縁刻み目	13001822
SJ1763	壺	口縁刻み目	甕			13001821・13001827
SJ1764					上下不明	13001780
SJ1765	鉢		甕			13001781・13001782
SJ1766	甕	黒塗り				13001783
SJ1767					上下不明・口縁刻み目	13001841
SJ1769	甕		壺	ミガキ		13001872・13001873
SJ1770					上下不明	13001785
SJ1773					上下不明	13001787
SJ1774	甕		甕			13001789・13001790
SJ1775	甕		甕			13001791・13001792
SJ1776					上鉢か	13001793

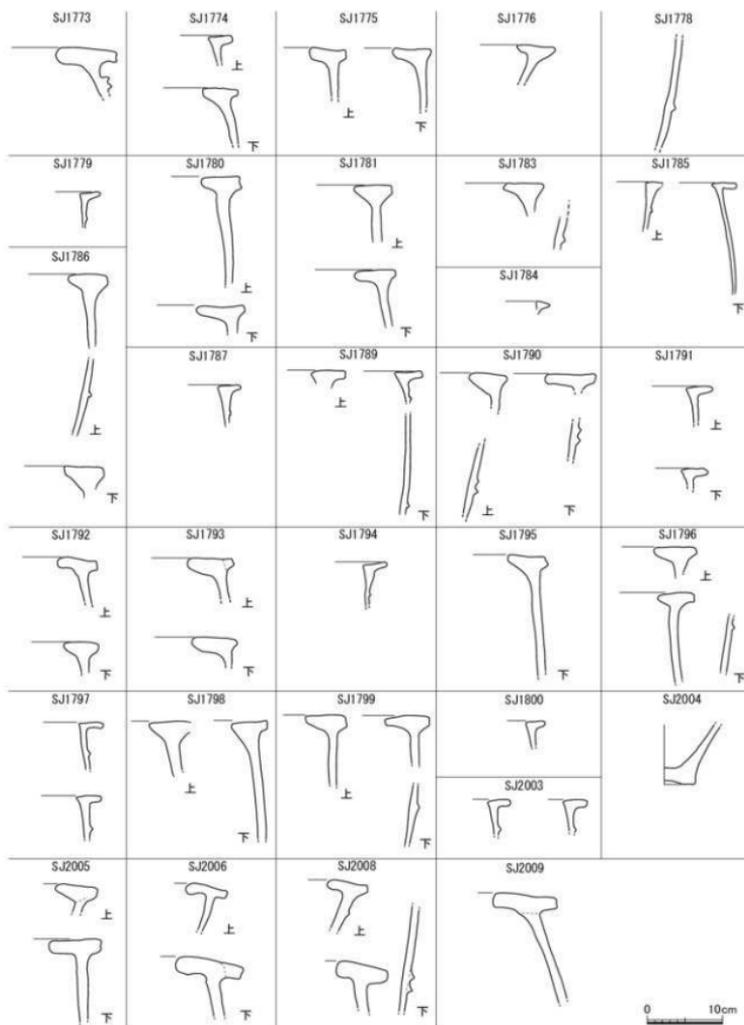


図126 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区)出土土器部分実測3(1/6)

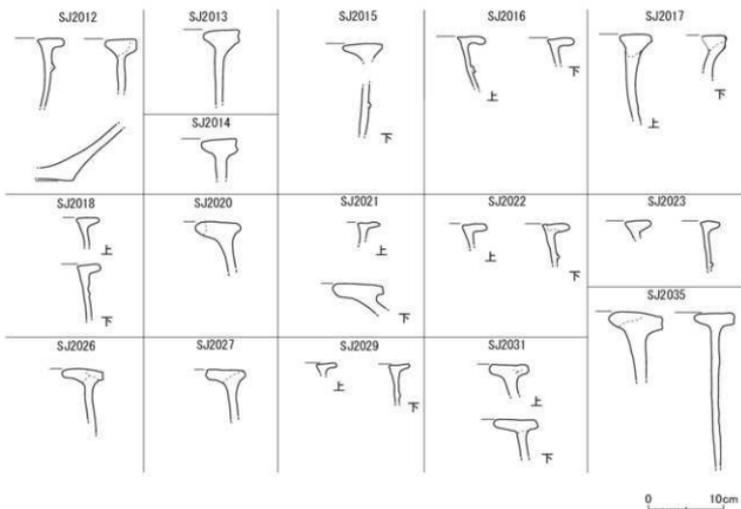


図 127 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区) 出土墓棺部分実測4 (1/6)

表 12 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土土器部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ1778					上下不明	13001794
SJ1779					上下不明	13001795
SJ1780	甕		甕			13001828・13001829
SJ1781	甕		甕			13001830・13001831
SJ1783					上下不明	13001832
SJ1784					上下不明	13001833
SJ1785	鉢	口縁外側打欠	甕			13001834・13001835
SJ1786	甕		甕			13001836・13001837
SJ1787					上下不明	13001838
SJ1789	甕		甕			13001839・13001840
SJ1790	甕		甕			13001796・13001797
SJ1791	甕		甕			13001799・13001800
SJ1792	甕		甕			13001802・13001803
SJ1793	甕		甕			13001806・13001807
SJ1794					上下不明	13001808・13001809
SJ1795			甕	黒塗りか		13001811
SJ1796	甕		甕			13001874・13001875・ 13001876
SJ1797	甕		甕		上下不明	13001877・13001878
SJ1798	甕	口縁外側欠削	甕			13001879・13001880
SJ1799	甕		甕			13001881・13001882・ 13001883
SJ1800					上下不明	13001884
SJ2003	甕		甕		上下不明	16000615・16000616
SJ2004					上下不明	16000617
SJ2005	鉢		甕			16000618・16000619
SJ2006	鉢	黒塗り	甕			16000620・16000621
SJ2008	鉢	黒塗り	甕			16000622・16000623
SJ2009					上下不明	16000624
SJ2012					上下不明	16000625・16000626 ・16000627
SJ2013					上下不明・黒塗り	16000628
SJ2014					上下不明・黒塗り	16000629
SJ2015			甕			16000630
SJ2016	甕		甕			16000631・16000632
SJ2017	甕		甕	口縁内面打欠 口縁外面刻み目		16000633・16000634
SJ2018	甕		甕			16000635・16000636
SJ2020					上下不明	16000637
SJ2021	鉢		甕			16000638・16000639
SJ2022	甕		甕			16000640・16000641
SJ2023					上下不明	16000642・16000643
SJ2026					上下不明	16000644
SJ2027					上下不明	16000645
SJ2029	甕		甕			16000647・16000648
SJ2031	甕					16000649・16000650
SJ2035					上下不明・黒塗り	16000651・16000652

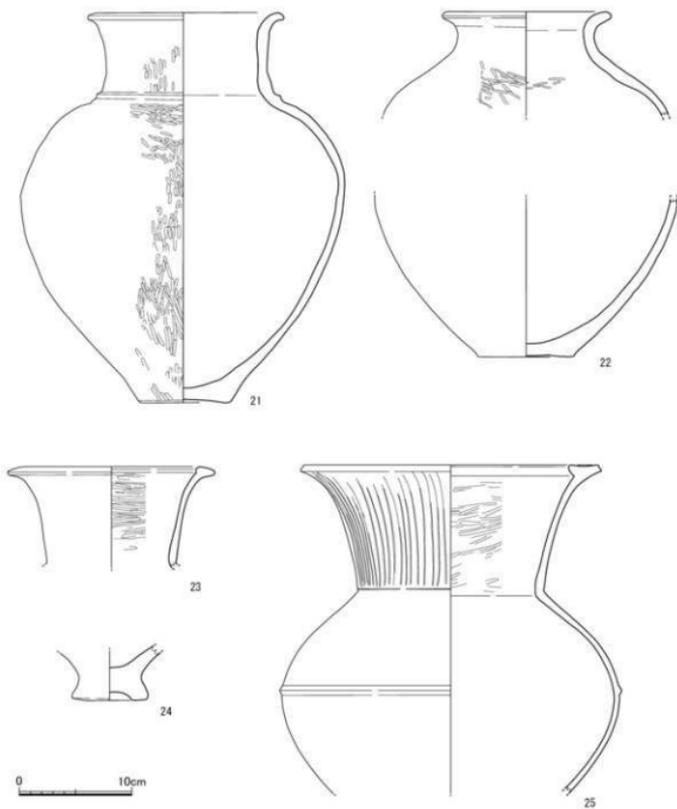


图 128 吉野ヶ里丘陵地区V区 (182 調査区) 祭祀土坑出土土器 (1/4)

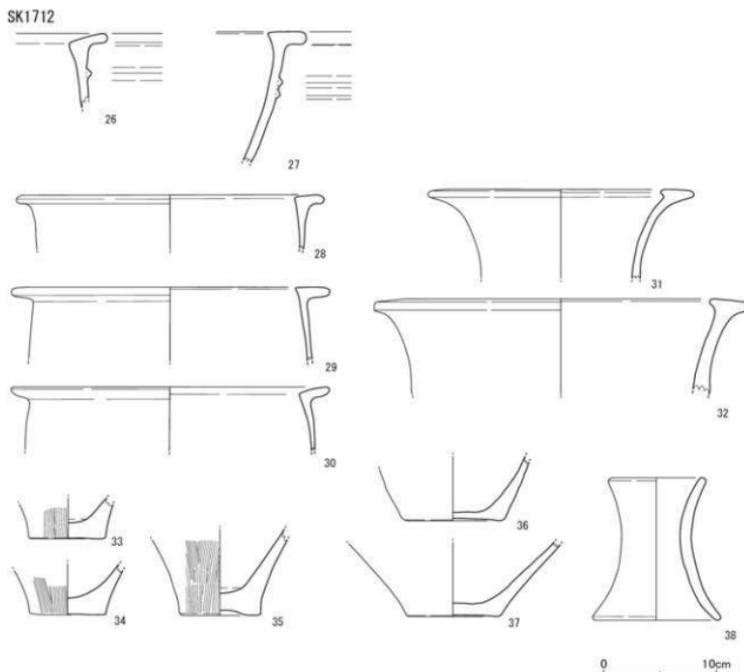


図129 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区) 祭祀土坑出土土器1(1/4)

B 土器

21～47は墓地に伴う祭祀土坑から出土した土器である。

21・22はSK1649出土の壺である。21は頸部が直行し口縁端部は外反する。器形は胴部上位が張り出す。外面ミガキ、内面ナデである。22は胴部を欠損するが、同一個体とみられる。口縁端部は短く外反する。外面ミガキ、内面一部ミガキとナデである。23・24はSK1652から出土した。23は広口壺で、口縁部は鋤先状をなす。外面ナデ、内面は横方向のミガキが施される。24は上げ底の裏底部である。25はSK1653出土の壺である。口縁鋤先状で、胴部は球形をなし中位に断面三角形の突帯が1条巡る。頸部外面に等間隔の暗文が施され、頸部内面は横方向のミガキが施される。

26～38はSK1712から出土した。26、28～30は甕、27は鉢、31・32は広口壺の口縁部である。33～36は裏底部、37は壺底部である。38は器台で、受部径より裾部径が大きい。39～47はSK2025から出土した。39～41は甕、42は壺の口縁部である。43は蓋で、外面ハケメが施される。44は中実の高環の脚部で、外面ミガキが施される。45は裏底部、46・47は壺底部である。

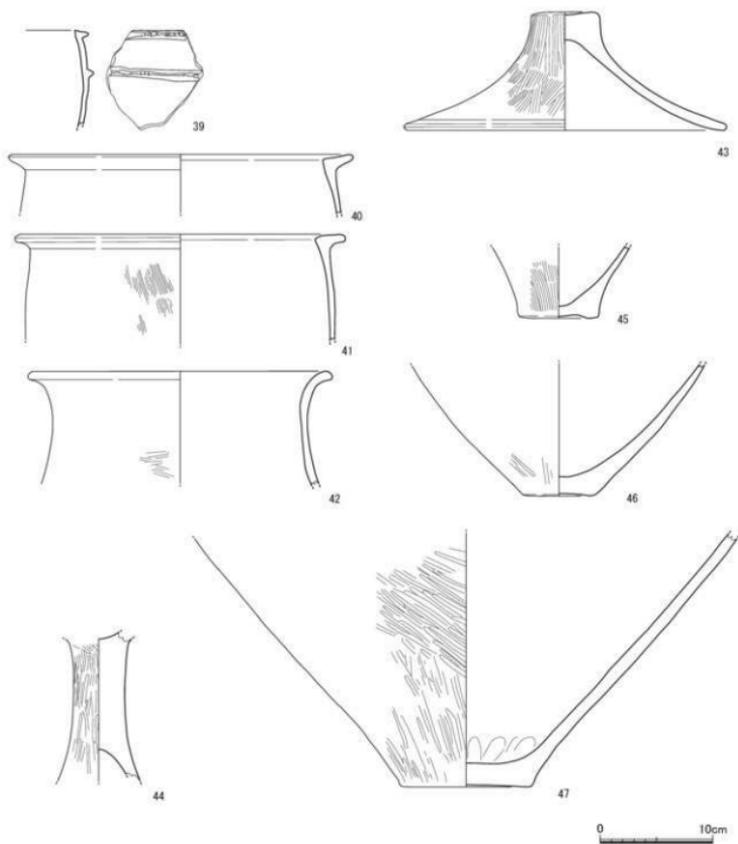


図130 吉野ヶ里丘陵地区V区(184調査区) 祭祀土坑出土土器2(1/4)

表 13 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土土器

種別・番号	佐賀県遺物登録番号	調査区	出土位置	種別	器種	寸法 cm			色調		備考
						口径	底径	器高	外面	内面	
図 128-21	16000682	182 区	SK1649	赤生土器	甕	17.4	8.2	35.4	橙・にぶい橙	褐色・にぶい褐	
22	16000683	182 区	SK1649	赤生土器	甕	15.0	8.6*		にぶい橙	橙	
23	13001908	182 区	SK1652	赤生土器	甕	18.4*			にぶい赤褐	褐色	
24	13001909	182 区	SK1652	赤生土器	甕		6.5		にぶい黄橙	にぶい黄橙	
25	14000791	182 区	SK1653	赤生土器	甕	26.6*		29.7*	橙	橙	暗文
図 129-26	16000691	184 区北	SK1712	赤生土器	甕				にぶい橙	にぶい橙	
27	16000692	184 区北	SK1712	赤生土器	鉢				明黄褐	明黄褐	
28	16000685	184 区北	SK1712	赤生土器	甕	27.4*			明赤褐	明赤褐	
29	16000686	184 区北	SK1712	赤生土器	甕	28.4*			橙	橙	
30	16000684	184 区北	SK1712	赤生土器	甕	28.4*			橙	橙	
31	16000694	184 区北	SK1712	赤生土器	甕	23.8*			褐	褐	
32	16000693	184 区北	SK1712	赤生土器	甕	33.2*			浅黄橙	浅黄橙	
33	16000688	184 区北	SK1712	赤生土器	甕		6.7		橙	黒褐	
34	16000689	184 区北	SK1712	赤生土器	甕		6.7		橙	橙	
35	16000690	184 区北	SK1712	赤生土器	甕		7.2		橙	明黄褐・黒	
36	16000687	184 区北	SK1712	赤生土器	甕		8.8		橙	橙	
37	16000695	184 区北	SK1712	赤生土器	甕		8.3		橙	橙	
38	16000696	184 区北	SK1712	赤生土器	器台	8.7	11.3*	12.9	橙	橙	
図 130-39	14000788	184 区南	SK2025	赤生土器	甕				にぶい黄橙	にぶい黄橙	
40	14000789	184 区南	SK2025	赤生土器	甕	30.5*			橙	橙	
41	14000785	184 区南	SK2025	赤生土器	甕	29.4*			橙	明黄褐	
42	14000787	184 区南	SK2025	赤生土器	甕	27.0*			明褐	明黄褐	
43	14000783	184 区南	SK2025	赤生土器	蓋	5.8	28.6*	10.7	にぶい黄橙	にぶい黄橙	
44	14000789	184 区南	SK2025	赤生土器	高坏				にぶい黄橙	にぶい黄橙	
45	14000790	184 区南	SK2025	赤生土器	甕		7.1		橙	黄橙	
46	14000784	184 区南	SK2025	赤生土器	甕		6.4		橙	明褐	
47	14000782	184 区南	SK2025	赤生土器	甕		11.9		橙	褐色	

C その他

48～61は墳墓に伴って出土した遺物である。

48～54は打製石礫である。48はSJ1405 棺内埋土から出土した。安山岩製。49はSJ1419 棺内埋土から出土した。黒曜石製。50はSJ1438 から出土した。安山岩製。51はSJ1620 埋土内から出土した。黒曜石製。52はSJ1716 棺内から出土した。安山岩製。53～55はSJ1740 棺内から出土した。53は黒曜石製、54は安山岩製。54は両側縁に挟りを持ついわゆるアメリカ式石礫である。55は磨製石剣の切先で、横断面六角形状をなす。56はSJ1578 埋土から出土した磨製石剣の切先で、横断面菱形をなす。

57はSJ1478 埋土から出土したガラス製管玉で、色調は青緑色である。58はSJ1481 棺内埋土から出土した石甕丁未成品で、孔部分で折損している。周囲の集落遺構からの流れ込みとみられる。石材は葦青石ホルンフェルスである。59はSJ1716 北西トレンチ内部から出土した石甕丁未成品で、中央に穿孔途中の痕跡が2ヶ所残る。孔部分に両面から敲打が施された後、2孔目の回転穿孔途中で折損し廃棄されたものとみられる。石材は葦青石ホルンフェルスである。60はSJ1598 から出土した板状鉄製品である。鍛造鉄片の再加工作とみられるが、刃は研ぎ出されていない。61はSK1651 から出土した小型の砥石で、4面を砥面とする。2面に使用による凹みが残る。石材は砂岩である。

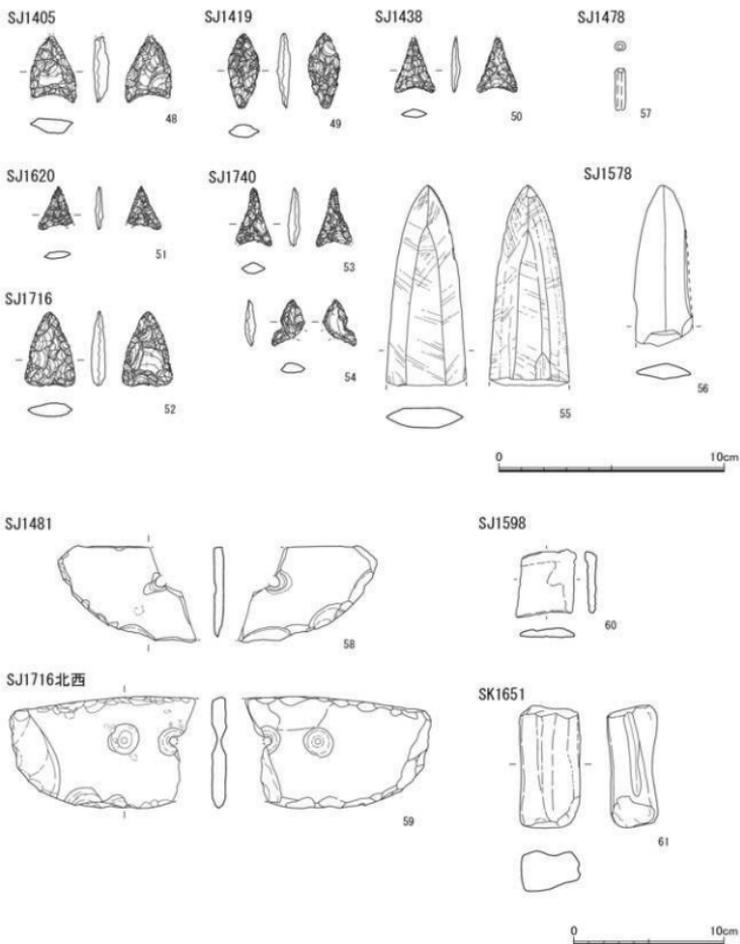


图 131 吉野ヶ里丘陵地区V区 (182・184 調査区) 墓地出土土器・鉄器・装身具 (1/2,1/3)

表 14 吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺) 出土石器・鉄器・装身具

挿図・番号	佐賀県遺物登録番号	調査区	出土位置	種別	器種	寸法 cm			重量 g	石材	備考
						長さ	幅	厚さ			
図 131-48	08003649	182区	SJ1405 棺内埋土	打製石器	石鏃	3.0	2.0	0.65	3.8	安山岩	
49	08003645	182区	SJ1419 棺内埋土	打製石器	石鏃	3.4	1.4	0.6	2.0	黒曜石	
50	08003653	182区	SJ1438	打製石器	石鏃	2.45+	1.55	0.5	1.2+	安山岩	
51	15001436	182区	SJ1620埋土内	打製石器	石鏃	1.95	1.55+	0.35	0.5+	黒曜石	
52	08003643	184区北	SJ1716 棺内	打製石器	石鏃	3.4	2.2	0.6	4.3	安山岩	
53	08003654	184区南	SJ1740 棺内	打製石器	石鏃	2.65	1.55+	0.5	1.2+	黒曜石	
54	08003655	184区南	SJ1740 棺内	打製石器	石鏃	2.1+	1.5+	0.45	1.0+	安山岩	アメリカ式
55	04002045	184区南	SJ1740 棺内	磨製石器	石剣	9.0+	3.6+	0.9	40.3+	董青石ホルンフェルス	
56	08003599	182区	SJ1578埋土	磨製石器	石剣	7.3+	2.4	0.7	15.9+	董青石ホルンフェルス	
57	13001118	182区	SJ1478埋土	ガラス製品	管玉	1.87		0.49	0.7	—	青緑色
58	16000777	182区	SJ1481 棺内埋土	磨製石器	石砲丁	9.2+	6.6+	0.7	54.2+	董青石ホルンフェルス	未成品か
59	13000983	184区北	SJ1716 北西 トレンチ内部	磨製石器	石砲丁	12.4+	7.6	0.95	151.3+	董青石ホルンフェルス	未成品 穿孔中に折損
60	13000761	182区	SJ1598	鉄製品	板状	4.6	4.0	0.8		—	鋳造鉄弁片 再加工品
61	13000382	182区	SK1651	磨製石器	砥石	8.3	4.0	3.3	158.8	砂岩	

(3) 吉野ヶ里丘陵地区V区の弥生時代墳墓

吉野ヶ里丘陵地区V区(墳丘墓周辺)では、中期初頭～後期前半の喪棺墓を中心とする墓地を確認した。主体となるのは中期初頭～中期前半で、ST1001 墳丘墓に先行して墓地が形成されている。中期初頭の墳墓は、V区南部の182調査区に最も集中している。吉野ヶ里遺跡で喪棺墓の造営が本格化する弥生時代前期末～中期初頭には、志波屋・吉野ヶ里段丘の各所に分散して集塊状の墓地が形成されている(志波屋三の坪乙地区、志波屋四の坪地区Ⅱ区、吉野ヶ里地区Ⅰ・Ⅱ区、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区、田手一本黒木地区Ⅰ区、杉籠地区Ⅲ区等)、『211集』・『214集』)。これらの墓地は喪棺墓20～30基程度と小規模であるが、V区182調査区では約70基と数が多く、かつ、集塊状埋葬から列状埋葬へと転換する兆候が見受けられるなど、他の墓地とは様相が異なっている。また、ST1001北東の184調査区では、墓地の中央付近に絹織物が出土したSJ1777が存在しており、墓地の造営が始まった中期初頭の段階から貴重な副葬品を伴う墳墓が存在している点が注目される。

中期前半になると、182・184調査区ともに喪棺墓の数が最も多くなり、墓地としての最盛期を迎える。182調査区では、中期初頭の墓地が南北へ拡張し、全体として列状をなして埋葬されるようになる。184調査区では、中期初頭の墓地に重なるように集塊状に喪棺墓が営まれる。

中期後半になると墳墓数は減少するが、墓地としては継続している。184調査区では縫い目のある絹織物が出土したSJ1768や、磨製石剣と打製石鏃2点が出土したSJ1740のような特徴的な墓が近い位置に営まれており、いわゆる一般墓地とは様相が異なっている。

また、ST1001 墳丘墓北を巡る SD1013 環壕の北側に平面円弧状に分布する土坑墓・木棺墓、喪棺墓群の存在が特筆される。これらの墓の規模は比較的小型であることから、未成人が埋葬されていた可能性がある。この区域の土坑墓・木棺墓からは遺物が出土していないため詳細な時期は不明であるが、ともに展開する喪棺墓群 (SJ1018～SJ1021) の時期はおおむね中期後半 (須玖式) であり、遺構同士の切り合いが見られないことなどから、この一帯に分布する土坑墓・木棺墓群と喪棺墓群が同時または近い時期に営まれていた可能性がある。この墓群のように、一定の範囲に異なる墳墓が円弧状に分布するという状況は吉野ヶ里遺跡全体でみても他に認められず、集団墓地のなかでも特に意図的に区画されて埋葬が行われていた可能性を示す事例として注目される。

中期末になると喪棺墓の数は激減するが、182・184 調査区でも数基営まれているほか、ST1001 墳丘墓西側の 210・211 区において中期末～後期初頭頃の喪棺墓が数基確認されている。ST1001 墳丘墓への埋葬が終了した後も、周辺では喪棺墓の造営が継続していたと考えられる。

第2章 引用・参考文献

七田忠昭 (2005) 「佐賀県吉野ヶ里遺跡の出土編纂」『季刊考古学』第 91 号 藤山園

第3章 SX0222 盛土遺構（祭壇・南墳丘墓）とその周辺

（1）概要

SX0222 盛土遺構とは、これまで「南墳丘墓」あるいは「祭壇」と呼称している北墳丘墓と同様の版築様の土層が観察される盛土について、後述するように未だ性格が明確になっていないため、不明遺構としての遺構記号（SX）と地区ごとの通し番号を組合せた遺構番号を新たに付したものである。

SX0222 盛土遺構は、田手一本黒木地区1区（吉野ヶ里町大字田手字一本黒木）に所在し、吉野ヶ里遺跡が立地する志波屋・吉野ヶ里段丘の南端部で一番標高の高い場所に位置しているものと考えられる。調査前の現況において、南北40～50m、東西約30mの範囲が周辺より一段高い畑地となっていた。

この場所が注目されるようになったのは、平成元年度の確認調査において、銅剣やガラス管玉を副葬していた喪棺墓が埋葬された北墳丘墓と同様の構築方法によると考えられる土層が認められたためである。その後、平成2年度、平成9～10年度に調査が行われているが、概略のみの報告（『132集』・『156集』）となっている。そこで、本項にてSX0222 盛土遺構に関する調査について報告するとともに、その周辺で盛土遺構に関連することについても触れることにする。

平成元年度の調査では（『100集』）、SX0222 盛土遺構周辺（『100集』では妙法寺地区）に5～11調査区を設定し調査を行い、弥生時代の盛土・土坑・溝跡、中世の溝跡などを検出した。北墳丘墓と同様の版築様の土層は8調査区を中心に確認されている。このほか、11調査区では青銅器製造に関連すると思われる土坑を検出し、埋土には多量の焼土塊・炭が混じっており、これらとともに銅塊が出土した。また、7調査区からは、遺構には伴わないものの、両面に細形銅矛の型が彫り込まれた鋳型が出土した。

平成2年度の調査では（『132集』）、8調査区東側に位置する周辺より一段高くなっている畑地において、畑地ほぼ中央を起点としたトレンチを十字形に設定し、調査を行った。その結果、版築様の土層が認められる弥生時代の盛土や中世の溝跡を確認するとともに、盛土下層で竪穴建物跡・貯蔵穴跡・焼土遺構などを検出した。しかしながら、149調査区で盛土に掘り込まれた遺構と考えられた土坑墓状の遺構は確認したものの、喪棺墓など明確に墳墓と認められる遺構は検出できなかったため、盛土の性格を確定することはできなかった。このほか、SX0222 盛土遺構周辺では、154調査区として平成元年度に確認された青銅器製造関連遺構について調査を行っており、弥生時代中期初頭～前半の多量の土器、銅剣・銅矛鋳型（4面鋳型）、青銅片、鉾鏃などが出土した。また、その南側の152調査区では、柱穴跡や中世の溝跡を確認した。

平成9～10年度の調査では（『156集』）、SX0222 盛土遺構の性格を把握するため、遺構上の表土を全面的に除去し、盛土上面の遺構を確認するための調査を行い（267調査区）、合わせて盛土遺構北側についても面的な調査を行った（田手二本黒木地区Ⅲ区268調査区）。調査の結果、盛土上面で弥生時代中期後半を主体とする弥生土器が多量に出土する部分を検出し、土器の中には貝殻や鳥骨が入った壺もある。ただし、明確な墳墓は確認できなかった。このほか、中世の溝跡・掘立柱建物跡を検出した。盛土遺構周辺では、弥生時代の貯蔵穴跡・土坑・溝跡、中世の溝跡・井戸跡などを確認した。このうち、弥生時代終末期の溝跡はSX0222 盛土遺構を囲む2重の溝の可能性があり、その溝跡から鉄矛が出土したことは注目される。

また、SX0222 盛土遺構の南側では、国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う304・325・326調査区において、弥生時代の溝跡・喪棺墓、中世の掘立柱建物跡・溝跡などを確認した（『173集』・『211集』）。

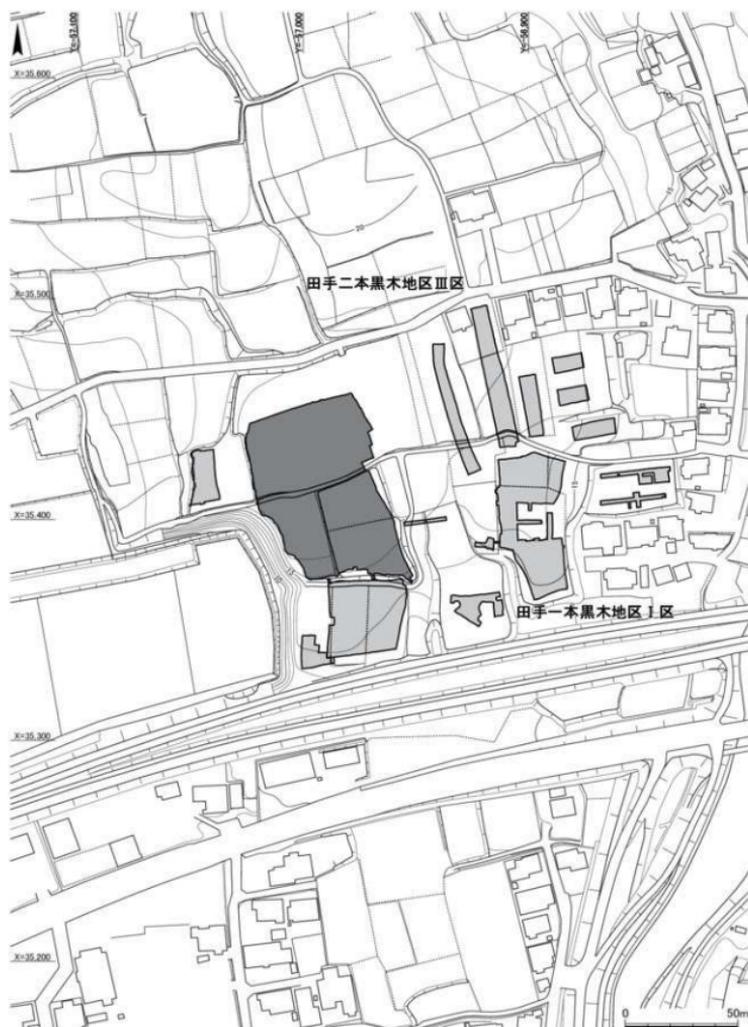


図 132 田手一本黒木地区Ⅰ区・田手二本黒木地区Ⅲ区 調査区的位置 (1/2,000)



図 133 平成元・2年度調査区的位置 (1/1,000)

以上のように、これまでの調査でSX0222 盛土遺構とその周辺では、弥生時代の盛土・竪穴建物跡・貯蔵穴跡・青銅器跡関連遺構・焼土遺構・溝跡・喪棺墓、中世の溝跡・掘立柱建物跡・井戸跡などを確認している。また、明確な遺構は認められていないが、平安時代前期の遺物が一定量出土しており、古代にも利用されていた区域であったと考えられる。

なお、平成元・2年度の調査ではトレンチ（調査区）ごとに遺構記号と2桁数字を組み合わせた遺構番号を付しているが、ここでは地区ごとの新たな遺構番号（遺構記号+4桁数字）で説明し、必要に応じて旧番号を記した。

（2）平成元年度の調査

平成元年度の調査で注目された版築様の土層は、『100集』では「8トレンチ全体から7トレンチ北半分まで広がり、10トレンチ南端にまで一部がかかっている。」と報告されている。しかし、改めて土層図（7トレンチ北半部は『100集』に掲載）や写真などを確認すると、盛土の可能性のある土層は確認できるものの、明確に版築様といえる土層は8調査区中央部に限られると判断している。このことについては、平成9～10年度に調査した267・268調査区の内容とも矛盾しないと思われる。

8調査区東壁の土層を詳細にみると、中世の溝跡（SD0201）の埋土（49層）より南側で版築様の土層が確認でき、SX0222 盛土遺構の広がりをも確認することができるものと考えられる。ただし、写真で見ると旧表土層とも判断できる25層を切る48層があり、その南側の溝状の土層など弥生時代と判断できる土層がどこまでなのかなど、再調査を含めて今後検討する余地が多いと思われる。

（3）平成2年度の調査

SX0222 盛土遺構の盛土の状態や、盛土に掘り込まれた遺構、さらに基盤に掘り込まれた遺構などを確認するために、トレンチ（147～150・151・153調査区）を設定して調査した。「調査の結果、トレンチで確認できた盛土の遺存範囲は東西約45m、南北48m以上であり、盛土は最も堆積している部分で2.8mの厚さであった。」（『132集』）と報告されている。また、盛土内から出土した土器が弥生時代中期初頭～前半のものであることから、中期前半の内には築造されていたと考えられた。

ここでは、未報告であった各調査区（トレンチ）の土層を図示して、調査区ごとに報告する。ただ、147調査区については、中世のSD0206溝跡（『132集』表では土坑と報告）を掘り下げたのみで、盛土の状況が判断できる高さまで掘り上げていないため、報告を省略した。

148 調査区

東西方向に設定したトレンチの東側にあたる。トレンチ西端上部には中世のSD0206溝跡埋土がみられるが、A-B土層ではほぼ全体に版築様の土層がみられ、盛土が確認できる。また、その下層（11層）は写真で見ると、盛土構築以前の旧表土層の可能性もある。盛土内からは中期初頭の土器が出土した。

ところが、C-D土層では写真と合わせてみると、明確な版築様の土層は41～48層に限定される可能性が高く、A-B土層とは大きく様相が異なっている。また、50～52層が堆積する部分から40層にかけて立ち上がるような土層は注意すべきと思われ、特に40層の性格を確認する必要があると考えられる。

盛土以前の遺構として、A-B土層西側下層の11A層は「上面が真っ赤に焼け締まっている」と注記され

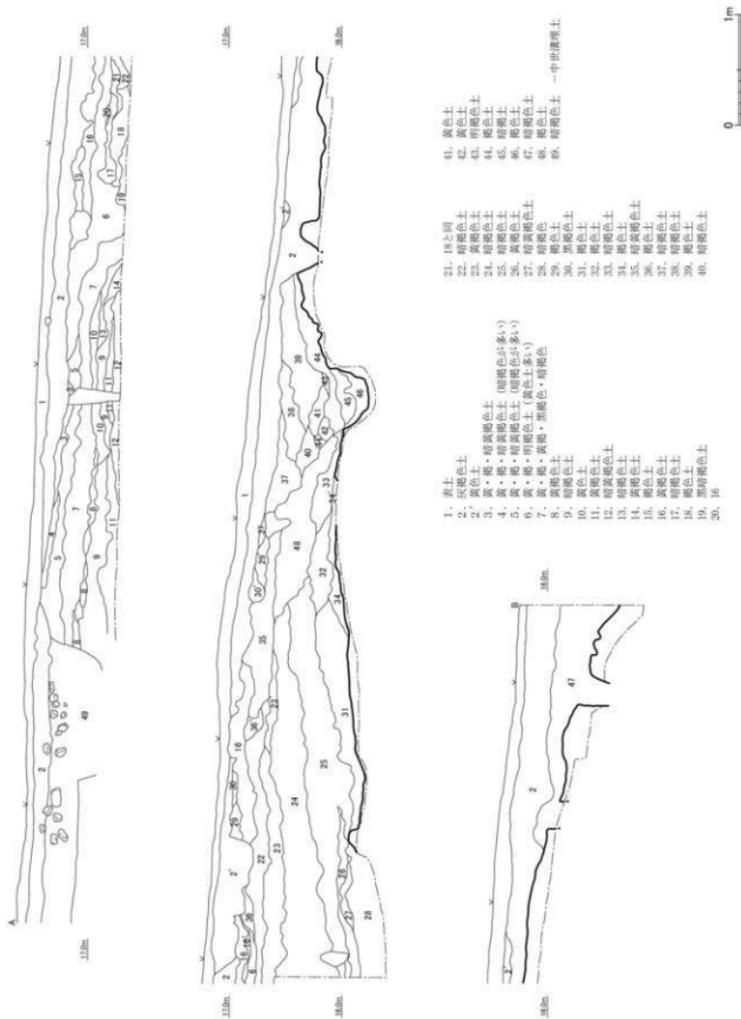


図134 8調査区の土層 (1/40)

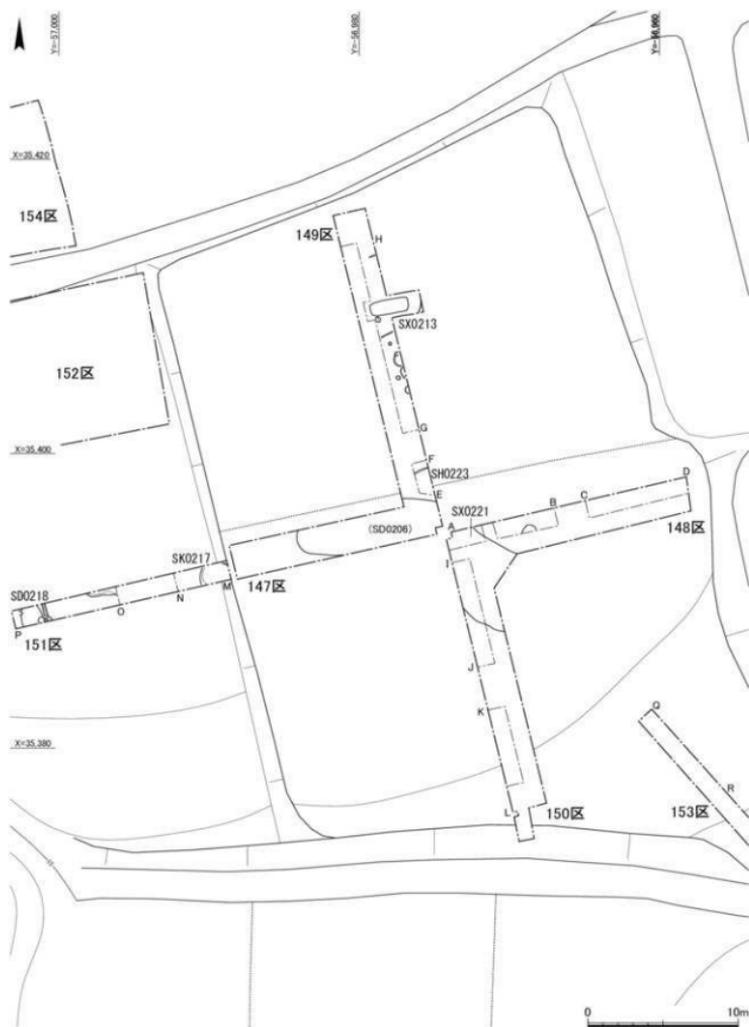


図 135 平成2年度調査区 遺構の分布 (1/300)

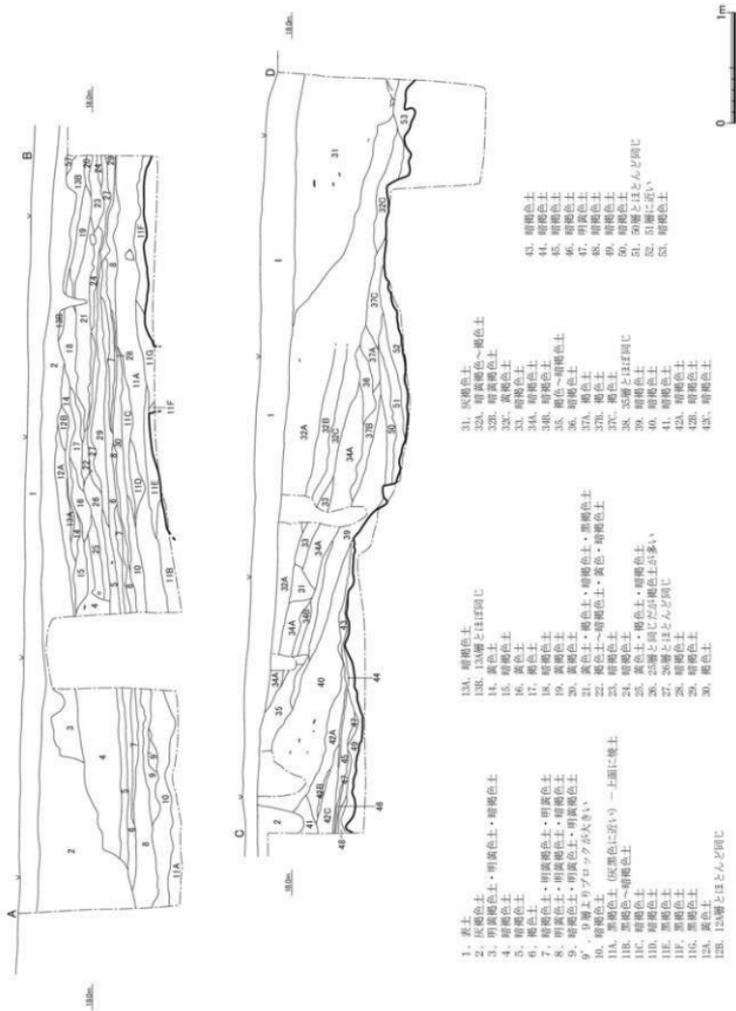


図 136 148 調査区土層 (1/40)

ており、トレンチ内に焼土層の広がりが写真で確認でき、SX0221 焼土遺構（旧 148 調査区 SX02）とした。ここからは中期初頭の土器が出土した。なお、『132 集』表に報告されている竪穴住居跡は 50～52 層部分の落ち込みを指しているが、図面や写真を確認する限り、明確な竪穴建物とは認定するのは現状では難しいと考えられる。

149 調査区

南北方向に設定したトレンチの北半部にあたる。『132 集』では、盛土に掘り込まれた唯一の遺構として、内部に筵状に編んだ植物が敷かれた状態で出土した大型の土坑墓状の遺構（SX0213：旧 149 調査区 SP03）が報告されている。

調査区南部の E-F 土層では、148 調査区と同様に下層に旧表土層と思われる 56 層上に盛土が確認され、その連続として調査区中央から北部の G-H 土層の南半部でも認められる。図示していないが、盛土内から中期前半までの土器が出土した。ただ、SX0213 土坑墓状遺構の周辺で明確な盛土層はみられない。『132 集』では、盛土構築時にそれ以前の遺構を「一挙に埋め立て」たとして、56 層を盛土の一部として考えていたために、56 層（正確には 56 層に連続する可能性が高い 3 層）を掘り込むことから、SX0213 土坑墓状遺構を盛土に掘り込まれた遺構と解釈している。

しかし、土層の連続性や写真で土層の状況を見ると、56 層を人工的な盛土とするには無理があるように思われ、G-H 土層 4 層は盛土の可能性があるので、現状では盛土を掘り込む新しい遺構と明確に認定できないと考えられる。さらに、G-H 土層 9A 層に表現される SX0213 出土遺物として、完形近くに復元できる中期初頭の甕（13）があり、盛土構築時期より古い時代の遺構である可能性が高い。

このほかに盛土以前の遺構として、E-F 土層 61 層を埋土とする SH0223 竪穴建物跡（旧 149 調査区 SH04）があり、土層注記に「床面 堅くたたくしめられている」との記述がある。この竪穴建物は前述のように 56 層が旧表土層で、中期初頭の SX0213 土坑墓状遺構より古いとの解釈が成り立てば、56 層より更に古い時期のものであり、前期に遡る可能性が高くなる。なお、『132 集』表に報告されている「土坑 2、溝跡 1」は中世以降の遺構である。

150 調査区

南北方向に設定したトレンチの南半部にあたる。トレンチ北端部には中世の SD0206 溝跡埋土がみられるが、J 土層ではほぼ全体に盛土が確認できる。ただし、148・149 調査区とは異なり、盛土の下層には旧表土層と考えられるような層は認められない。逆に、3 層は写真で見ると盛土構築後の旧表土層の可能性があり、K-L 土層の 81 層以下に連続するものと考えられる。80 層の注記には「あまりしまっていない。墳丘盛土ではない」、81 層の注記には「これより下は盛土の可能性が強い」とあり、写真で確認しても 80 層は他の盛土層とは異なるように見える。このことから、盛土南端部が確認できる可能性がある。盛土内からは中期初頭～前半の弥生土器、朝鮮系無文土器が出土した。盛土外からは中期前半を中心とする土器が多いが、前期・後期の土器もわずかながら出土している。

盛土以前の遺構として、『132 集』では竪穴住居跡 2 基が報告されているが、段状に掘り込んでいるように見える部分はあるが、竪穴建物かどうかは再確認が必要だと考えられる。

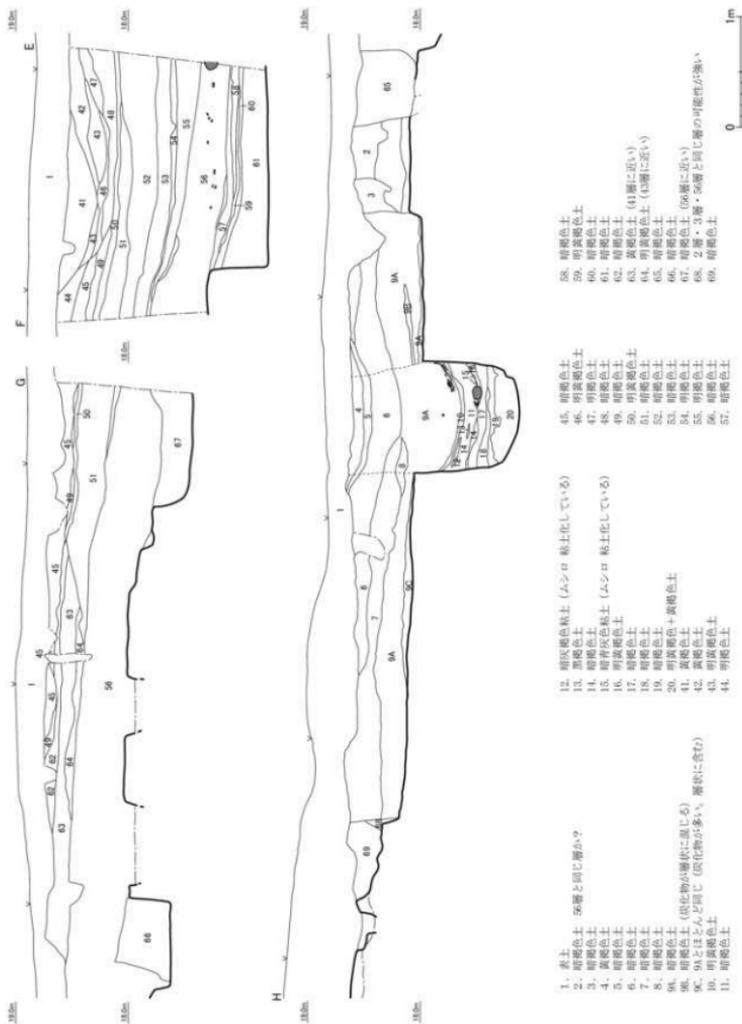


図 137 149 調査区土層 (1/40)

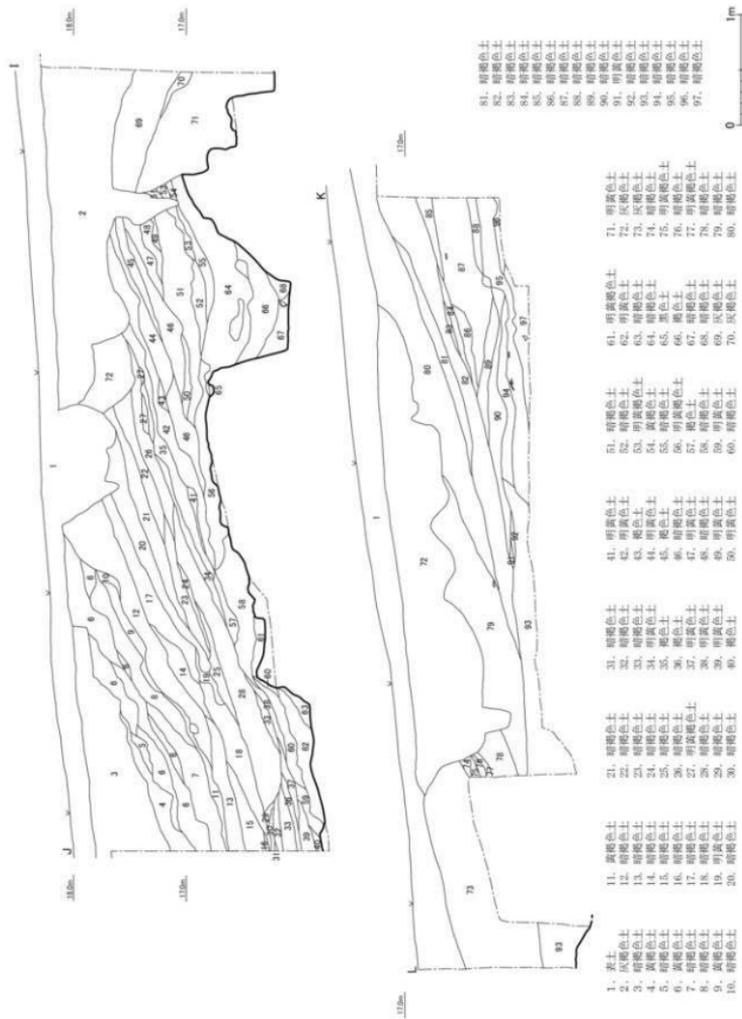


図 138 150 調査区土層 (1/40)

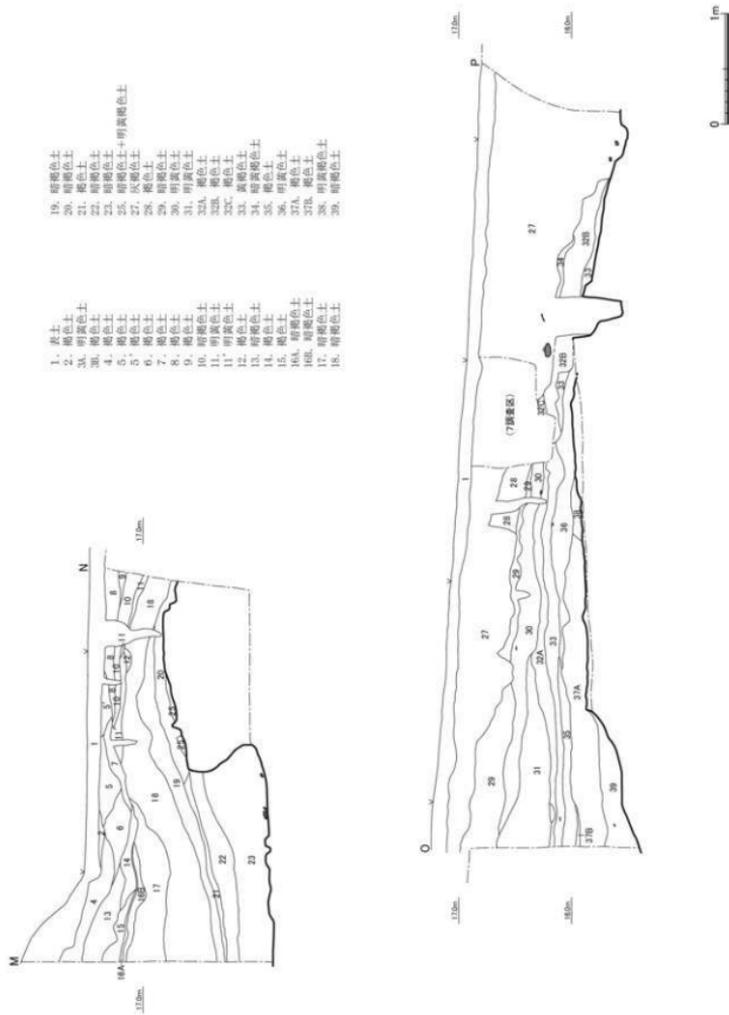
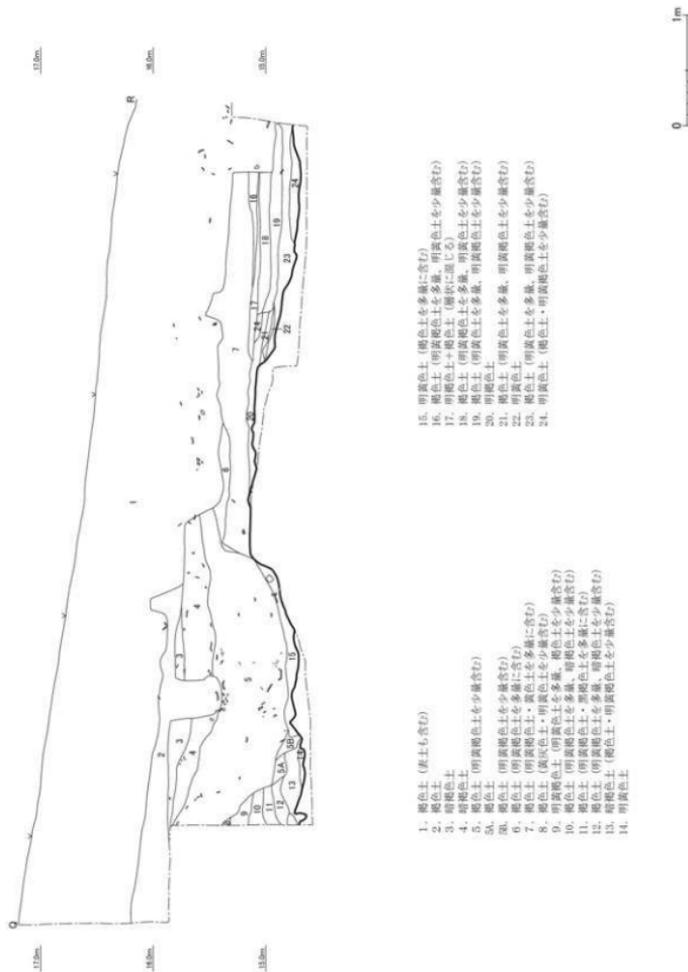


图 139 151 調査区土層 (1/40)



1. 褐色土 (灰土も含む)
2. 褐色土
3. 褐色土
4. 褐色土
5. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
- 5A. 褐色土
- 5B. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
6. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
7. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
8. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
9. 明褐色土 (明褐色土を少量含む)
10. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
11. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
12. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
13. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
14. 明褐色土
15. 明褐色土 (褐色土を少量含む)
16. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
17. 明褐色土 (明褐色土を少量含む)
18. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
19. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
20. 明褐色土
21. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
22. 明褐色土
23. 褐色土 (明褐色土を少量含む)
24. 明褐色土 (褐色土・明褐色土を少量含む)

図 140 153 調査区土層 (1/40)

151 調査区

東西方向のトレンチ西側にあたり、平成元年度調査の7・8調査区が位置する一段低くなった面に設定した。調査区東半部のM-N土層では、盛土と盛土下層に袋状の貯蔵穴跡（SK0217）が確認できる。貯蔵穴と盛土の関係をみると、貯蔵穴跡埋土の直上から盛土が認められ、断面からみて貯蔵穴としては浅い状況で残存していると考えられることから、貯蔵穴周辺を掘り下げた後に盛土構築を行っていることがうかがえる。この周辺で明確な盛土以前と考えられる旧表土層がみられないことも矛盾しない。

調査区西半部のO-P土層でも、東部から中央部の下層に盛土が認められ、さらにその下層の39層は盛土以前の旧表土層の可能性もある。盛土の西端部がとらえられそうであるが、土層から中世以降と考えられる小穴があるため、明確ではない。ただ、その小穴より古い南北方向で幅約0.2mの溝跡（SD0218）は、盛土遺構との関係を注意すべき遺構の可能性もある。

153 調査区

一段高くなった畑地の南東部分に北西-南東方向のトレンチを設定した。Q-R土層で明確に盛土といえるのは、北西端部の8～13層のみであり、その下層には旧表土層はみられない。5層は時期が不明であるが、溝跡の可能性もある。また、5層より南東部分は明確な盛土や旧表土層が確認できないため、今後検討が必要であるが、現状ではSX0222盛土遺構が5層より南東側に大きく広がっているとは考えにくい。

調査区「下部」として取り上げた遺物は、弥生時代中期後半（須玖Ⅱ式古段階）がほとんどであるが、わずかに弥生時代後期土器、須恵器片が出土しており、5層の時期を考えるうえで参考になるかもしれない。このほか、黒髪式の可能性がある甕（57）、絵画が描かれた壺（67）などが出土した。

平成2年度調査出土土器

1～11は148調査区出土土器である。1～3はSX0221焼土遺構上面から出土した口縁が三角形状から短い逆L字状の甕で、口縁部ヨコナデ、3の外面にはハケメがみられる。4・5は11層（A-B土層東側）出土の断面が短い逆L字状口縁の甕である。6～9は盛土内から出土した。6・7は断面三角形口縁の甕で、7は胴部に断面三角形突帯が1条めぐる。8は壺の口縁部、9は横断面方形と思われる中実の支脚で、器面調整はナデである。10・11は調査区東側から出土した。10は鋤形口縁の甕で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデである。11は屈折口縁の甕である。

12・13は149調査区SX0213出土の断面が短い逆L字状の甕である。12は16層出土、13は9A層出土で、完形に近くは復元でき、器壁が厚い平底で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデである。

14～34は150調査区出土土器である。14～16は朝鮮系無文土器である。14は口縁断面円形の粘土帯土器で、外面に粘土帯を押さえた痕跡が残る。15は外面に瘤状突起があり、口縁の円形粘土帯が剥離したと思われるが、明確な痕跡はみられない。16は組合式牛角状把手で、外面はミガキである。上から見た時に把手の間が円形の孔をなす。

17～25は盛土内から出土した。17は断面三角形口縁の甕で、口縁内面にユビオサエが残る。18～20は断面逆L字状口縁の甕で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデを基本とする。18・20は胴部に断面三角形突帯が1条めぐる。21・22は甕底部で、外面ハケメ、内面ナデである。23は壺口縁部で、口縁部ヨコナデである。24はミニチュアの底部、25は中実の支脚で、いずれも器面調整はナデである。

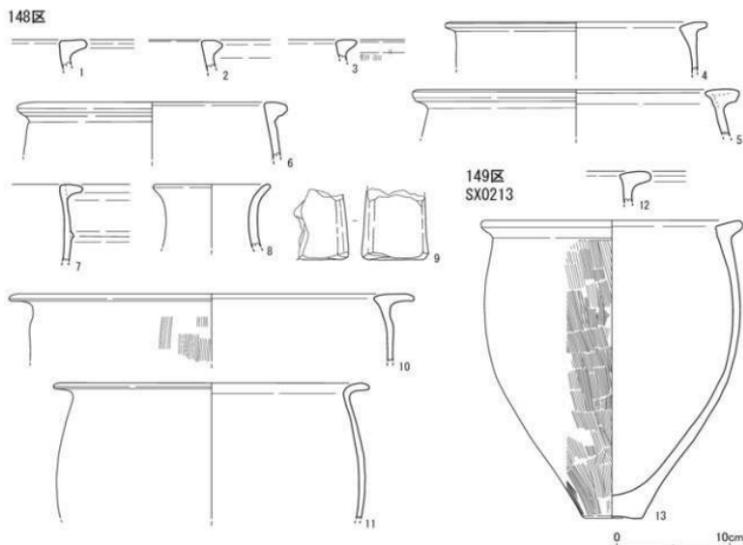


図 141 148・149 調査区 出土土器 (1/4)

26～34は盛土以外から出土した。26・27は裏底部で、26は外面に断面三角形突帯が1条めぐる。28は口縁断面T字状の専用糞箱で、口縁下に断面三角形突帯が1条めぐる。29は鋤先状口縁の壺、30は器種が明確ではないが脚部で、外面ハケメである。31は高環脚部である。32・33は器台で、外面はタタキである。34は中実の支脚で、器面調整はナデである。

35～67は153調査区出土土器である。35～44は「下部」から出土した。35～37は口縁断面逆L字状の裏で、37の胴部に断面三角形突帯が1条めぐる。38～41は鋤形口縁の裏で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデを基本とするが、38は外面ナデであり、樽形裏の可能性もある。42は鋤先状口縁の高環である。43は透かしをもつ筒形器台で、暗文が施され、外面丹塗りである。44は器種不明であるが脚部で、外面ミガキであり、後期以降の可能性が高い。

45～61は「中部」から出土した。45・46はいわゆる丸味を帯びた糞箱の口縁部で、断面はT字状である。45の外面には丹塗りがみられ、46の口縁下に断面三角形突帯が1条めぐる。47・48は口縁断面逆L字状の裏で、47の胴部には断面三角形突帯が1条めぐる。49～54は鋤形口縁の裏で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデを基本とする。55・56は屈折口縁の裏である。57は裏口縁部で、黒髪式の可能性がある。58は鉢、59は鋤先状口縁の壺である。60は鋤先状口縁の高環で、丹塗りがみられる。61は高環脚部で、外面に突帯が貼付された痕跡があり、外面丹塗りの可能性がある。

150区

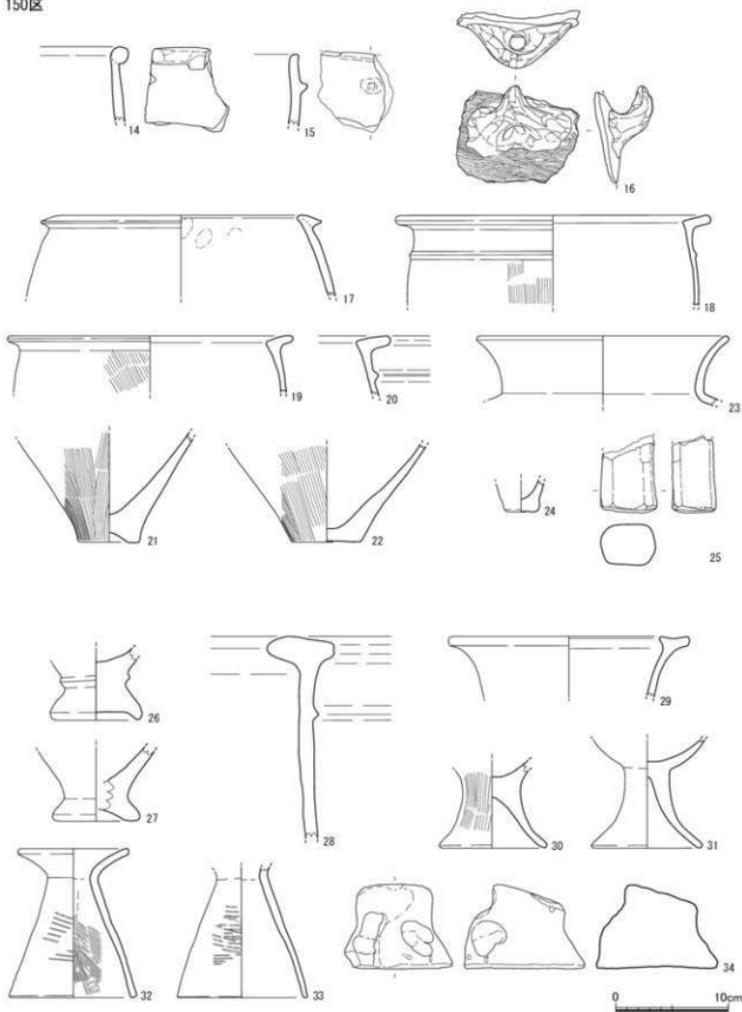


图 142 150 调查区 出土土器 (1/4)

153区

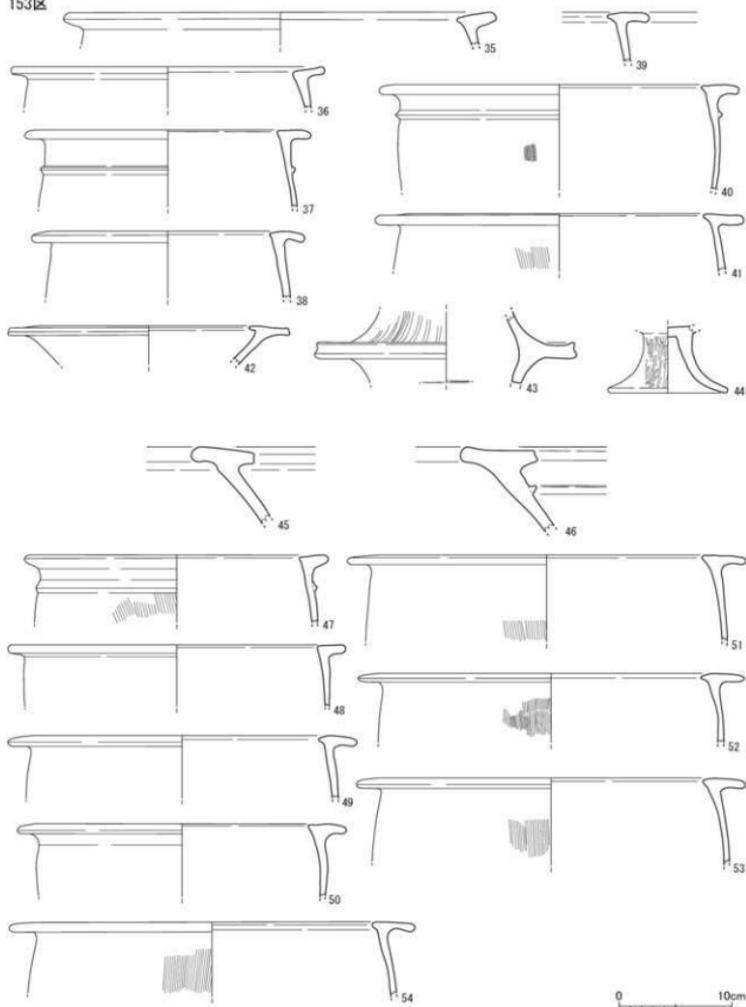


図 143 153 調査区 出土土器 1 (1/4)

153区

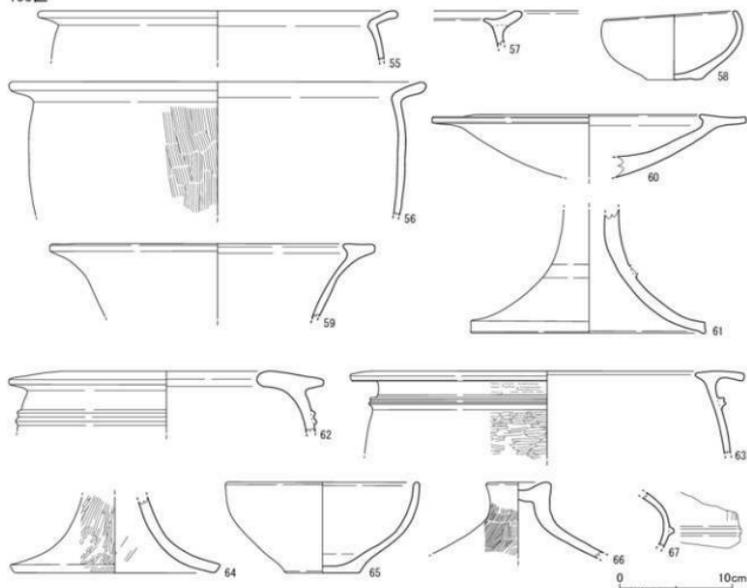


図144 153調査区 出土土器2 (1/4)

表15 平成2年度調査 出土土器

図号・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口徑	底径	器高	外面	内面	
図141-1	17000227	148区SX0221	甕				橙	褐	
図141-2	17000228	148区SX0221	甕				にぶい・黄褐	褐	
図141-3	17000229	148区SX0221	甕				橙	橙	
図141-4	17000230	148区11層	甕	23.2*			橙	橙	
図141-5	17000231	148区11層	甕	29.0*			明赤褐	にぶい・黄褐	
図141-6	17000234	148区盛土内	甕	24.0*			にぶい・橙	浅黄橙	
図141-7	17000235	148区盛土内	甕				橙	淡赤橙	
図141-8	17000237	148区盛土内	甕	10.4*			橙	浅黄橙	
図141-9	17000239	148区盛土内	支脚				橙	橙	
図141-10	17000232	148区東端	甕	36.0*			にぶい・橙	にぶい・黄褐	
図141-11	17000233	148区東	甕	28.0*			浅黄橙	にぶい・橙・灰白	
図141-12	17000242	149区SX0213	甕				にぶい・赤褐	にぶい・赤褐	10層
図141-13	17000241	149区SX0213	甕	23.2*	5.2	27.0	にぶい・橙・灰褐	浅黄橙・暗褐	9A層

表 15 平成2年度調査 出土土器

採収番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 142-14	98000721	150 区	甕				乳濁	乳濁	無文土器 円形粘土帯
図 142-15	17000262	150 区盛土内	甕				淡緑・にぶい・黄緑	灰黄緑	無文土器 瘤状突起
図 142-16	98000720	150 区	甕				暗緑	暗緑	無文土器 平角把手
図 142-17	17000259	150 区盛土内	甕	24.8*			浅黄緑・淡緑	灰白・灰黄緑	
図 142-18	17000253	150 区盛土内	甕	28.0*			緑	にぶい・緑	
図 142-19	17000254	150 区盛土内	甕	25.4*			緑	緑	
図 142-20	17000255	150 区盛土内	甕				緑	緑	
図 142-21	17000257	150 区盛土内	甕		5.4		暗緑・にぶい・緑	緑	
図 142-22	17000256	150 区盛土内	甕		6.1		緑	黄緑	
図 142-23	17000258	150 区盛土内	甕	22.4*			緑	にぶい・緑	
図 142-24	17000260	150 区盛土内	甕形		2.6		浅黄緑・灰黄緑	黄緑	ミニチュア
図 142-25	17000261	150 区盛土内	支脚		5.0		浅黄緑・緑	浅黄緑・緑	
図 142-26	17000252	150 区表土	甕		8.2*		にぶい・緑	緑	
図 142-27	17000251	150 区	甕		7.8*		淡緑	浅黄緑	
図 142-28	17000243	150 区南側	甕箱				緑	黄緑	
図 142-29	17000245	150 区南側	甕	21.4*			黄緑	明黄緑	
図 142-30	17000247	150 区南側	脚部		9.6		緑・にぶい・黄緑	緑・にぶい・黄緑	
図 142-31	17000246	150 区南側	高坪		9.9*		緑	緑	
図 142-32	17000248	150 区南側	器台	9.9*	11.3	13.5	にぶい・黄緑	浅黄緑	
図 142-33	17000249	150 区南側	器台		11.6*		浅黄緑	浅黄緑	
図 142-34	17000250	150 区南側	支脚			7.7	浅黄緑	浅黄緑	手づくね
図 143-35	17000311	153 区下部	甕	38.4*			浅黄緑	浅黄緑	
図 143-36	17000314	153 区下部	甕	27.9*			緑	にぶい・黄緑	
図 143-37	17000315	153 区下部	甕	25.4*			緑	緑	
図 143-38	17000316	153 区下部	甕	24.2*			緑	緑	樽形甕?
図 143-39	17000317	153 区下部	甕				緑	緑	
図 143-40	17000313	153 区下部	甕	32.0*			緑	緑	
図 143-41	17000312	153 区下部	甕	32.8*			緑	黄緑	
図 143-42	17000318	153 区下部	高坪	25.0*			緑	緑	
図 143-43	17000320	153 区下部	器台				緑	緑	筒形 丹埴り 透かし
図 143-44	17000319	153 区下部	脚部		10.6*		浅黄緑	浅黄緑	
図 143-45	17000309	153 区中部	甕箱				明赤緑	明赤緑	外面丹埴り
図 143-46	17000310	153 区中部	甕箱				緑	緑	
図 143-47	17000302	153 区中部	甕	27.0*			緑	緑	
図 143-48	17000300	153 区中部	甕	30.0*			緑	緑	
図 143-49	17000297	153 区中部	甕	31.0*			緑	緑	
図 143-50	17000298	153 区中部	甕	29.2*			緑	緑	
図 143-51	17000295	153 区中部	甕	35.4*			浅黄緑	浅黄緑	
図 143-52	17000299	153 区中部	甕	34.2*			浅黄緑	浅黄緑	
図 143-53	17000301	153 区中部	甕	34.5*			緑	緑	
図 143-54	17000294	153 区中部	甕	36.0*			緑	緑	
図 144-55	17000303	153 区中部	甕	32.0*			茶黄緑	にぶい・黄緑	
図 144-56	17000296	153 区中部	甕	37.0*			浅黄緑	浅黄緑	
図 144-57	17000304	153 区中部	甕				浅黄緑	浅黄緑	黒髪式

表 15 平成2年度調査 出土土器

調査番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
岡 144-58	17000305	153 区中部	鉢	11.9	5.1	6.2	橙・明黄褐色	橙	
岡 144-59	17000306	153 区中部	甑	27.9*			橙	橙	
岡 144-60	17000307	153 区中部	高杯	28.0*			浅黄褐色	浅黄褐色	丹塗り
岡 144-61	17000308	153 区中部	高杯		20.8		にぶい・橙	にぶい・橙	外面丹塗りか
岡 144-62	17000280	153 区包含層	甕	28.0*			浅黄褐色	黒灰	
岡 144-63	17000281	153 区包含層	甕	35.0*			赤褐色	橙	丹塗り
岡 144-64	17000283	153 区包含層	高杯		18.6*		橙	橙	
岡 144-65	17000288	153 区包含層	鉢	17.2	6.5	8.2	浅黄褐色・黒	浅黄褐色・にぶい・黄褐色	石割 (73) 周辺出土
岡 144-66	17000282	153 区包含層	蓋	5.7			にぶい・黄褐色	にぶい・黄褐色	
岡 144-67	17000293	153 区表土層	甕				橙	橙	絵画土器

62～67 は包含層などから出土した。62 は甕で、口縁下に断面三角形突帯が2条めぐる。63 は丹塗甕で、口縁下に断面 M 字状突帯が1条めぐる。64 は高杯脚部で、外面ミガキである。65 は鉢、66 は甕用蓋である。67 は壺胴部で、線刻による絵画が描かれたと考えられる。

平成2年度調査出土土製品・石器・鉄器

68・69 は送風管の可能性のある土製品としたが、焼けた痕跡などはなく、中期初頭の支脚の可能性もある。器面調整はナデである。68 は 148 調査区盛土内、69 は 147 調査区から出土した。70 は 147 調査区出土の銅矛内型(中子)である。

71 は 148 調査区から出土した石庖丁で、全体の約 2/3 が残存する。直背の外湾刃半月形で、刃部は二次的な剥離により部分的に欠損する。石材は董青石ホルンフェルスである。72 は 153 調査区中層から出土した石庖丁で、全体の約 2/3 が残存する。直背の外湾刃半月形で、背側が厚手であり、孔は敲打後回転穿孔によるものである。石材は赤紫色泥岩である。

73 は 153 調査区から出土した磨製石剣で、切先部を欠損する。平基で、刃部横断面は菱形をなしている。石材は堆積岩系のものである。

74 は 153 調査区包含層中層から出土した石鋸である。扁平な板状の楕円礫を素材とし、下部に両刃の刃部が形成されているが、刃先は摩耗しており潰れている。石材は赤色の砂岩で、砥石等に用いられる石材に近い。75 は 149 調査区から出土した扁平片刃石斧である。平面長方形で、全体的に丸みを帯び、刃部の端付近が最大厚となる。石の葉理方向は身の主軸と平行する横目で、石材は層灰岩である。76 は 150 調査区盛土内から出土した太形給刃石斧で、刃部付近の破片である。石材は玄武岩である。

77 は 152 調査区から出土した紡錘車未成品である。片岩製の板状素材が円形に加工され、片面中央に穿孔途中とみられる回転痕が残る。

78 は 152 調査区から出土した凹基式の鉄鎌で、中央に目釘孔をもつ。

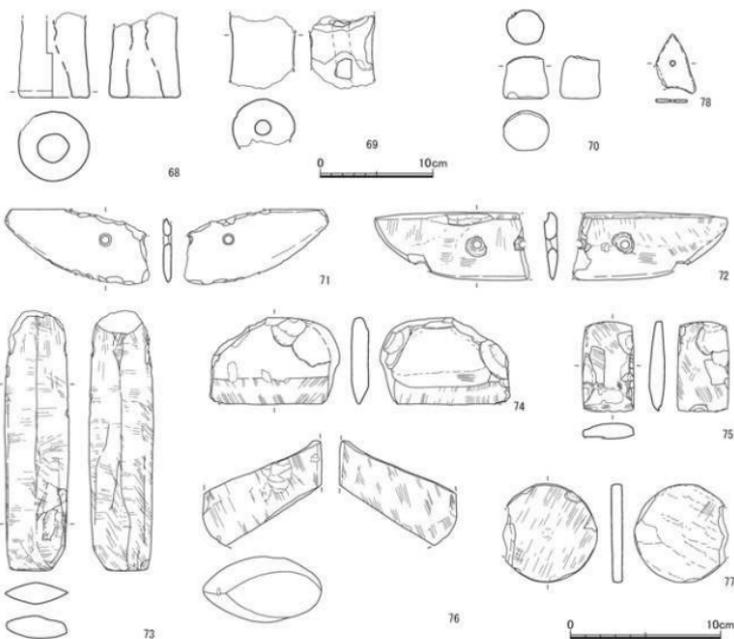


図145 平成2年度調査 出土土製品・石器・鉄器 (68・69は1/4, 他は1/3)

表16 平成2年度調査 出土土製品・石器・鉄器

図号・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	類別	器種	法量 cm			重量 (g)	色調 / 材質	備考
					長さ	幅	厚さ			
図 145-68	17000238	148 区盛土内	土製品	送風管?		6.2			褐色	支脚か?
図 145-69	17000240	147 区	土製品	送風管?					褐色	支脚か?
図 145-70	92001482	147 区 SD0206	土製品	中子	2.9*	2.8			褐色	
図 145-71	16000906	148 区	磨製石器	石底丁	9.6*	5.2*	0.6	36.5*	黒青石 ホルンフェルス	
図 145-72	16000905	153 区中層	磨製石器	石底丁	10.3*	4.7	0.9	60.1*	赤褐色泥岩	
図 145-73	04002056	153 区	磨製石器	石剣	17.7*	4.3	1.5	181.8*		
図 145-74	16000904	153 区中層	磨製石器	石剣	8.7	5.9	1.3	101.5	砂岩	
図 145-75	16000902	149 区	磨製石器	石沖	6.1	3.5	1.0	40.8*	燧石岩	扁平片刃 横目
図 145-76	12002457	150 区盛土内	磨製石器	石沖	7.2*	7.9*	4.4*	228.3*	玄武岩	太形鉛刃
図 145-77	16000901	152 区	磨製石器	結縛串	6.7	6.3*	0.8	55.9*	片岩	未成品
図 145-78	13000219	152 区	鉄製品	鉄鏡	3.6		0.2			有孔

(4) 平成9～10年度の調査

SX0222 盛土遺構の性格を把握するために、田手一本黒木地区Ⅰ区267調査区として、盛土遺構とその西側の表土を全面的に除去して、盛土上面の遺構について調査したが、平成2年度の調査とは異なり、盛土遺構の築造に関する調査は行っていない。また、267調査区北側の田手二本黒木地区Ⅲ区268調査区についても、一体として面的な調査を実施した。



図146 267・268調査区 遺構の分布 (1/500)



図 147 267・268 調査区 遺構の分布詳細 1 (1/250)



図 148 267・268 調査区 遺構の分布詳細 2 (1/250)



図 149 267・268 調査区 遺構の分布詳細 3 (1/250)

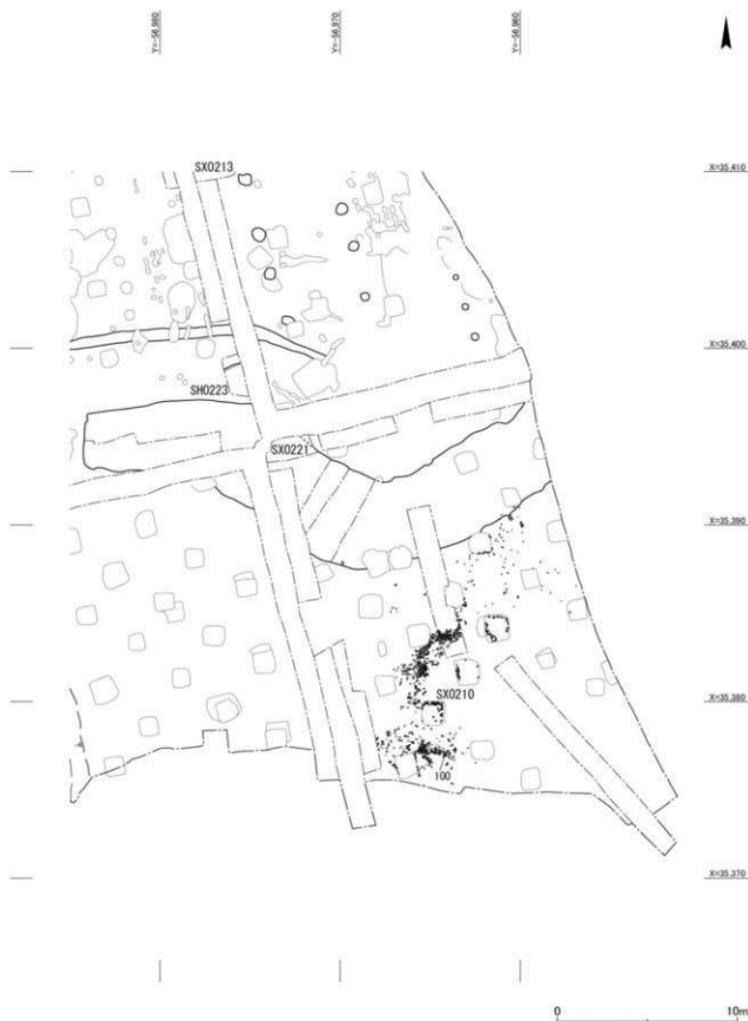


図 150 267・268 調査区 遺構の分布詳細4 (1/250)

田手一本黒木地区 | 区 267 調査区

SX0222 盛土遺構の上面では、中世の掘立柱建物跡や溝跡などは確認したが、盛土上を精査したものの、明確に盛土遺構を掘り込み弥生時代の遺構は確認できなかった。

盛土遺構南東部（150 調査区東側）では、約 5 × 10 m の範囲に弥生土器が多量に出土する部分（SX0210）を確認したが、平面的には掘り込みを検出することはできなかったため、土坑などの遺構と評価することは現状では難しい。出土土器の時期は中期後半（須玖Ⅱ式古段階）が大部分を占める。その中に、貝殻や鳥骨が詰まった裝飾付きの壺（100）があった。ただ、丹塗土器もみられるものの、日常煮炊き用の甕がもっとも多く、祭祀的な色合いが強いというわけではない。

このほか、盛土遺構の検出面でも中期前半（須玖Ⅰ式新段階）～中期後半の土器が大部分で、前期・後期のものはわずかにみられるだけである。

SX0210 出土土器

79～81 は口縁断面逆 L 字状の甕で、79 は胴部に断面三角形突帯が 1 条めぐり、82～88 は鋤形口縁の甕で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデを基本とする。89～94 は甕底部で、外面ハケメ、内面ナデである。95・96 は底径がやや大きく、外面ナデであるため、樽形甕の底部の可能性がある。内面にはコビオサエが残る。97 は甕用蓋である。

98～100 は鋤先状口縁の壺である。100 は貝殻などが入っていたもので、外面はハケメを基本とするが、全体のつくりは丁寧である。口頸部外面の 1ヶ所に縦方向の断面三角形突帯を 2 条貼り付け、図示していないが、その裏側の外面に「×」字状のヘラ記号状の線刻がある。胴部には断面 M 字状突帯が 2 条めぐり、101 は単純口縁の広口壺である。102 は壺底部で、外面は丹塗りである。

103・104 は丹塗甕で、外面口縁下に断面 M 字状突帯が 1 条めぐり、105～107 は筒形器台で、105・107 には透かしがある。108・109 は器台である。

110～119 は高環である。110～113 は脚部が通常の長さのもので、110 の外面には丹塗りがみられる。114 は環部が碗形のものとしたが、鋤先状口縁が剥離した可能性もある。115・116 は鋤先状口縁のもので、115 も長脚の脚部をもつタイプの可能性が高い。115 の環部外面、116 の脚部上端部付近と下方に断面 M 字状突帯がめぐり、117～119 は長脚の脚部で、117・118 の脚部上端部付近に断面 M 字状突帯がめぐり、

120・121 は SX0222 検出面から出土したが、SX0210 と関連がある可能性があり、参考として図示した。120 は環部が碗形の高環で、外面ミガキである。121 は壺胴部から底部で、外面に断面 M 字状突帯が 2 条めぐり、外面丹塗りである。

弥生時代のその他の遺構

267 調査区で新たに確認された盛土遺構以外の弥生時代の遺構としては、SK0215 土坑とトレンチでの確認ではあるが、田手二本黒木地区Ⅲ区で青銅器鋳造関連遺構と考えられた SK0404 土坑、後期の SD0420 溝跡の連続と考えられる遺構を確認した。

SK0215 土坑は、調査区北部中央で検出したが、個別図は図示していない。平面は長軸 3.2 m、短軸 2.2 m の長方形で、平面的には盛土と新旧関係は不明であったが、土層観察では盛土より古い遺構である。出土土器が小片しかないため、時期は確実ではないが、前期～中期初頭と推測される。

267区 SX0210

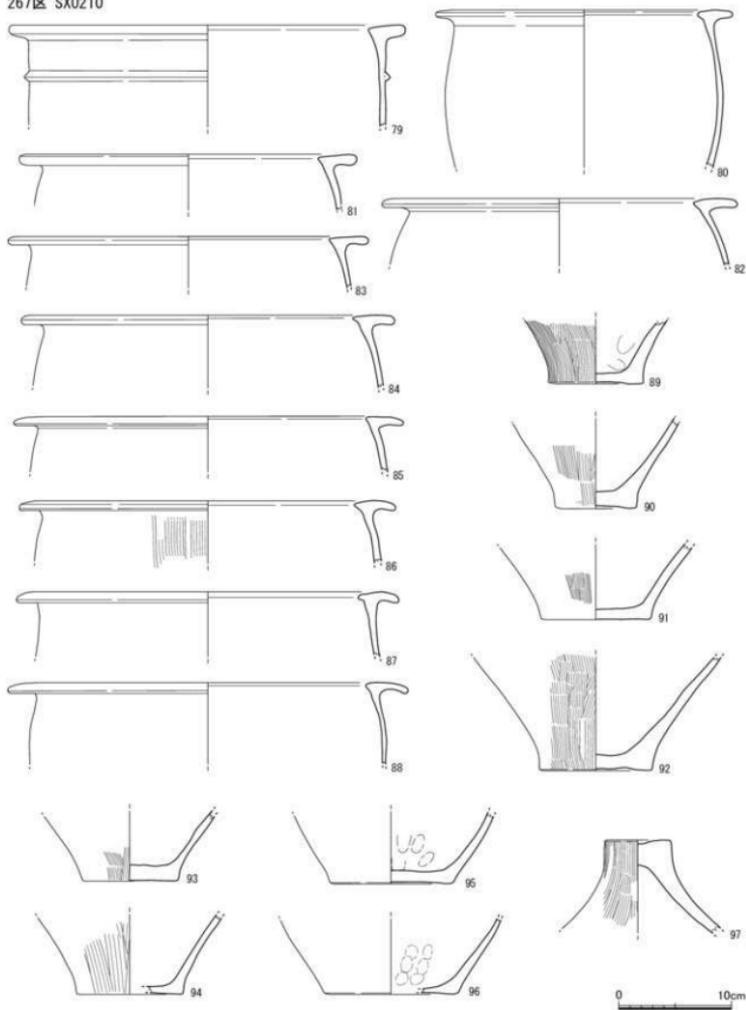


图 151 267 调查区 SX0210 出土土器 1 (1/4)

267区 SX0210

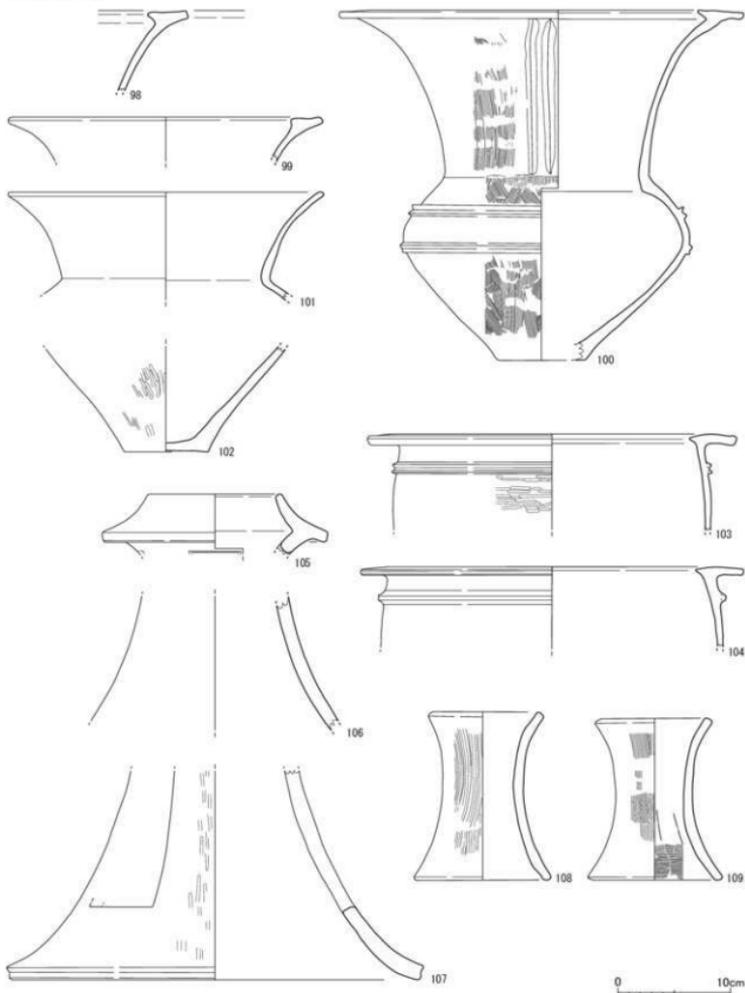


図 152 267 調査区 SX0210 出土土器 2 (1/4)

267区 SX0210

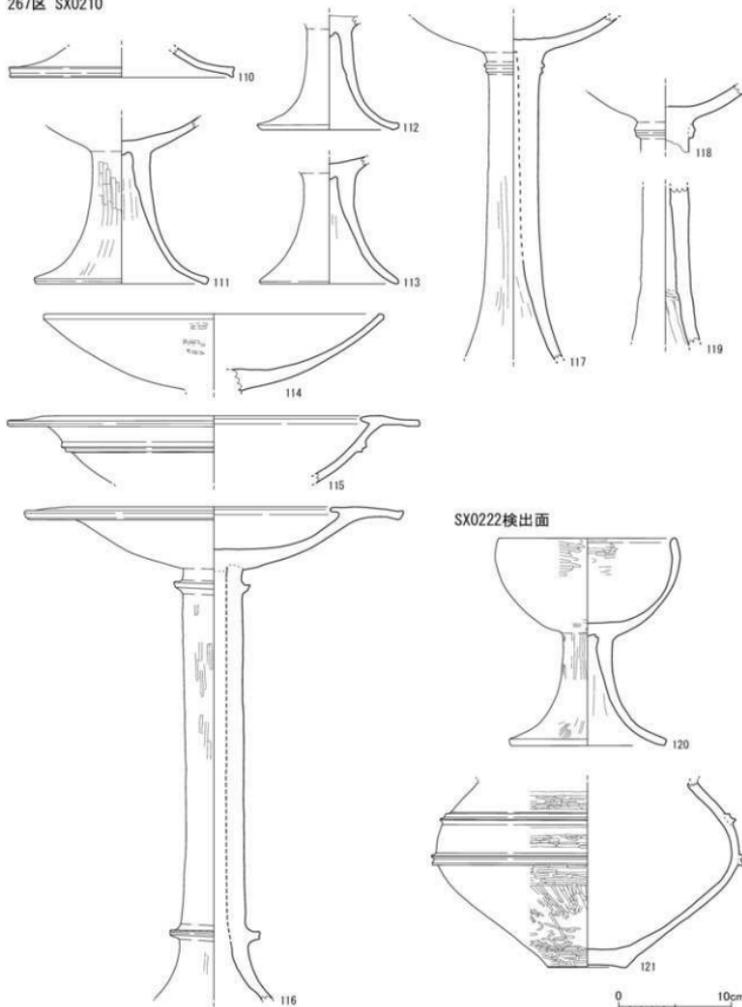


图 153 267 調査区 SX0210 出土土器 3 (1/4)

表 17 267 調査区 SX0210 出土土器

採収番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考	
				口径	底径	器高	外面	内面		
図 151-79	17000034	SX0210	甕	35.2*			橙	橙・褐灰		
図 151-80	17000028	SX0210	甕	26.4*			橙	灰		
図 151-81	17000037	SX0210	甕	30.0*			橙	橙		
図 151-82	17000036	SX0210	甕	31.6*			にぶい黄橙	にぶい黄橙		
図 151-83	17000050	SX0210	甕	32.0*			にぶい橙	にぶい橙		
図 151-84	17000035	SX0210	甕	33.2*			褐灰	褐灰		
図 151-85	17000010	SX0210	甕	34.6*			にぶい黄橙	淡橙・灰白		
図 151-86	17000027	SX0210	甕	33.4*			にぶい橙	淡橙		
図 151-87	17000026	SX0210	甕	34.0*			橙	橙		
図 151-88	17000025	SX0210	甕	35.6*			橙	橙		
図 151-89	17000053	SX0210	甕		8.4*		にぶい黄橙	にぶい黄橙		
図 151-90	17000054	SX0210	甕		7.2*		にぶい黄褐・橙	にぶい黄橙		
図 151-91	17000017	SX0210	甕		9.7*		橙	橙		
図 151-92	17000038	SX0210	甕		10.0		黄橙・黒	黄橙		
図 151-93	17000018	SX0210	甕		8.5		浅黄橙	浅黄褐		
図 151-94	17000016	SX0210	甕		9.4*		褐灰・浅黄褐	黒		
図 151-95	17000039	SX0210	甕		10.8		浅黄橙	浅黄橙	標形裏?	
図 151-96	17000019	SX0210	甕		11.8*		橙	橙	標形裏?	
図 151-97	17000005	SX0210	蓋		5.9		橙・明黄褐	橙		
図 152-98	17000044	SX0210	甕				橙	橙		
図 152-99	17000058	SX0210	甕		28.0*		浅黄橙	浅黄橙		
図 152-100	00001726	SX0210	甕		35.7	7.8	31.3	明黄褐	明黄褐	貝殻・動物骨入り
図 152-101	17000012	SX0210	甕		28.0*			橙	明黄褐	
図 152-102	17000004	SX0210	甕			7.5		浅黄橙・明赤褐	浅黄褐	外面丹塗り
図 152-103	17000003	SX0210	甕		32.8*			橙・明赤褐	橙	外面丹塗り
図 152-104	17000002	SX0210	甕		34.0*			橙	橙	外面丹塗り
図 152-105	17000008	SX0210	器台		11.9*			橙	橙	胴部に推定 4ヶ所の透かし
図 152-106	17000047	SX0210	器台					明赤褐・橙	橙	外面丹塗り
図 152-107	17000015	SX0210	器台		37.0*			橙・浅黄橙	明黄褐	胴部に推定 4ヶ所の透かし
図 152-108	17000009	SX0210	器台		10.2	12.2*	15.3	にぶい黄橙・橙	にぶい黄橙・橙	
図 152-109	17000048	SX0210	器台		10.3	11.9*	14.7	橙	橙	
図 153-110	17000007	SX0210	高環		20.0*			橙	橙	外面丹塗り
図 153-111	17000060	SX0210	高環		15.5*			黄橙	黄橙	
図 153-112	17000061	SX0210	高環		12.6			橙	にぶい黄橙	
図 153-113	17000062	SX0210	高環		12.3*			にぶい橙・橙	橙	
図 153-114	17000030	SX0210	高環		30.2*			橙	橙・明赤褐	内面丹塗り
図 153-115	17000032	SX0210	高環		36.6*			橙・明赤褐	橙・明赤褐	丹塗り
図 153-116	17000001	SX0210	高環		27.5*			橙	橙	丹塗り
図 153-117	17000013	SX0210	高環					橙	橙	
図 153-118	17000049	SX0210	高環					明赤褐	明赤褐	
図 153-119	17000033	SX0210	高環					淡黄	淡黄	外面一部丹塗り
図 153-120	17000323	SX0222 輪出面	高環		15.4*	14.0*	18.8	橙	橙	
図 153-121	17000326	SX0222 輪出面	甕		6.8*			橙～暗赤褐	橙	外面丹塗り

田手二本黒木地区 SKO404 土坑南側の延長を確認するため、平成2年度調査の152調査区サブトレンチ1を西側に延長して掘り下げた。その結果、田手二本黒木地区Ⅲ区154調査区のSKO404土層〔『207集』〕と同様に、灰・炭化物を多く含む層が確認され、出土土器も154調査区と同様に中期前半を中心とする土器が多量に出土した。このため、SKO404土坑は南側に延びていることが確認できた。そのため、この土坑について田手一本黒木地区の遺構番号としてSKO214を付した。サブトレンチ1は土坑の横軸にほぼ合ったものと思われるが、SXO222盛土遺構側（東側）の壁面は緩やかな傾斜であるのに対し、西側の立ち上がりは急である。土層は、下層が地山に起因する堆積土、その上に灰・炭化物を含む層が混在するレンズ状の堆積土となる。また、このトレンチ下層から瀬戸内系の甕（135）、板状鉄製品（186）が出土した。

SKO404土坑のさらにその南側については、やはり152調査区サブトレンチ2を西側に拡張したものの、地山までの掘り下げを行っていないため、正確には不明である。ただ、出土量は多くないものの、中期前半の土器が出土しており、延長が認められる可能性がある。また、サブトレンチ2からは九州内の外來系土器の可能性のある壺片（152）が出土した。

田手二本黒木地区SDO420溝跡の延長は、サブトレンチ1の土層で確認できるものと考えられ、同様の状況が154調査区のSKO404土層〔『207集』〕で認められる。また、サブトレンチ2の西端部で土器が帯状に出土した部分があり、土層の観察はできなかったが、さらなる延長部の可能性がある。そのため、この溝跡について田手一本黒木地区の遺構番号としてSDO220を付した。サブトレンチ1、152調査区サブトレンチ3から、正確な位置は不明であるが、後期の土器が出土しており、SDO220溝跡に伴うものの可能性がある。なお、あえて「サブ」を付ける必要性がないため、以後トレンチ1・2・3と呼称することにする。

267調査区出土土器

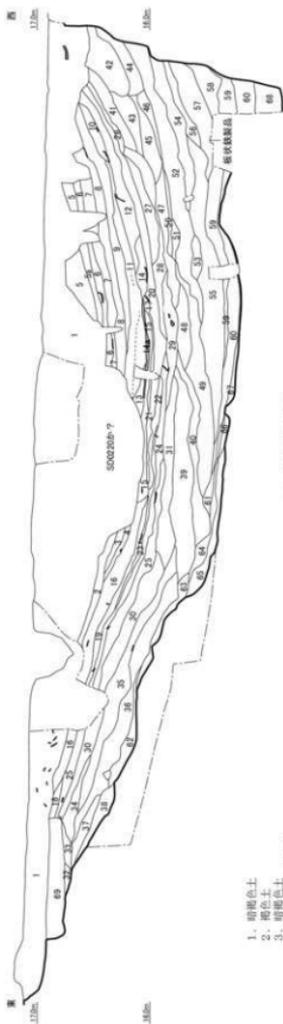
122～151はトレンチ1から出土した。なお、152調査区トレンチ1出土のものも含めている。122～131は口縁断面逆L字状の甕で、口縁部ヨコナデ、外面ハケメ、内面ナデである。126～131は外面に断面三角形突帯が1条めぐる。132は甕底部で、外面ハケメ、内面ナデである。133は「く」字状口縁の小形の甕で、外面タタキである。134は費用蓋で、外面ハケメ、内面ナデである。

135は西部瀬戸内系の甕で、トレンチ1の数ヶ所の取り上げ位置のものが接合しているが、そのうち「下層」から出土した破片がある。口縁は如意状に短く屈曲し、胴部はやや張る。口縁下部から胴部上位にかけて横位の櫛描文、その下位に貝殻によるものと思われる刺突文が横位に施されている。外面・口縁内面ミガキ、内面ナデである。136～138は下層から出土した。136・137は口縁断面逆L字状の甕で、外面に断面三角形突帯が1条めぐる。138は中実の支脚で、横断面円形である。

139・140は鋤先状口縁の壺、141は壺胴部から底部、142～144は壺底部で、器面調整はミガキを基本とする。145は長頸壺で、外面はミガキのみられる。146・147は口縁断面逆L字状の鉢で、口縁下に断面三角形突帯が1条めぐる。148は高環脚部で、外面にミガキのみられる。149～151は器台である。

152～160はトレンチ2から出土した。なお、152調査区トレンチ2出土のものも含めている。152は多条突帯めぐる壺とみられ、九州内の外來系土器の可能性が高い。図の天地は不明である。153～155は口縁断面逆L字状の甕で、155は外面に断面三角形突帯が1条めぐる。156～158は「く」字状口縁の甕である。159は複合口縁壺の口縁部、160は凸レンズ状の壺底部とみられる。

161～166は152調査区トレンチ3から出土した。161は跳ね上げ口縁の甕で、外來系とみられる。



- | | |
|--|---|
| <p>1. 暗褐色土
2. 褐色土
3. 褐色土
4. 黄灰色土+褐色土
5. 褐色土
5a. 褐色土 (灰化物が多い)
6. 褐色土+灰化物
7. 褐色土
8. 褐色土
9. 褐色土+黄灰色土 (部分的に灰化物や黄褐色土が層状になる)
10. 褐色土
11. 黄灰色土+褐色土
12. 褐色土
13. 褐色土
14. 褐色土
14a. 灰化物層 (すべてが灰化物ではなく、褐色土も混じる)
15. 褐色土+黄灰色土
16. 暗褐色土
17. 黄灰色土
18. 褐色土
19. 褐色土
20. 暗褐色土 (灰化物多い)
21. 暗褐色土+黄灰色土
22. 暗褐色土+黄灰色土
23. 黄灰色土+暗褐色土
24. 黄灰色土 (一部に灰化物層がある)
25. 褐色土
26. 暗褐色土+赤褐色土
27. 暗褐色土+赤褐色土+プロロク
28. 暗褐色土+赤褐色土+プロロク
29. 暗褐色土+赤褐色土+褐色土
30. 褐色土+赤褐色土+褐色土
31. 赤褐色土+赤褐色土+褐色土
32. 黄褐色土
33. 暗褐色土
34. 赤褐色土
35. 赤褐色土+褐色土</p> | <p>36. 赤褐色土
37. 暗褐色土
38. 暗褐色土+赤褐色土+赤褐色土
39. 赤褐色土+赤褐色土+褐色土
40. 赤褐色土+赤褐色土+褐色土
41. 赤褐色土
42. 赤褐色土
43. 暗褐色土
44. 暗褐色土+赤褐色土
45. 暗褐色土+赤褐色土+赤褐色土
46. 暗褐色土
47. 暗褐色土
48. 赤褐色土
49. 赤褐色土
50. 赤褐色土
51. 赤褐色土
52. 赤褐色土
53. 赤褐色土
54. 赤褐色土
55. 赤褐色土
56. 赤褐色土
57. 赤褐色土
58. 赤褐色土
59. 赤褐色土
60. 赤褐色土
61. 赤褐色土
62. 赤褐色土
63. 赤褐色土
64. 赤褐色土
65. 赤褐色土
66. 赤褐色土
67. 赤褐色土
68. 赤褐色土
69. 赤褐色土</p> |
|--|---|

図 154 267 調査区 トレンチ1土層 (1/40)

267区 トレンチ1

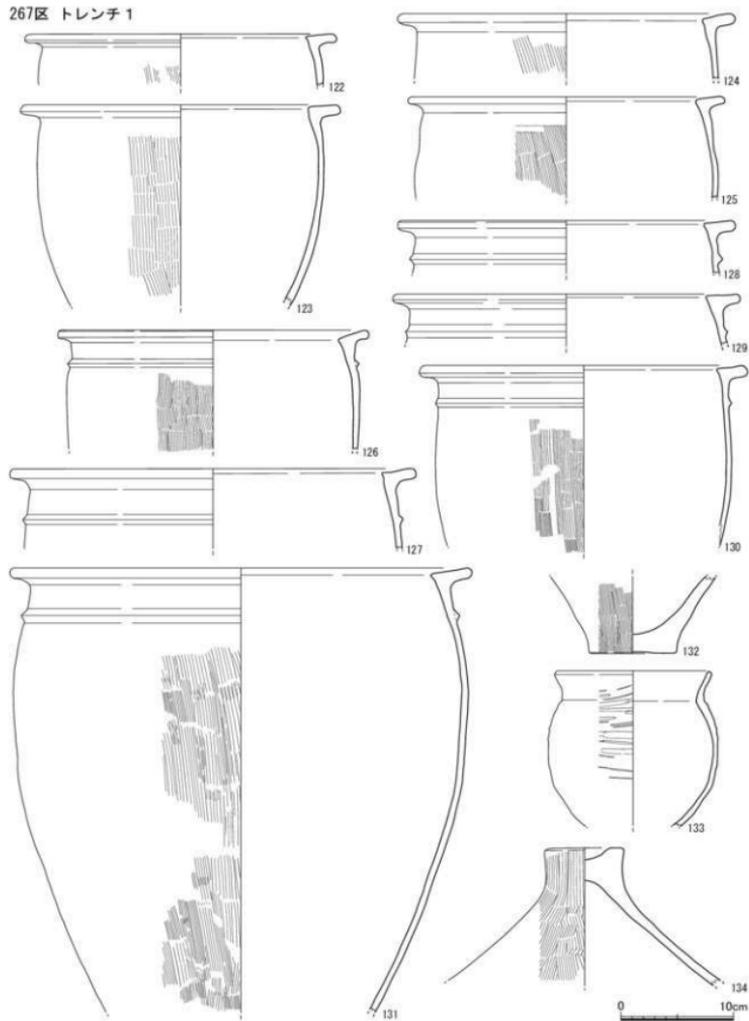


図 155 267 調査区 出土土器 1 (1/4)

267区 トレンチ1

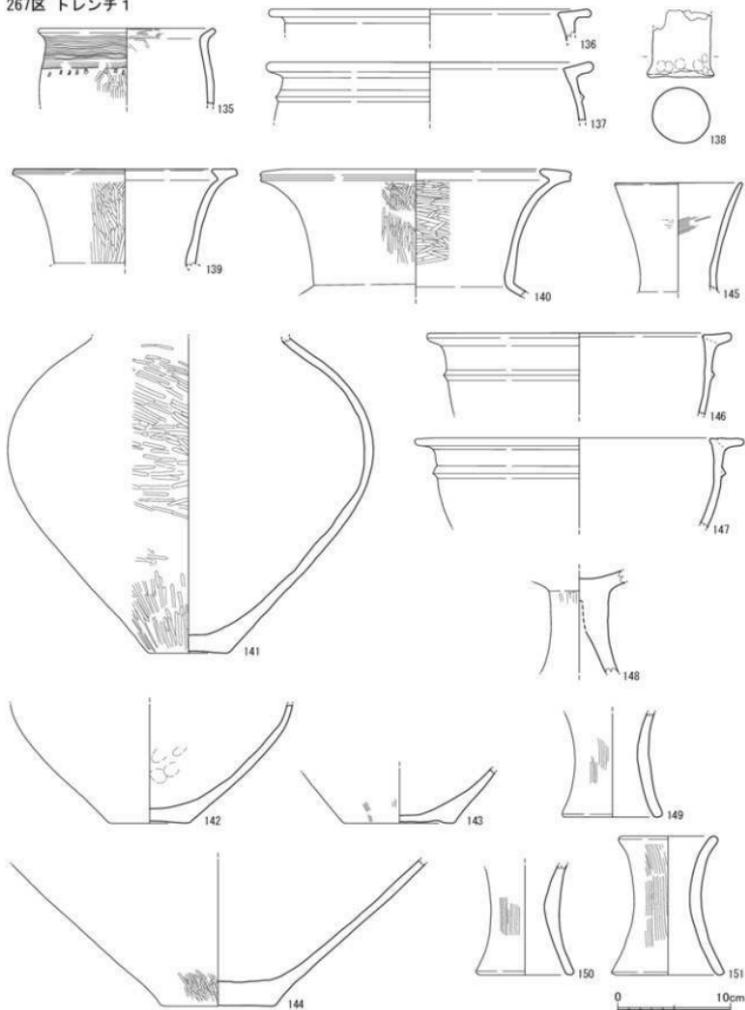
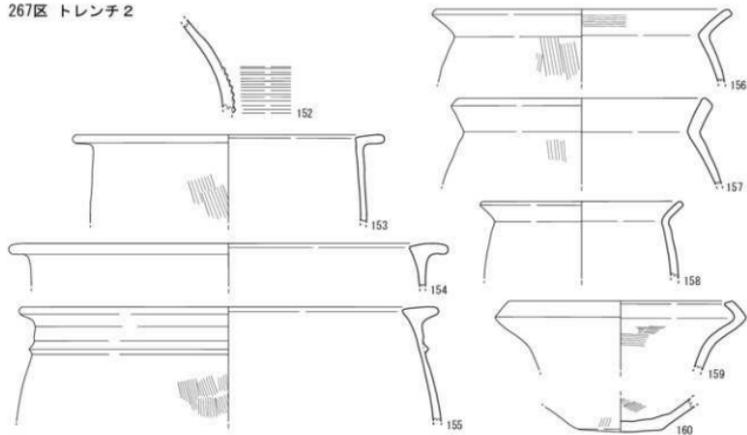


図 156 267 調査区 出土土器 2 (1/4)

267区 トレンチ2



152区 トレンチ3

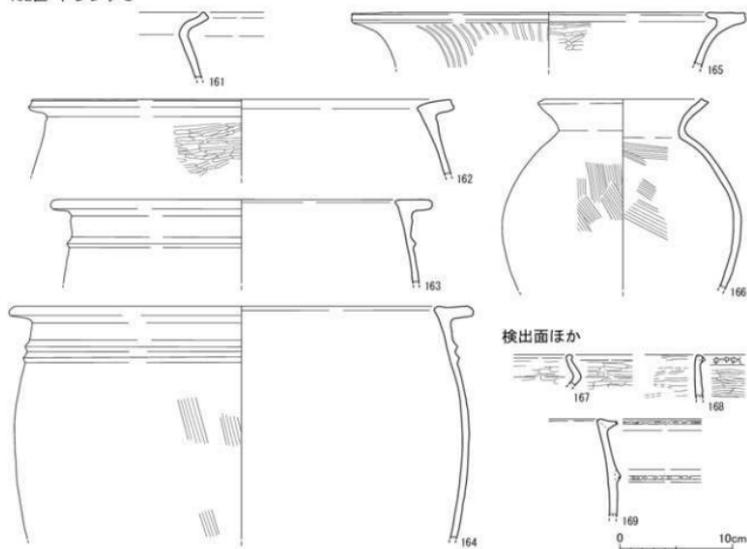


図 157 267 調査区 出土土器 3 (1/4)

162は裏であるが、外面ミガキで、小形の裏棺の可能性ある。163・164は口縁断面逆L字状の裏で、外面に断面三角形突帯が163は1条、164は2条めぐる。165は鋸先状口縁の壺で、外面に暗文が施される。166は屈折口縁の壺である。

167～169は検出面などから出土した。167は縄文土器の冴鉢で、口縁外部外面は段状をなし、黒色磨研である。168・169は口縁部に刻目突帯がつく裏で、168は内外面条痕である。

表 18 267 調査区 出土土器

種別・番号	位置調査物登録番号	出土位置	器種	寸法cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 155-122	17000064	267 区トレ1	裏	27.7*			にぶい・紺	紺	
図 155-123	17000079	267 区トレ1	裏	28.4*			にぶい・黄紺	にぶい・黄紺	
図 155-124	17000264	152 区トレ1	裏	30.0*			紺	紺	
図 155-125	17000072	267 区トレ1 中層	裏	28.2*			浅黄紺	にぶい・紺	
図 155-126	17000263	152 区トレ1	裏	27.6*			紺	紺	
図 155-127	17000071	267 区トレ1 中層	裏	36.0*			にぶい・紺	にぶい・黄紺	
図 155-128	17000074	267 区トレ1 中層	裏	30.0*			浅黄紺	にぶい・紺	
図 155-129	17000063	267 区トレ1	裏	30.8*			紺・にぶい・紺	にぶい・紺	
図 155-130	17000073	267 区トレ1 中層	裏	29.2*			紺	にぶい・黄紺	
図 155-131	17000084	267 区トレ1	裏	40.0			にぶい・黄紺	にぶい・黄紺	
図 155-132	17000080	267 区トレ1	裏		7.6*		にぶい・黄紺・紺	黒	
図 155-133	17000065	267 区トレ1	裏	14.0			浅黄紺	浅黄紺	
図 155-134	17000266	152 区トレ1	蓋	7.0			浅黄紺	紺	
図 156-135	17000085	267 区トレ1	裏	15.7*			紺・にぶい・紺	紺	西部瀬戸内系
図 156-136	17000345	267 区トレ1 下層	裏	28.6*			紺	紺	
図 156-137	17000344	267 区トレ1 下層	裏	29.0*			紺	紺	
図 156-138	17000346	267 区トレ1 下層	支脚		5.9		紺	紺	
図 156-139	17000265	152 区トレ1	壺	20.0*			紺	紺	
図 156-140	17000081	267 区トレ1	壺	27.6			紺	紺	
図 156-141	17000078	267 区トレ1 中層	壺		7.1		紺・にぶい・黄紺	にぶい・黄紺	
図 156-142	17000083	267 区トレ1	壺		7.1		紺	紺	
図 156-143	17000066	267 区トレ1	壺		9.9		紺・にぶい・黄紺	にぶい・紺	
図 156-144	17000082	267 区トレ1	壺		10.0		明黄紺	明黄紺	
図 156-145	17000077	267 区トレ1 中層	壺	11.4			浅黄紺・紺		
図 156-146	17000076	267 区トレ1 中層	鉢	27.0*			紺	紺	
図 156-147	17000075	267 区トレ1 中層	鉢	29.2*			紺	紺	
図 156-148	17000067	267 区トレ1	高坏				紺	にぶい・紺	
図 156-149	17000069	267 区トレ1	器台		8.9		浅黄紺・紺・黄紺	浅黄紺・紺・黄紺	
図 156-150	17000070	267 区トレ1	器台		8.7*		紺	紺	
図 156-151	17000068	267 区トレ1	器台		8.8	10.0	紺	紺	
図 157-152	17000271	152 区トレ2	壺				紺	紺	外東系?
図 157-153	17000267	152 区トレ2	裏	27.6*			紺	紺	
図 157-154	17000268	152 区トレ2	裏	39.0*			にぶい・紺	にぶい・紺	
図 157-155	17000270	152 区トレ2	裏	37.2*			紺	紺	
図 157-156	17000331	267 区トレ2	裏	26.6*			紺・にぶい・黄紺	紺	
図 157-157	17000330	267 区トレ2	裏	23.2*			にぶい・紺	浅黄紺	

表 18 267 調査区 出土土器

採収番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 157-158	17000332	267 区トレ 2	甕	18.0*			にぶい黄緑	緑	
図 157-159	17000334	267 区トレ 2	壺	19.9*			緑	浅黄緑	
図 157-160	17000333	267 区トレ 2	壺		7.5		にぶい緑	にぶい緑・灰褐	
図 157-161	17000277	152 区トレ 3	甕				緑	浅黄緑	隣接上の記録
図 157-162	17000276	152 区トレ 3	甕	37.7*				緑	
図 157-163	17000275	152 区トレ 3	甕	33.9*			緑・にぶい緑	緑・浅黄緑	
図 157-164	17000274	152 区トレ 3	甕	41.2*			緑	緑	
図 157-165	17000278	152 区トレ 3	壺	35.0*			にぶい黄緑	にぶい黄緑	
図 157-166	17000279	152 区トレ 3	壺	15.1			浅黄緑	褐灰	
図 157-167	17000088	SK0222 検出面	浅鉢				黒褐	黒褐	縄文土器 黒色磨研
図 157-168	17000087	SK0222	甕				褐灰	にぶい白	内外面に染血
図 157-169	17000322	SK0222 検出面	甕				浅黄緑	灰白	

田手二本黒木地区 III 区 268 調査区

268 調査区は、267 調査区北側を一体として調査した調査区で、盛土遺構は検出していないが、弥生時代の遺構として、貯蔵穴跡・溝跡などを確認した。

貯蔵穴跡としては、SK0407・0421・0422・0424 貯蔵穴跡などがあり、平面円形基調のものがほとんどである。掘り下げを行ったものでは、SK0424 貯蔵穴跡から中期前半の土器が出土しており（「156 集」）、おそらく他のものも中期前半のものが多いと思われる。SK0407 貯蔵穴跡は、調査区南端部中央に位置し、断面袋状をなすものと考えられ、埋土は人為的に埋められた可能性がある。出土遺物はほとんどないため、詳細な時期は不明である。

溝跡としては、SD0415・0420・0425・0431・0440 溝跡を検出した。SD0415 溝跡は、調査区北東部に位置し、東西方向にのびる。溝東側は中世の溝跡などで削平されているものと考えられる。西側はトレンチで徐々に浅くなっていることを確認したが、确实ではないものの、直線的に途切れている形状から、掘り残しによる陸橋部があった可能性もある。幅 1.22 m～2.52 m、トレンチ部分での深さ 0.40 m、断面は U 字形である。SD0425・0431 溝跡は、調査区西部に位置し、中世の溝跡で分断されているものの、同一の溝と考えられる。南部（SD0431）は南北方向で、北部は（SD0425）は東側に向かって緩やかに屈曲しており、中世の遺構で明確ではないが、SD0415 溝跡と一連の溝となる可能性がある。幅 1.02 m～1.95 m、トレンチ部分での深さ 0.55 m、断面は U 字形である。

SD0420 溝跡は、調査区中央部に位置し、東西方向にのびる。西側は南に向かって屈曲し、SK0404 土坑と重複し、前述のように南側の延長と考えられる溝跡を断面で確認している。東側は中世の溝跡との重複のため、その延長は明確ではない。幅 1.55 m～2.38 m、トレンチ部分での深さ 0.83 m、断面は U 字形から逆台形である。SD0440 溝跡は、調査区南東部に位置し、南北方向にのび、南側は東に屈曲しているようである。北部も、中世の溝跡との重複で明確ではないが、西側に向かって屈曲していると考えられ、SD0420 溝跡と一連の溝の可能性はある。幅 2.12～2.42 m、トレンチ部分での深さ 0.44 m、断面は逆台形である。

以上の溝跡は、まとめて終末期の土器が出土した SD0431 溝跡以外、明確な時期を示す出土遺物が少ない。ただ、図示したものの以外に、SD0415 溝跡から胴部外面にタタキがある破片、SD0420 溝跡から凸レ

SK0407



1. 覆土
2. 暗褐色粘質土 一小穴
3. 暗褐色粘質土+灰白色粘土
一中世溝埋土
4. 暗褐色粘質土
5. 暗褐色粘質土
6. 褐色粘土
7. 黒褐色粘質土
8. 黒褐色粘質土
- 9a. 暗褐色粘質土
- 9b. 暗褐色粘質土
(褐色粘質土を含む)
10. 暗褐色粘質土
11. 暗褐色粘質土+褐色粘質土
+黒褐色粘質土
12. 明褐色粘質土
13. 褐色~淡赤褐色粘質土
14. 白色粘質土
15. にぶい黄褐色~明褐色粘質土
16. 暗褐色粘質土
17. 黒褐色粘質土
18. にぶい褐色粘質土
19. 褐色粘質土
20. 黒褐色粘質土
21. 灰白色粘質土
22. 明褐色~暗褐色粘質土
23. 黒褐色粘質土
24. 暗褐色粘質土
- 25a. 灰褐色粘質土
- 25b. 褐色粘質土
26. 褐~明褐色粘質土
27. 灰白色粘質土
28. 黒褐色粘質土
29. 暗褐色粘質土
30. 灰白色粘質土
31. 黒褐色~暗褐色粘質土
32. 暗褐色粘質土
33. 地山土 一崩落土?

SD0415土層



1. 褐色土 (淡赤褐色ブロックを含む) -SD0415埋土
2. 褐色土 (淡赤褐色ブロック、灰化物を含む)
3. 褐色土 (赤褐色土ブロックを含む)
4. 褐色土
5. 褐色土

SD0425土層



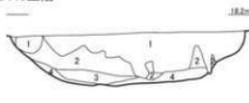
1. 淡赤褐色土 (褐色土ブロックを少し含む)
2. 黄褐色土 (褐色土・淡赤褐色ブロックを含む)

SD0420土層



1. 褐色土 (黄褐色・赤褐色土ブロックを含む)
2. 褐色土 (赤褐色土ブロックを含む)
3. 褐色土 (黄褐色・赤褐色土ブロックを少し含む)
4. 褐色土 (暗褐色・黄褐色・赤褐色ブロックを多く含む)
5. 褐色土
6. 褐色土 (黄褐色・赤褐色・暗褐色土ブロックを含む)
7. 褐色土 (黄褐色・赤褐色・暗褐色土ブロックを少し含む)
8. 褐色土 (黄褐色・赤褐色・暗褐色土ブロックを含む)
9. 褐色土 (黄褐色・赤褐色土ブロックを多く含む)
10. 褐色土 (赤褐色土ブロックを含む)
11. 褐色土 (黄褐色・赤褐色土ブロックを含む)
12. 黄褐色土+暗褐色土+淡赤褐色土

SD0440土層



1. 暗灰~灰褐色土 一覆土
2. 明褐色砂質土 (にぶい褐色土・黒褐色土粒を含む)
3. にぶい褐色粘質土
4. 褐色粘質土 (灰白粘質土を含む)

0 1m

図 158 268 調査区 貯蔵穴跡・溝土層 (1/40)

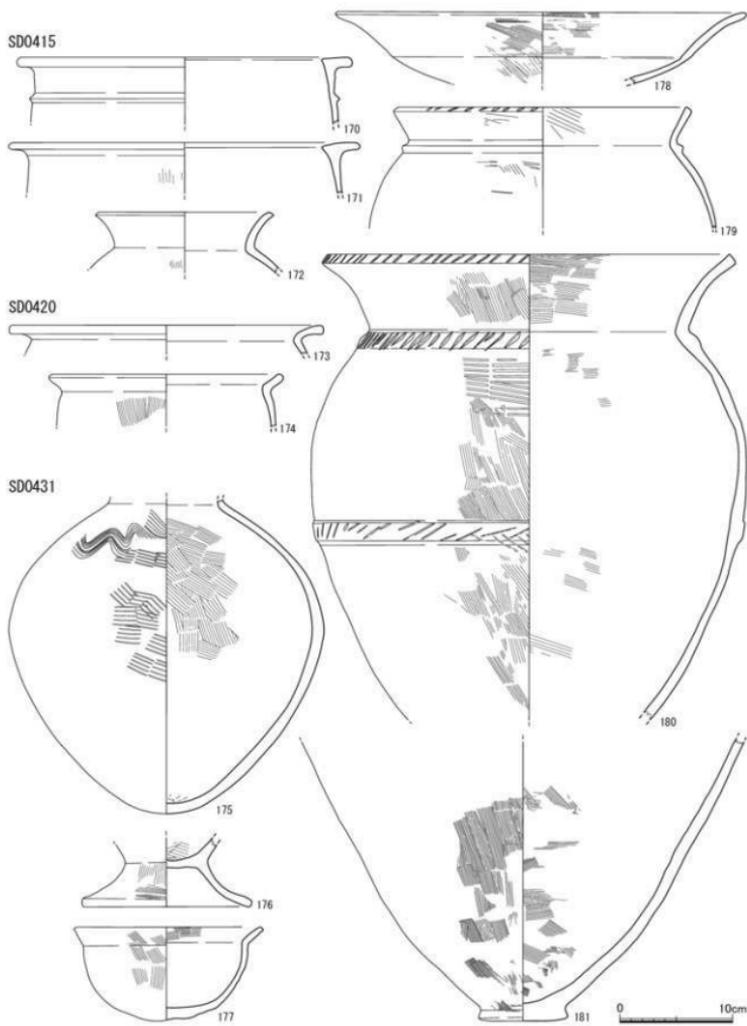


图 159 268 调查区 出土土器 (1/4)

ンス状の底部が出土し、SD0440 溝跡出土の終末期とみられる土器を報告している（『156集』）。このことから、後期後半～終末期の一連の溝跡と考えられる。このほか、SD0415 溝跡から中期後半を中心とした中期の土器が多数出土しており、SD0431 溝跡から鉄矛（185）が出土している。

これらの溝跡は、その走行状況からSX0222 盛土遺構を囲んでいる可能性がある。同様の溝跡を田手一本黒木地区Ⅰ区304・325 調査区で確認している（『211集』）。

268 調査区出土土器

170～172はSD0415から出土した。170・171は口縁断面逆L字状の甕で、170は外面に断面三角形突起が1条めぐる。172は屈折口縁の甕である。

173・174はSD0420出土で、173は屈折口縁、174は「く」字状口縁の甕である。

175～181はSD0431から出土した。175は甕で、胴部上半に櫛描による波状文がめぐる。176は台付甕、177は屈折口縁の鉢である。178は杯部が浅く大きく開く高坏である。179～181は大甕である。179は口縁端部に刻み、180は口縁端部と、口頸部と胴部中央部にめぐる断面が幅広い突帯上に刻みを施す。

267・268 調査区出土土器・鉄器

182は267 調査区SX0222 盛土遺構上の攪乱から出土した。送風管の可能性のある土製品としたが、焼けた痕跡などはなく、中期初頭の支脚の可能性もある。

183は267 調査区トレンチ2から出土から出土した石庖丁未成品で、約半分が残存する。背部と両面に板状素材の自然面を残し、刃部に打製調整が施されている。石材は葦青石ホルンフェルスである。184は267 調査区検出面から出土した小型の柱状片刃石斧で、石の葉理方向は身の主軸と直行する縦目である。石材は層灰岩である。

185は268 調査区SD0431から出土した鉄矛で、切先を欠損する。186は267 調査区トレンチ1から出土から出土した板状鉄製品で、鑄造鉄片の再加工品の可能性がある。

(5) SX0222 盛土遺構とその周辺について

これまで「南墳丘墓」や「祭壇」と呼称しているSX0222 盛土遺構について、平成2年度、平成9～10年度の調査を報告した。また、盛土遺構に関連する遺構についても周辺を含め、概要を説明した。

盛土の構築については平成2年度に調査を行ったが、改めて土層図・写真を確認したところ、盛土の範囲などについて再検討を要することが判明した。明確に弥生時代の盛土が認められるのは、148 調査区のA-B土層・C-D土層の西部、149 調査区のE-F土層・G-H土層南部、150 調査区、151 調査区、153 調査区北西端部である。なお、報告はしていないが、状況からみて147 調査区にも盛土があるのは確実である。

平成2年度の時点では詳細な検討が行われていないが、148・150・151 調査区は今後再調査を含め検討すれば、盛土の端部を把握できる可能性がある。盛土の構築方法については、現状では明確な順序などを明らかにできるほどの検討は進んでいない。ただ、148・149 調査区では構築前の旧表土層と考えられる層が認められるが、それ以外では認められておらず、盛土構築前に当時の地表面を整形している可能性がある。盛土の範囲、構築方法については、今後の検討課題である。

これまでの調査では、盛土遺構を掘り込んだ弥生時代の明確な遺構は確認されていない。149 調査区で

表 19 268 調査区 出土土器

図例・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 159-170	00002868	SD0415	甕	29.8*			明黄褐色	明黄褐色	
図 159-171	00002870	SD0415	甕	31.2*			明黄褐色	明黄褐色	
図 159-172	00002860	SD0415	壺	15.8*			明黄褐色	淡褐色	
図 159-173	00002846	SD0420	甕				淡褐色	淡褐色	
図 159-174	00002844	SD0420	甕	20.8*			淡明黄褐色	淡明黄褐色	
図 159-175	00002875	SD0431	壺				淡褐色	淡褐色	
図 159-176	00002878	SD0431	甕		15.1		淡褐色	淡褐色	付付甕
図 159-177	00002871	SD0431	鉢	16.8*		8.5	淡褐色	淡褐色	
図 159-178	00002880	SD0431	高坪	36.1*			淡褐色	淡褐色	
図 159-179	00002877	SD0431	甕	26.4*			淡褐色	淡褐色	
図 159-180	00002882	SD0431	甕	35.6*			淡褐色	淡褐色	
図 159-181	00002881	SD0431	甕		7.9		淡褐色	明黄褐色	

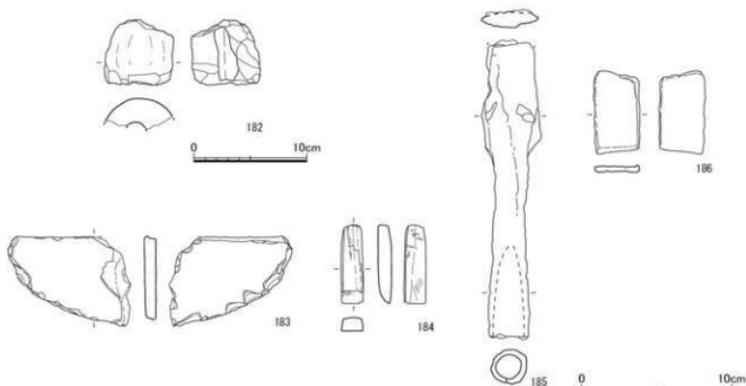


図 160 267・268 調査区 出土土製品 (1/4)・石器・鉄器 (1/3)

表 20 267・268 調査区 出土土製品・石器・鉄器

図例・番号	佐賀県遺物 登録番号	出土位置	種別	器種	法量 cm			重量 (g)	色調 / 材質	備考
					長さ	幅	厚さ			
図 160-182	17000086	267 区 畑丸	土製品	送風管?				槽・にふい・黄褐色	支脚か?	
図 160-183	13000858	267 区 トレ 2	磨製石器	石指丁	8.2*	6.1*	0.8	63.3*	黄褐色 ホルンフェルス	未成品
図 160-184	16000903	267 区 畑出岳	磨製石器	石斧	5.35	1.5	0.9	14.4	層灰岩	柱状片刃 燧石
図 160-185	13000777	268 区 SD0431	鉄器	鉄矛						
図 160-186	13000767	267 区 トレ 1	鉄器	板状						鋳造鉄斧片再加工作?

は土坑墓状の遺構が盛土より新しいと報告されているが（『132集』）、本項での検討では盛土遺構より古い可能性が高い。267 調査区で確認された土器が集中する範囲（SX0210）も明確な掘り込みは認められず、平成2年度の調査成果と合わせると、原位置を保っているかどうかの検討から行う必要がある。

盛土構築の時期については、盛土内から出土した土器が中期前半までであること、盛土上のSX0210から出土した土器が中期後半を中心とした時期であることから、中期前半～後半と推定され、北壇丘墓の構築に近い時期であることは確かであろう。

以上のように、SX0222 盛土遺構については、北壇丘墓と同様の土層が認められ、構築時期は判明するものの、盛土遺構に伴う遺構が明確ではなく、戦国時代と考えられる溝跡の存在などからみて、後世に大規模な地形的変化が加えられていることもあり、その性格は明らかにできないのが実情である。ただ、出土土器からみて、盛土遺構が利用された時期は中期後半が中心であったことは確実である。

また、SX0222 盛土遺構を中心とした地区の弥生時代の期的な変遷について、簡単にまとめておきたい。前期の遺構は明確に検出されていないが、前述のように149 調査区SH0223 竪穴建物跡は可能性があり、旧表土と考えられる層がかなり厚く堆積している状況からみて、前期でも古い時期になるかもしれない。このほか、出土土器がほとんどない貯蔵穴にも前期のものが含まれる可能性がある。なお、検出面出土ではあるが、縄文土器浅鉢（167）があることから、より遡る時期から利用されていたことも考えられる。

中期になると、青銅器鋳造関連遺構（SK0404）が確認されているが、鋳造した場所については明確ではない。出土した鋳型からみて青銅器鋳造は中期初頭を中心に行われたことが考えられ（『207集』）、出土土器が同時期である148 調査区SX0221 焼土遺構は鋳造に関わる遺構の可能性もある。また、朝鮮系無文土器が出土することも青銅器鋳造と関連する可能性がある。

中期前半では、竪穴建物は確認されていないが、貯蔵穴は認められるため、集落が展開していたと考えられる。SX0222 盛土遺構からはやや離れているが、田手二本黒木地区Ⅲ区318・323・346 調査区では中期前半の竪穴建物・貯蔵穴が確認されており（『207集』）、基本的には集落域であったと考えられ、その後盛土遺構が構築されたと推定される。期的にみると、田手二本黒木地区SK0404 土坑とその南側の連続と考えられる田手一本黒木地区SK0214（トレンチ1）から出土する中期前半の土器群は、盛土構築に関係する可能性がある。また、西部瀬戸内系甕（135）を始めとして外来系土器が多いのも特徴の一つである。

中期後半では、盛土遺構上で多量の土器がみられるが、周辺にはあまり同時期の遺構はみられない。中期末になると、遺構もなく、土器もあまりみられなくなる。ただ、中期前半と同様、やはり少し離れた地区では中期後半～末の竪穴建物が確認されている（『207集』・『211集』）。

後期前半～後半では、中期末と同様の状況であり、さらに周辺でも田手二本黒木地区Ⅱ区で竪穴建物が確認されるだけで（『207集』）、遺構・遺物とも希薄な時期となる。

終末期も集落は展開していないが、SX0222 盛土遺構を囲むような溝跡が確認されている。同様の溝跡は盛土遺構南側でも確認されており（『211集』）、終末期に盛土遺構を2重の溝で囲んだ可能性が高い。周辺では溝跡以外に、268 調査区西側の神埼工業団地計画に伴って調査された田手二本黒木地区Ⅲ区で竪穴建物が確認されている（『207集』）。

このように、周辺の様相は徐々に明らかになってきており、盛土遺構の性格を解明していくために、総括編等で成果をまとめ、課題を明確にしていく必要がある。

写真図版



YGK- V 全景 (南から)



YGK- V ST1001 北墳丘墓 (北から)



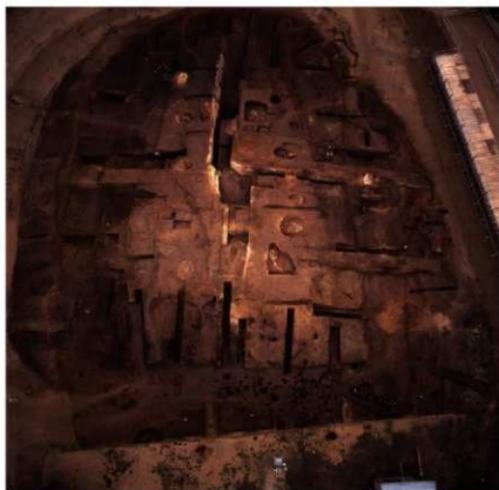
YGK-V ST1001 北墳丘墓 (南から)



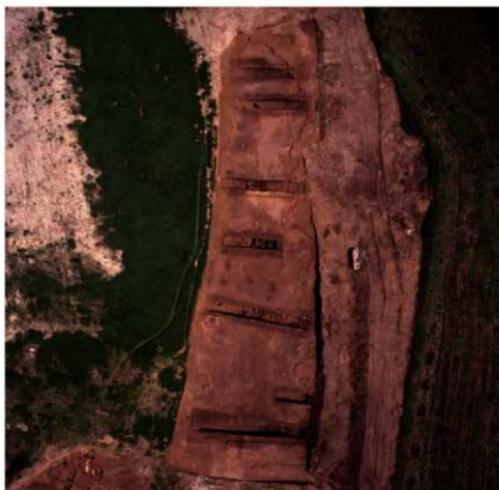
YGK-V ST1001 北墳丘墓 (真上から 上が北) 平成元年度調査



YGK-V ST1001 北墳丘墓（北から）平成4年度調査



YGK-V ST1001 北墳丘墓（真上から 上が北）平成4年度調査



YGK-V SK1699 大型祭祀土坑 (真上から 上が北)



YGK-V SK1699 大型祭祀土坑 (真上から 上が南)



YGK-V SD1011 墓道状遺構 (東から)



YGK-V SD1011 墓道状遺構 (南から)



YGK-V ST1001 SJ1002 (東から)



SJ1002 遺物出土状況

写真図版 7



YGK-V ST1001 SJ1005 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1006 (西から)



YGK-V ST1001 SJ1006 (南から)



YGK-V ST1001 SJ1007 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1009 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1054 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1056 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1057 (西から)



YGK-V ST1001 SJ1002 遺物出土状況



YGK-V ST1001 SJ1003 (西から)



YGK-V ST1001 SJ1004 (南から)



YGK-V ST1001 SJ1005 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1007 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1007 鋼剣出土状況



YGK-V ST1001 SJ1009 鋼剣出土状況



YGK-V ST1001 SJ1050 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1051 (西から)



YGK-V ST1001 SJ1052 (東から)



YGK-V ST1001 SJ1054 銅剣出土状況



YGK-V ST1001 SJ1055 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1056 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1056 銅剣出土状況 (北から)



YGK-V ST1001 SJ1057 (西から)



YGK-V ST1001 SJ1057 銅剣出土状況



YGK-V SJ1008 (西から)



YGK-V SJ1008 (西から)



YGK-V P42 土層 (西から)



YGK-V SK1010 (南から)



YGK-V ST1001 SK1058 (南から)



YGK-V ST1001 SX1042 (東から)



YGK-V ST1001 SX1042 北壁 (南から)



YGK-V ST1001 SX1042 南壁 (北から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 SJ1003 (西から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 中世溝 (西から)



YGK-V ST1001 北トレンチ東壁 中世溝 (西から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1006 墓坑 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1007 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 SJ1007 墓坑 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 中世溝 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 東トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 北トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 中世溝 (東から)



YGK-V ST1001 北トレンチ西壁 中世溝 (東から)



YGK-V ST1001 南トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 南トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 南トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 中世溝 (南から)



YGK-V ST1001 西トレンチ北壁 中世溝 (南から)



YGK-V ST1001 A1トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 A1トレンチ西壁 中世溝 (東から)



YGK-V ST1001 A1トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 A1トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 A2トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 A2トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 A2トレンチ北壁 (南から)

写真図版 21



YGK-V ST1001 A2トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 A2トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 A2トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 A4トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 A4トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 A4トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 A6トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 A6トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 A6 トレンチ北壁 中世溝 (南から)



YGK-V ST1001 A6 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ南壁 中世溝 (北から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 B2 トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 B4トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ南壁（北から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 B4トレンチ北壁 中世溝（南から）



YGK-V ST1001 B6トレンチ北壁（南から）



YGK-V ST1001 B6 トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 B6 トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 B6 トレンチ西壁 (東から)



YGK-V ST1001 B6 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 B6 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 B6 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 B7 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 B7 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 B7トレンチ東壁（西から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ東壁（西から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ東壁（西から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ西壁（東から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ西壁（東から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ西壁（東から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ西壁（東から）



YGK-V ST1001 B7トレンチ西壁（東から）



YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C4 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C1 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 C3 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 C3 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 C3 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 D2 トレンチ北壁 中世溝 (南から)



YGK-V ST1001 D2 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ北壁 (南から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 D4 トレンチ南壁 (北から)



YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から)



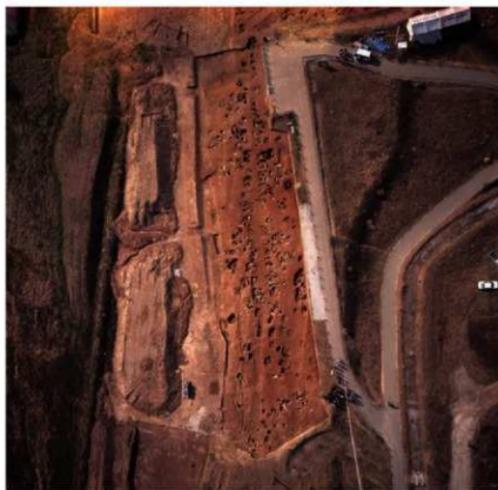
YGK-V ST1001 D5 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 D6 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V ST1001 D6 トレンチ東壁 (西から)



YGK-V 182 区全景 (真上から 上が南)



YGK-V 182 区全景 (北から)



YGK-V 184区全景（北から）



YGK-V 184区全景（真上から 上が東）



YGK-V 184区 SJ1768 人骨・竈出土状況(南から)



YGK-V 184区 SJ1768 出土竈



YGK-V SJ1018 (北から)



YGK-V SJ1019 (東から)



YGK-V SJ1020 (東から)



YGK-V SJ1021 (東から)



YGK-V SJ1022 土層 (南から)



YGK-V SJ1022 (東から)



YGK-V SJ1037 (東から)



YGK-V SP1017 (東から)



YGK-V 182区 SJ1405 (東から)



YGK-V 182区 SJ1418 (東から)



YGK-V 182区 SJ1419 (北から)



YGK-V 182区 SJ1438 (東から)



YGK-V 182区 SJ1447 (北から)



YGK-V 182区 SJ1447 棺内 (南西から)



YGK-V 182区 SJ1509 (西から)



YGK-V 182区 SJ1511 (北から)



YGK-V 182区 SJ1520 (手前) SJ1521 (北から)



YGK-V 182区 SJ1521 (北から)



YGK-V 182区 SJ1546 (西から)



YGK-V 182区 SJ1546 (北から)



YGK-V 182区 SJ1578 (北西から)



YGK-V 182区 SJ1598 (西から)



YGK-V 182区 SJ1620 (西から)



YGK-V 182区 SK1649 (東から)



YGK-V 182区 SK1650 SK1651 (北から)



YGK-V 182区 SK1652 (西から)



YGK-V 182区 SK1653 土器出土状況 (北から)



YGK-V 182区 SK1655 (西から)



YGK-V 184区 SJ1716 (北から)



YGK-V 184区 SJ1716 箱内 (北から)



YGK-V 184区 SJ1740 箱内 石器出土状況 (南東から)



YGK-V 184区 SJ1768 箱内 (東から)



YJK-V 184区 SJ1768 棺内 横出土状況



YJK-V 184区 SJ1777 (東から)



YJK-V 184区 SJ1777 棺内 (南から)



YJK-V 184区 SC1720 (北から)



YJK-V 184区 SC1720 (東から)



YJK-V 184区 SK1712 (南から)

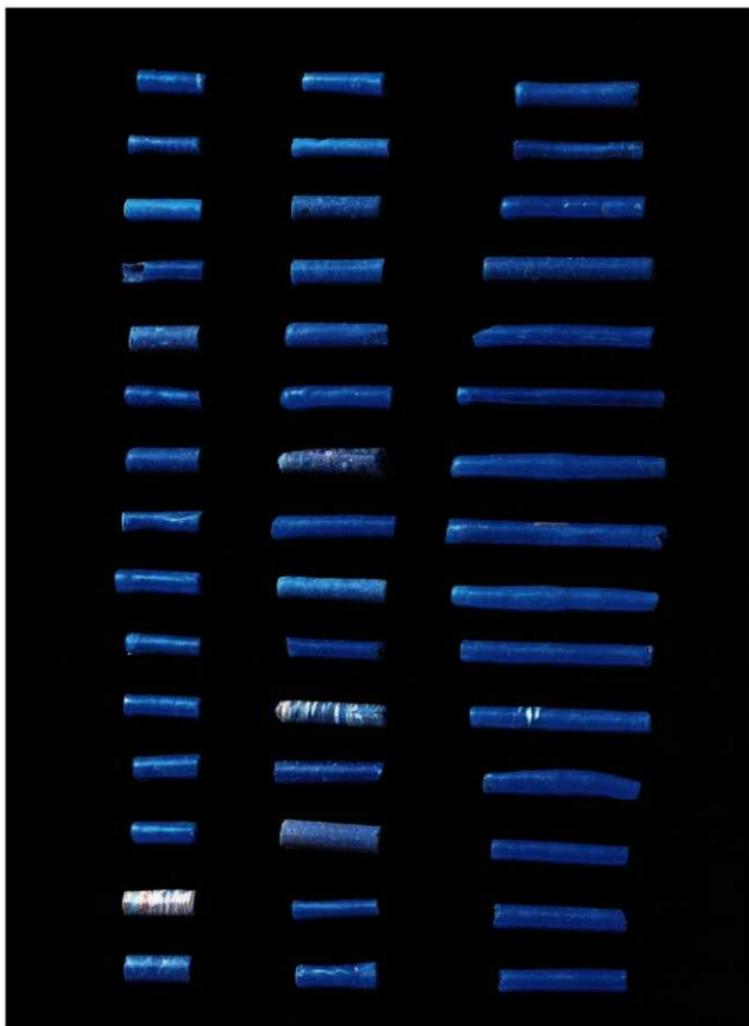


YJK-V 184区 SK2025 (南から)



YJK-V 206区 SP2063 (東から)





ST1001 北埴庄遺 5/1002 出土ガラス製管玉



YGK-V ST1001 出土 甕類 1.



YGK- V ST1001 出土葬棺 2



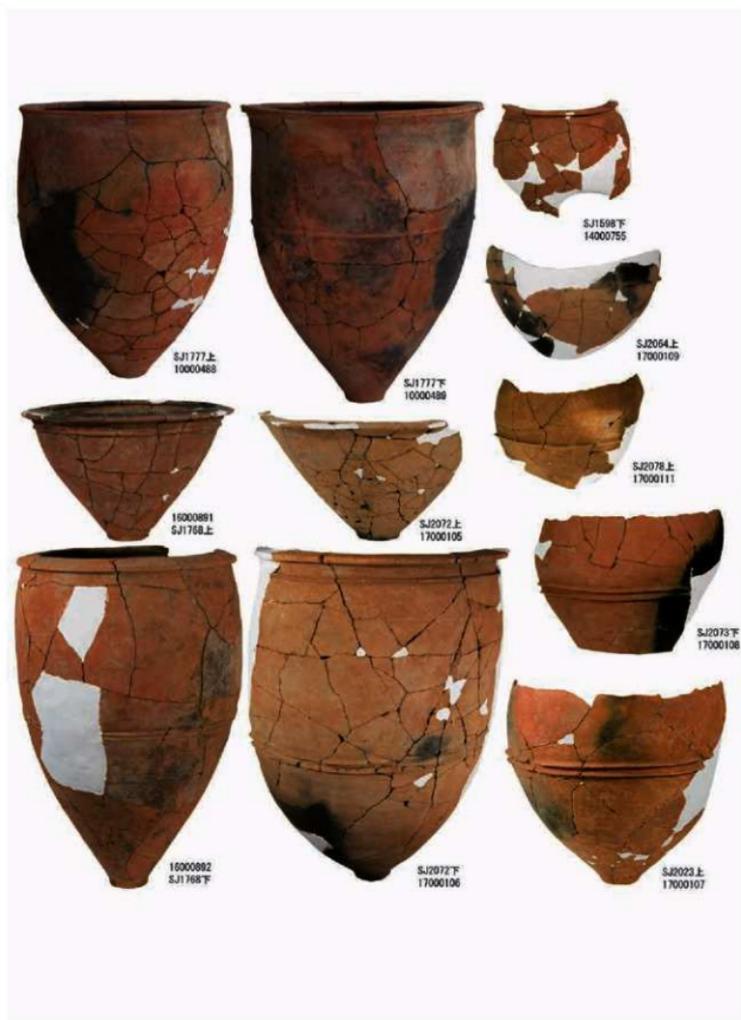
YGK-V ST1001 出土 甕棺 3



YGK-V ST1001 出土甕棺 4



YGK-5 出土土器



YGK-5 出土罍棺





SX0222 平成2年度調査(北から)



SX0222 平成9～10年度調査(北から)



267・268 調査区（北から）



267・268 調査区（東から）



8 調査区土層 1 (西から)



8 調査区土層 2 (西から)



8 調査区土層 3 (西から)



8 調査区土層 4 (南西から)



148 調査区 A-B 土層西半 (南から)



148 調査区 SX0221 (東から)



148 調査区 A-B 土層東半 (南西から)



148 調査区 C-D 土層 (南西から)



149 調査区 E-F 土層 (西から)



149 調査区 G-H 土層 (南西から)



149 調査区 SX0213 土層 (西から)



149 調査区 SX0213 土層拡大 (南西から)



149 調査区 SX0213 (北から)



149 調査区 SX0213 出土状況 (南から)



150 調査区 I-J 土層 (北から)



150 調査区 K-L 土層 (東から)



151 調査区 I-J 土層 (北西から)



151 調査区 K-L 土層東半 (北から)



153 調査区 Q-R 土層北西部 (南から)



153 調査区 Q-R 土層南東部 (南西から)



267 調査区トレンチ 1 (東から)



267 調査区トレンチ 1 遺物出土状況 (南から)



267 調査区トレンチ 1 土層 (北から)



267 調査区トレンチ 1 遺物出土状況 (南から)



267 調査区 SK0210 出土状況 (北から)



267 調査区 SK0210 (北から)



268 調査区 SK0407 土層北半 (南西から)



268 調査区 SK0407 土層南半 (北東から)



268 調査区 SK0422 (南東から)



268 調査区 SD0415 土層 (西から)



268 調査区 SD0415 西端 (南から)



268 調査区 SD0420 土層 (西から)



SX0222 とその周辺 出土遺物



SX0210 壺出土の貝・動物骨

報告書抄録

ふりがな	よしのがりいせき						
書名	吉野ヶ里遺跡						
副書名	弥生時代の墳丘墓						
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書						
シリーズ番号	第219集						
編著者名	渡部芳久(編) 渋谷格						
編集機関	佐賀県教育委員会						
所在地	〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1番59号 TEL:0952-25-7233						
発行年月日	2017(平成29)年12月〇日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘原因
		市町村	遺跡番号				
よしのがりいせき 吉野ヶ里遺跡	佐賀県 みやま市大字志波屋・ 志波屋 吉野ヶ里町大字田手・大曲	412104	0215	33° 19' 37"	130° 23' 10"	1986～2012	工業団地計画 遺跡の内容の把握、歴史公園整備に係る資料を得るため
		413275	0081	日本測地系 (33° 19' 25")	日本測地系 (130° 23' 18")		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項	
吉野ヶ里遺跡	墓地	弥生時代	墳丘墓 豊楢墓 土坑墓・木棺墓 石棺墓 祭祀土坑	弥生土器、石器・石製品、青銅器、 鉄器		弥生時代中期の巨大な墳丘墓と 祭壇跡 豊楢墓の列状埋葬	
要約	<p>本書は、これまで実施された吉野ヶ里遺跡の発掘調査で確認された弥生時代の墳丘墓（北墳丘墓・南祭壇（墳丘墓））についてまとめた報告書である。吉野ヶ里遺跡は、地元の教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が主体となり、継続して調査が行われてきた。平成4年に神埼工業団地計画に伴う調査の概要報告書が同行されているが、それ以降の調査成果を含めて総括した報告書は発行できていない。本書では、弥生時代中期の首長墓である墳丘墓について、墳丘墓上の土層断面や豊楢墓、出土遺物などの基礎的なデータを報告して、現段階での調査成果をまとめている。</p> <p>吉野ヶ里遺跡では、前期の墓はごくわずかしか確認されていない。中期初頭（城ノ越式）に丘陵上の各地に墓地が営まればじ、中期前半（鹿田式期）・中期後半（須玖式期）に豊楢墓の最盛期となる。志波屋四の坪地区を代表例として、吉野ヶ里地区Ⅱ・Ⅲ区、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区では大規模な列状埋葬がみられることが大きな特徴である。中期末（立岩式期）まで豊楢墓地が継続している地区が多い。後期前半（三津式期）には土坑墓が増加するが、集団墓地としては終向を迎える。</p>						

佐賀県文化財調査報告書第 219 集

吉野ヶ里遺跡

—弥生時代の墳丘墓—

平成 29 年（2017）年 12 月 日

発行 佐賀県教育委員会

〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内 1 丁目 1 番 59 号

印刷 株式会社

〒 .

